

同盟旬報

第三十六卷 第六十三號
第一八八號

昭和十七年十二月十三日發行

昭和十七年十二月旬重要日誌

翼贊國民總力戰思想方策決定(二日)……………	五	獨伊通商協定調印(六日)……………	五
日獨伊首腦メッセーヂ交換(二日)……………	六	第廿四回總動員審議會開催(十七日)……………	九
共榮圈綜合物價對策案成る(二日)……………	六	全支公館長會議開催(七日)……………	七
獨、對佛方針を闡明(二日)……………	六	重慶、物價統制法發表(七日)……………	四
天皇陛下伊勢神宮御親拜(二日)……………	四	米、物價調整局長官辭職(七日)……………	六
佛主席、獨總統宛回答内容發表(三日)……………	五	米麥の無料國營検査決定(八日)……………	三
石油專賣法案提出決定(四日)……………	六	貨物自動車運送統合要領決定(八日)……………	三
日佛印協定第一回會談(四日)……………	四	工場鑛山日傭勞務者賃金決定(八日)……………	四
産業經濟代表に異例の賜謁(五日)……………	八	獨伊佛三巨頭會談開く(八日)……………	五〇
中央物價協力會議開會(五日)……………	元	翼贊、轉廢業問題政府に申達(九日)……………	六
蒙疆、宣化、大同兩省新設(五日)……………	四	汪國民政府主席以下入京(二〇日)……………	七
日本有價證券取引所法案提出(六日)……………	三		
蠶糸業對策決定(六日)……………	三		

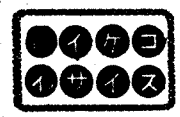
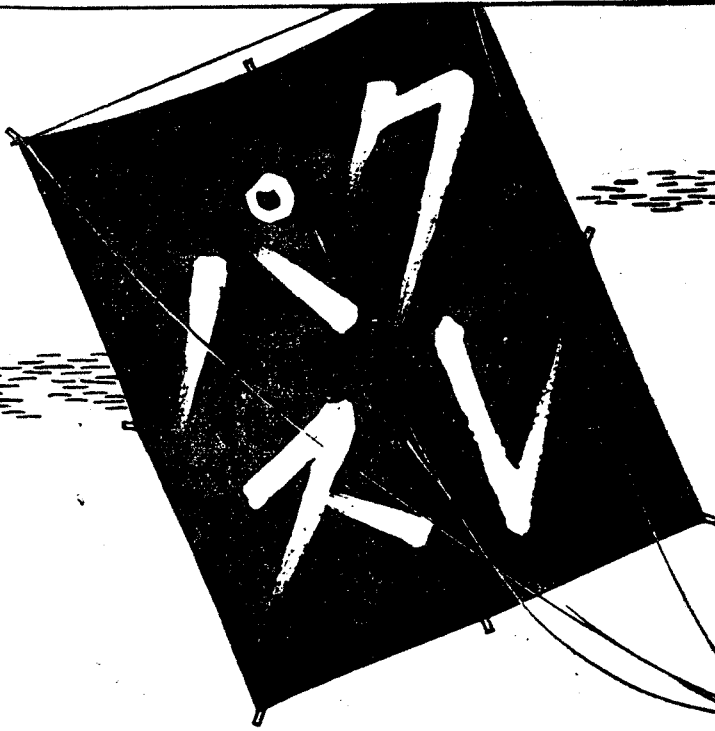
附錄 自第六卷第一號 至第六卷第九號 索引

☆☆☆ 三星のぐ

水彩製油圖
案圖彩



三星繪具製造所



全園文興店有

同盟旬報

第六卷・第三十五號
十二月中旬號

主要目次

宮廷

- 天皇陛下神宮御參拜 (二・三)
- 宮中賢所御神樂の御儀 (三・五)
- 天皇陛下陸士卒業式行幸 (二・七)
- 外地民草の精勵を御嘉尚 (二・八)
- 皇太后陛下御仁慈 (三・九)
- 李王殿下臺灣より御歸還 (三・一〇)

世界戰況

大東亞戰爭

印緬方面

- 陸軍チッタゴン、フェニニ連爆 (三・五)
- 敵機ランゲン首爆 (三・一〇)

南太平洋方面

- 海軍ニューギニア爆撃 (二・四)
- モレスビー連爆 (三・四)
- サンフランシスコ號大破
- アチーブ號撃沈
- クイリツチ號觸雷沈没

北太平洋方面

- アラスカ防衛司令戰死か

【感狀・行賞】

- 坂口、東海林兩部隊に感狀 (二・二)
- 神戸中隊に感狀 (二・六)
- 中井部隊に感狀 (二・六)
- コ島攻略部隊に感狀 (三・九)

支那方面

【綜合戰況】

支那派遣軍週間戰況

- 【北支戰況】
- 蔣系軍一年の潰退振り
- 河北中部剿共戰果
- 第三次施政躍進運動成功
- ▲山東地區
- 陸海協力山東共匪掃蕩
- 第三次魯東作戰
- 山東、安徽、河南十一月綜合戰果

【中支戰況】

- 揚子下流の綜合戰果
- 洪澤湖畔掃蕩戰果
- 武漢周邊新四軍肅清狀況
- 要衝郝穴を攻略 (三・六)
- 花園東方の敵覆滅 (三・八)
- 【空中戰・空爆】
- 大陸空軍の反撃企圖爆碎
- 陸軍桂林に敵四機爆碎 (三・五)

歐米戰況

【綜合戰況】

- 獨軍當局戰局表明
- 獨伊軍公表戰況 (三・一〇)
- 獨ソ戰線
- 獨軍着々戰果を擴大
- 東部戰線の攻防戰激化
- 赤軍戰車擊破
- ソ聯空軍損失

【北部地區】

- レ市周邊に要塞線構築
- 【中部地區】
- ドン河中流地區で激戰
- モスクワ方面で反攻企圖か
- ルジヨフ西方の赤軍反撃完全に失敗
- トロベーズ地區の殲滅戰
- 赤軍スモレンスク奪回を企圖

【南部地區】

- ス市西南方の激戰
- 【コーカサス地區】
- テリヨク戰線の赤軍反攻挫折

【北阿戰線】

- 【キレナイカ地區】
- エル・アゲイラの戰鬪本格化
- 英軍の側面作戦失敗
- 【チュニジア地區】
- チュニジア地方戰況
- 樞軸軍戰車をもつて猛攻撃

【モロッコ地區】

- 米軍回教聖地を占領 (三・三)
- 樞軸空軍北阿で活躍

【西部戰線】

- ドヴァー海峽の砲撃戰
- 【西亞戰線】
- 英軍テヘランに入る
- 【空中戰・空爆】
- ナポリ來襲の英機撃墜 (三・二)
- 獨空軍英本土空襲 (三・四)
- 英機獨西北部爆撃 (三・七)
- カイロ爆撃被害甚大 (三・九)

【海上戰況】

- 西印度洋で四十隻撃沈
- 敵側船舶喪失は建造の二倍

- 獨快速艇隊の戰果 (三・三)
- 擊沈船舶名追加發表
- 通商破壞戰の新戰果

政治・外交

- ▲拜謁・奏上
- 産業經濟代表に異例の賜謁 (三・五)
- ▲拜謁・奏上
- 石油專賣法案提出 (三・五)
- 國家計畫の推進狀態檢討
- 重要三勅令案要綱決定 (三・七)

各省

- 全國經濟部長會議 (三・四)
- 文部省委員地方視察意見書提出
- 逡信委員現地視察報告
- 【外地・地方】
- 翼賛政治會
- 有志議員聯合、機構改革を進行 (三・四)
- 生擴對策要綱進言 (三・四)
- 造船、海運對策進言 (三・六)
- 大政翼賛會
- 國民總力戰思想の方策決定 (三・二)
- 官廳年末年始休暇取止め (三・七)
- 轉廢業問題政府へ申達 (三・七)
- 諸團體動向
- 天關打開議員聯盟結成
- 【法令】
- 臺灣陸軍志願兵の訓練終る

軍事

- 臺灣陸軍志願兵の訓練終る

外交

三國軍事協定締結一周年(三・二一) 三六
重光大使再度入京(三・二〇) 三三
汪國民政府主席以下入京(三・二一) 三三
【人 事】

財政・經濟

一 般

共榮圏の綜合物價對策案 三六
【中央物價協働會議】
地方物價統制協働會議強化方策 三六
第七回全國會議開かる(三・二五) 三〇
聖慮に感激生産増強を宣誓(三・二五) 三一
敵性特許權第四次處分(三・二五) 三一
日本有價證券取引所法案提出(三・二〇) 三〇
米麥の無料國營検査決定(三・一八) 三三
蠶糸業對策決定(三・二六) 三三
貨物自動車運送統合要領(三・二〇) 三三
【統制會】

財政・金融

更生金庫損失審査委員任命(三・一九) 三六
十一月中全國手形交換高 三六

配 給

牛、豚最高販賣價格改訂 三六
工場鐵山日備勞務者賃金決定(三・一八) 三六
コールドタル配給統制實施 三六
東京小賣物價指數 三六

社會・文化

▲學術・文化
日本生活科學會大會(三・二二) 三三
村上博士を學士院會員に推薦 三三
日本文化大觀歷史編(上)完成 三三

文化新體制の整備成る 三三
活字使用統制 三三
大東亞佛教研究所開設 三三
▲教 育
全國青年學校長會議(三・二七) 三三
東京、富山の兩高校組織變更 三三
▲社會一般
高丘親王奉讀の夕 三三
電報事務簡捷化 三三
征戰完遂祈願祭全國の神社で執行 三三
▲檢察・裁判
八萬五千圓強奪犯人逮捕 三三
一月以降開起訴四千二百十五名 三三
黒部銅山事件判決 三三
【體 育】

東 亞

國民政府

【政治・軍事・外交】

浙贛線一部開通 三三
上海大使館事務所の機構人事發
表(三・二〇) 三三
全支公館長會議開催(三・二七) 三三
重光大使歸朝(三・一九) 三三
汪主席一行日本訪問(三・二〇) 三三

【財政・經濟】

南京周邊の鑛物資源調査 三三
清郷地區大豐作 三三
中支で米穀公價制を實施 三三
廣東省、一月より儲備券一本建 三三
▲香 港
總督部納入金は軍票一本建 三三
一―三月香港貿易協定 三三

【政治・文化】

華北政務委員會

第五次治強運動終了 三三
太行山脈中に一大佛蹟發見 三三
北京圖書館藏書復還 三三
華北學術文化審議會成立式(三・二八) 三三
【産業・經濟】
華北合作事業總會の業績 三三

蒙 疆

政府明年度豫算 三三
宣化、大同兩省新設 三三
日系首腦異動 三三

滿 洲 國

建國神廟御造營地決定 三三
內國開拓民第二期計畫の要綱 三三
第二回滿蒙貿易協定會議開催 三三
(三・二五) 三三

重慶政權

【政治・軍事・外交】

▲十中全會後の政局 三三
地方黨勢の強化 三三
清黨運動を企圖 三三
▲對米動向一束 三三
米國間に無線電話、寫真電送 三三
宋美齡の訪米目的 三三
米に對日空襲を泣訴 三三
ビルマ奪回を煽る 三三
米の華僑強制徴兵に反動 三三
雲南省主席に關麟徵 三三

【財政・經濟】

▲物價問題重大化 三三
大公報物價對策を非難 三三
國民黨物價統制に躍起 三三
物價統制強化方策實施 三三
奧地縱斷公路建設を計畫 三三
明年度豫算百八十億元 三三

南 方 諸 國

佛 印
▲日佛印經濟交渉開始 三三
日佛印經濟協定の第一回會談(三・二四) 三三
日佛印友好關係更に強化 三三
▲一 般
栗山事務總長折衝開始 三三
內山公使に安南最高勳章 三三

タ イ

守屋武官ビアン首相訪問 三三
タイ佛印親善關係深まる 三三

ビ ル マ

華僑重慶へ反省通電 三三
內務長官にタキン・ミヤ氏 三三
マライ・スマトラ 三三
昭南軍政監部八外局の現狀 三三

東 印 度

▲一 般
不動産管理業團公務開始 三三
東部ジャワ水害に萬全の措置 三三
パタビヤ州、縣も改稱 三三
舊蘭印官吏統計發表 三三

比 島

▲政 治
ジャワ軍政の成果 三三
ジャワ初の軍政會議(第一日)(三・二〇) 三三
▲一 般
ルソン島の棉花植付一萬四千町歩 三三
コブラ増産策成る 三三

濠 洲 ・ 新 西 蘭

▲一 般
新西蘭物價安定策發表 三三
濠洲共產黨を認む 三三

印度

- ▲一 般……………哭
- スチルウエル、印度へ……………
- ウエーヴエル、セイロンを視察……………
- ビルマ國境警戒を布告……………
- ▲危機を孕む印度……………
- 食糧問題の危機を警告……………
- ガンデー秘書の死去で暴動……………
- インド總督の権限縮少を要求……………
- 印度自由聯盟對英決議……………
- 反英騷擾激化……………
- ▲フイリツツ米特使着印……………
- 遣印特使ニエーデリー着〔三・三〕……………
- 會議派米に不滿……………
- ▲銀退蔵問題……………

歐 米

ド イ ツ

- 對佛方針を闡明〔三・二〕……………
- 三巨頭會談〔三・八・七〕……………
- 三國協定一周年に獨總統より御親電〔三・二〕……………
- 獨伊通商協定調印〔三・二〇〕……………
- 獨、瑞通商協定締結〔三・二九〕……………

イ タ リ ア

- 皇帝陛下より御親電〔三・二〇〕……………
- フアシスト黨執行委員會改組〔三・一九〕……………
- ナポリから兒童引上げ……………
- 伊、土兩國の通商交渉……………
- ▲【法 王 廳】……………
- スベイン大使法王と會談〔三・二七〕……………

フ ラ ン ス

- ベタン主席、總統に答ふ……………
- ラヴアル對獨協調を重ねて力説……………

政府の方針決定……………

ユダヤ人取締強化……………

ス イ ス

- 大統領改選〔三・二七〕……………
- 對英抗議〔三・三〇〕……………

ス ペ イ ン

- 政府、國際情勢を検討……………
- 獨、西通商協定調印〔三・二七〕……………
- ▲【ジブラルタル】……………
- 大破艦艇入港……………

ポ ル ト ガ ル

- 西葡會談〔三・二九〕……………

パ ル カ ン 諸 國

- ▲【ルーマニア】……………
- 石油輸送改善……………

北 歐 諸 國

- ▲【フィンランド】……………
- 大統領決意を披瀝……………
- 米公使歸國〔三・二〇〕……………
- ▲【スウェーデン】……………
- 英のデマを否定……………

ソ 聯 邦

- 最高會議改選延期詳報……………
- 兵器獻納運動……………

西 亞 諸 國

- 物資不足で危機増……………
- ▲【トルコ】……………
- 議會解散〔三・二〇〕……………
- ソ土友好條約を否定……………
- ▲【イラン】……………
- 首都に食糧暴動……………
- 國境防備強化……………

ア フ リ カ

- ▲【佛領アフリカ】……………
- 米軍事使節團ダカール到着〔三・二〇〕……………
- 北阿の治安悪化……………
- ▲【リベリア】……………
- 對佛斷交〔三・三〇〕……………
- ▲【エチオピア】……………
- 宣戰布告〔三・二四〕……………
- ▲【エチプト】……………
- イラン攝政カイロへ……………
- 佛艦隊引渡を拒否……………

聯 合 國

- ▲【政 治】……………
- マ島、ド・ゴールの治下に……………
- ▲【經 濟】……………
- 米英加三國の鋼鐵委員會……………
- 西半球で麻栽培……………
- 米英船舶界の反目……………

イ ギ リ ス

- ▲【政治・軍事】……………
- 議會又秘密會……………
- チャーチル陳辯に努む……………
- 生産相、對米依存の皮算用……………
- 労働力増強に婦人を轉用……………
- ▲一 般……………
- 外務省陳辯に努む……………
- 各自治領の戦争協力……………
- 北阿傀儡政權問題……………
- ▲【軍 事】……………
- 對潜水艦委員會設置……………
- ▲【財政・經濟】……………
- 英蘭銀行券發行限度擴張……………
- 國民所有の南阿債徵用……………
- 石炭不足對策……………
- 護送船團の組織……………

カ ナ ダ

- 全面的召集を實施……………
- 民需生産激減……………

ア メ リ カ

- ▲【政 治】……………
- 印度に代表を任命……………
- 物價調整局長官辭職〔三・二七〕……………
- チリー内相華府着〔三・二二〕……………
- フーヴァーの平和論……………
- 第三黨結成の機運……………
- ▲【軍 事】……………
- 頻りに建艦……………
- 新型機製作……………
- 陸軍の兵力増強を誇稱……………
- 汎米公路軍用化協定……………
- ▲【財政・經濟】……………
- ▲【財政・金融】……………
- 九十億弗新公債、六十六億弗應募……………
- 十一月中の戦費六十億弗……………
- ▲【工業生産】……………
- ▲【陸 舶】……………
- ▲【金 屬】……………
- ▲【ゴム・ガソリン】……………
- ▲【食糧品】……………
- ▲一 般……………
- ▲【勞 働】……………

中 南 米 諸 國

- ▲【メキシコ】……………
- ▲【コスタ・リカ】……………
- ▲【ホンジュラス】……………
- ▲【チリー】……………
- ▲【アルゼンチン】……………
- ▲【ボリヴェイア】……………
- ▲【ウルグワイ】……………
- ▲【コロンビア】……………
- ▲【内閣總辭職】……………



天皇陛下神宮御參拜

【三・二】 天皇陛下には去る十二日親しく伊勢の神宮に參拜あらせられたが、十三日午後五時告示を以て次の如く宮内省より發表された。

(宮内省告示第九號)

天皇陛下神宮御參拜の爲本月十一日御發誓京都府下並三重縣下へ行幸今十三日還幸あらせられたり

昭和十七年十二月十三日

【三・三】 畏くも 天皇陛下には十一日午前七時五十分宮城御出門同八時東京驛御發車、一路京都に向せられ午後四時十分京都驛御着、京都皇宮に着御、御安らげき御駐蹕第一夜を過ぎせられて、明くる十二日午前六時四十五分京都皇宮御出門、京都驛より宮廷列車に召させられ、沿道民草の參拜裡に、伊勢路を山田驛に向はせられ、同十時山田驛御着車、鹵簿にて外宮行在所に臨幸、御潔齋の御後、豐受大神宮御參拜、次いで内宮に向はせられ皇大神宮に恭々しく御參拜あらせられてここに戰勝御奉告、神恩奉謝の尊き御儀を御滯りなく御終了、午後二時五分山田驛御發車同五時五分京都驛御着車、京都皇宮に入らせられた、かくて御駐蹕第二夜を京都皇宮に過ぎせられた

天皇陛下には十三日午前八時五分皇宮御出門、同八時廿分宮廷列車にて京都驛御發車、午後四時卅分東京驛

御着車、天機愈々御麗しく二重橋から宮城に還幸あらせられた

▲神宮別社供進の儀【三・二】 畏くも 天皇陛下には神宮御親拜に際し荒祭宮多賀宮を始め神宮の十四別社に神饌幣物を供進あらせられたる旨御沙汰あらせられ、神宮では十三日、各別社に於いて夫々供進の儀を執行十四日も引續き嚴かに同御儀を執行する

【三・四】 畏くも 天皇陛下には十二日親しく聖駕を伊勢路に進めさせ給ひ神宮に御親拜曠古の征戰下赫々たる我が戦果を御奉告神恩に御報謝御躬を以て萬民を率ゐさせ給はん聖慮畏く、更に神明の御加護を冀はせ給ふたと拜承するが、宮中に在す皇后陛下、大宮御所に在す 皇太后陛下には 天皇陛下御親拜の御時刻遙かに神宮を御遙拜、時銀克復征戰完遂を御祈念あらせ給ふたと承ける又 皇太子殿下をはじめ奉り各皇子様方にも當日御意義深く御過ごし遊ばされた御由にて皇室の深き御召のほど畏き極みである

【三・五】 宮中神域に暮色漸く垂れこむる十五日午後四時過ぎから三條掌典長以下奉仕して賢所御神樂の御儀を執り行はせられ、同四時半頃より各皇族殿下御參列、各親任官等着席 天皇陛下には午後五時出御あらせられ賢所内陣の御拜座に着御、親しく御玉串を執らせ給ひ恭々しく御拜禮あらせられて入御、次いで皇后陛下の御代拜を内山女官奉仕し各皇族殿下御拜禮、參列諸員の拜禮

【三・六】 陸軍士官學校第五十六期卒業式は 大元帥陛下の親臨を仰ぎ奉つて十七日舉行された、この日陛下には午前八時五十分宮城御出門、同九時十五分原宿驛御發、同十四時十分原町田驛御着、同十一時相模原觀兵式場に着御、同十一時五分式場を御一巡、參列の歩、工、砲、機甲、輜重各生徒隊を順次御閱兵あらせられた晴れの式場に奉仕する初白馬「初雪」を靜々と進めさせ給ひ御英姿御風爽たるを仰ぎ奉るうち陛下には玉座に着御、嚴然と立たせ給へば勇壯なる分列行進は開始され、かくて卒業生晴れの觀兵式は終り 陛下には同十一時五十分分に觀兵式場發御、陸軍士官學校に行幸、午後零時五十分便殿出御、講演場に臨御あらせられ約二十分にわたり優等卒業生田淵十一候補生の「第一線指揮官の態度と軍隊の團結に就て」と題する講演を聴こし召され、同一時二十分證書授與式場の玉座に着御あらせられ、牛島校長より卒業生總より優等卒業書の士官候補生十六名に恩賜品を傳達、同一時五十分を終了した、かくて 陛下には同二時同校發御、同二時二十分原町田驛御發、同三時四十五分原宿驛御着車にて還幸あらせられた

【三・七】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

皇后、皇太后兩陛下御遙拜

【三・八】 畏くも 天皇陛下には大東亞戰爭下統後國民の眞摯敢闘のまを具さに觀察あらせられる思召をもつて、去る九月十四日には小倉侍從を朝鮮に、入江侍從を樺太にそれぞれ御差遣の御沙汰あらせられ、次いで十月十三日には徳川侍從を關東州に、また十一月十六日には戸田侍從を臺灣に、久松侍從を南洋にそれぞれ御差遣の御沙汰あらせられたのであつたが、これら外地各地において國民はいよいよ時局の重大性を認識して各自その職域に精勵しつつあるさまに深く御滿悅あらせられ、十八日東條首相が御召により伺候せらるにあたり、畏くも有難き御嘉尚の御言葉を賜り特に時局の前途はなほ多難にして今後いよいよ一致協力奮争目的完遂のため邁進すべき旨の優渥なる御言葉を賜つた、右につき東條首相は十八日午後六時左の如く謹話した

【三・九】 畏き邊りでは京都市右京區嵯峨の後宇多天皇神鎮まります蓮華峯寺陵御修理竣工したるに付、來る二十日左の如く勅使を參向せしめられ奉告祭を行はせられる旨十一日御沙汰あらせられた

【三・一〇】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・一一】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・一二】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・一三】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・一四】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

天皇陛下陸士行幸

【三・一五】 陸軍士官學校第五十六期卒業式は 大元帥陛下の親臨を仰ぎ奉つて十七日舉行された、この日陛下には午前八時五十分宮城御出門、同九時十五分原宿驛御發、同十四時十分原町田驛御着、同十一時相模原觀兵式場に着御、同十一時五分式場を御一巡、參列の歩、工、砲、機甲、輜重各生徒隊を順次御閱兵あらせられた晴れの式場に奉仕する初白馬「初雪」を靜々と進めさせ給ひ御英姿御風爽たるを仰ぎ奉るうち陛下には玉座に着御、嚴然と立たせ給へば勇壯なる分列行進は開始され、かくて卒業生晴れの觀兵式は終り 陛下には同十一時五十分分に觀兵式場發御、陸軍士官學校に行幸、午後零時五十分便殿出御、講演場に臨御あらせられ約二十分にわたり優等卒業生田淵十一候補生の「第一線指揮官の態度と軍隊の團結に就て」と題する講演を聴こし召され、同一時二十分證書授與式場の玉座に着御あらせられ、牛島校長より卒業生總より優等卒業書の士官候補生十六名に恩賜品を傳達、同一時五十分を終了した、かくて 陛下には同二時同校發御、同二時二十分原町田驛御發、同三時四十五分原宿驛御着車にて還幸あらせられた

【三・一六】 畏くも 天皇陛下には大東亞戰爭下統後國民の眞摯敢闘のまを具さに觀察あらせられる思召をもつて、去る九月十四日には小倉侍從を朝鮮に、入江侍從を樺太にそれぞれ御差遣の御沙汰あらせられ、次いで十月十三日には徳川侍從を關東州に、また十一月十六日には戸田侍從を臺灣に、久松侍從を南洋にそれぞれ御差遣の御沙汰あらせられたのであつたが、これら外地各地において國民はいよいよ時局の重大性を認識して各自その職域に精勵しつつあるさまに深く御滿悅あらせられ、十八日東條首相が御召により伺候せらるにあたり、畏くも有難き御嘉尚の御言葉を賜り特に時局の前途はなほ多難にして今後いよいよ一致協力奮争目的完遂のため邁進すべき旨の優渥なる御言葉を賜つた、右につき東條首相は十八日午後六時左の如く謹話した

【三・一七】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

【三・一八】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

【三・一九】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

【三・二〇】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

【三・二一】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

【三・二二】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

外地民草の精勵を御嘉尚

【三・二三】 畏くも 天皇陛下には大東亞戰爭下統後國民の眞摯敢闘のまを具さに觀察あらせられる思召をもつて、去る九月十四日には小倉侍從を朝鮮に、入江侍從を樺太にそれぞれ御差遣の御沙汰あらせられ、次いで十月十三日には徳川侍從を關東州に、また十一月十六日には戸田侍從を臺灣に、久松侍從を南洋にそれぞれ御差遣の御沙汰あらせられたのであつたが、これら外地各地において國民はいよいよ時局の重大性を認識して各自その職域に精勵しつつあるさまに深く御滿悅あらせられ、十八日東條首相が御召により伺候せらるにあたり、畏くも有難き御嘉尚の御言葉を賜り特に時局の前途はなほ多難にして今後いよいよ一致協力奮争目的完遂のため邁進すべき旨の優渥なる御言葉を賜つた、右につき東條首相は十八日午後六時左の如く謹話した

【三・二四】 畏き邊りでは京都市右京區嵯峨の後宇多天皇神鎮まります蓮華峯寺陵御修理竣工したるに付、來る二十日左の如く勅使を參向せしめられ奉告祭を行はせられる旨十一日御沙汰あらせられた

【三・二五】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・二六】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・二七】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・二八】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・二九】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・三〇】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

皇太后陛下失明勇士に御仁慈

【三・三一】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

【三・三二】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

【三・三三】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

【三・三四】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

【三・三五】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

【三・三六】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

【三・三七】 皇太后陛下には去る昭和十五年十二月兩眼失明の傷損勇士に對し失明者用懐中時計下賜の御沙汰あらせられ、すでに四回にわたり傳達の手續きをとつたが、今回さらに其の後の該當者三十名に對し傳達することとなり軍事保健院藤原副總裁は十七日午前十一時大宮御所に伺候して御下賜の時計を拜受した

後宇多天皇山陵に勅使參向

【三・三八】 畏き邊りでは京都市右京區嵯峨の後宇多天皇神鎮まります蓮華峯寺陵御修理竣工したるに付、來る二十日左の如く勅使を參向せしめられ奉告祭を行はせられる旨十一日御沙汰あらせられた

【三・三九】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・四〇】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・四一】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・四二】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・四三】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

【三・四四】 李王殿下には去る十二月十一日臺灣に御成り遊ばされ、爾後約一週間に亘つて島内各地を御巡察、十九日空路御歸還遊ばされた

世界戦況

ビルマ並びに南太平洋方面から
する敵の反攻企圖は隨時隨處にお
けるわが陸海の精銳によつて挫折
せしめられつつある。

在印英軍のビルマ奪回企圖はチ
ッタゴン、フエンニイに對する五
六、十五、十六日に互るわが陸
の攻撃(十五、十八日發表)によ
つて大損害を蒙り、ソロモンを中
心に南太平洋に反攻態勢をととの
へんとする米軍に對しては、わが
海軍のニューギニア島ブナ附近に
於ける戦果(十五日發表)並びに

モレスビー連爆(十四、十七日)となつて大なる成果をあげつつある。
しかし兩方面とも敵の戦力増強は戦局の今後に對して等閑視することは
許されぬであらう。

本旬發表感狀部隊左の如し。

陸軍 ジャワ島略作戦における坂口兵團、同配屬部隊及び東海林部
隊、同配屬部隊、同區處部隊(十一日)。テモール島略作戦に於ける神
戸歩兵中隊、同配屬部隊(十六日)。比島略作戦における佐藤部隊、同
配屬部隊及び星飛行部隊、同配屬部隊、同協力部隊及び佐藤部隊中隊長
江浪陸軍中尉(十九日)。

海軍 マーシャル群島米軍反攻戦における中井航空部隊。

支那大陸奥地にあつて大東亞戦一周年を期し蠢動を試みんとした支
米空軍の企圖を察知したわが陸軍は、六日より十五日にかけ福建、湖南
廣東、廣西の敵前進基地を攻撃、その企圖を粉砕した。在支米空軍の動
きたまた敵の大陸第二戦線結成の宣傳に關聯して大いに注目を要する。

歐洲にあつては東部戦線における赤軍冬季反攻作戦はス市西南方、ト
ドン河中流地區、ヴェリキエ・ルキ地區と各所に於て獨軍の堅固な多營
陣の猛攻に遭ひ昨年の如き戦果を赤軍のためにもたらしてはゐないもの
のやうである。これは同時に北阿戦線の米英軍攻撃停頓にも同じくあら
はれてゐる。(高)

大東亞戦争

印緬方面

陸軍チッタゴン、フエンニイ連爆

【三二五】大本營發表表(正午) 緬甸
方面陸軍航空部隊は十二月五日及十
日英領印度チッタゴン港を攻撃した
英空軍船舶及軍事施設に大なる損害
を與へたり、本日迄に判明せる戦果
の中主なるもの左の如し

- 一、敵に與へたる損害 ①飛行機
撃墜十機(内不確實なるもの二機)
- ②船舶 撃沈七隻、大中破十隻、炎
上四乃至五隻 ③陸上施設 停車場
及埠頭、倉庫には直撃彈八、列車炎
上
- 二、我方の損害 未だ歸還せざる飛
行機二機

▲敵側情報 リスボン【三二五】ニ
ューデリー來電によれば日本航空部
隊は十日夜戦爆連合の編隊を以てチ
ッタゴンに爆撃、軍事施設に多大の
損害を與へたといはれる

▲空襲戦果詳報【三二五】ビルマに
對する反攻奪回を企圖する在印英軍
は印緬國境に兵力を増強するため小
型巡洋艦一隻、砲艦五隻を含む約四
十隻の船團を揚んで増強兵力を送り
チッタゴン港に揚陸を開始した、こ
の好機を早くも看破せるわが陸軍航
空部隊は五日、十日の二回に亘り同
港を奇襲敵の熾烈な砲火と挑み來れ
るハリケーンP四〇等の戦闘機を打
ち拂ひつゝ堂々大爆撃を敢行船舶二

十一隻以上を撃沈破炎上、飛行機撃
墜十機のほか停車場等の陸上軍事施
設に大損害を與へたり、撃墜確實なる
七機の内譯はハリケーン、五、P四
〇、一、P三六、不確實三機の内譯
はハリケーン、二、P三六、一であ
るが今回の大爆撃の戦果は今後の調
査により擴大するものと見られる、
敵側もわがチッタゴン空襲を認めて
ゐる、既に對日反攻を開始せる米英
は南太平洋ソロモン海戦において決
戦を挑み來り海空陸の兵力をあげて
血みどろの反撃を企てる一方、西の
正面ではビルマの奪回を企てる英蔣
の三者は頻りに軍事合作に狂奔、航
空ゲリラ戦を續けるかたはら東部國
境への兵力増強を急いでゐたもので
ある

【三二六】大本營發表表 (十六日) 緬
甸方面陸軍航空部隊は十二月十五、
十六日チッタゴン及びフエンニイ兩
飛行場を攻撃し、敵機二十九機を撃
墜破せる外、兩飛行場及びチッタゴ
ン埠頭の主要施設を爆撃し之に甚大
なる損害を與へたり

一、敵機に與へたる損害 撃墜十九
機(内不確實なるもの四機)、炎上
四機、撃破六機

二、我方の損害 自爆せるもの一機
未だ歸還せざるもの四機

▲惡天候を冒し敵基地連續爆撃【三
二七】ビルマ方面に活躍するわが陸
軍航空部隊は十五日のチッタゴンの
攻撃は午前及び午後の二回に亘つて
敢行され、飛行場主要施設の殆ど全

部を爆撃火網によつて捕捉、特別飛
行場中央滑走路十字部に多數の命中
彈を投下、各所に火災を起さしめた
が更に翌十六日午後印緬國境アラカ
ン山脈並にチッタゴン附近の惡天候
を衝いて出撃、長驅フエンニイ飛行
場を對し初空襲を敢行した、當時チ
ッタゴンの高さに低迷、加ふるに二十
數個の阻害氣球が上空を遮蔽してゐ
たが、我が部隊はこの困難な狀況を
克服して舞ひ上る敵機と低空に熾烈
な空中戦を展開、低空爆撃を敢行し
て大本營發表の如き戦果を挙げたも
のである、さきのチッタゴン港爆撃
に引續く今次の同飛行場及び埠頭並
にフエンニイ飛行場爆撃は印度東部
に兵力を増強、緬甸に反攻を行はん
とする敵の企圖を未然に粉砕したも
のとして重視される

敵機ラングーン盲爆

ラングーン【三二〇】敵爆撃機六機
編隊は廿日午後折柄日曜で人出の多
いラングーンを空襲したが軍事施設
には全然被害はなかつた、敵機は市
内の僧院をはじめその附近民家及び
俘虜收容所に盲爆を加へてこれを破
壊炎上せしめた上同僧院の僧侶、一
般市民、俘虜收容所衛兵等に多數の
死傷者を生ぜしめた、盲爆された個
所は何れも軍事施設より遠距離にあ
り敵が今や無事の市民や僧侶を爆死
せしめることに幸ひの民心を攪亂せん
とする恐怖戦術に出てゐることは明
かであるが、最近度重なる暴民敵空
軍の盲爆に却つて敵懐心に燃えてゐ
るラングーン市民は天人とも許さ
ざるかゝる惡慮無道行爲に全市を舉
げて憤慨してゐる、盲爆された僧院

はタエト・キャン・ダイクで僧侶して敵哨戒艇二隻を洋上に捕捉、
數四百名を擁する大僧院であり、附屬建築物は殆ど破壊炎上され、同僧
院長ウ・ダ・パー以上一名爆片及び敵名が大負傷し百名以上が爆片及び敵
機の地上掃射で重傷を受けた、尙一般市民の死傷者數は目下調査中であ
るが、これも二百名以上に達する見込みである。

南太平洋方面

海警ニューギニア爆撃

【三・五】 大本營發表(午後三時十分) ニューギニア島方面帝國海軍航空部隊は、十一月二十四日以來十一月八日まで同島東部ブナ附近に於て、敵機四十四機を撃破し敵哨海艇二隻及び輸送船二隻を撃沈せりこの間我方の自爆又は未歸還機九機
▲新鋭戦闘機をも一瞬に撃破【三・五】 ニューギニア島東部の空を歴して、わが海軍の果敢なる攻撃は續行されてゐる、熱帯に不滅の淨雪を頂くスタンレー山脈の峻嶜を衝き、或は密林上圍々たる積亂雲を冒しての悪条件下僅かに十五日間、敵機四十四機撃破、敵哨戒艇二隻、輸送船二隻の撃沈はまことにたゆまぬ戦果である、攻撃の火蓋は十一月廿四日をもつてきられた、基地を續々發進せる海軍の編隊はこの日ニューギニア東部の要港ブナ附近において、敵小型機二機を撃墜し續いて同廿六日には、敵大型機二機、戦闘機一機、合計三機を一瞬にして撃墜、更に海上においては航行中の敵輸送船一隻を發見、これに猛烈なる爆撃を加へて沈没せしめた、廿八日には、また

モレスビー連爆

リスボン【三・二】 サンプルシスコ來電【三・二】 米國の大巡洋艦サンフランシスコ(九、九五〇噸)は過般のソロモン大海戦で日本海軍の猛攻撃を受けて重大損傷を蒙つたが、十一日敗残の身を曝しつつ辛じて自力でサンフランシスコ港に入港、同港で徹底的に修理改装を受けることとなつた
▲高級將校悉く戦死 ブエノスアイレス【三・三】 サンプルシスコ來電【三・三】 米甲巡洋艦サンフランシスコ(九九五〇噸)はサボ島沖海戦で大破、十一日桑港に入つたが同艦は右海戦で日本海軍部隊の熾烈な砲火を浴び艦橋を吹き飛ばされ高級將校の大半は戦死したためマツカンドレス中佐が代つて指揮を執つたと傳へられる

サンフランシスコ號大破

アチーバ號撃沈

ブエノスアイレス【三・二】 ワシントン來電【三・二】 米海軍省は補助運送船アチーバ號が西南太平洋水域で日本海軍の攻撃を受け撃沈された旨十一日發表した

クオリツチ號觸雷沈没

リスボン【三・二】 ワシントン來電【三・二】 米海軍省は米國商船ブレジデント・クオリツチ號(二一、九三六噸)が最近兵員四千名を輸送して南太平洋を航行中機雷に觸れて沈没した旨十二日發表した、同船はブレジデント・ラインの新造豪華船で戦争開始前後に徵用されたものである



北太平洋方面

アラスカ防衛司令戦死か

リスボン【三・四】 ワシントン來電によればアラスカ防衛司令ウイルバー・グラント・ミラー少將は戦闘機隊を率ゐて鳴神島の日本軍陣地を攻撃して以來行方不明となつた旨發表されたと傳へられる

坂口、東海林兩部隊に感状

【三・二】 ジャワにおける敵の無條件降伏に重大な素因を作つた殊勲の坂口兵團および東海林部隊に對してはさきに今村蘭印方面最高指揮官よりそれぞれ感状を授與されたが、畏れず上開に達した旨十一日陸軍省から發表された

感状

東海林部隊 同配屬部隊 同區處部隊

今村 均

右は昭和十七年三月一日エラタン附近に敵前上陸し數次に亘り空陸よりする敵の執拗なる攻撃を破擯し長驅して同日正午既にカリヂヤナ飛行場一帯を占領し以て我が制空權の獲得を可能ならしむると共にバタバヤ、バンドン間の連絡を遮斷し次で五日午後遠藤飛行部隊と協同の下にバンドン要塞の一角を突破し以て敵の全面的降伏に重大なる素因を與へたり右の行動は作戦略最も機宜に適せるものにして其の武功は拔群なり茲に感状を附與して全軍に布告す 昭和十七年三月二十一日 蘭印方面陸軍最高指揮官 今村 均

坂口兵團 同配屬部隊

右は軍の先驅となり懸軍長驅比島及蘭領ボルネオに轉戦し敵前上陸を敢行すること五回奮戦常に機を失せず頑敵を破り要衝を抜き東印度諸島全般の攻略作戦を有利ならしめたり瓜哇に對する軍主力の作戦に當りては兵團はクラガン附近に上陸したる後最も神速に中部瓜哇の各地を突破し上陸後週日に於て挺身チラチャツブを占領し瓜哇に於ける敵全軍の退路を遮斷して之に致命的衝動を與へ敵軍の無條件降伏に重大なる素因を作りました 右の武功は眞に拔群なり茲に感状を附與して之を全軍に布告す 昭和十七年三月二十一日 蘭印方面陸軍最高指揮官 今村 均

神戸中隊に感状

【三・六】 本年二月チモール島攻略に當り、寡兵よく敵の戦車群を撃碎し、部隊主力をして敵を捕捉せしめ偉功を樹てた神戸中隊、同配屬部隊

に對しては既に五月十日蘭印方面陸軍最高指揮官今村均中將より感狀が授與されたが、今回長くも上聞に達し、この旨十六日陸軍省から發表された

△陸軍省發表(十二月十六日十六時) 舊蘭領「チモール」島攻略作戰に參加し、武功拔群なりし神戸歩兵中隊に對し、義に同方面陸軍最高指揮官より感狀を授與せられしが、今般長くも上聞に達せられたり

△感 狀 神戸歩兵中隊 同 配屬部隊

右は伊藤部隊主力方面右攻撃隊として、昭和十七年二月廿日、「チモール」島西南端海岸に敵前上陸し、隨所に敵を破摧しつづつ、山嶽密林地帯を強行突破し、廿一日「デサウ」附近に進出して、「クローバン」附近の敵の退路を遮斷し、次で翌廿二日機械化部隊を伴ふ千餘の敵の攻撃を受くるや、先づ其戰車群の執拗なる反復攻撃を撃碎し、逐次に包圍の態勢を以て、戰車を先頭に我陣地内に殺到し來る敵に對し、全線突撃を反覆して、寡兵克く其陣地を固守し、遂に翌廿三日部隊主力をして敵を捕捉するに至らしめたり

右の行動は旺盛なる攻撃精神と必勝の信念を堅持し、隊長を核心とせる鞏固なる團結力を遺憾なく發揮せるものにして、其武功は拔群なり

茲に感狀を附與して全軍に布告す 昭和十七年五月十日 蘭印方面陸軍最高指揮官 今村 均

中井部隊に感狀 【一二一】海軍省公表(午後三時)

中井海軍大尉の指揮せる〇〇海軍航空隊「〇〇」派遣隊に對し聯合艦隊司令長官より左の通り感狀を授與せられ右の旨上聞に達せられたり

感 狀 中井海軍大尉の指揮せる 〇〇海軍航空隊 〇〇派遣隊

昭和十七年二月一日敵米國機動部隊の「マーシャル」群島方面に出現するや、寡兵獨力を以て犠牲を顧みず勇猛果敢、反撃敵を攻撃して、之に損害を與へ、遂に撃退したるは、其の忠烈顯著なりと認む

仍て茲に感狀を授與す 昭和十七年十月十六日 聯合艦隊司令長官 山本 五十六

【一二二】島攻略部隊に感狀

敵米國東亞侵略の據點比島における堅城バタアンおよびコレヒドールを血と鐵をもつて覆滅し去り、高らかに東洋の凱歌を挙げた殊勳の部隊 佐藤部隊、同配屬部隊、星飛行部隊、同配屬部隊、同協力部隊に對しそれぞれ感狀が授與され、更に、佐藤部隊中隊長江浪康彦中尉に對し個人感狀が授與され、畏くも天聽に達せられた旨十九日陸軍省から發表された、光榮に輝く佐藤部隊はバタアン攻略に偉勳を樹て

後五月五日夜半鐵の島コレヒドール要塞に決死の敵前上陸を敢行して戦果を擴張、遂に首將をして降伏せしめ、星飛行部隊はバタアン、コレヒドールの上空に縱横の活躍をなし敵潰滅の因を拓いた、また個人感狀の榮譽を擔ふ江浪康彦中尉はコレヒドール要塞に敵前上陸し石ころを投げ合ふほどの惨烈な戦闘を沈着に指

揮、遂に頑敵を撃退する偉勳を樹て敵の二彈を受けて壯烈極まる戦死を遂げた勇猛中隊長である

陸軍省發表(十二月十九日十六時) 比島攻略作戰に武功拔群なりし佐藤部隊同配屬部隊及び星飛行部隊、同配屬部隊、同協力部隊並に佐藤部隊中隊長陸軍中尉江浪康彦に對し義に同方面陸軍最高指揮官より夫々感狀を授與せられしが今般長くも上聞に達せられたり

感 狀 佐藤部隊 同配屬部隊

右はバタアン攻略戦に従ひ偉勳を樹て次で隱密周到なる準備を整へ五月五日夜半コレヒドール要塞に對し熾烈なる敵火を冒して上陸し隨所に頑強なる敵の抵抗を撃碎して戦果を擴張せり敵は六日未明以降果敢に逆襲し來り、戦況慘烈を極めたるも部隊は銳意攻撃を續行し正午頃遂に敵首將をして戦闘を斷念せしむるに至れり

以上の行動は旺盛なる攻撃精神を發揮し寡兵克く堅塁を粉砕したるものにして其の武功眞に拔群なり 仍て茲に感狀を授與す 昭和十七年六月二十八日 比島方面最高指揮官 本間 雅晴

撃精神を堅持して其の任務に邁進し終始敵を壓倒せり、更に新に重爆諸隊之に加はり三月下旬コレヒドール要塞を含む敵の全縱深に對する攻撃を開始するや適時重要な目標を捕捉して之を爆碎し次で四月上旬三上飛行部隊隊長指揮の下に攻撃を續行しバタアン半島の敵を一舉に潰滅するの途を拓けり其の武功眞に拔群なり 仍て茲に感狀を授與す 昭和十七年六月廿八日 比島方面陸軍最高指揮官 本間 雅晴

右はバタアン攻略戦に参加し率先陣頭に立ち果敢なる戦闘を遂行せりコレヒドール要塞攻略に方りては五月五日夜半彈雨を冒して騎兵岬附近に敵前上陸を敢行し忽ちにして「きく」陣地を攻略し六日二時歩兵岬東方地區に進出し爾後の攻撃を準備せり優勢なる敵は逆襲に轉じ奮戦格闘拂曉以後に及ぶ此の間部下の死傷續出し彈藥亦一時缺乏を告げ、遂に石塊を放擲して對戦する等戦闘眞に慘烈を極めたるも中尉は終始沈着克く部下を部署し旺盛なる攻撃精神と積極果敢なる行動とを以て九時之を撃退せり此の時中尉は一彈を頭部に受けたるも屈せず部下を激勵して攻撃續行中更に一彈を受け壯烈なる戦死を遂ぐ

以上行動は一死以て任務を完遂せんとする崇高なる犠牲的精神の發露にして克く敵軍の抵抗を破碎し遂に其の全面的降伏の端緒を開けり其の武功拔群にして眞に皇軍指揮官の龜鑑なり

△武漢方面にあつては漢口西方約七十キロ天門地區に蠢動する蔣系第百

仍て茲に感狀を授與す 昭和十七年六月二十八日 比島方面陸軍最高指揮官 本間 雅晴

吉田司令長官南京方面巡視 上海【一二三】支那方面艦隊報道部發表(十三日午後八時) 吉田支那方面艦隊司令長官は去る九日以來南京方面に於ける麾下各部隊の巡視を行ひ本日歸滬せけり

支那派遣軍週間戰況 南京【一二二】支那派遣軍週間戰況(十二月十一日發表) △魯東作戰は先月末より第三期作戰に入り、戰場も山東縱隊第五支隊主力その他の地方遊撃隊を壓迫して山東半島突端牟平、夏村の線以東に移り、愈よ最後の止めをさすべき態勢となつた、なほ去る八日迄に判明した戦果は敵遺棄屍體一、一八三、俘虜八、六七五、鹵獲品小銃四二三ほか多數に達し

△洪澤湖方面の新四軍はわが軍の徹底的急進にあひ、支離分裂となり軍長代理陳毅以下の幹部は轉々として逃避にこれ努め、最近蔣系軍魯蘇戰區副司令官韓德勳に國共合作による共同戦線の結成を申出たとの情報がある

支那派遣軍週間戰況 南京【一二二】支那派遣軍週間戰況(十二月十一日發表) △魯東作戰は先月末より第三期作戰に入り、戰場も山東縱隊第五支隊主力その他の地方遊撃隊を壓迫して山東半島突端牟平、夏村の線以東に移り、愈よ最後の止めをさすべき態勢となつた、なほ去る八日迄に判明した戦果は敵遺棄屍體一、一八三、俘虜八、六七五、鹵獲品小銃四二三ほか多數に達し

△洪澤湖方面の新四軍はわが軍の徹底的急進にあひ、支離分裂となり軍長代理陳毅以下の幹部は轉々として逃避にこれ努め、最近蔣系軍魯蘇戰區副司令官韓德勳に國共合作による共同戦線の結成を申出たとの情報がある

△武漢方面にあつては漢口西方約七十キロ天門地區に蠢動する蔣系第百

仍て茲に感狀を授與す 昭和十七年六月二十八日 比島方面陸軍最高指揮官 本間 雅晴

吉田司令長官南京方面巡視 上海【一二三】支那方面艦隊報道部發表(十三日午後八時) 吉田支那方面艦隊司令長官は去る九日以來南京方面に於ける麾下各部隊の巡視を行ひ本日歸滬せけり

支那派遣軍週間戰況 南京【一二二】支那派遣軍週間戰況(十二月十一日發表) △魯東作戰は先月末より第三期作戰に入り、戰場も山東縱隊第五支隊主力その他の地方遊撃隊を壓迫して山東半島突端牟平、夏村の線以東に移り、愈よ最後の止めをさすべき態勢となつた、なほ去る八日迄に判明した戦果は敵遺棄屍體一、一八三、俘虜八、六七五、鹵獲品小銃四二三ほか多數に達し

支那方面

綜合戰況

二十八師及び新四軍に對しわが部隊はその東方及び北東方應城方面より掃蕩を開始し所在の敵を撃破しつゝ戰果を擴大中である

△大東亞戰爭一周年記念日前後は敵遊撃隊の策動を豫期されたが、わが至嚴なる警備は殆んどその企圖を封殺して奮動の餘地を與へず、一方中國民衆は大東亞戰爭に關する認識を益々強化し、日本と密接に提携して戰爭の完遂に邁進せんとする決意愈々強固なるものがある

南京【三〇】支那派遣軍週間概況(十二月十八日發表)

△魯東地區に於けるわが銳鋒の前に殲滅の危機に瀕した共產軍は反擊や後方破壞戰、地雷戰闘によつて必死の抵抗を試みてゐるが、わが各部隊は降参を冒し、險難を攀ぢ敵主力を鋸齒山地區に壓迫猛攻中である

△本月六日以來わが陸軍航空部隊は東部支那福建、湖南、廣東、廣西各省方面の敵空軍基地を連爆し、機先を制して米空軍の不退企圖を未然に破砕し去り、今後と雖もその奮動を許さざる態勢をもつて嚴重監視中である

北支戰況

蔣系軍一年の潰退振り

北京【三〇】皇軍の間斷なき肅清

作戰により華北の殘存重慶軍は潰滅の一途を辿つてゐるが北支派遣軍一ケ年の作戰概況は左の通りである

作戦により華北の殘存重慶軍は潰滅の粉砕、遺棄屍體一萬餘、捕虜五千餘の大戦果を挙げ、一方河南省南部地區渦河流域でも李仙州麾下第八十軍を捕捉して大打撃を與へ敵の奮動を全く封殺した、また河北における作戦に呼應、蒙疆地區でもオールドス周邊に第八戰區朱良麾下の傳作機軍を數次に互つて掃蕩、敵を不毛地區に封殺した、これらの作戦により蔣介石が強精を豪語した河北駐防軍の中、蔣鼎文麾下第一戰區は全く潰滅に預し、幸じて隴海線河南南部地區に餘喘を保つてゐるが、天災と内部相剋に昔日の面影もなく、傍系山東江蘇戰區軍、河北、察哈爾戰區軍も地盤潰滅により山岳深く彷徨し、嚴寒と飢餓のため自滅線上にあり、華北七十萬と稱した蔣系軍もその兵力今や三分の一にも満たぬ哀れな敗退ぶりを示してゐる

河北中部剿共戰果

石門【三〇】わが精銳〇〇部隊は十二月五日拂曉を期して突如河北省中部の山野に剿共の火蓋を切り十一月行動回數六四六△交戦回數二四四

日までに左の如き戰果を挙げた

敵遺棄屍體一五六△捕虜四四二△鹵獲品、迫撃砲一六、同彈一二五、自

動小銃一三、同彈七四、小銃一七五

同彈三二七六、其他多數

第三次施政躍進運動成功

張家口【三〇】去る九月一日より蒙疆地區に展開した第三次施政躍進運動は多大の成果を収め十一月終了した、この間皇軍は共匪の徹底殲滅を期し活躍したが、たゞ十一月二十一日傳作義軍系匪首肅順義を大

同東南約三十二キロの小王峪に討取りその部下五百を文字通り殲滅、施政躍進運動に輝しい凱歌を奏した、右のほか共匪に對する討伐も同時行はれ、境内治安は面目を一新しつゝあるが、〇〇部隊の十一月中に収めた綜合戰果次の通りである、△交戦回數一七六△交戦敵兵力五、二四五△敵遺棄屍體四四一△俘虜一三九△歸順五一三(四八件)△鹵獲品 小銃九〇、拳銃一二、輕機二、洋砲一

九、軍舟二、その他彈藥、被服等多數

山東東部陸海協力山東共匪掃蕩

支那方面艦隊報道部發表

支那方面艦隊報道部は十二月二十八日以來行動を起し、山東半島頭部一帯に蟠居せる共產軍を掃蕩し、十二月七日をもつて作戰一段落を告げたり

山東省治強二ヶ月の戰果

濟南【三〇】第五次治安強化運動期間中山東省賀川警備隊は十月八日以來十二月八日までの二ヶ月間に左の綜合戰果をあげた

△敵遺棄屍體八〇二 △捕虜一七〇 △鹵獲品小銃一、三五二、同彈藥二、六五三、輕機三、馬匹六

△敵遺棄屍體五六三△捕虜二、三〇三△鹵獲品小銃五〇四△山砲一△重迫撃砲一△輕迫撃砲一△輕機一△其他武器彈藥多數

△敵遺棄屍體五六三△捕虜二、三〇三△鹵獲品小銃五〇四△山砲一△重迫撃砲一△輕迫撃砲一△輕機一△其他武器彈藥多數

△敵遺棄屍體五六三△捕虜二、三〇三△鹵獲品小銃五〇四△山砲一△重迫撃砲一△輕迫撃砲一△輕機一△其他武器彈藥多數

△敵遺棄屍體五六三△捕虜二、三〇三△鹵獲品小銃五〇四△山砲一△重迫撃砲一△輕迫撃砲一△輕機一△其他武器彈藥多數

△敵遺棄屍體五六三△捕虜二、三〇三△鹵獲品小銃五〇四△山砲一△重迫撃砲一△輕迫撃砲一△輕機一△其他武器彈藥多數

△敵遺棄屍體五六三△捕虜二、三〇三△鹵獲品小銃五〇四△山砲一△重迫撃砲一△輕迫撃砲一△輕機一△其他武器彈藥多數

じた我軍は重疊たる山嶽地帯に新行動を開始し折柄の月明を利し筒井、久保川、坂本、奥中、五十君、南の各部隊は會山(福山西方二十キロ)周邊において敵約一千五百を包圍、十四日未明一齊に猛攻の火蓋を切れこれに呼應して引地、北那側治安軍香山、黃幡の諸部隊は支那側治安軍と協力、鋸齒山北方地區を遁走せんとする敵一千の捕捉殲滅戰を展開した

山東省東部前線【三〇】今次作戰開始以來、二十日朝までに判明せる綜合戰果左の通り

△敵遺棄屍體一七四六△捕虜九、九八七△鹵獲品、迫撃砲一六一、輕機八、山砲一、小銃一、〇二七、その他各種武器彈藥多數

△東庄、劉家庄を占領 山東々部前線【三〇】皇軍各部隊は十七日文山(遼東南方四十八キロ)周邊地區に一大包圍網を完成、山東縱隊第五旅第一團主力約三十の殲滅戰を展開、同日夕刻早くも、その本據東庄(文山西南六七キロ)に殺到、これを占領、引續き附近の別掃蕩を續けてゐる一方敵が南海區遊撃隊と稱する(司令容立川)約二千を撃滅すべく十七日未明古現(即墨西北四十

軒)西南方一帯に突如新行動を開始した、大島、羽生、田副、山本、鈴木の各部隊は治安軍と協力、敵牙城劉家庄(即墨西北三十二キロ)を猛攻、同日夕刻迄これを占領した、

兩戰闘の戦果左の如し

△敵遺棄屍體五六三△捕虜二、三〇三△鹵獲品小銃五〇四△山砲一△重迫撃砲一△輕迫撃砲一△輕機一△其他武器彈藥多數

△敵遺棄屍體五六三△捕虜二、三〇三△鹵獲品小銃五〇四△山砲一△重迫撃砲一△輕迫撃砲一△輕機一△其他武器彈藥多數

△敵遺棄屍體五六三△捕虜二、三〇三△鹵獲品小銃五〇四△山砲一△重迫撃砲一△輕迫撃砲一△輕機一△其他武器彈藥多數

隊は二十一日更に反轉大迂回を取行し、南海遊撃隊を撃滅して北上した諸部隊並びに治安軍と密接なる連繫を保ちつゝ山東半島の西部に分散逃避してゐた山東縦隊第五旅主力及び(平度東方二十七キロ)地區に捕捉、猛攻撃の火蓋を切つた

山東東部の綜合戦果

青島【三・七】山東々部地區に作戰中の我が精銳諸部隊の十月廿六日より十一月廿五日に至る一ヶ月間の綜合戦果左の如し

△交戦回数七〇、△抗戦敵兵力七、六九〇、△敵遺棄死體五五〇、△捕虜一八〇、△敵施設覆滅五(兵器廠一、糧秣庫二、手榴彈製造廠一、兵舎一) △鹵獲品迫撃砲三、同彈藥七〇〇、輕機八、小銃四五六、同彈藥四、六九六、拳銃四〇、同彈藥一七三手榴彈四、二八七

山東、安徽、河南十一月綜合作戦果

濟南【三・三】山東省及び安徽、河南兩省北部一帯に活躍するわが〇〇部隊の十一月中の綜合戦果は次の通りである、なほ本戦果中には山東省南部山岳地區剿共作戰、並に第三次山東省東部作戰の戦果は含んでゐない

△交戦回数五〇八(うち共產系二二九)、△交戦敵兵力七八、九〇六(共產系二四、九九七)、△覆滅せる敵側施設兵舎二、兵器廠一、手榴彈工廠二、糧秣廠三、△敵遺棄死體二、三九〇(共產系一、三〇九) 俘虜九〇七(共產系四八二) △小銃一、二七三、同彈藥一六、六〇一、拳銃一九

中支戦況

揚子江下流の綜合戦果

上海【三・五】第三戦區の敵は曩の浙贛作戰に大打撃を受けて以來、未だに部隊の補充整備に汲々たる有様

回避せんとし、これがため揚子江下流一局は敵の動向も極めて消極的で重慶側の所謂冬季總反攻も單なる宣傳に終りつゝある、これに反し我が第一線部隊は連日積極的に肅清討伐

戰を續行、十一月中におけるわが主要討伐戦は江蘇省鹽城南、阜寧東北方、浙江省義烏西方、洪澤湖方面徐州方面並びに丹陽南方等隨所に敵を撃滅し、その綜合戦果も左の如き赫々たるものがある

洪澤湖掃蕩戦果

洪澤湖前線【三・三】洪澤前線の我が作戰部隊は積雪を融つて果敢な衆敵掃蕩戰を續行してゐるが、十日拂

曉惡天候を衝いて我が藤原部隊は敗殘新四軍第三軍の殘敵第二十六第二十七集團の騎馬部隊が密集潜伏せる洪澤湖北岸金鎖鎮濰陽西方廿キロ)南方八キロの無名部落を急襲△遺棄死體四百六十二△捕虜七十三△輕機體の殲滅戰を展開し多大の戦果を収

六同彈藥四五一、輕機三、チエツコ機銃五、自動小銃五、迫撃砲三、輕迫撃砲二、手榴彈二六一、馬匹四四其他各種彈藥等多數

三の戦果を挙げた 洪澤方面における〇〇部隊の綜合戦果は次の如くである △敵遺棄死體一、〇五八△捕虜一六六△鹵獲品、迫撃砲二、重輕機三、小銃八四三その他多數△覆滅せる敵軍事施設五、訓練所二、兵器廠三、被服廠二

敵は虚構宣傳に躍起

漢口【三・四】中支軍發表表(十二月十四日午後二時)十一月中における武漢周邊の肅清狀況左の通り

△軍は依然斷乎たる態勢を保持して周邊敵軍の蠢動を制したるのみならず各方面における作戰により益々委縮せしめたり △初旬沙市方面のわが部隊は所在の敵第六戦區第一縱隊主力に對し強力なる鐵鎚を加へ(同方面の要衝資福寺(沙市東南廿里)及びその一帯を奪取し、爾後これを確保するのとともに

同地周邊の徹底的掃蕩を斷行せり、豫ねてより同方面よりする我が進攻を危懼したりし敵第六戦區はその進攻の周到にして急なるに益々狼狽し全く爲す所を知らず潰走せり、以來敵は密かに資福寺一帯奪還の虚構宣傳をなし、重慶軍事委員會亦これを轉呑みにして公表する等宣傳に躍起

なり △中甸岳州方面にありては托現正面において我と對峙しある敵第三百十四師に對し果敢なる出撃作戰を取行し敵主要據點七十二を粉砕蹂躪せり △下旬應城方面にありてはその南方四十五キロ沈湖北岸に蠢動する敵第三百二十八師及び新四軍に對し空陸一體の殲滅戰を展開し多大の戦果を収

めたり △敵空軍は下旬數回に亘りわが占據地域に來撃せるも、常にわが航空隊と地上砲火の遊撃に徒らに民衆を盲爆し中國民衆の怨恨を招きしのみ

△九月以降十一月末までにおける武漢周邊の綜合戦果左の如し △敵遺棄死體五、二〇〇餘△俘虜一八〇餘△砲九△重輕機一八△小銃一、一九〇餘

△軍は十一月一日以降、武漢地區において金融機關閉鎖取締辦法を他地區に率先斷行して敵重慶抗戰經濟の崩壞に更に一段の壓迫を加へた

△今や國民政府治下政治、經濟の伸張日に新にして大東亞戰爭一周年を迎へ、武漢周邊における重慶擊滅の民衆運動は澎湃として與り東亞復興の氣運は著しく變化しつゝあり

△肅清討伐狀況 漢口【三・四】最近における武漢周邊各部隊の肅清討伐狀況次の通り

一、仙桃鎮方面 去る五日早曉を期しわが〇〇部隊は張家溝(仙桃鎮西方十六キロ)西方七キロの排湖東畔附近に於て敵第七十八師所屬の五大隊を急襲、南方に潰走せしめた

は伍家堤(沙洋鎮南方二十五キロ)附近に活動する敵第六戦區挺身隊を急襲したが、このうち將校五名は銃器彈藥多數を携行わが部隊に投降した

一、粵漢線方面 去る六日夜半、わが〇〇部隊は羊樓司東方一キロ附近において物資輸送中の敵を發見これを急襲して物資多數を鹵獲した

一、大冶方面 わが〇〇部隊は大冶西方三十キロ八角鎮周邊及び同地南方二十五キロの慈口鎮周邊に對し果敢なる肅清討伐を行つた

武漢周邊新四軍肅清狀況

漢口【三・三】武漢周邊地區に於ける新四軍討伐肅清狀況は次の如くである

一、應山方面 去る十七日以來京漢線大悟山周邊の敵新四軍本據剿滅の火蓋を切つたわが〇〇部隊は果敢な掃蕩戰を續行してゐるが應山北方四十キロ安陸南方に新四軍の集結せる第五師廿七、八の二ヶ旅約一千に六時間互に猛攻を浴せしめこれを潰滅せしめた、判明せる戦果次の如し、遺棄死體三〇〇、輕機彈藥多數

一、荊山方面 荊山東方四十四キロ天王寺附近に於て新四軍を急襲せるわが部隊は十二日夜より十三日拂曉にかけてこれを何心集に於て捕捉粉砕した、敵遺棄死體一五、俘虜八一、大冶方面 わが〇〇部隊は十六日早曉金牛鎮の東南十二キロ潭家橋西北に於て敵物資輸送隊を發見、これを急襲潰亂せしめ武器物資多數を鹵獲した

中の敵約百名を發見、これを西北方に潰走せしむると共に多數物資を鹵獲した

一、粵漢線方面 羊樓司のわが〇〇部隊は十六日同停車場附近を物資輸送中の敵約五十名を發見これを包圍殲滅、武器彈藥及び物資多數を鹵獲した、なほ最近間斷なきわが肅清討伐と物資不足の窮境に喘ぐ敵前線將兵は續々と歸順投降しつゝあるが、十二日鄂中遊擊十六縱隊十二支隊に屬する約〇〇名の敵は宋家河のわが部隊に武器彈藥多數を携へて歸順し來つた、また十五日挺身十二支隊に屬する〇〇名は南昌のわが〇〇部隊に投降した、また十五日夕萬城(沙市西北方廿二キロ)のわが部隊に敵第六十二師四百八十四團第二營の〇〇名が小銃四十、擲彈筒十、手榴彈十、彈藥八百を携へて歸順した

要衝郝穴を攻略

漢口【三二八】沙市東南四十キロ揚子江北岸の要衝郝穴東方に據る敵第六戰區遊擊挺身縱隊約四千(司令彭善)を撃滅すべくわが軍は去る十五日進攻を開始、十六日資福寺東南十一キロ熊家河前線の激陣地を一舉に粉碎し、同日午後五時熊家河を占據これと相呼應して他の一隊は資福寺より南下、同日午後八時三十分敵遊擊挺身隊第三支隊の本據郝穴を攻略した、同方面におけるわが戰果左の如し

△俘虜一二〇(うち將校三、大尉參謀一) △遺棄屍四一 △鹵獲品小銃その他多數

花園東方の敵覆滅

漢口【三二八】京漢線花園東方三十

糎大悟山周邊に蟠居蠢動を續ける新四軍新編第五師の根據地を覆滅すべく、わが軍は十七日突如行動を開始、花園、小河、谿市、夏店、二郎店、姚家集、陳家灣の各方面より怒濤の如く進撃、同日午後五時大悟山一帯を包圍して水も洩らさぬ鐵環網を布き、十八日拂曉を期し一齊に果敢な殲滅戰を展開した、大悟山周邊の敵第五師司令部十三旗司令部の覆滅、特務團赤色學生軍二千八百をはじめ小悟山(大悟山南方)一帯の赤色大學十三旅六百は全く袋の中の鼠となり、その潰滅は今や目前の間に迫つてゐる

新四軍本據完全覆滅

〇〇前線【三二九】去る十六日夕刻京漢線花園東方大悟山周邊の峻嶮に蟠居する新四軍別動隊の火蓋を切つた我が〇〇部隊の精銳は鐵壁の包圍網を壓縮しつゝ十八日正午には敵第五師の本據大悟山並に十三旅赤色大學、被服廠の所在地小悟山を完全に占領、同地一帯の徹底的肅清を終つた、現在迄に判明せる戰果

△敵遺棄死體四五〇、△俘虜五〇、△迫撃砲一、△其他小銃彈藥軍馬等多數を鹵獲し、被服廠、赤色大學其他軍事施設を破壊焼却した

空中中戦・空中爆

大陸空軍の反撃企圖爆碎

陸軍敵前進基地連爆【三二〇】支那方面におけるわが陸軍航空部隊は、在支敵空軍特に米空軍が、大東亞戰爭一周年の十二月八日前後を期し、わが占領地または帝國本土に對する爆撃を企圖してゐる

徵候を察知その機先を制し、十二月六日から八日までの三日間にわたり敵の主要な飛行場を連續爆撃し、その大部分を當分の間使用不能の状態に陥らしめ、敵の企圖を未然に粉碎した、すなはち十一月月中旬以降數次にわたりわが占領地内の要地並に船舶等に對し來襲して來た在支敵空軍特に米空軍は同月末に至り一時奥地の後退を見せつゝ十二月四日頃からはかに活氣を呈して桂林、衡州その他の方面に戰爆連合機を頻りに移動せしめ種々の策動を行ひはじめ大東亞戰爭一周年の十二月八日前後を期しわが占領地とくに中南支一帯あるは日本本土とくに九州臺灣などに對して爆撃を企圖してゐる

桂林、玉山、遂川、建甌、贛州、衡州に對し連續爆撃を敢行、滑走路その他地上施設を破壊、その大部分に當分の間使用不能の大損害を與へた、かくて十日過ぎる大期して敵が企てた在支空軍基地よりする空の對日反攻はわが陸軍航空部隊の俊敏果敢なる活躍により木葉微塵に粉碎された

敵飛行機は早くも奥地に逃避したので辛くも損害をまぬかれたが、重要飛行場の損害は深刻で一時使用不能の状態に陥つたのである、敵側はわが航空部隊は南方前線に移動し、支那方面は手薄なるかの如くデマ宣傳を行つてゐたが、このデマも同時に粉碎されたのである、しかも對日反攻に必死の敵の活動は執拗で、叩か

れても、叩かれても、立直りを見、

空軍兵力を増強せんとしてゐるのでこれに對しわが方は萬全の態勢を整へ、在支敵空軍の徹底的擊滅を期し、十二月六日から三日間にわたりわが陸軍航空部隊の活躍状況はつぎの如くである

①十二月六日 ④零時四十五分戰爆連合部隊をもつて桂林に進攻、敵對空砲火を胃して滑走路を爆撃飛行場の使用を暫時不可能ならしめた

⑤十二月七日 ④九時廿八分贛州飛行場を攻撃、全彈を滑走路に命中せしめ、暫時同飛行場の使用を不可能ならしめた

⑥十二月八日 ④十二時四十分桂林飛行場に進攻したが、依然として敵機を認めず我が航空部隊は滑走路の三分の一を爆撃、高射機關砲地帯を爆碎した

陸軍桂林で敵四機爆碎

南京【三二六】支那派遣軍報道部に

殘存せる大型敵機四機を爆碎し、全機無事歸還せり

歐米戰爭

協同作戰

獨軍當局戰局表明

ベルリン【三二二】日獨伊三國政府が米英兩國に對し宣戰を布告した一周年記念に當り獨軍司令部並に軍令部當局は戰局の現状につき十一日次の見解を表明した

に存亡を賭する破目に陥つた
一、假に新船建造に關する米國政府の宣傳數字が事實としても樞軸軍の通商破壊戦により反樞軸軍は結局屈服する外ない實情にあり、佛領植民地における反樞軸軍の作戦の如きも獨軍にとつては海外遠征の演習としてむしろ歓迎するところだ

獨伊軍公表戦況

ベルリン【三・二】獨軍司令部は十一日正午の公報をもつて左の通り戦況を發表した

東部戦線

一、南部においては活潑な戦闘が展開され獨軍はテリョク河北方において敵軍部隊に殲滅的打撃を與へた
一、スターリングラード北部の丘陵地帯並にドン河彎曲部においても激戦が續けられ、敵軍の反撃は悉く撃退された、イタリヤ軍部隊は果敢な偵察作戦を行ひ敵軍陣地を突破し捕虜並に鹵獲品多數を得た、更にハンガリー軍部隊は敵軍前哨部隊の攻撃を撃退した
一、一方獨羅兩軍の有力な空軍部隊はヴォルガ、ドン兩河中間地帯の戦線において地上部隊の作戦を掩護して活躍、戦闘機部隊は敵機二十四を撃墜した、更に戦爆連合部隊はドン河中流周邊で集結中の敵軍に對し爆猛を浴せた

中部戦線

一、中部地區では獨軍歩兵並に戦車部隊は敵突撃隊を包圍し、これを救出せんとする敵軍を悉く撃退した
一、カリーニン西南地區並にイルメン湖北方では敵軍は又も反撃に出て來たが何等の成果も收めず敗退した
一、アメリカ戦線
一、キレナイカ地方では獨空軍戦闘機は敵機八を撃墜した、我方の損害一機
一、チュニジア戦線における獨伊軍は敵軍陣地を突破戦車三十七並に多數の武器を鹵獲した、一方獨空軍はボーンヌ港に夜襲を試みた
一、十二月一日より十日に至る十日間に獨伊軍は米英軍飛行機百九十一を撃墜した、その内百十二は地中海方面で撃墜したものである
一、イタリヤ空軍はキレナイカ地區における空中戦において敵八機を撃墜、高射砲隊も敵一機を撃墜した
一、チュニジア戦線では樞軸軍は局部的戦闘において更に敵陣地を占領し、敵戦車三十三臺を撃破した、更に樞軸空軍は移動中の敵戦車並に車輪部隊を強襲しその大部分を炎上させた
一、十日のトリノ空襲の被害は死者五十七名負傷者六十名である
ベルリン【三・二】獨軍司令部は十二日公報をもつて各戦線における戦況を次の通り發表した

西部戦線

一、赤軍は増強部隊を得て十一日ルジコフ南方の獨軍陣地に對し大規模な新攻撃を開始、極めて強力な歩兵並に戦車部隊をもつて獨軍陣地の突破を企圖したが、獨軍は敵に多大の損害を與へ獨陸軍並に空軍は赤軍戦車百七十臺を破壊した、此の中心百二十七臺は一獨歩兵師團の戦闘地區の

みで破壊されたものである
一、トロペツ東南地區においても赤軍は又復戦車三十六臺を喪失し獨軍は更に據點を獲得した、此の地區において獨軍に包圍されてゐる赤軍は必死となつてあらゆる救援工作を試みてゐるが此の包圍赤軍に對する獨軍の重壓は次第に増加してゐる
一、イルメン湖南方において獨軍は赤軍の攻撃を挫けしめた
一、キレナイカ戦線において樞軸軍は英軍戦車部隊の攻撃を撃退した、一方獨戦闘機隊並に高射砲隊は英戦闘機八機を撃墜した
一、チュニジア戦線では樞軸軍は攻撃を續行し敵が頑強に防衛してゐたメジエル南方の敵橋頭堡に突入、英軍を完全に掃蕩した
一、樞軸空軍はアルジェリー海岸の敵兵站港灣を日夜を分たず攻撃、港灣施設並に碇泊中の船舶を反復爆撃し、獨潜水艦はオラン沖において米驅逐艦一隻を撃沈した
一、獨哨戒艇隊並に海軍砲兵隊はノルウェー並にフランス海岸上空において英機三機を撃墜、一方高射砲隊は十一日夜フランス上空で四發爆撃機一機を撃墜した
一、獨爆撃機編隊は十一日夜イングランド東海岸のサンダーランドを空襲、重要港灣施設並に船渠に巨弾を投下、大火災を發生せしめた、獨機二機歸還せず
一、獨艦艇隊は十一日夜イギリス海峽において英艦隊と交戦、英驅逐艦一隻を撃沈、快速艇一隻炎上

一、アフリカ戦線、キレナイカ地區に於ては敵戦車部隊が攻撃を試みたが樞軸軍に依り完全に撃退された、又樞軸前線に對し、機銃掃射を企てた英空軍部隊に對し、獨追撃機は猛烈な攻撃を加へ、敵機七機を撃墜、更に對空砲火に依り敵一機を撃墜した
獨機は全機無事歸還した
一、チュニジア地區に於て樞軸軍は局部的戦闘を通じ陣地を擴大した
一、樞軸爆撃機隊は十一日夜大埠ボーンヌ、フリツツヴイルの港に對し空襲を敢行、倉庫及び港灣施設に巨弾を投じ碇泊中の敵船舶に直撃弾を與へた
一、反樞軸空軍は十一日午後またもナポリに來襲、港灣地區及び市内は相當の損害を受けた、本空襲による一般民の被害は死者五十七名、負傷者百三十七名に達する、伊軍追撃機は直ちに英機を遊撃、四發大型爆撃機三機を撃墜した、内一機はカプリ島南方地區において海中に墜落、他一機は伊機の追撃を受けて遁走中カスターマール灣(シニリー島)において撃墜された、一方地上砲火によつて更に數機を撃墜、敵機搭乗者中生存者は逮捕、監禁した、我が方追撃機一機を喪ひ搭乗者は重傷を負つた
一、十一日夜北伊トリノ地區及びアオスタ峽谷に敵機數機來襲、爆弾を投下した、來襲敵機一機はフアツサノ附近において我が方對空砲火のため撃墜され、搭乗者は逮捕された
一、我が潜水艦隊は地中海水域において巡洋艦二隻、驅逐艦二隻よりなる敵艦隊を攻撃巡洋艦一隻に魚雷を命中せしめた

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

三十日

ベルリン【三・三】獨軍司令部は十三日次の戦況公報を發表した
一、東部戦線
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

四十日

ベルリン【三・四】獨軍司令部は十四日公報をもつて左の如く戦況を發表した
一、東部戦線
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

四十日

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した
一、獨空軍は十三日夜ムルマンスタを空襲港内施設並に重要軍事施設を爆撃した

一、十三日の地中海方面における空中戦において反樞軸空軍は四發爆撃機二機を含む十二機を喪失した

一、キレナイカの飛行場に於て獨逸空軍は敵四發爆撃機五機を地上爆破

一、獨逸空軍はボーヌ港周邊地區を再度攻撃し港灣にあつた中型商船一隻に命中弾を與へた

一、獨逸空軍はチュニジア戦線において敵戦車多数を破壊した

ローマ【三・二〇】伊軍司令部發表

△キレナイカ戦線
一、キレナイカ戦線の樞軸軍は反樞軸軍との間に熾烈な砲撃戦を交へた

一、同戦線における彼我空軍の活動は日を追うて熾烈の度を加へてゐる

一、十三日獨逸空軍は空中戦において敵飛行機九機を撃墜するとともに地上砲火により三機を撃墜した

△チュニジア戦線
一、樞軸空軍は晝夜の別なく敵補給基地就中ボーヌ港に對して猛攻を加へ港灣施設に敵船舶に甚大な打撃を與へてゐる

一、敵空軍はチュニジア地方のスーサを盲猛非戦闘員の間にも多数の死傷を出した

ベルリン【三・二〇】獨逸軍司令部十五日發表

△東部戦線
一、獨逸歩兵部隊はツアブ

七東北方において赤軍に反撃を加へ甚大なる損傷を與へて撃退した、テ

リョク河北方でも赤軍歩兵部隊は強力な戦車援護の下に攻撃を加へ來つたが獨逸軍により撃退された

一、ヴォルガ、ドン地區で獨逸歩兵並に戰車部隊は赤軍戰車隊を遂激、敵戰車六十七臺を撃破したほか、赤軍に多大の損害を與へた

一、トロペーズ東南で獨逸軍の重圍に陥つた赤軍は強烈な救援作戦と相俟つて脱出を企圖したが徒勞に終り獨逸軍は更にその包圍圈を壓縮した

一、獨逸空軍は中部地區で敵戰車合計四十八臺、および輸送列車五本を破壊したほかカンダラクシャその他ムルマンスク鐵道沿線の數地點に對し日夜空襲を續行多大の戦果を擧げた

△アフリカ戦線
一、西部キレナイカでは十四日樞軸軍は數的に優勢な英軍と激戦を展開したが、樞軸軍はよくその陣地を守り敵は戰車二十二臺を喪失し飛行機十機を撃墜された

一、チュニジア地方では獨逸戰機隊は敵機三機を撃墜し又獨逸空軍はボーヌに對し數回に亘り夜間空襲を敢行し港灣施設を破壊した、更に東部地中海で敵潜水艦一隻は獨逸空軍の攻撃を受け、重大損傷を蒙つた

一、獨逸水艦は六千噸級敵輸送船を撃沈すると共に米驅逐艦一隻に魚雷を命中せしめ損害を與へた

ローマ【三・二〇】伊軍司令部十五日發表

△キレナイカ戦線
一、キレナイカ戦線西方地區では目下激戦展開中で、反樞軸軍は兵力の優勢を恃んでゐるが、伊戰車集團はこれを猛攻を加へ、その進撃を阻止してをり、敵は既に戰車二十二臺を喪失してゐる

一、反樞軸空軍はチュニス港を盲爆し非戦闘員の間にも死者二百、負傷者數百を出した

一、敵空軍はナポリを空襲したが損害輕微

ベルリン【三・二〇】獨逸軍司令部十六日發表

△東部戦線
一、テリョク地區の獨逸軍は十五日の戦闘で赤軍戰車廿四臺を撃破した

一、獨逸同盟軍はヴォルガドン兩河中間地區の赤軍反撃を撃碎しこれに重大損害を與へた

一、トロペーズの東南地區で獨逸軍の包圍下にあつた赤軍は潰滅した、同地區において敵は十一月二日から十二月十五日に至る期間に戦死一萬四千、捕虜三千以上の損害を蒙るとともに戰車三百二十臺、各種砲二百二十七門を喪失した

一、獨逸空軍はムルマンスクを急襲、港灣施設並に鐵道施設を爆撃した

一、赤軍は十二月一日から同十五日に至る期間に飛行機四百四十一機を喪失した、同期間中の獨逸空軍の損害八十九機

△キレナイカ戦線
一、キレナイカの西部地區においては激戦が展開され樞軸軍は英戰車十六臺、砲十一門を撃破した

一、獨逸空軍はベンガジの港灣施設を猛襲するとともにアルジェリーの敵兵站基地並に空軍基地を攻撃した

△英本土
一、獨逸空軍編隊は英本土東南沿岸の重要施設を爆撃した

ローマ【三・二〇】伊軍司令部十六日發表戦況左の通り

△キレナイカ戦線

一、キレナイカ戦線において樞軸軍戰車部隊は數的に優勢な敵軍と激戦を演じ敵戰車十六臺並に砲數門を撃破した

一、空中戦も熾烈を極めたが獨逸空軍は敵機四機を撃墜した

△チュニジア戦線
一、樞軸軍は前哨戦において米兵若干名を捕虜とした

一、獨逸空軍はボーヌ港を強襲、また伊戰機は有力なる英戰機編隊と空中戦を演じ七機を撃墜した

一、伊軍長距離離爆撃機編隊はシリアのトリポリス並にベイルートを急襲し精油所並に燃料庫に直撃弾を浴びせられた

一、伊潜水艦一隻はアルジェリー沖で巡洋艦並に驅逐艦からなる敵海軍部隊を攻撃し、その一隻に魚雷二本を命中せしめてこれを撃沈した

一、他の伊潜水艦は大西洋水域において敵商船エンパイア・ホーク並にオンピリン合計一萬一千噸を撃沈した

ベルリン【三・二〇】獨逸軍司令部十七日正午發表

一、ドン、ヴォルガ兩河中間地帯で作戦中の獨逸兩軍は十六日更に占領地域を擴大した、赤軍は有力戰車部隊を先頭に數地點に激戦展開中である

一、トロペーズ東南地區の獨逸軍は十六日包圍圈内の赤軍を完全に殲滅した

この包圍殲滅戦における赤軍側の損害は戦死者一萬五千名、捕虜四千二百十七名、戰車及裝甲車五百四十二臺、砲四百四十七門、貨物自動車千臺以上、飛行機十七機である

一、ソ聯空軍は十六日飛行機六十機を喪失した内五十八機は空中戦による、獨逸軍側の損害は七機である

一、獨逸軍はテリョク地區において戰車隊を先頭に攻撃を加へ來つた赤軍部隊を撃破、赤軍戰車十六臺を擱挫せしめた

一、キレナイカ戦線の樞軸軍部隊は計畫的に西方へ向け移動した、敵はこれを阻止せんと企てたが悉く撃退された

一、獨逸戰機隊は十六日ベンガジの敵兵站基地に夜間爆撃を敢行、港灣施設に大損害を與へた

一、チュニジア戦線の獨逸空軍は十六日アルジェリーの敵空軍基地を猛爆した

一、獨逸空軍は十六日英本國南部各都市を爆撃した

ローマ【三・二〇】伊軍司令部は十七日正午戦況公報をもつて次の如く發表した

一、キレナイカ戦線では敵軍は樞軸軍の組織的行動を阻止せんと試み攻撃を加へ來つたが樞軸軍は激戦の後これを撃退捕虜並に獲兵器多數を得た

一、リビア南部の沙漠地帯では樞軸軍は敵軍の攻撃を撃退貨物自動車數輛を撃破、捕虜若干を得た

一、佛領北阿戦線では獨逸空軍はアルジェリーの敵軍各基地を強襲、特にファイリツプヴェイル港の軍事施設に猛爆を加へ空中戦で英機三機を撃墜した

一、敵空軍はスファツクス、チュニ

ス兩港に對し空襲を加へ來つたが樞

軸軍は多大の損害を與へた

一、敵空軍はスファツクス、チュニ

ス兩港に對し空襲を加へ來つたが樞

軸軍は多大の損害を與へた

一、敵空軍はスファツクス、チュニ

ス兩港に對し空襲を加へ來つたが樞

軸軍は多大の損害を與へた

一、敵空軍はスファツクス、チュニ

軸軍地上砲火により敵機三機を撃墜した

日八十

ベルリン【二〇八】 獨軍司令部十八日發表
△東部戰線
一、赤軍は十七日飛行機九

十機を喪失した
一、ドン河戰線に於ては獨伊聯合軍は空軍部隊と緊密な共同作戰の下に赤軍の攻撃に果敢な反撃を加へ十六十七の兩日に亘り赤軍戰車百一臺を破壊した、この方面の戰闘は尙繼續中である
一、ルジエフ、トロペズ地區に於ては獨軍は新に攻撃し來つた赤軍を撃退、戰車二十八臺を破壊した
一、北部戰線では獨軍は空軍部隊と協力の下に多數の敵特火點及び堡壘を撃破した
一、ヴォルガ及びドン兩河の中間地帯では獨軍は十七日赤軍陣地を突破して更に新たな前進を行つた
一、スターリングラード及びドン河彎曲部では獨軍は赤軍の攻撃を撃退し、戰車二十を破壊した
△北河戰線
一、リビア戰線では樞軸軍戰車部隊は側面からする英戰車隊の妨害作戰にも拘らず豫定通りに作戰を進めつゝあり敵に甚大な損害を與へた
一、チュニジア戰線では獨伊空軍は敵砲兵陣地並に機械化部隊を攻撃したほかアルジェリーの鐵道施設に夜間空襲を行つた
一、更に地中海方面で敵は飛行機八機を喪失、樞軸側は四機を喪つた
△獨英戰線
一、十七日夜英空軍は獨海岸地域並に西北部數ヶ所に來襲したが獨空軍及び高射砲隊は爆撃機十四機を含め

合計二十一機をまた海上部隊は五機を撃墜した
一、十七日夜半獨空軍はハンバーをはじめ英東海岸各地の軍事施設、工場等に低空爆撃を加へ大爆發大火災を生ぜしめた
一、英佛海峽方面に行動中の獨哨戒艇及び海軍艦艇は十七日敵爆撃機四機を撃墜した
一、地中海方面に行動中の獨哨戒艇及び海軍艦艇は十七日敵爆撃機四機を撃墜した
一、イ軍司令部十八日發表
△キレナイカ戰線
一、キレナイカ西部シドラ地區では戰車戦が展開され敵輕戰車部隊は西部に移動中の樞軸軍を攻撃し來つたが此企圖は完全に挫折した、樞軸軍はこの戰闘で敵戰車五臺を鹵獲すると共に捕虜若干名を獲た
△チュニジア戰線
一、樞軸軍は敵機械化部隊を攻撃した
一、獨空軍は空中戰で英機七機を撃墜した
一、樞軸空軍は悪天候を衝いて出動し、ライツプヴァイルの港灣施設を爆撃した
一、英爆撃機編隊はランペディユサ島を攻撃したが被害極めて僅少、伊空軍は英機編隊を邀撃して爆撃機一機及び戰闘機一機を撃墜した
ベルリン【二〇七】 獨軍司令部十九日正午發表
△東部戰線
一、テリョク地區で赤軍は繰り返して攻撃し來つた獨軍は敵を潰走せしめ捕虜四百二十名を得たほか軍需品多數を鹵獲した
一、ドン、ヴォルガ中間地區で獨、羅聯合軍は熾烈な反撃を排し更に敵を東北方に後退せしめ、敵は戰車二

日九十

十二臺を失つた
一、ドン河戰線で赤軍は有力な部隊を以て引續き攻撃し來つたが、獨伊軍並に高射砲隊の協力を得て之に甚大な損害を與へ赤軍は裝甲車五十臺を失つた
△北河戰線
一、リビアにおける獨伊軍は豫定通り作戰を繼續し同方面で英戰車二十一臺を撃破した
一、十八日夜樞軸空軍はトブルク港並にマルタ島の飛行場を痛撃した、又ベンガジ北西小域で大型敵商船に大損傷を與へた
一、チュニジア戰線では獨伊空軍はメジエヌ・エル・バブ近郊で攻撃準備中の敵軍に對し反復攻撃を加へ多大の戰果をあげた
一、十八日英米軍は飛行機十八機を喪失、獨軍は三機を失つた
ローマ【二〇七】 伊軍司令部發表
一、チュニジア戰線の伊空軍は十八日メジエヌ・エル・バブ地區の反樞軸軍に猛爆を加へた
一、地中海中部の空中戰に於て樞軸空軍は敵機十四を撃墜した
一、チュニズ地區の高射砲隊は同地に來襲した敵機四を爆撃した
ベルリン【二〇六】 獨軍司令部二十日發表
△東部戰線
一、赤軍はヴォルガ河並にドン河中間テリョク戰線において數次にわたり反撃を企圖したが失敗を歸し獨軍機甲師團はルーミアニア軍と協同の下に河畔の重要地點を占據した
一、赤軍は又スターリングラード戰線並にドン河彎曲部地帯に於て猛烈な攻撃を加へてきたが、激戰の後、

獨軍はこれを撃退、赤軍は右戰闘において戰車百六十四臺を喪失した
一、ドン河戰線に於ては有力な赤軍歩兵部隊並に戰車部隊の攻撃に對し獨軍は伊軍と協同の下に依然頑強な防禦戰を繼續し赤軍戰車二十臺を撃破した
一、トロペズ西方地區においては獨軍は頑強な抵抗を排除して赤軍陣地數ヶ所を強襲した
△アフリカ戰線
一、リビア並びにチュニジア兩戰線においては敵味方ともに偵察に従事してゐるが、キレナイカ海岸地帯に於ては獨軍爆撃機は敵大型貨物船二隻を大破せしめ更に二十日夜ベンガジ港に對し爆撃を加へた
一、オランダの西方に於て獨潜水艦一隻は十二月十八日英驅逐艦一隻を撃沈した
ローマ【二〇五】 伊軍司令部二十日發表
一、有力な獨空軍編隊は二十日夜マルタ島の空軍基地に爆撃を加へ更に同島西南水域に於て英軍の護送船團を襲撃し汽船一隻を撃破した
一、反樞軸空軍はチュニズ港を爆撃し市内に於て一般市民の間に死者二十六名、負傷者四十七名を出し更に郊外に於て死者二十七名、負傷者三十名を出した、但し軍事施設には何らの損害がない

日十

獨軍着々戰果を擴大
ベルリン【二〇五】 獨軍は空輸増援によれば十七日東部戰線の戰況は次の通り
△中部戰線

もつて漸次赤軍を壓迫し更にスターリングラード西南方地域で獨軍の壓迫に赤軍は遂に後退の止むなきに至つた、十五日ソ聯戰況公報も「同地方において獨軍は一時的に作戰の主動性を把握するに至つた」と赤軍の頹勢を自認してゐる、更に其他の戰線においては天候不良で空軍の活躍に十分なため局地的戰闘以外戰況に大きな變化はないが昨年度に比し東部戰線の氣温は二、三十度高いため獨軍はイルメン湖南方からコーカサスに至る各地區で着々戰果を擴大して居る、獨軍の主な戰果左の通り
一、獨軍は攻撃並に防禦戰において五十二噸戰車を含む敵戰車百十七臺を撃破した
一、獨軍は敵機十三機を撃墜し四機を喪つた
一、ヴォルガ、ドン兩河中間地帯で獨軍は更に占領地域の擴大に成功し、同地域で赤軍戰車二旅團を殲滅した
一、赤軍は同地區で戰車合計六十一臺を喪失した
一、スターリングラードでは赤軍はヴォルガ河を二ヶ所で渡河しようとしたが獨軍に撃退され、市内の赤軍は依然防禦態勢を餘儀なくされてゐる
一、ルジエフ南方で獨軍の重圍に陥つた赤軍は引續き脱出を企ててゐるが、成功の見込みなく、戰車十二臺を、又ペールイでは戰車三十四臺を喪つた
東部戰線の獨軍振ふ
ベルリン【二〇七】 前線からの報道によれば十七日東部戰線の戰況は次の通り

獨軍着々戰果を擴大

獨軍はこれを撃退、赤軍は右戰闘において戰車百六十四臺を喪失した
一、ドン河戰線に於ては有力な赤軍歩兵部隊並に戰車部隊の攻撃に對し獨軍は伊軍と協同の下に依然頑強な防禦戰を繼續し赤軍戰車二十臺を撃破した
一、トロペズ西方地區においては獨軍は頑強な抵抗を排除して赤軍陣地數ヶ所を強襲した
△アフリカ戰線
一、リビア並びにチュニジア兩戰線においては敵味方ともに偵察に従事してゐるが、キレナイカ海岸地帯に於ては獨軍爆撃機は敵大型貨物船二隻を大破せしめ更に二十日夜ベンガジ港に對し爆撃を加へた
一、オランダの西方に於て獨潜水艦一隻は十二月十八日英驅逐艦一隻を撃沈した
ローマ【二〇五】 伊軍司令部二十日發表
一、有力な獨空軍編隊は二十日夜マルタ島の空軍基地に爆撃を加へ更に同島西南水域に於て英軍の護送船團を襲撃し汽船一隻を撃破した
一、反樞軸空軍はチュニズ港を爆撃し市内に於て一般市民の間に死者二十六名、負傷者四十七名を出し更に郊外に於て死者二十七名、負傷者三十名を出した、但し軍事施設には何らの損害がない

東部戦線の攻防戦激化

一、獨軍は十七日ベルリン南方で赤軍大部隊を包圍果敢な掃蕩戦に移り捕虜四千二百名を得、戦車五百四十二臺、砲五百門、貨物自動車千臺を撃破又は鹵獲した。又エリキエ・ルキ地帯の赤軍は有力な部隊をもつて強襲を加へ來り數ヶ所獨軍陣地を突破したが獨軍地上部隊は空軍と呼應して猛反撃に轉じ赤軍を悉く撃退、空中戦で赤軍機三一機を撃墜した。一、トロペズ地帯では赤軍包圍大殲滅戦を完了した獨軍は息繼ぐ間もなく爆撃機編隊を大舉出動せしめてドロペズ停車場その他各鐵道要衝を反覆猛爆、大損害を與へた。一、ルジョフ地帯では獨軍兩軍間に熾烈な戦車戦が展開され、一進一退の死闘を演じたが獨軍は遂に赤軍を撃退、戦車卅臺を撃破した。△南部戦線

一、ドン河中流地帯では零下廿度の嚴寒を衝いて過去數日來空前の死闘が展開され、獨軍は執拗に反撃し來る赤軍を悉く撃破、空中戦で赤軍機十九機を撃墜した。一、ドン河彎曲部における赤軍は戦車廿一臺を喪失して空しく敗退、ドゥオルガ中間地帯でも赤軍は獨軍新陣地に反復猛攻を加へ來つたが獨軍は戦車十三臺を撃破してこれを撃退した。△コーカサス戦線

一、テリョク北方地帯の獨軍は赤軍の反攻を撃退したのち強烈な反撃に轉じ更に占領地帯を擴大し過去二日間に赤軍戦車卅臺を撃破した。一、コーカサス戦線全域にわたる空中戦で赤軍は飛行機六十一機を喪失した、獨側の損害は七機である。

ドノ河中流地帯で赤軍壓迫

夜ノ聯水雷艇隊はまたまた同港の獨軍沿岸陣地に奇襲を加へ來つたが忽ち撃退された。一、ドン河中流地帯における赤軍は屢次の敗戦にもかかわらず執拗に攻撃を繰返してをり十八日も戦車、砲兵、歩兵の大部隊をもつて損害を顧みず、獨軍陣地の突破を試みたが獨軍は數的に劣勢であつたにもかかわらず敢然これを邀撃して壯烈な大戦車のうち赤軍を完全に撃退した、獨軍の一部隊は餘勢を驕つて逆に赤軍防衛線内に突入、十倍の兵力を有する敵と奮戦多大の戦果を挙げたが、彈藥盡きんとしたため多數の捕虜を引連れて原位に復歸した、この戦間に際し獨伊空軍は地上部隊の作戦を助けて終日赤軍を猛爆、一方獨軍陣地上空に侵入した赤軍航空部隊は對空砲火のため五機を撃墜されて敗退した、獨軍はこの日の戦闘において赤軍戦車五十二、輸送自動車三百、迫撃砲十八、對戦車砲五、高射砲二を撃破、軍需品並に燃料貯蔵所三を炎上せしめた。一、ドン河彎曲部における獨軍も赤軍に對する反撃を續け陣地を強化してをり戦闘は現在依然繼續してゐるルジョフ南方でも獨軍は赤軍の小規模な攻撃を撃退した。

一、コーカサス戦線テリョク地帯では赤軍戦車並に歩兵部隊が攻撃に出で來つたが、獨軍は敵が獨軍主要防衛線に到達する前にこれを邀撃、激戦のち赤軍を舊位置よりも更に後退せしめた。一、コーカサス戦線テリョク地帯では赤軍戦車並に歩兵部隊が攻撃に出で來つたが、獨軍は敵が獨軍主要防衛線に到達する前にこれを邀撃、激戦のち赤軍を舊位置よりも更に後退せしめた。

一、ドン河中流地帯では赤軍は戦車廿一臺を喪失して空しく敗退、ドゥオルガ中間地帯でも赤軍は獨軍新陣地に反復猛攻を加へ來つたが獨軍は戦車十三臺を撃破してこれを撃退した。△コーカサス戦線

ソ聯空軍損失

ベルリン【三・二五】ドイツ戦闘機隊は十五日、東部戦線開始以來空中に於ける第四千番目の敵機を撃墜した、ドイツ戦闘機隊の過去半ヶ年間に於ける活躍は特に目覺しく此の期間中で二千機を撃墜して居る。ベルリン【三・二六】DNB通信十八日の報道によれば、東部戦線において本年四月廿六日から十二月十五日迄の間に赤軍は飛行機一萬二千八百廿一機を喪失したに對しドイツ並に各同盟軍の損失總數は千八百七十七機即十分の一弱といはれる。

赤軍戦車三千、飛行機五百を喪失。ベルリン【三・二七】獨軍司令部は東部戦線において赤軍は反攻開始當日たる十一月廿二日より十二月十五日までに戦車三千七十一臺、また十二月一日から十七日までに飛行機五百臺を喪失した旨十七日發表した。

北地帯の市周邊に要塞線構築。クイビシエフ【三・二八】十日のプラウダ紙によれば最近レニングラード市の周邊に堅固な永久的防禦陣地が構築された事實が初めて發表された、右陣地建設工事は昨年夏から開始され獨空軍の猛爆下に數十萬の人員を動員して着々と進められて極く最近に至つて完成を見たものであるが、要塞線の總延長は數千軒に及び各所に鹿砦、對戦車壕、掩蔽壕等が築造されてゐるといはれる。

中部地区

東部各戦線で激戦

ベルリン【三・二二】東部戦線の戦況は極軸軍の積極的攻勢展開と共に漸く熾烈化した冬季反攻を以て執拗に獨軍陣地に殺到する赤軍部隊を各地に撃破して極軸軍の戦果は比敵日來飛躍的に増大してゐる、最も激戦を傳へられるのは中部戦線のルジヨフ地区並にヴォルガ、ドン兩河中間地区での戦況は左の通り

一、ルジヨフ南方地区 赤軍は數次に亘る獨軍の反撃で甚大な損害を蒙つたにも拘らず十二日又復新銳戦車部隊を以て反攻し來り雪原に重砲の放列を布いて獨軍陣地に集中砲火を加へると共に戰車部隊を次々と繰出して終日猛攻を繰返したが、獨軍の反撃によりその都度撃退され戦車百五十三臺外多數の重火器を遺棄して敗走した、二日間の戦闘で赤軍の喪つた戦車は三百廿三臺に達した

一、ベリキーエ・ルキ地区 赤軍歩兵部隊は獨軍に包圍された部隊を援すべく戰車掩護の下に反撃して來たが之また獨軍のため大損害を蒙つて敗走した

一、イルメン湖南部地区 獨急降下爆撃機隊は十二日赤軍重砲陣地を猛爆してその多數を沈黙せしめた

一、ヴォルガ、ドン中間地区 赤軍は主力を以て伊軍及びハンガリア軍陣地に猛攻を加へてきたが、獨伊、ハンガリア及びルーマニア空軍は爆撃機、急降下爆撃機及び戦闘機の全力を擧げて地上部隊を掩護すると共に、赤軍後方に猛爆を加へて全軍を潰亂状態に陥れ、ハンガリア軍は退却する赤軍を急追してドン河南岸の

赤軍陣地を確保した、赤軍は百臺以上の戦車を喪ひ、赤軍の占領してゐた十七の部隊は灰燼に歸した

一、ドン彎曲部地区 獨、羅聯合軍は數日來の戦果を更に擴大、赤軍部隊は空軍と緊密に協力して獨軍主力を包圍中で、同地区の赤軍は殲滅の危機に瀕してゐる

一、ノヴォオロシスク・ツアプヤ地区 九日以來の降雨で道路は泥濘と化し作戦困難を極めたが攻撃は活潑に繼續され、ルーマニア軍は更に戦略的高地數ヶ所を占領した

一、テリョク地区 赤軍は獨軍の前進基地奪回を企てたが、逆に獨軍戦車部隊のため大損害を蒙り敗退した

一、ドナ河中流地区 赤軍は數日來の報道を綜合するに、赤軍は數日來ヴォロネジ南方のドナ河中流地区に於いて大規模の反攻に出た模様で、獨軍當局も十九日夜同地区の戦闘は、獨軍がヴォルガ中間地区の戦闘と

一、ヴォルガ中間地区の戦闘は、獨軍がヴォルガ中間地区の戦闘と

一、ヴォルガ中間地区の戦闘は、獨軍がヴォルガ中間地区の戦闘と

一、ヴォルガ中間地区の戦闘は、獨軍がヴォルガ中間地区の戦闘と

一、ヴォルガ中間地区の戦闘は、獨軍がヴォルガ中間地区の戦闘と

一、ヴォルガ中間地区の戦闘は、獨軍がヴォルガ中間地区の戦闘と

一、ヴォルガ中間地区の戦闘は、獨軍がヴォルガ中間地区の戦闘と

一、ヴォルガ中間地区の戦闘は、獨軍がヴォルガ中間地区の戦闘と

一、ヴォルガ中間地区の戦闘は、獨軍がヴォルガ中間地区の戦闘と

一、ヴォルガ中間地区の戦闘は、獨軍がヴォルガ中間地区の戦闘と

一、スターリンググラード南部地区 赤軍は獨軍連日の猛攻に戦力の低下著しく、數日來獨軍は逐次北方に占領地帯を擴大、特に戰車部隊は赤軍陣地深く突入して急速に戦果を擴大してゐる

一、ドン、ヴォルガ中間地区 赤軍は強力な戰車部隊を以て猛攻を再開一時獨軍主陣地突入に成功したが、獨軍戦車部隊及び對戰車砲の反撃に逢つて戰車の大半を喪失、後退を餘儀なくされた

一、ドナ河中流地区 赤軍は數日來獨、伊、羅同盟軍陣地に對し猛攻を繼續、有力な戰車部隊を主力として遮二無二極軸陣地を突破せんとしてゐるが、現在迄のところ僅かに數ヶ所、局地的成功を収めたのみで逆に大きく包圍されて各個撃破の運命に陥りつつある

一、ドナ河中流地区 赤軍は數日來獨、伊、羅同盟軍陣地に對し猛攻を繼續、有力な戰車部隊を主力として遮二無二極軸陣地を突破せんとしてゐるが、現在迄のところ僅かに數ヶ所、局地的成功を収めたのみで逆に大きく包圍されて各個撃破の運命に陥りつつある

一、ドナ河中流地区 赤軍は數日來獨、伊、羅同盟軍陣地に對し猛攻を繼續、有力な戰車部隊を主力として遮二無二極軸陣地を突破せんとしてゐるが、現在迄のところ僅かに數ヶ所、局地的成功を収めたのみで逆に大きく包圍されて各個撃破の運命に陥りつつある

一、ドナ河中流地区 赤軍は數日來獨、伊、羅同盟軍陣地に對し猛攻を繼續、有力な戰車部隊を主力として遮二無二極軸陣地を突破せんとしてゐるが、現在迄のところ僅かに數ヶ所、局地的成功を収めたのみで逆に大きく包圍されて各個撃破の運命に陥りつつある

一、ドナ河中流地区 赤軍は數日來獨、伊、羅同盟軍陣地に對し猛攻を繼續、有力な戰車部隊を主力として遮二無二極軸陣地を突破せんとしてゐるが、現在迄のところ僅かに數ヶ所、局地的成功を収めたのみで逆に大きく包圍されて各個撃破の運命に陥りつつある

一、ドナ河中流地区 赤軍は數日來獨、伊、羅同盟軍陣地に對し猛攻を繼續、有力な戰車部隊を主力として遮二無二極軸陣地を突破せんとしてゐるが、現在迄のところ僅かに數ヶ所、局地的成功を収めたのみで逆に大きく包圍されて各個撃破の運命に陥りつつある

一、ドナ河中流地区 赤軍は數日來獨、伊、羅同盟軍陣地に對し猛攻を繼續、有力な戰車部隊を主力として遮二無二極軸陣地を突破せんとしてゐるが、現在迄のところ僅かに數ヶ所、局地的成功を収めたのみで逆に大きく包圍されて各個撃破の運命に陥りつつある

一、ドナ河中流地区 赤軍は數日來獨、伊、羅同盟軍陣地に對し猛攻を繼續、有力な戰車部隊を主力として遮二無二極軸陣地を突破せんとしてゐるが、現在迄のところ僅かに數ヶ所、局地的成功を収めたのみで逆に大きく包圍されて各個撃破の運命に陥りつつある

一、ドナ河中流地区 赤軍は數日來獨、伊、羅同盟軍陣地に對し猛攻を繼續、有力な戰車部隊を主力として遮二無二極軸陣地を突破せんとしてゐるが、現在迄のところ僅かに數ヶ所、局地的成功を収めたのみで逆に大きく包圍されて各個撃破の運命に陥りつつある

▲獨軍全面的に攻勢 ストックホルム【三・二二】モスクワ來電 東部戦線の獨軍は十五日來モスクワ西北地域を中心とする全戦線にわたり猛烈な攻撃を開始した

▲獨軍全面的に攻勢 ストックホルム【三・二二】モスクワ來電 東部戦線の獨軍は十五日來モスクワ西北地域を中心とする全戦線にわたり猛烈な攻撃を開始した

▲獨軍全面的に攻勢 ストックホルム【三・二二】モスクワ來電 東部戦線の獨軍は十五日來モスクワ西北地域を中心とする全戦線にわたり猛烈な攻撃を開始した

▲獨軍全面的に攻勢 ストックホルム【三・二二】モスクワ來電 東部戦線の獨軍は十五日來モスクワ西北地域を中心とする全戦線にわたり猛烈な攻撃を開始した

▲獨軍全面的に攻勢 ストックホルム【三・二二】モスクワ來電 東部戦線の獨軍は十五日來モスクワ西北地域を中心とする全戦線にわたり猛烈な攻撃を開始した

▲獨軍全面的に攻勢 ストックホルム【三・二二】モスクワ來電 東部戦線の獨軍は十五日來モスクワ西北地域を中心とする全戦線にわたり猛烈な攻撃を開始した

▲獨軍全面的に攻勢 ストックホルム【三・二二】モスクワ來電 東部戦線の獨軍は十五日來モスクワ西北地域を中心とする全戦線にわたり猛烈な攻撃を開始した

▲獨軍全面的に攻勢 ストックホルム【三・二二】モスクワ來電 東部戦線の獨軍は十五日來モスクワ西北地域を中心とする全戦線にわたり猛烈な攻撃を開始した

▲獨軍全面的に攻勢 ストックホルム【三・二二】モスクワ來電 東部戦線の獨軍は十五日來モスクワ西北地域を中心とする全戦線にわたり猛烈な攻撃を開始した

▲獨軍全面的に攻勢 ストックホルム【三・二二】モスクワ來電 東部戦線の獨軍は十五日來モスクワ西北地域を中心とする全戦線にわたり猛烈な攻撃を開始した

▲獨軍全面的に攻勢 ストックホルム【三・二二】モスクワ來電 東部戦線の獨軍は十五日來モスクワ西北地域を中心とする全戦線にわたり猛烈な攻撃を開始した

トローペス地区の殲滅戦

ベルリン【三・二七】獨軍司令部ではトローペス地区の赤軍包圍大殲滅戦につき十七日次の如く言明した

「赤軍は過般來中部戦線に多數の兵力を集結、ルジヨフ、トローペス兩地区の中間を南方へ突破を企圖し有力な戰車部隊を先頭とする赤軍先鋒部隊は獨軍陣地に反復強襲を加へ、一地點でこれを突破したが、獨軍の猛反撃により後方主力との連絡を完全に遮断され獨軍の重圍下に陥つた、狼狽した赤軍部隊は脱出を試み絶望的攻撃を反復したが獨軍はこれを悉く撃退し遂に一兵も餘さず殲滅した」

ベルリン【三・二七】獨軍司令部はトローペス地区に於ける戦果を次の如く發表した

△赤軍捕虜四、二一七△遺棄死體一五、〇〇〇△戰車及び裝甲車五四二△各種大砲四四七△車輛一、〇〇〇以上

▲赤軍モレンスク奪回企圖

モスクワ【三・二二】ソ聯情報局は十八日特別戦況公表をもつて、赤軍がルジヨフ西南百軒のペーリイ地区から南方のモレンスク市奪回を目指して總反攻を開始した旨發表した、ペーリイとモレンスク間の距離は百廿軒である

▲赤軍モレンスク奪回企圖

モスクワ【三・二二】ソ聯情報局は十八日特別戦況公表をもつて、赤軍がルジヨフ西南百軒のペーリイ地区から南方のモレンスク市奪回を目指して總反攻を開始した旨發表した、ペーリイとモレンスク間の距離は百廿軒である

▲赤軍モレンスク奪回企圖

▲赤軍モレンスク奪回企圖

南部地区

入市戦線でも獨軍進出

リスボン【三・二二】スター

リスボン【三・二二】スター

リスボン【三・二二】スター

リスボン【三・二二】スター

リスボン【三・二二】スター

リスボン【三・二二】スター

リスボン【三・二二】スター

リスボン【三・二二】スター

リスボン【三・二二】スター

リングランド戦線の全域に亘る獨軍の攻勢は十一日に至り愈々猛威を加へ、ドン河大彎曲部およびスタールングラード市西北方地区では引續き赤軍の頑強な抵抗を排して着實な進出振りを示してゐるが、赤軍は同市西北方に續々兵力を集結するとともにシュトルモフイク急降下爆撃機を大舉出動せしめて、獨軍の猛攻を必死に阻止せんと努めてをり、空陸相呼應する壯烈な立體機動戦が夜を日に繼いで展開されてゐる、ドン、ヴォルガ兩河中間地帯の一地帯における有力な赤軍は獨軍陣地に強襲を加へて若干地點で楔を打ち込むに成功したが獨軍は三日間に亘る肉弾戦の後、赤軍は悉く撃退、獨メツサーシユミツト戦機隊は空中戦で赤軍機廿五機を撃墜した、他方カラムイク戦闘西部地區の獨軍は丘陵地帯に構築した陣地に一旦赤軍の突入を許したが、十一日これを東方近く撃退するに成功した

二日早曉樞軸軍陣地に對し、本格的攻撃を開始したと傳へられる英軍は先づ空軍をもつて樞軸軍陣地を爆撃した後海岸道路の兩側から強力な歩兵部隊を前進せしめる作戰の下に歩兵數百部隊及び特科隊を驅使して遮二無二西方に對する戰車部隊の通路を開かんとしたが樞軸軍の堅陣を抜き得ぬので、正午頃英軍指揮官は此の方面の攻撃を斷念して南方の樞軸軍陣地に攻撃を移動した、然しこの方面においても英軍は僅かに

は多數の英捕虜と戦利品を獲得した然し同日午後モントゴメリーは新鋭戰車部隊を再び同地區に送り來り目下兩軍は激戦を展開してゐるといへる

北阿 戦線

北阿 戦線

北阿 戦線

テリヨク戦線の赤軍反攻挫折

テリヨク戦線の赤軍反攻挫折

テリヨク戦線の赤軍はこゝ數日來局地的反攻に出でゐるが獨軍の猛攻に會つてその都度後退を餘儀なくされてゐる、獨軍司令部は十五日の發表で同戦線に於ける戰闘で赤軍戰車七十三臺を撃破した旨を述べて獨軍の戰闘が著々戦果を収めてゐる旨を明かにしてゐる

北阿 戦線

北阿 戦線

北阿 戦線

北阿 戦線

北阿 戦線

エル・アゲイラの戰闘本格化

ベルリン【三・二】前線からの報道に依ればモントゴメリー麾下の英第八軍はエルアゲイラ戦線に對して十

北阿 戦線

偵察部隊とロメル軍との間に數回にわたり小衝突があつたが敵は十三日夜同様樞軸陣地の機雷原により甚大な損害を受けた

北阿 戦線

一、十四日午前モントゴメリーの偵察部隊とロメル軍との間に數回にわたり小衝突があつたが敵は十三日夜同様樞軸陣地の機雷原により甚大な損害を受けた

北阿 戦線

一、樞軸空軍は十三日終夜悪天候を冒して敵兵站線を爆撃、エジプト國境西部キレナイカ等の敵飛行場を低空爆撃して敵双發爆撃機十五を破壊した

北阿 戦線

一、獨空軍は十三日トルク、デルナ、ベンガジ等を反覆爆撃、殊にベンガジにおいては倉庫群に火災を發生せしめた

北阿 戦線

一、樞軸空軍は十三日終日海岸道路上の英輜重隊に猛爆を加へトラツク

北阿 戦線

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

は多數の英捕虜と戦利品を獲得した然し同日午後モントゴメリーは新鋭戰車部隊を再び同地區に送り來り目下兩軍は激戦を展開してゐるといへる

英軍の攻勢失敗

ベルリン【三・四】キレナイカ戦線に於ては英軍が攻勢を企圖して居ると傳へられるが獨軍司令部筋の情報を綜合すれば十三日から十四日午前に至る戰況次の通り

一、モントゴメリー麾下英第八軍は十二日早曉強力な戰車部隊、歩兵部隊、砲兵隊並に各種特科隊を以て廣

汎な戰線に亘りキレナイカのロメル軍陣地突入を企圖したが完全に失敗に歸し、十三日はキレナイカ全線に亘つて平穩で、英軍は新攻勢を開始し得る陣地を整備するいとまなく死者の收容を企圖したに過ぎない

一、十三日夜戰車隊を含む偵察部隊が接近して來たが機雷原に觸れ大損害を受けた

一、十四日午前モントゴメリーの偵察部隊とロメル軍との間に數回にわたり小衝突があつたが敵は十三日夜同様樞軸陣地の機雷原により甚大な損害を受けた

一、樞軸空軍は十三日終夜悪天候を冒して敵兵站線を爆撃、エジプト國境西部キレナイカ等の敵飛行場を低空爆撃して敵双發爆撃機十五を破壊した

一、獨空軍は十三日トルク、デルナ、ベンガジ等を反覆爆撃、殊にベンガジにおいては倉庫群に火災を發生せしめた

一、樞軸空軍は十三日終日海岸道路上の英輜重隊に猛爆を加へトラツク

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

英軍の側面作戦失敗

リスボン【三・六】リビア前線より報道を綜合するに目下キレナイカノフイリアと阿地西方七十五哩のシルテとの中間で戰闘が行はれてゐる模様である、樞軸軍が既定の計畫に對し英第八軍はこれが應戦に躍起となつてゐるが、樞軸軍部隊の善戰と地雷原にその前進を阻まれ樞軸軍主力は悠々撤收作戦を進めつつある、十九日の英側報道も樞軸軍の撤收作戦が秩序整然と行はれてゐることを認めてをり英軍司令官モントゴメリーの側面作戦も完全に失敗した譯だ、しかも英軍の無理な作戦こそ樞軸軍の狙ふところで、樞軸軍の側面からの撤收を妨害せんとして迂回行動をとつた英先遣部隊が漸く沿岸道路に達したとき樞軸側後衛部隊の待伏せに遭ひ、英側の戰車先遣部隊の如きは巧みに偽装された樞軸砲兵隊の攻撃により殆んど大部分撃破されて了つた、又戰車隊の到着を待ち攻撃に移らんとして待機中の英機械化歩兵隊も側面から戰車に掩護された樞軸側機械化部隊の急襲を受け戰車廿臺、自動火砲の大半その他を喪失、算を亂して奥地砂漠地帯へと遁走した

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

續き反樞軸軍に攻撃を加へ逐次これを西南に壓迫中で、十日の戰闘では樞軸軍は數的に優勢な敵と激戦を交へ戰車三十七臺を撃破するとともに砲兵陣地に激越的打撃を與へた

一、樞軸空軍は地上部隊の猛襲に呼應して反樞軸陣地後方基地並に補給路に攻撃を加へ多大の戦果を収めたほか、アルジェー港の敵船團を急襲して輸送船二隻合計二萬五千噸を撃破するなど樞軸空軍はチュニジア方面の制空権を完全に掌握してゐる

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

一、タブルバを奪取した樞軸軍は引

基地を反覆爆撃して多大の損害を與へた、地上部隊の作戦も順調に進歩中の模様で獨軍當局は十七日正午現在に戦況について次の如く言明した「チュニジア戦線の敵軍は樞軸軍との接觸を避けて更に西方に退却した敵はこれによつて容易に防禦し得る一重要據點を放棄したが、ダブルバ敗戦以來敵軍の頽勢は愈々濃化しつつある」

樞軸軍戦車をもつて猛攻撃

リスボン【三二】 樞軸軍は十一日大戦車集團をもつてビゼルト西南方のメデューズ・エルノブに布陣する反樞軸軍に對し二隊に分れて突如猛撃を開始した樞軸軍集團の一部隊は強力な歩兵部隊と協力してメジェルダ河に沿ひ續々南下し他の一部隊は東方からメデューズ・エルノブ地区の反樞軸陣地に發到反樞軸軍は野砲の砲火を集中して防戦に力めてゐるがその猛進撃を阻止し得ず樞軸軍は着々戦果を擴大してゐる

モロッコ地区

米軍回教聖地を占領
ベルリン【三三】 佛領モロッコ、スエズよりの情報によれば米軍部隊は十二日モロッコ東北方二百四十五哩にある回教徒の聖地フェズ市を占領したと傳へられる

樞軸空軍北阿で活躍

リスボン【三〇】 前線からの報道によればロメル將軍は巧妙な撤收作戦により十九日更に新陣地に移動して「防衛に有利な地位」を確保した模様だがカイロ電報もこの事實を認

西部戦線

ドーヴァー海峡の砲撃戦

ストツクホルム【三二】 ロンドン來電、ドーヴァー海峡沿岸の英國軍長距離砲陣は過去一ヶ月間の沈黙を破つて九日夜突如砲門を開き、獨軍砲陣も直ちに應酬して熾烈な砲戦が展開されたが、十日夜から十一日早朝にかけてまたもや獨英兩軍間に長距離砲戦が續行され、殷々たる砲聲は海峡の兩岸を揺がした

西亜戦線

英軍テヘランに入る

イスタンブール【三二】 テヘラン來電、テヘラン市内に食糧暴動が勃發した結果、英軍一ヶ大隊は英國人所有の油田施設並に軍事品倉庫保護を名として九日夜テヘランに入った

空中戦・空軍爆撃

ナポリ來襲の英機爆撃

ローマ【三三】 イタリア軍司令部は十一日英機がナポリを爆撃した旨發表した、右空襲に際し伊軍戦闘機は空中戦に於て四機大型爆撃機を撃墜し高射砲隊も同二機を撃墜したが一般市民の間に死者五十七名、負傷者百三十八名を出した

獨空軍英本土空襲

リスボン【三五】 ロンドン來電、英空軍省は獨空軍編隊が十四日夕刻、英本土北沿岸地区を急襲し、軍事施設並に工場その他數ヶ所に爆撃を

海上戦況

西印度洋で四十隻撃沈

ベルリン【三三】 獨軍當局は十二日九日以來西インド洋に於て撃沈された反樞軸國船は四十隻に達した旨發表した

敵側船舶喪失は建造の二倍

ブエノスアイレス【三二】 モントリオール來電、カナダ軍需相ハウは今次大戦開始以來現在迄、反樞軸國側の船舶喪失噸數は新建造噸數の二倍に達してゐる旨十三日發表した

獨快速艇隊の戦果

ベルリン【三四】 獨軍筋は十四日獨潜快速艇の戦果につき左の通り言明した

「獨快速艇隊は十二日夜英國東海岸沖において有力な驅逐艦隊に護送された英國船團を攻撃し貨物船六隻に魚雷を命中せしめた、そのうち三隻合計九千噸は直ちに撃沈され三隻級油槽船一隻は炎上した、他の二隻は英驅逐艦の妨害のため沈没を確認し得なかつたが多分撃沈されたものと信ぜられる、獨快速艇は全艇無事基地に歸還した」

(二七頁へ續く)

カイロ爆撃被害甚大

リスボン【三五】 ロンドン來電、英空軍省は獨空軍編隊が十四日夕刻、英本土北沿岸地区を急襲し、軍事施設並に工場その他數ヶ所に爆撃を

交外・治政

畏くも 天皇陛下には十二月二日の佳日親しく慰受大神宮、皇大神宮に御参拜あらせられ、戦勝を御奉告のうえ、神恩を奉謝あらせられ、神靈の御加護を冀はせ給ふ。この尊き御事は洵に恐懼の極みであり、一億國民は齊しく襟を正し眈を決して猛奮敢起するところあらねばならない。

大戦第二年目を迎へたわが經濟界は、十五日、首相官邸に代表懇談會をもよほしたが、この日午前十時一同は特に賜謁の恩命を拜し

相携へて参内、畏くも咫尺の間に列立拜謁の光榮に浴し奉つた。召されたる全國經濟界の代表者は實に三百八十五名、この未曾有の大戦下、先蹤なき破格の恩召にあづかり、恐懼感激、いよいよ生産奉公の決意を深くしたことは申すまでもないことである。

大東亞戦争後第三回目の第二十四回國家總動員審議會總會は十七日開催され、○特許發明等の實施に關する勅令案要綱、○出版事業に關する勅令案要綱、○臨時製鹽地等の管理に關する勅令案要綱の三件が附議され原案通り可決をみた。多年懸案の特許發明の實施權設定が解決されたことは、生産力擴充を技術の面から大いに促進するものとみられ、また出版文化が總力戰の一翼として重視される折柄、出版界の統制が全面的にとりあげられたことは注目し得る。

大東亞建設と征戰完遂の大眼目からヨリ一層の日華提携が絶對的に要請されてゐるとき、われわれは二十日友邦中華民國國民政府主席汪精衛氏の三度目の來訪を迎へた。また同じ日に重光駐支大使も入京、中央政府と重要打合せを行ふことになつた。

なほ今旬は翼政機構の改革が問題となり、この問題を繞つて翼政内各派の活潑なる動きがあつた。(木)

☆ 拜謁・奏上

杉山中將軍狀奏上

— 五海軍將星參内拜謁

【三・四】この程歸還した杉山六藏金澤正夫、戸荻隆始各海軍中將草鹿龍之介、河野千萬城兩海軍少將は十四日朝朝次いで宮中に参内、天皇陛下には午前十時表御座所に出御あらせられ嶋田海相、永野軍令部總長侍立申しあげ、先づ杉山六藏中將に拜謁仰付けられた、同中將は具さに軍狀を奉へ、陛下には優渥なる御嘉尚の御言葉賜つた、次いで、金澤中將以下各將星に拜謁仰付けられ、終つて南溜間に於いて祝酒を賜ひ、天皇陛下にはひきつづき先のジャバ沖海戦、比島、蘭印、濠洲の各戦線で赫々たる武勳を樹て其の感狀が畏くも上聞に達するの光榮に浴した海の親鸞入佐俊家海軍中佐に對しても宮中表御座所で拜謁仰付けられ更に將星等とともに南溜間において祝酒を賜つた

産業經濟代表に異例の賜謁

賜謁

【三・五】天皇陛下におかせられては征戰下特に我が産業界の動向に深き大御心を寄せさせ給ふと承るが、十五日首相官邸に開催の産業經濟代表者懇談會に出席した内外地、滿支にわたる各産業、經濟、金融代表者三百八十餘名を特に宮中に召されて列立拜謁を賜ひ、同破格の光榮に恐懼感激し奉つた、この朝御召の光榮に浴した津田信吾、郷古潔、鮎川義介諸氏をはじめ各代表は東條首相

以下政府關係者とともに恐懼宮中に参内、西溜間に參集午前十時、畏くも 天皇陛下には天機御麗はしく御軍裝に大勳位並に功一級各副章を御佩用、百武侍從長以下を従へさせられて出御、親しく列立拜謁を賜ひ一同は咫尺の間に龍顏を拜し奉り聖慮の畏きと破格の光榮に恐懼しつづ宮中を退下した

内閣

石油專賣法案提出

— 議會法律案五十四件

【三・四】政府は第八十一通常議會に提出すべき法律案五十三件については、租稅法規の改正に關する法律案要綱を除く五十二件の要綱を決定し、議會對策の準備を着々整へつつあるが、さらに決戰下の緊急要請に基き戰時中の臨時立法として石油專賣法案を新に追加して議會に提出することとなり、十日の繰上げ開議に於て慎重審議の結果これを決定、十四日午後四時情報局よりその要綱を發表した、これをもつて今議會提出法律案件数は五十四件に達した、

石油專賣法案要綱

一、石油は政府の專賣とすること
前項の石油の種類は命令を以て之を定むること
二、石油製造業者は其の製造したる石油を政府に納付すべきこと、政府は前項に依り石油を納付したる者に對し賠償金を交付すべきこと
三、石油の輸移出入は政府又は政府の命を受けたる者に限ること
四、石油の販賣は政府又は政府の指定したる者に限ることとし右の指定を受けたる者及石油の販賣に關しては命令を以て之を定むること
五、本法に依り納付せしむべき金額の徵收に付ては國稅徵收法を準用すること
六、必要な罰則規定を設けること
(備考)本法の制定に伴ひ石油業法及作業會計法に必要な改正を行ふことは戰時中の臨時立法とすること
△當局談(前略)本專賣は石油製品の販賣專賣にして戰時中の臨時措置なり、而して之を實施する所以は皇國延て大東亞興亡の岐る今次大戦に處し特に國防上並に産業上の基本資材たる石油において軍需と密接不離の關係にある官民需用を確保すると共に高度の重點配給を爲すの要あるに依り政府自ら石油の現物を把握し、併せて配分の衝に當らんとするものなり、従つて本專賣は原油及石油製造の兩部門に亘るものに非ざるのみならず軍管理下の石油を除外するものなり
本專賣に伴ひ石油の割當並に配給面において從來に比し一層改善刷新の要あるとる配給の實施に當りては適正迅速なる重點割當並に配給を所期するにあるも他方配給技術、産業の實情等に應じたる配給運營に依り混亂を來さざる如く措置するものとす、而して既存の民營機構に付ては其の經營の改善合理に努めしむべきも本專賣に依る配給の實際に當りては之を極力利用せんとす

國家計畫の推進狀態檢討

— 第一回生産増強委員會

【三・六】戦時生産増強委員会は十六日第一回定例委員会を開催した、しかし委員会は即断即決主義によりかつ實地本位を建前としてをより第一回委員会においてはこの趣旨に則り、現國家計畫では中の物動、生

重要三勅令案要綱決定

第廿四回總動員審議會

【三・七】國家總動員審議會第廿四回總會は十七日午後二時十分から首相官邸大廣間に開催、副總裁鈴木元、東條首相缺席のため鈴木元、東條首相の挨拶あり

一、諮問第八十五號、特許發明等の實施に關する勅令案要綱(國家總動員法第十四條)

一、諮問第八十六號、出版事業に關する勅令案要綱(國家總動員法第十

六條の三及び第十八條)

一、諮問第八十七號、臨時製鹽地等の管理に關する勅令案要綱(國家總動員法第十三條第一項及び第三項)

の三勅令案要綱を附議、井上技術院總裁、谷情報局總裁及び谷口大藏次

官より夫々提案理由を説明

委員 企畫院總裁 鈴木 貞一

委員 企畫院次長 安倍 源基

委員 企畫院第一部長 秋永 月三

委員 第二部長 柏原其太郎

委員 第五部長 柴田彌二郎

委員 内務省警保局長 三好 重夫

委員 地方局長 古井 喜實

委員 大藏省總務局長 迫水 久常

委員 陸軍省軍務局長 佐藤 賢了

委員 警備局長 吉積 正雄

委員 海軍省軍務局長 岡 敬純

依る申請ありたるときは其の申請に付許否の決定を爲し決定書の謄本を申請人及特許發明又は登録實用新案に付権利を有する者に送付すべきこと

第二の規定に依り期間を指定して特許發明又は登録實用新案に付権利を有する者に意見書提出の機会を與へたる場合に於ては其の期間經過後前項の決定を爲すべきこと

第四 主務大臣總動員業務を行ふ者をして他人の特許發明又は登録實用新案を實施せしむるの必要ありと認めるときは内閣總理大臣に實施權の設置を請求することを得ること

第九 實施權者が補償すべき損失は實施に係る特許發明又は登録實用新案に付實施權設定の申請又は請求ありたる時に於て權利を有する者又は其の承継人が實施權の設定に因りて通常受くべき損失とすること

各省

を講ずるの要あり、斯る場合は現職の個人差を考慮の上學徒體位の向上増進を阻害することなき様留意すること

七、學徒の生活指導 近時學徒の衣食住の状態は學徒の風尚並に保健上極めて憂慮すべきものあるを以て學徒被服用の資材及食糧の確保を圖ると共に寄宿舎其の他居住に關し適切な措置を講ずること

八、教材並に學用品の確保 教材並に學用品の供給甚しく圓滑を缺き特に地域に依りては實驗用の資材、實習用の學品及用紙、布地、絲等の入手困難の爲實驗、實習並に習字、圖畫、工作、裁縫等の授業休止のもの尠からざる實情にあるを以て早急に之が適切な對策を講ずること

九、學校行事の統一化並に事務簡易化 近時學校に於ける各種行事は極めて多きを加へ爲に所定の授業實施を阻害するの虞あり、加ふるに各方面より各種の調査事項等依頼の爲甚しき事務の増加を來たし教職員は之が處理に忙殺せられ教育能率の低下を憂慮せらるるを以て各種行事の統一化並に事務の簡易化に付適切な措置を講ずること

十、師範學校に關する事項 師範學校制度の圓滑なる運営を期する爲府縣と國民學校教育との關係に鑑み師範學校官立移管以後に於ても之が運営に關し府縣廳をして之に參畫せしむる様法の根據を持たしむること

十一、中等學校に關する事項 1、實業學校中特に農業學校、工業學校、職業學校等に於ては其の教育効果を十全ならしむる爲夫々地方の實情に即する教育を實施する様指導すること 2、實業學校等に於ける教員補充對策の一助として會社、事

全國經濟部長會議

【三・四】全國經濟部長會議は十四日、十五日の兩日に亘つて開催され新米の道府縣供出並に主要食糧の消費割當に關する件等につき協議された

文部省委員地方視察意見書

提出

【三・五】文部省では去る十月十日より約一週間に亘り東北、關東、關西及び九州の八府縣に、山川建男以下十二名の文部省委員を派遣各地方につき文部行政の實際について視察せしめ、派遣委員は夫々教育狀況視察に基き意見書を作成中とのところ成案を得るに至つたので十五日午後二時より開催された文部省委員會にこれを報告文部當局に上申した、意見書の内容左の如し

△文部省委員教育狀況視察に基き意見書

一、教員の待遇改善 1、待遇官たる公立學校職員を本官とし中等學校、國民學校職員の最上官を勤任とするの途を開くこと 2、精神的優遇の方途を考究し地方に於ける行事等の場合は教育者尊重の取扱を爲すこと 3、教員の厚生 4、學徒の勤勞奉仕並に練成 學徒の勤勞奉仕に付ては徒らに勞働能率の増進に促はるゝこと 5、教育の本旨に即して之を實施すると共に勤勞奉仕、練成等が畫一的に實施せらるる結果却つて逆効果を來たす虞あるを以て、之が實施に付ては學徒體位

全國經濟部長會議

【三・四】全國經濟部長會議は十四日、十五日の兩日に亘つて開催され新米の道府縣供出並に主要食糧の消費割當に關する件等につき協議された

文部省委員地方視察意見書

提出

【三・五】文部省では去る十月十日より約一週間に亘り東北、關東、關西及び九州の八府縣に、山川建男以下十二名の文部省委員を派遣各地方につき文部行政の實際について視察せしめ、派遣委員は夫々教育狀況視察に基き意見書を作成中とのところ成案を得るに至つたので十五日午後二時より開催された文部省委員會にこれを報告文部當局に上申した、意見書の内容左の如し

△文部省委員教育狀況視察に基き意見書

一、教員の待遇改善 1、待遇官たる公立學校職員を本官とし中等學校、國民學校職員の最上官を勤任とするの途を開くこと 2、精神的優遇の方途を考究し地方に於ける行事等の場合は教育者尊重の取扱を爲すこと 3、教員の厚生 4、學徒の勤勞奉仕並に練成 學徒の勤勞奉仕に付ては徒らに勞働能率の増進に促はるゝこと 5、教育の本旨に即して之を實施すると共に勤勞奉仕、練成等が畫一的に實施せらるる結果却つて逆効果を來たす虞あるを以て、之が實施に付ては學徒體位

全國經濟部長會議

【三・四】全國經濟部長會議は十四日、十五日の兩日に亘つて開催され新米の道府縣供出並に主要食糧の消費割當に關する件等につき協議された

文部省委員地方視察意見書

提出

【三・五】文部省では去る十月十日より約一週間に亘り東北、關東、關西及び九州の八府縣に、山川建男以下十二名の文部省委員を派遣各地方につき文部行政の實際について視察せしめ、派遣委員は夫々教育狀況視察に基き意見書を作成中とのところ成案を得るに至つたので十五日午後二時より開催された文部省委員會にこれを報告文部當局に上申した、意見書の内容左の如し

△文部省委員教育狀況視察に基き意見書

一、教員の待遇改善 1、待遇官たる公立學校職員を本官とし中等學校、國民學校職員の最上官を勤任とするの途を開くこと 2、精神的優遇の方途を考究し地方に於ける行事等の場合は教育者尊重の取扱を爲すこと 3、教員の厚生 4、學徒の勤勞奉仕並に練成 學徒の勤勞奉仕に付ては徒らに勞働能率の増進に促はるゝこと 5、教育の本旨に即して之を實施すると共に勤勞奉仕、練成等が畫一的に實施せらるる結果却つて逆効果を來たす虞あるを以て、之が實施に付ては學徒體位

すの虞れあるとき
前項の處分は豫め警告を爲したる後之を行ふものとする

第五 主務大臣は第七の規定に該當する者に對し出版事業の綜合的統制運営を圖り且つ出版事業に關する國策の立案及遂行に協力することを目的とする團體の設立を命ずることを得るものとする

第六 第五の規定に依る團體は其の目的を達する爲左に掲ぐる事業を行ふものとする

①出版企畫其の他出版事業の運営に關する統制指導②出版物用紙其の他の資材の配給の調整③出版物配給機關の統制指導④出版従業者の厚生施設及養成訓練の實施⑤出版事業の向上に關し必要な調査研究⑥其の他本團體の目的を達するに必要な事業

第七 第五の規定に依る團體の會員たる資格を有する者は左に掲ぐる者にして主務大臣の指定するものとする

①出版事業主②出版事業に關係ある事業の事業主③前各號に掲ぐる者をして組織する團體

第八 重要産業團體令第八條第二項及第九條乃至第三十六條の規定は統制會の會員たる團體を組織する者に關する部分を除き第五の規定に依る團體に之を準用するものとする

本要綱に規定するものを除くの外第五の規定に依る團體に關し必要な事項は命令を以て之を定むるものとする

第九 本制度は第五の規定に依る團體に關するものを除くの外前各號に準じ各外地にも之を實施すること

△臨時製鹽地等の管理に關する勅令 案要綱

第一 製鹽地又は製鹽用施設の所有者、賃借人其の他權原に基き當該製鹽地又は製鹽用施設に依り鹽の製造を爲すことを得る者(以下權利者と稱す)其の製鹽地又は製鹽用施設を鹽製造以外の目的に供せんとするとき又は鹽製造以外の目的に供せんとする者をして其の所有權、地上權、賃借權其の他の權利を取得せしめん

とするときは大藏大臣の許可を受くべきものとする

但し大藏大臣の定める場合に付ては此の限に在らざるものとする

製鹽地又は製鹽用施設を鹽製造以外の目的に供する爲其の所有權、地上權、賃借權其の他の權利を取得せんとする者亦前項に同じきものとする

第二 大藏大臣は製鹽地又は製鹽用施設の權利者に對し大藏大臣の適當と認むる者をして鹽の製造を爲さしむる爲賃貸其の他必要な措置を命じ得るものとする

前項の命令ありたる場合に於ては製鹽地又は製鹽用施設の權利者は賃貸料其の他の事項に關し前項の者と協議すべきものとする

協議調はず又は協議を爲すこと能はざる時は地方專賣局長の裁定する所に依るものとする

第三 本制度は必要に應じ前各號に準じ各外地にも之を實施すること

備考 本要綱に於て鹽とは鹹水を含むものとする

【三・五】文部省では去る十月十日より約一週間に亘り東北、關東、關西及び九州の八府縣に、山川建男以下十二名の文部省委員を派遣各地方につき文部行政の實際について視察せしめ、派遣委員は夫々教育狀況視察に基き意見書を作成中とのところ成案を得るに至つたので十五日午後二時より開催された文部省委員會にこれを報告文部當局に上申した、意見書の内容左の如し

△文部省委員教育狀況視察に基き意見書

一、教員の待遇改善 1、待遇官たる公立學校職員を本官とし中等學校、國民學校職員の最上官を勤任とするの途を開くこと 2、精神的優遇の方途を考究し地方に於ける行事等の場合は教育者尊重の取扱を爲すこと 3、教員の厚生 4、學徒の勤勞奉仕並に練成 學徒の勤勞奉仕に付ては徒らに勞働能率の増進に促はるゝこと 5、教育の本旨に即して之を實施すると共に勤勞奉仕、練成等が畫一的に實施せらるる結果却つて逆効果を來たす虞あるを以て、之が實施に付ては學徒體位

【三・四】全國經濟部長會議は十四日、十五日の兩日に亘つて開催され新米の道府縣供出並に主要食糧の消費割當に關する件等につき協議された

【三・五】文部省では去る十月十日より約一週間に亘り東北、關東、關西及び九州の八府縣に、山川建男以下十二名の文部省委員を派遣各地方につき文部行政の實際について視察せしめ、派遣委員は夫々教育狀況視察に基き意見書を作成中とのところ成案を得るに至つたので十五日午後二時より開催された文部省委員會にこれを報告文部當局に上申した、意見書の内容左の如し

△文部省委員教育狀況視察に基き意見書

一、教員の待遇改善 1、待遇官たる公立學校職員を本官とし中等學校、國民學校職員の最上官を勤任とするの途を開くこと 2、精神的優遇の方途を考究し地方に於ける行事等の場合は教育者尊重の取扱を爲すこと 3、教員の厚生 4、學徒の勤勞奉仕並に練成 學徒の勤勞奉仕に付ては徒らに勞働能率の増進に促はるゝこと 5、教育の本旨に即して之を實施すると共に勤勞奉仕、練成等が畫一的に實施せらるる結果却つて逆効果を來たす虞あるを以て、之が實施に付ては學徒體位

【三・四】全國經濟部長會議は十四日、十五日の兩日に亘つて開催され新米の道府縣供出並に主要食糧の消費割當に關する件等につき協議された

【三・五】文部省では去る十月十日より約一週間に亘り東北、關東、關西及び九州の八府縣に、山川建男以下十二名の文部省委員を派遣各地方につき文部行政の實際について視察せしめ、派遣委員は夫々教育狀況視察に基き意見書を作成中とのところ成案を得るに至つたので十五日午後二時より開催された文部省委員會にこれを報告文部當局に上申した、意見書の内容左の如し

△文部省委員教育狀況視察に基き意見書

一、教員の待遇改善 1、待遇官たる公立學校職員を本官とし中等學校、國民學校職員の最上官を勤任とするの途を開くこと 2、精神的優遇の方途を考究し地方に於ける行事等の場合は教育者尊重の取扱を爲すこと 3、教員の厚生 4、學徒の勤勞奉仕並に練成 學徒の勤勞奉仕に付ては徒らに勞働能率の増進に促はるゝこと 5、教育の本旨に即して之を實施すると共に勤勞奉仕、練成等が畫一的に實施せらるる結果却つて逆効果を來たす虞あるを以て、之が實施に付ては學徒體位

【三・四】全國經濟部長會議は十四日、十五日の兩日に亘つて開催され新米の道府縣供出並に主要食糧の消費割當に關する件等につき協議された

【三・五】文部省では去る十月十日より約一週間に亘り東北、關東、關西及び九州の八府縣に、山川建男以下十二名の文部省委員を派遣各地方につき文部行政の實際について視察せしめ、派遣委員は夫々教育狀況視察に基き意見書を作成中とのところ成案を得るに至つたので十五日午後二時より開催された文部省委員會にこれを報告文部當局に上申した、意見書の内容左の如し

△文部省委員教育狀況視察に基き意見書

一、教員の待遇改善 1、待遇官たる公立學校職員を本官とし中等學校、國民學校職員の最上官を勤任とするの途を開くこと 2、精神的優遇の方途を考究し地方に於ける行事等の場合は教育者尊重の取扱を爲すこと 3、教員の厚生 4、學徒の勤勞奉仕並に練成 學徒の勤勞奉仕に付ては徒らに勞働能率の増進に促はるゝこと 5、教育の本旨に即して之を實施すると共に勤勞奉仕、練成等が畫一的に實施せらるる結果却つて逆効果を來たす虞あるを以て、之が實施に付ては學徒體位

【三・四】全國經濟部長會議は十四日、十五日の兩日に亘つて開催され新米の道府縣供出並に主要食糧の消費割當に關する件等につき協議された

業場等の職員中の適任者を講師として委嘱し教育に協力せしむるは極めて時宜に適合する緊要事と認めらるゝに依り學校より之が依頼ありたる場合は積極的に協力せしむる機會、事業場等に對し豫め文部省より連絡の方途を講ずること

十二、青年學校に關する事項
1、青年學校制度の刷新振興に付ては飽く迄青年學校の本質に持らざる様留意すると共に特に其の特質を助長するに努め其の運営に付ては各地方の實情に即し得る様弾力性を持たしむること

2、青年學校の校舍建築等の爲にする起債に付ては國民學校と同様の取扱を爲すこと
3、青年學校に於ける教練の専任教師を設置すること
4、青年學校卒業生に對し相當の特典を附與する様考慮すること

逓信委員現地視察報告

【三・六】逓信省委員は去る十月四日より十二月十三日迄、全國七班に分れて逓信事業の各領域に亘り、現地調査を行ったが、右終了後小委員會を設けて、各班の調査報告を討議した結果、逓信厚生關係、電氣關係、貯金保險關係及び港灣關係の四項目に集約し、十六日委員會を開き、寺島選相に答申した

一、逓信厚生關係、逓信現業員に對する待遇、厚生面に主眼を置き、通信業務に對する民間側の要求等も反映した
二、電氣關係、電源擴充促進、電力供給計畫の合理化、配電事業の擴充促進、電力消費規正の強化及び合理化につき重點的の諸事項を強調した
三、貯金保險關係、貯金保險の普及

強調について、政策的事項と事務的事項を明示、戦時下貯金保險事業の確立を要望した
四、港灣關係、港灣行政統一と港灣荷役力増強の二大目標の下に、海運行政の高能率化の具現を要望すると共に、標準型、船舶建造促進について言及した
なほ右のうち電氣關係及び港灣關係の内容は左の通り

△電氣關係
(一)電源擴充促進の件 逓信省は各地に存する電力開發計畫、發電所擴張計畫等に付て再検討を爲し重點的に之が實現或は完成の方策を樹て、關係官廳に十分の協力を求め必要な資材に付ては電源擴充の緊要性を認識せる物動計畫を樹立せしめて其の促進を計ること
(二)電力供給計畫の合理化と配電事業の擴充促進の件 電力供給計畫に就ては左の諸點に留意するの要ありと認む

第一、配電設備の擴充を計ること
此點に關しては前項電源擴充に付て述べたと同様其の必要性的認識を新にしたる必要資材確保の物動計畫を樹てしむるの要あり
第二、目下の生産力の實情よりすれば電力供給施設の擴充のみを以てしては所期の効果を擧げ得ざるは容易むること
に想像し得る所なるを以て更に之が補足的且つ應急的對策として工場立地の見地より電力供給に至便なる條件を基礎とする工場分散主義に依る能率的配電計畫の樹立に重點を置くこと

第三、更に送電上のロスノ輕減(若は利用)代用電線資材の實用化、或は中國配電株式會社が試験的實施を

なしつゝある如き晝夜間及夜間配電線の整理利用等實用的なる技術研究を進め之を實行に移すこと
三、電力消費規正の強化及合理化の件 電力の有效利用を圖るには相當強度の消費規正を行はざるべからず其の結果消費者をして電力使用の合理化を圖らしめざるべからず
△港灣關係
一、港灣行政統一の件 港灣行政の統一を實現し、中央に於て海務院、地方に於て海務局を整備擴充して港灣行政を一元包括せしむるの要あり
1、中央機構として海務院を整備擴充し港灣行政全般殊に最も中樞をなす港灣の建設施設の擴充計畫の如きを擧げて海務院の所管とし其の運用の完壁を期する爲工事施行に當る内務省の技術者は之を逓信省の兼務とするの外港灣に實際の經濟學識ある者を以て中央港灣委員會と云ふが如きを逓信省に設置する等の途を講じ以て計畫の綜合性及適應性の發揮を計ること
2、地方機構として海務局を整備擴充し特に重要港灣に於ては港灣廳と云ふが如く特に有力なる機關とし苟も其他港灣の運営に關する事務は凡て之に包括所管せしめ其の運用の適正を期する爲中央委員會に對し地方港灣委員會を之に屬せしむること
二、港灣荷役力増強の件 港灣荷役力の増強に關しては戰時緊急措置を決定し當りては船舶輸送力の割期的増強を實現する爲特に左の諸點に留意あらむことを望む

一、港運會社の運営に關する件
1、港運會社の重役の任免は國家總動員法に基き嚴格に之を取扱ひ苟も

國策協力に缺く所なきを期すること
2、港灣會社の運営に當りては官僚の弊に陥らざる様前掲の港灣委員會を活用して監督指導すると共に畫一主義に陥らず各地の實情に即する創意と工夫の餘地を與ふること
3、海運貨物仲立業等の如き特異性ある業態に對しては法的に十分有効適切に其の機能を發揮し得る様措置し以て作業會社との接觸面を圓滑にして荷役に利する様務をむべきこと
4、港運會社の成立を見越して爲さるゝ諸要求例へば解賃値上要求の如きに付ては其の不合理なるものを極力排除して將來に禍根を残さざる様すること

一、荷役勞務要員確保の件
1、開議決定に依る港灣勞務要員の優先割當を行ひ又企業者に對する特別獎勵金交付制度を實施するに當り勞務賃銀統制水準の引上、月額賃銀制度、補助金交付制度、出來高拂制度に依る歩増賃銀制獎勵賃銀制度等の方途を講じて生活の安定を圖ると共に他面勞務時間に就ては理論に墮するることなく我國特有の勞務指導理念に基き能率を最高度に發揮せしむること
2、簡易住宅浴場等福利厚生施設を至急擴充すること
3、食糧、作業必需物資の配給の實施は海務局監督の下に船舶運營會をして一元的に行はしむること
4、一般自由勞働者に對し勞務報國團を強化して其の統制を行ひ賃金も常備者として均衡を保たしむる方途を講ずること
5、港灣勞務者の鍊成機關は港灣關係統制會の費用に於て之を設置すること

一、其の他港灣荷役増強に必要と認めらるゝ措置

1、荷役機械の整備は我國港灣の現狀及び勞務對策の將來より見て急務中の急務にて開議決定の次第あるも重點的且簡易なるものより至急之が整備の方途を講ぜられたること
2、荷役時間の短縮を計る爲本船に於ける荷役準備を縮地碇泊迄にハツテ其他の施設を作業し得る様準備するの途を開かしむること
3、港灣出入貨物に對しては優先的にトラツクの配給を考慮すること
4、船舶通報制限に對し各港地形に應じ航路及燈臺等の利用に依り荷役準備期間を與ふる様出來得る限り速に入港を通報し得るの手段を工夫せしむること
5、解修繕を迅速ならしむる爲め工事を解持主の直營とすること
6、現行小型汽船の運航に對し適當の監督を嚴にし豫定入港日を確守せしめ解の本船入港待ち碇泊を除去すること
7、大型、木型船の運賃の船型に依る差別の不合理より來る輸送の支障を除く爲運營會に於けるブール計算等の方途を以て平等化を計ること
三、標準型船舶(主として木造船)建造促進の件
一、資材及造機整備の件 木造船の主資材たる木材殊に曲材の配給が木居ることは各地造船所の等しく訴ふる所に於て其の原因の主なるものはブロック割當の不合理と規格決定の不備に歸す逓信省は速に關係省をして之等の缺陷を是正せしむる様せられたし

造機關係に於て不整備なる下請工場への依存、鑄物用コークスの入手難等の原因として計畫造船の進捗に支障を來しつゝあり之が整備の要あり

と認む
一、工員確保の件 木造船工員減少の傾向は近來著しきものであるに徴し速に之が養成保護の政策を樹立するの要あり

外地・地方

久留米市長決定

【三二六】久留米市では十六日市長推薦市會を開會、神戸市第二助役後藤多喜藏氏を満場一致決定した

船橋市長に谷口中將

【三二七】船橋市長長詮衛協議會は午後二時開會、全會一致で同市東町豫備陸軍中將谷口元治郎(五八)氏を推薦、その承認を得た

翼賛政治會

有志議員聯合、機構改革を進言

【三二八】第八十一回帝國議會召集を旬日に控へて翼賛政會機構及び運営方式を改革、強化せんとする翼賛政會内の衆議院分野の動きは漸次活潑化してゐるが右主張を具體化すべく經濟議員聯盟、廿日會、清新俱樂部の聯合發起人會が十四日午後二時から九段の新議長官舎に開催され、經濟議員聯盟を中心とする實力層より東條、津雲、松田(竹)、中井、松永(東)、加藤(鯛)、青木(精)、川島、上田、三好、津崎、綾部、廿日會より森下、小高、野口、馬場、依光、

西川、川崎(末)、小泉(純)、伊藤(五)、森田(重)、山本(象)、中村(梅)、松浦(周)、喜多、成島、清新俱樂部より本領、赤尾、薩摩、池田(正)、田中(伊)、木下(郁)、濱田、小林(鐵)、酒井、今尾、大倉、阪本、福家、竹内、楠美、角、山口(喜)、田中(藤)、今牧、有馬、原口(純)、木村(寅)、金光(邦)、東、橋橋、山崎(常)氏等五十三氏が出席、青木精一氏を座長として政治力強化の方途に關し

一、國民の政治的熱意を昂揚するため一元的國民政治組織を確立すること
一、翼政會の機構を適材適所主義、良心的効率主義に改革すること
一、翼政會活動の責任を中外に對し明確ならしむるよう機構を即時改革すること

▲一元的國民政治組織を要望
【三二九】翼政會所屬の衆議院の有志代議士會は十九日午前十時半から院内豫算委員室に開催、津雲、三好、川島、津崎、中井、青木(精)、喜多、三木(武)、福家、本領、阪本、濱田氏等百餘名出席、津崎尙武氏を座長とし翼政會の政治力強化、機構の改革、國民政治意識の昂揚その他につき各議員から活潑なる意見の開陳あり、左の申合せを決定した

△聯合 我々は、現下の戦局の推移に鑑み、統後の一切の職權機構が一刻も早く純粹競争制に整備せられねばならぬことを痛感する、就中我々自身の職域たる政治界たるや、その本質として總ての國民的社會活動に先行すべきであるから、最も卒直果敢にその

機構を戰爭體制化しなければならぬこと言を俟たない
すなはち、行政の改善も、生産力の擴充も國民士氣の作興も、國民生活の安定も、すべて戰爭段階に相應はしき政治力の行使により、初めてその實現を期し得るのであるから強力にして責任ある政治力こそは、正に戰爭完遂のための統後起動力と云ふ可きである、而して、今日國內に於ける政治の強力なる推進力は、我國唯一の政事結社たる我が翼賛政治會に存しなければならぬこと亦自明の理であり、従つて、翼賛政治會の機構を戰爭體制化することが、直ちに如上の要請に即應し得るものたることを確信して疑はない

抑々翼賛政治會成立そのことが、政治界のいはゆる舉國一致を形體的に現出せるものであるから、我々は、この意義ある形體の維持に對し、毫末も反對若しくは破壞的意志を抱くものではない、要すれば、この形體的舉國一致の政治力結集體をして、その實力を強化せしめ、我々會員たるもの、特に國民よりその代表として直接進出せられたる衆議院議員たるものが、その政治的良心の指示するところに従ひ、各自の能力を完全に發揮し得る態勢を整へ、以て國民に對する責任の一端を果し得るが如く改革することを要望するのである

かくの如き我々の要望は、云ふまでもなく今日の政治が、一に競争に勝つための、而して競争に勝つる政治でなければならぬとする端的な動機より出でたるもので、それ以外に何等の私心を挿むものではない、我々は、今日の國家の危局に處して、政治を最も遲鈍なる速度を以て進む

者に我々の歩調を合せてゐなければならぬやうな現状を、もはや堪へきれぬものとなすのであつて、殊に第八十一議會の開會を目途の間に控へたる今日、花苜拱手目送するに忍びず、せむしも之を先んじて左の諸事(一)翼政會の舉國政事結社たるの本義に鑑み全國的下部組織を作ることに申合を行ふ所以である

○國民の政治的熱意を昂揚するため一元的國民政治組織を確立すること
○本會機構の各局部の活動の責任を内外に對し明瞭ならしむべき改善を行ふこと
○本會の機構をして眞價實力に基き適材を適所に配屬せる良心的にして且效率的なるものたらしむべき改善を行ふこと
昭和十七年十二月十九日 翼賛政治會所屬有志衆議院議員

▲實行委員で協議【三三〇】右の申合の實現を期する實行委員(二十名)は廿日正午院内議長應接室に參集、次の如き具體策を決定した

具體方策
(一)議會の戰時的運営の完璧を期しその責任を内外に明かにするため院内役員機構を左の如くすること
(二)議會總務の人は翼政會本部總務たるのと否とに拘らず個別に専ら議會運営の見地に基くこと
(三)議會總務中より筆頭總務(一名)を定むること
(四)議會幹事(一名)の趣旨を(イ)と同様たらしめること (ロ)議會幹事長を置くこと (ハ)及(ニ)は本部規約第九條に基くこと

○筆頭總務(一名)を置くこと
○翼政會本部機構を左の如く改むること
○議會總務(一名)及び幹事を置くこと
○幹事長は衆議院議員をもつてこれに充て幹事は貴、衆議院議員及び各界より選ぶこと
○事務局は幹事長に隷屬せしめること
○翼政會の舉國政事結社たるの本義に鑑み全國的下部組織を作ることに

生擴對策要綱進言

【三三一】翼政會政務調査會では現下喫緊の要請たる重要物資の生産増強、統制經濟運営の刷新、強化等に關し具體案を得べく、商工及び逓信委員會に各小委員會を設け、鋭意研究を重ねて來たが十四日午前十時から本部に政調役員會を開き、最後の調整をなし、午後二時から常任總務會、同三時から總務會を開き正式決定した、依つて即日阿部總裁の名を以て東條首相ほか全關係に申達、實施方につき要望した

▲戰爭經濟體制確立要綱
第一 基本方針
大東亞戰爭の現段階は如實に武力戰則生産戰の様相を示し來り、今や我國は舉國必勝の信念の下、一切の生産設備、資材、勞務を總動員し、其最高効率を發揮して劃期的に戦力増強を圖るべき秋なり、仍て根本方針を戰爭經濟體制に指向し、遂に純然たる戰爭經濟體制を確立すると共に之に伴ひ強力なる國家的諸施策の實現に邁進するを要す

第二 實施方策
戰爭經濟體制の確立は重點主義に基き、特に鐵鋼、石炭非鐵金屬、輕金屬、船舶、航空機等の重要産業の生産増強を目的とし、汎ゆる施策を之

に集中して強力に遂行するを要す、其の要目概ね次の如し

一、強力なる一元的行政機構の確立
資材、資金、勞務等の統制、管理、監督其の他基本的な重要産業の生産増強に關する事項を一元的に統一し以て其の生産の飛躍的増強を遂行する爲に内閣に簡素強力なる行政機關を設け置し就中左の諸項を實行するを要す
○勞務、資金、資材等の総合的計畫を有權的に決定し得ること
○右計畫に對しては各廳及各種統制團體の由の責に任ずること
○右計畫にお

いて承認せられたる重要産業の企業者は本計畫に基き、資金、資材、勞務等統制に關する手續を省略して優先的供給を受けるものとすること
○本行政機關は計畫の實施の統制を行ふと共に監査機能を有し、統制運用の適正を期するものとすること
二、即時産業精神の作興、軍需品其他重要物資の生産は戰爭遂行、國家目的達成上の要請に出づるの實情に鑑み、企業關係者が眞に國家奉仕、産業應召の榮譽と矜持を以て生産に従事する如く適切な措置を講ずると共に功績優秀なるものに對しては論功行賞又は報賞の途を招くことを要す

三、國家投資の擴大、重要産業における緊急設備擴張に付ては、平和産業設備、非能率設備又は遊休設備の活用なる轉用を計り且大膽なる國家投資を行ひ、以て當該企業の飛躍的生産増強の急需に關するを要す
四、統制方式の刷新、價格、經理、賃銀に關する統制方式を刷新し、人の性能心理に即應する施策を行ひ又企業に對しては適正利潤を認むる等企業擔當者に希望を與へ更に優秀企

業に對しては益々其の高性能を發揮せしむるが如き措置を講じ以て生産増強を達成するを要す
五、物資配給の改善、重要産業擔當企業に對する物資配給は國の一元的統制に即應し簡素敏捷に實施し得る如く統制方式を改善し、統制會社等を通じて配給せらるる物についても段階を整理して經費及時間の負擔を軽減するを要す同地方行政廳において行ふ物資配給についても地域的割據の弊を打破する措置を講ずるを要す

業に對しては益々其の高性能を發揮せしむるが如き措置を講じ以て生産増強を達成するを要す
六、經濟統制團體の刷新改善
○統制會等の刷新、統制會の運営の重點は重要産業の生産増強の施策に指向し敏捷に實現に努力すべくこれに對し資金、勞務等に關し委讓權限を擴大すると共に人事の刷新、經理の合理化事務能率の向上を圖り、以て統制會の機能を充分發揮せしむるを要す
○前項に準じ刷新するを要す統制會の運営を以てしては所期の生産増強を達し難き企業に付ては別經營組織を考究するを要す

△基本物資緊急増産對策要綱
鐵鋼、石炭、非鐵金屬、輕金屬等は軍需資材として且亦重要産業の基本的物資として飛躍的増強を計り戰後の急需に應ずるの要あり、大東亞共榮圏には豊富なる資源を抱擁しこれが開發は着々實效を擧げ奇異の所大なるものもあるものあり、過程に即應し、更に各般の事情を勘定し、且つ緊迫せる現狀に對應し緊急施策を講ずるの要ありと認む
△要領
一、前記の重要物資の生産増強には徹底したる重點主義に依り勞務、資材、資金、電力、運輸を集中動員し以て其實效を擧ぐるの要あり、特に勞務、運輸對策に就ては曩に作案したる施策を徹底せしむる事肝要なり
二、増産計畫策定に當りては統制會等を動員するの外要すれば國家機構の一部として民間の優秀なる技術者の動員し、徹底したる實行案を立案せしめ、之に基き強力に増産を圖り又右の實施に伴ひ必要ある場合には國家負擔の措置を講ずべきものとす
二、鐵鋼生産増強對策
○國內資源の開發
○船舶輸送の緩和を圖ること
肝要なる事態に鑑み急速に國內鐵鋼資源の徹底的開發を圖ること
○鐵鋼資材の回收強化
○鐵鋼増産の急需に應ずる爲、廣く國內に於ける不要資材及不急設備を徹底的に回收利用すること、之が爲生ずる損失は國庫に於て之を負擔すること
○鐵鋼配給の根本的規正
○生産力擴充計畫を再檢討し、事情の急變に即應する如く産業の重點的再編成を講ずると共に、鐵鋼の配給を規正し、且つ一般産業に對する資材に就ても強度の規正を行ふこと
○在庫資材の調整整理
○鐵鋼製品在庫調査を整備し軍官民相互に融通の途を講じ、資材の調整を圖ること
○製造設備の調整
○鐵鋼に關する製造設備の不均衡に因る生産障礙に就ては企業整備を斷行し速に生産増強を圖ること
○價格政策の調整
○ブル半準價格制の活用を圖り各種鐵鋼製品の間存する價格の不均衡を是正すると共に鐵鋼増産に對する補償限度の適正を圖り生産増強に資すること
○共榮

△要領
一、前記の重要物資の生産増強には徹底したる重點主義に依り勞務、資材、資金、電力、運輸を集中動員し以て其實效を擧ぐるの要あり、特に勞務、運輸對策に就ては曩に作案したる施策を徹底せしむる事肝要なり
二、増産計畫策定に當りては統制會等を動員するの外要すれば國家機構の一部として民間の優秀なる技術者の動員し、徹底したる實行案を立案せしめ、之に基き強力に増産を圖り又右の實施に伴ひ必要ある場合には國家負擔の措置を講ずべきものとす
二、鐵鋼生産増強對策
○國內資源の開發
○船舶輸送の緩和を圖ること
肝要なる事態に鑑み急速に國內鐵鋼資源の徹底的開發を圖ること
○鐵鋼資材の回收強化
○鐵鋼増産の急需に應ずる爲、廣く國內に於ける不要資材及不急設備を徹底的に回收利用すること、之が爲生ずる損失は國庫に於て之を負擔すること
○鐵鋼配給の根本的規正
○生産力擴充計畫を再檢討し、事情の急變に即應する如く産業の重點的再編成を講ずると共に、鐵鋼の配給を規正し、且つ一般産業に對する資材に就ても強度の規正を行ふこと
○在庫資材の調整整理
○鐵鋼製品在庫調査を整備し軍官民相互に融通の途を講じ、資材の調整を圖ること
○製造設備の調整
○鐵鋼に關する製造設備の不均衡に因る生産障礙に就ては企業整備を斷行し速に生産増強を圖ること
○價格政策の調整
○ブル半準價格制の活用を圖り各種鐵鋼製品の間存する價格の不均衡を是正すると共に鐵鋼増産に對する補償限度の適正を圖り生産増強に資すること
○共榮

△要領
一、前記の重要物資の生産増強には徹底したる重點主義に依り勞務、資材、資金、電力、運輸を集中動員し以て其實效を擧ぐるの要あり、特に勞務、運輸對策に就ては曩に作案したる施策を徹底せしむる事肝要なり
二、増産計畫策定に當りては統制會等を動員するの外要すれば國家機構の一部として民間の優秀なる技術者の動員し、徹底したる實行案を立案せしめ、之に基き強力に増産を圖り又右の實施に伴ひ必要ある場合には國家負擔の措置を講ずべきものとす
二、鐵鋼生産増強對策
○國內資源の開發
○船舶輸送の緩和を圖ること
肝要なる事態に鑑み急速に國內鐵鋼資源の徹底的開發を圖ること
○鐵鋼資材の回收強化
○鐵鋼増産の急需に應ずる爲、廣く國內に於ける不要資材及不急設備を徹底的に回收利用すること、之が爲生ずる損失は國庫に於て之を負擔すること
○鐵鋼配給の根本的規正
○生産力擴充計畫を再檢討し、事情の急變に即應する如く産業の重點的再編成を講ずると共に、鐵鋼の配給を規正し、且つ一般産業に對する資材に就ても強度の規正を行ふこと
○在庫資材の調整整理
○鐵鋼製品在庫調査を整備し軍官民相互に融通の途を講じ、資材の調整を圖ること
○製造設備の調整
○鐵鋼に關する製造設備の不均衡に因る生産障礙に就ては企業整備を斷行し速に生産増強を圖ること
○價格政策の調整
○ブル半準價格制の活用を圖り各種鐵鋼製品の間存する價格の不均衡を是正すると共に鐵鋼増産に對する補償限度の適正を圖り生産増強に資すること
○共榮

△要領
一、前記の重要物資の生産増強には徹底したる重點主義に依り勞務、資材、資金、電力、運輸を集中動員し以て其實效を擧ぐるの要あり、特に勞務、運輸對策に就ては曩に作案したる施策を徹底せしむる事肝要なり
二、増産計畫策定に當りては統制會等を動員するの外要すれば國家機構の一部として民間の優秀なる技術者の動員し、徹底したる實行案を立案せしめ、之に基き強力に増産を圖り又右の實施に伴ひ必要ある場合には國家負擔の措置を講ずべきものとす
二、鐵鋼生産増強對策
○國內資源の開發
○船舶輸送の緩和を圖ること
肝要なる事態に鑑み急速に國內鐵鋼資源の徹底的開發を圖ること
○鐵鋼資材の回收強化
○鐵鋼増産の急需に應ずる爲、廣く國內に於ける不要資材及不急設備を徹底的に回收利用すること、之が爲生ずる損失は國庫に於て之を負擔すること
○鐵鋼配給の根本的規正
○生産力擴充計畫を再檢討し、事情の急變に即應する如く産業の重點的再編成を講ずると共に、鐵鋼の配給を規正し、且つ一般産業に對する資材に就ても強度の規正を行ふこと
○在庫資材の調整整理
○鐵鋼製品在庫調査を整備し軍官民相互に融通の途を講じ、資材の調整を圖ること
○製造設備の調整
○鐵鋼に關する製造設備の不均衡に因る生産障礙に就ては企業整備を斷行し速に生産増強を圖ること
○價格政策の調整
○ブル半準價格制の活用を圖り各種鐵鋼製品の間存する價格の不均衡を是正すると共に鐵鋼増産に對する補償限度の適正を圖り生産増強に資すること
○共榮

造船、海運對策進言

【三〇二】造船能率の向上並に戰時海運體制の確立は大東亞戰爭遂行上喫緊焦眉の要請たるに鑑み、翼政會政府調査會選信委員會では戰時海運對策委員會を設け、長世吉氏を座長とし十月以來海務院、造船統制會、船舶運管會その他關係各方面の實情を聽取するとともに全國各地の主要造船所並に港灣につき實地調査を遂げ中であつたが成案を得たので政調役員會、常任總務會總務會を経て正式決定、十六日阿部總裁から東條首相及び内務、大藏、海軍、農林、商工、

通信、厚生、大東亜各大臣並に企画院總裁に提出、進言した

一、海運體制の強化、我海運體制は造船の軍管理への移管、海務院の設置等を根幹として、漸次改善せられたりと雖も、今日海運に課せられたる使命の極めて重大なるに鑑み、造船計畫と其運営、港灣の修築並に行政等に關し、周到雄大な施策を樹つると共に、關係業者は勿論從業員をして應召精神に徹せしめ、渾然一體報國精神を昂揚し、以て現下決戦體制に即應する海運體制の確立を期するの要あり

二、造船進促に關する施策
①標準型船建造の促進 政府はさきに標準型船建造を策定したるが速かに續行船建造を處理するとともに標準型船舶については現下の要請に應じ其の種類を整理する等、重點的にこれが建造を促進するを要す

②造船資材の確保とその計畫配給 造船資材の配給は造船計畫が海軍大臣管掌に歸屬してより以來著しく改善を見たるも今日資材の調達は必ずしも容易ならず、仍て資材の動員回收を徹底し、更に現有資材の嚴重なる相通を敢行するの要あり、なほ動もすれば副資材の適時適量の配給伴はざるの憾あるにより各種造船資材を確保し其の配給に計畫性を與へ適時適量を適所に配給し以て極力建造期間の短縮化を圖るの要あり

③勞務の改善 各種産業に不可避の缺陷たる勞務者の不足は、造船界において亦これを不得ず、よつて曩に策案したる「勞務對策」並に「應急輸送對策」に俟つのほか、船舶建造の特異性に鑑み、次の如き施策を要す

①親工場と下請工場との連絡協調に計畫性を與へ、更に下請工場の効率を昂揚する方途を講じ、以て勞務の節約を圖り、極力親工場と下請工場との勞務の二重使用を廢除すること

②日備勞務者を結集して其の能率を昂上せしむるため、彼等の傳統的親分乾分關係を活用し、又これを法規の助成に俟つと共に、其の良質有能なる者に對しては、これを常備に編入する等機宜の措置を講ずること

③各工場に要員の養成訓練所を設置し、これが擴充強化を圖り、現在並に將來における工員勞務者の確保に資せしむるとともに、更に工員勞務者充足の恒久政策の一つとして、香港、瓜哇、昭南等にも華人の工員勞務者養成機關を特設すること

④木造船の建造 木造船の建造は短時日に多數を建造し得るのみならず、これが用途の一つには輸送の増強に資せしめ、一つには哨戒に當らしめると同時に、又敵襲に對する危険を分散し得る等其の長所尠からず、仍て其の建造の促進を圖るため

①徒に斯業の整理統合を強行し、以て業界を不安と混亂に陥らしむることなく、業者の創意と活動の伸長を圖ることとし、これに對し資材の供給、低利資金の融通、助成金の交付等を圖り、極力これが育成指導に努むること

②木造船建造の主資材たる木材殊に曲木の配給は、不圓滑なるが故に、これが緊急措置として用材の緊急増産を圖り、更に副資材たる釘、針金等の配給をも圓滑に爲す

三、潜水夫養成機關の助成 船舶輸送力増強の方途は、新造船によるのほか、沈没船の引揚、損傷船の修繕

等を盛んならしむるにあり、故に速かにこれが方策を樹立し、沈没船の引揚を促進するを要す、これがためには施設の増強を要するは勿論これ

が作業に従事する潜水夫の養成又は研究機關を助長する成し、以て潜水技術の習練昂上と人員の増加を期するの要あり、なほ潜水夫の養成にあたりては、將來における職業轉換をも考慮し下級船員の養成と關聯せしむるを要す

四、船舶修繕能率の昂上
①船舶の修繕に際しては、船舶修繕審査委員會並に造船統制會を中心とする修繕委員會の機能を發揮せしめ修繕個所の量員、船渠の種類、輸送の繁閑、新造船の工程等を彼此勘案し其の入渠の順位、日時、場所、資材、勞務の割當等の査定に計畫性を附與し、速に入渠修繕の進捗を圖るとともに輸送力の減退を防止すること

②從來船舶の修繕は、乗組員の協力によつて其の効率的確保と作業の完璧に寄與する所甚大なるものありたり、然るに近時航海に不可避なる監視哨戒等晝夜兼行の激務による疲勞困憊のためこれを忌避する傾向尠しとせず、よつて政府及び經營者は常時乗組員の訓練に留意し、又は國家的優遇の途を講じ、以て船舶の修繕に對する乗組員の協力を確保すること

③修繕用資材の配給はこれを適時適量に修繕期間の遅延を防止し以て一般輸送力の減退を惹起せざるやう留意すること

④船主の負擔せる諸經費中特に修繕料は著しく騰勢にあるが故に速かに適切な方策を講じ極力修繕料の適正化又は之が補填の途を考慮すること

五、備船料の適正化 戰爭の進展に伴ひ備船料の基礎的條件に變動を生じつゝあるを以て備船料の適正化を圖るの要あり、即ち、①新舊船舶に對し適正利潤を含めたる備船料を設定するの要あり、②備船料の設定にあたりては徵備船と政府使用船の備船料の水準化を期するを要す

六、海上保險料の合理化 從來海上保險料の計算は、船主の過去における海損の有無、保險金額、當該船舶修繕の程度、船員の優秀、船主の如何等各般の條件を秤量斟酌して決定せらるゝも、現在においては、總ての船舶の配船通航等は一元的統制下に置かれ、戰爭に等する海損の補償は國家自らこれに任ずるに至りたるをもつて可及的に保險料の水準化を圖り、且つ其の適正化を期するの要あり

七、船員の國家的優遇 戰時下船舶の軍事的性格より總て「船員水兵」の觀念の下に、交戦水域内において陸軍の待遇を與へ、且つ殉職者並に其の遺族に對しては國家的優遇の方途を講じ、以て船員の獻身的報國精神の作興に努むるの要あり

八、港灣増架の計畫化 大東亜戰爭遂行の基本要件たる船舶輸送力の強化は、船腹の増強を要請し、船腹の増強は港灣の増架とその施設の整備擴充を急務とする

九、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

十、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

十一、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

十二、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

十三、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

十四、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

十五、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

十六、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

十七、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

十八、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

十九、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

二十、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

二十一、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

二十二、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

二十三、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

二十四、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

二十五、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

二十六、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

二十七、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

二十八、港灣荷役能率の増強 港灣荷役能の轉換と其の増設、幹の回轉率昂上、機帆船の助長育成等に關しては、大東亜共榮圈樹立前の設計にさき「應急輸送對策」に提示せる所なるも、なほ作業會社の運営に關しては、其の官僚化の防止、人員配置の適材適所等を期するとともに、作業會社の一元化に伴ふ損失補償の徹底等に留意するを要す

大政翼賛會

國民總力戰思想の方策決定

【三二】 大政翼賛會調査會第三委員會(委員長四王天延孝氏)ではその所掌調査題目たる「國防協力體制の建設に關する事項」中總力戰思想を急速に普及徹底せしむることが現下喫緊の要請である點に鑑み、第一小委員會を設け仙波安藝氏を小委員長として國民總力戰思想の確立に關する調査研究を進めつつあつたが、この程結論に到達したので十一日總裁の裁決を経て政府に上申の手續きを執つた、報告書全文左の如し

十、港灣行政の一元化 現在港灣行政は複雑多岐を極め、而も其の間何等の有機的一體を見ざるが故に、港灣行政の統一、港灣能率の昂上、港灣施設の整備擴充等に對して、甚大なる支障なしとせず、よつて海務院の機構を擴充し一元的統制を行ふ等適切な方途を確立するの要あり

十一、船舶運管會の強化 船舶運管の如何は實に國防力の強化、生産力擴充更に國民生活の確保を具現し得るや否やの鍵鑰なり、然るに統制會に對しては既に權限の委譲を見たるも、最も迅速果敢なる運管を期待すべき船舶運管會には未だ其の委譲を見ず、よつて速に廣汎なる權限を委譲すると共に、下請運航實務者を整備し船舶運航の有機的一體化を圖り又船員の待遇改善、備船料の改定等を行ひ、以て決戦下における船舶運管の萬全を期するの要あり

十二、海軍大臣の權限強化 造船に關する海軍大臣の權限を一層強化擴充し以て全造船の一元的管理の下に全艦艇船舶建造の綜合計畫遂行を期し更にその指揮命令の徹底を期するため必要ある場合は機構の改革を圖るとともに他方國家總動員法に準據し既存の法規を檢討し若し刻下の急務たる造船促進に障礙し或は止むを得ざる場合にはその法規の一時停止を行ふ等適切な措置を講ずるの要あり

一、國民總力戰思想の確立に就て 力戰思想とは大東亞戰爭は精神力、武力、政治力、經濟力、科學力など國家總力を擧げての激烈深刻なる綜合戰(武力戰、思想戰、經濟戰、外交戰等)で、軍人ばかりでなく國民全體が戦はねばならぬ、國民一人一人が盡く戰士となるのでなければ、長期持久戦の覺悟を要することの戰爭に勝利を得ることは出来ないと云ふ考へを指す

二、國民總力戰思想の現狀 わが國には今日まだ「戰爭のことは兵隊さんに任せて置けばいいのだ」といふ風に呑氣に考へ、自分がこの戰爭で大きな割役を演ずべき立場にあることに、氣の付かない人があつて、氣が付きぬが奮發して行動に移す程深く自覺しないものがある、斯くては總力戰遂行上由々敷大事を惹き起す虞れがある

三、國民總力戰思想の普及徹底 國民總力戰思想の普及徹底のため、具體策として

1、戰爭目的を徹底せしめること 大東亞戰爭の目的は昨年十二月八日の詔書に炳として明かであるが、本戰爭の目的を國民に徹底せしむる爲め、尙一段の努力を必要とする、殊に大東亞戰爭は米英側より強いられたる、帝國の興廢を賭したる自衛の戰爭であり且つ肇國の理想に基く大東亞共榮圈を建設し、東洋永遠の平和を確保する爲めの聖戰であること

2、戰時意識を昂揚せしむること わが國は大東亞戰爭といふ曠古の大戰爭を行ひ居るに拘らず、開戦後將に一年を垂んとする今日でも、まだノンビリした平時氣分の抜け近いか人が少なくない、之れは戰爭を身近か人に感じてゐないからである、それ故特に戰爭意識の昂揚を圖らねばならぬ

其手段として ④國民に戰爭の實情をもつと知らせること 作戦上機密を要するものは別として、もつと戰爭の真相に觸れるものを多量に國民に知らせ、時には味方の苦戦の情況なども國民に知らせるだけでなく、戦果を得るために、ど

⑤長期戦に入り假令戰爭が幾年續いても、之れにうち勝つるの決意を固むべきであるが「然し急ぐな餘裕を保て」と説くのは誤りであつて大なる弊害が生ずる虞がある、ここに、二年の間は戰爭勝敗の大勢をきめる最

も重要な期間であるから國民總力戰が大に努力を要することを宣傳すべきである ⑥敵の空襲は現實の問題として國民に注意を喚起し、防空の施設、演習等を一層適切に指導することを要する、之れが實施に依り國民は身近に戰時意識を大に感ずる

獨逸の例を觀るに、獨逸開戦一年間は敵の空襲を受けたが一年後伯林に頻繁なる空襲を受けた居る言ふ情報に鑑み國民の覺悟を促すべしとある ⑦米英に對する國民の敵愾心を一層昂揚せしめ苦米英擊滅の熱意を揚げねばならぬ、米英が久しく東洋に加へ來たれる惡逆非道の歴史や、本戰爭中に米英の我同胞に加へたる非人道的處置等を國民の腦裏に打込み、彼等の殘忍性を明にし、決して負けられぬ競争を爲して居ること

國民總力戰思想を昂揚せしむること 國民の中で軍需産業や、礦物資源の生産に従事して居るものは戰爭に直接關係ある重要な役目を荷つて居るといふことを知つて居る筈であり、感心なる産業戰士の語も多々聞かざるものや、甚しきは利己的考へのもとに行動し生産に悪影響を及ぼして居るものがある、此等に對しては取締りを充分にし一般に國民總力戰思想の重要なことを徹底せしむべきで、近頃各省大臣が増産戰士又は團體に大臣賞などを授與してゐるのは之れ等産業戰士等に總力戰思想を植付ける上に効果が大きい産業戰士ばかりでなく、運輸、交通

四、國民總力戰思想の確立を妨害すべき原因の除去及び確立を助長すべき手段 辭を與へるなども効果が大きい、直接戰爭に關係なき仕事に従事して居るものでも戰爭に重要な役割を持つものなることを充分認識せしむべきで家庭婦人が家庭の健全の爲に最善を盡すことや、國民生活物資の供給に任ずる商人が親切公平なる販賣をなすことは直接戰爭に關係なき様であるが長期戦遂行に大なる貢獻を爲すものであり、殊に銃後戰爭生活の事情如何が第一線將士の士氣を著しく左右するものなること了解せしむべきである、又如何なる仕事に従事する者であつても、苟も國民たる以上は齊しく銃後戰士の一員として國內防衛に進んで協力するの覺悟を持たせなければならぬ、防犯、防諜、防空等も徒らに官の手におかぬものと云ふ様な考へ方を捨て、國民自ら

がおよびる力によつて之等の障害を豫防排除するの精神を喚起培養せしむべきである 「愛馬行進曲」が國民に深き感銘を與へた如く若し「國民總力戰歌」が出来て廣く歌はるならば總力戰思想昂揚に効果が少くないであらう、一「國民總力戰歌」の募集を提案するものである、以上の事を爲すに新聞雜誌、ラヂオ、映畫、演説、講演會等を活躍せしめ、翼賛會傘下諸團體や其他の團體を通じて實行運動を起すべきである、國の指導者が好機を捉へて積極的に國民に呼びかけることは特に國民に感銘を與へる 四、國民總力戰思想の確立を妨害すべき原因の除去及び確立を助長すべき手段 戰爭を遂行する爲め、國民總力戰思想の確立を必要とし、其手段に就き述べて來たが、國內には國民總力戰

思想の確立を妨害すべき事柄があり、之を除去せねばならない、又國民總力戦思想を助長すべき手段を講じ或は強化すべき多く他の委員の調査研究範圍に亘ることと思ふが總力戦思想の見地から次に之を列挙する

①、フリーメーソン秘密結社及びロイヤリ倶楽部の如き米英的ユダヤ的機關を撲滅し、米英思想ユダヤ思想を一掃する

②、赤化思想及び赤化(對官界、對民間)の撃滅に努力する

③、指導階級、富豪の自肅自戒を促す

④、日、獨、伊を離開するが如き言説を戒める

⑤、佛教廢止説の如き國民信仰及團結を破壊し思想混亂に導くが如き策謀に落ちるを戒むる

⑥、軍人援護思想の普及並事業の強化

⑦、健全なる國民思想確保の爲め、中産階級の維持に關し適切な政策を採る

⑧、大東亞建設の戰士として、諸民族の指導者として優秀なる人格(精神力、體力、智力)を有する國民を養成する

⑨、日常生活物資配給上の改善

⑩、轉廢業善後處置の改善

⑪、經濟統制上の改善

⑫、時の尊重及び勵行

⑬、集會を減ずる

⑭、日常生活殊に冠婚葬祭の簡易運動を起すこと

⑮、敵國語排斥運動を起すこと

⑯、反省日誌の記載を獎勵すること

⑰、足並を揃へて行進する運動を起すこと

【三〇三】 十七日の定例次官會議は午前九時より首相官邸に開會、星野書記官長より、時局に鑑み官廳における年末年始の休暇は中央も地方も局部課長級等の幹部は昨年同様取止めた旨を提議し、次官會議申合

としてこれを異議なく決定、次いで森山法制局長官より教育制度改革に關する諸勅令案の樞密院における審査状況につき、順調に進捗してある旨報告、同九時四十分散會した

大政翼賛會に於ては右趣旨に即し休暇取止めの國民運動を全國的に展開することとなつた

六大都市翼賛會支部會議

【三〇八】 六大都市翼賛會支部組織庶務部長會議は午前十時半から名古屋市徳川園で水島(横濱)、添(神戸)、谷垣(大阪)、村田(京都)の各組織兼庶務部長(東京缺席)に地元各古屋

から佐藤支部長、奥村庶務部長參集して開催、今回六大都市にも設けられる虚報、商報等傘下諸團體の統制委員會の設置に關しては各都市とも緊密な連絡を保つてこれに當ることを申合せ、ついで曩に大阪支部の

主唱によつて始められた「頑強な運動」は闘争運動に限られてゐたのをこれを生産増強の具現にまで擴大し戦力の増強へ挺身、明年一月から

「さあ二倍、三倍勝ち抜かう」といつた簡単なスローガンを掲げて第二次運動を申合せた、また新規徴用者の後援、激勵の問題まで取り上げられたが同問題は國家的なものであるから本部の根本的指示を持つこととし、玄米食普及問題についても懇談散會した

【三〇九】 大政翼賛會調査局第四委員會(委員長小笠原三九郎氏)では翼賛經濟體制の建設を目標に松井春生氏を委員長とする第二小委員會を設け企業整備並に轉廢業に關する諸

問題に調査研究中であつたがこの程成案を得たので十九日總裁の決裁を経て政府へ申達の手續き採つた、主なる調査事項左の如し

△政府へ上通すべき事項

一、商工兩部門を通ずる一般的事項

①企業整備方針の確立と徹底

②關係其他諸機關の一元的綜合機能の發揮

③企業整備並に轉廢業に關する具體的基準の確立

④企業整備並に轉廢業の促進と全業界の安定に關する積極的措置

⑤轉廢業者に對する援護及表彰

⑥關係金融機關の擴充強化

⑦工場に於ける勞務指導所、國民勤勞訓練所等の擴充強化と活用

⑧工場に於ける勞務管理の改善及福利施設の擴充

二、商業部門特有の事項

①配給機構の確立

②兼業及副業の整理斷行

③中間配給機關の整理統合と中間利得の制限

④事業分野の確定と系統の明確化

⑤商業者の經理に對する監督

三、工業部門特有の事項

①大工場と中小工場との關係の合理化、緊密化

②家内工業及零細工業の勞務利用

③徵用工の待遇改善

△大政翼賛會に於て實踐に就き考慮すべき事項

①營利觀念の是正と産業報國精神の昂揚

②企業整備並に轉廢業に關する正當なる觀念の普及

③大政翼賛會傘下團體組織の動員並に關係諸團體との協力による國民運動の展開

諸團體動向

天關打開議員聯盟結成

【三〇六】 衆議院議員滿井佐吉氏の主宰する思想公事結社たる天關打開期成會では、貴衆兩院議員をもつて天關打開議員聯盟を結成すべく、兩院議員に加盟を勸說中のところ十五日貴衆院議員宮田光雄、衆議院議員永山忠則氏等十七氏によつて聯盟を結成、綱領、規約等を發表した

法令

勅令公布

△十七日 一、特別融通損失審査會官制中改正の件 一、國民學校教員檢定委員會官制中改正の件 一、海務局官制中改正の件 一、南洋廳熱帶產業研究所官制中改正の件 一、關東州物產統制令 一、關東州貯蓄組合令 一、關東州貯蓄組合令 一、關東州貯蓄組合令

△十八日 一、大東亞戰爭遂遂祈願の爲官國幣社以下神社に於て行ふ祭祀に關する件 一、海軍潜水學校令中改正の件 一、國民更生倉庫損失審査會官制 一、選信部内臨時職員設置制中改正の件 一、海員養成所官制中改正の件

軍事

臺灣陸軍志願兵の訓練終る

【三〇九】 去る七月十日入所以來猛訓練を續けてきた臺灣總督府陸軍志願者訓練生五百餘名は六ヶ月間の訓練を終へたので十九日午前十時より同訓練所において長谷川總督、安藤軍司令官以下軍官民多數列席の下に第一回前期修了式を舉行した

外交

三國軍事協定締結一周年

▲日獨伊首腦メッセーヂ交換 【三〇二】 昨年十二月十一日は帝國と獨伊兩國間に、米英に對する共同戰爭の遂行、單獨不講和及び世界新秩序建設に關する嚴肅な軍事協定が調印され、同時に獨伊兩國は米に對し決然宣戰布告を行つた一周年の十一月一日東條首相、ヒットラー總統並にムッソリーニ首相の日獨伊三國首腦間に世界再建を目指して今次對米英戰爭遂遂に邁進せんとする決意を重ねて表明したメッセーヂの交換が行はれた、東條首相はそのメッセーヂの中で、三國は「益々緊密なる協力關係を實踐しつゝこの戰爭を勝ち抜く決意と實力とを有する」ものであ

る旨を宣明した

▲外相間に祝電交換

【三・二】 谷外相リッペンとロップ
獨外相チアノ伊外相の三國外相はそ
れぞれ祝電を交換して三國締盟の目
的の完遂を誓った

▲谷外相放送

【三・二】 谷外相は十一日午後六時半
から放送行ひ三國益々提携協力して
この大戦争を勝ち抜き世界新秩序の
建設に邁進すべきを強調した

重光大使再度入京

【三・二】 重光駐華大使は廿日午後
一時十五分羽田飛行場着、再度入京
した

汪國民政府主席以下
入京

【三・二】 中華民國國民政府主席兼
行政院長汪精衛氏は外交部長樞民誼
氏以下十数名を帶同、午後一時五十
分羽田空港に到着した

△情報局発表

中華民國國民政府主席兼行政院長汪
精衛氏は大東亞戦争一周年を期して
帝國の赫々たる戦果に祝意を表する
とともに日華提携を更に緊密化する
目的を以て我方要路と懇談のため十
二月十九日海鷗號にて南京發本廿日
午後一時五十分羽田に到着せるが、

汪精衛氏は廿二日國民政府主席とし
て宮城に參入、廿三日以降は行政院
院長の資格にて總理ほか要路と會談
の豫定なり、なほ一行は汪院長のほ
か外交部部長樞民誼氏、財政部部長
周佛海氏、軍事參議院院長陸軍上將
蕭叔宣氏、實業部部長梅思平氏、宣
傳部部長林柏生氏その他約十名なり

人事

靈壽

△十五日
故侯爵野津銀之助家督相續人
從五位 野津 高光
故子爵酒井忠一家督相續人
從五位 酒井 忠壽
襲爵被仰付(各通)

定期叙位

【三・五】 畏き邊りでは嶋田海相を
正三位に叙せられたほか文武官華族
千五百五十二名に對し十五日定期叙
位の御沙汰あらせられた

野村大使免官

【三・五】 日米破局に際し來栖大使
と共に奔走した米國駐劄特命全權大
使野村吉三郎大將は去る八月廿日、
日米交換船淺間丸で歸國したがこの
程その任務も終了したので十五日内
閣より正式免官を發令した

陸軍司政長官發令

依願免本官 野村吉三郎
命全權大使 野村吉三郎
△十七日
東京帝大教授 中井猛之進
任陸軍司政長官(一)

小林少將舞鎮海兵團長に決
定

海軍少將新葉亭造現地某要職に轉補
しその後任として海軍少將小林昌福
舞鶴海兵團長が着任した

施設本部長に金澤正夫中將

【三・五】 海軍省では施設本部長小
池四郎中將の轉出に伴ひ、後任とし
てこの程第一線より歸還した金澤正
夫中將を起用するに決し十五日次の
如く公表した

鐵道辭令

△十四日
大阪鐵道局總務部長 橋本佐次郎
大臣官房勤務を命ず
名古屋鐵道局總務部長 伊東 武二
大阪鐵道局總務部長を命ず
企畫院書記官 中村 豊
任鐵道官(三)
名古屋鐵道局總務部長を命ず
名古屋鐵道局總務部長 伊東 武二
大阪鐵道局總務部長を命ず

遞信辭令

△十二日
神戸高等商船教授 伊藤 辰雄
任海員養成所教官(三)
七尾海員養成所教官(三)
東京高等商船校長 薄井 周介
兼任海員養成所教官(三)
第三短期高等海員養成所長を命ず
神戸高等商船校長 篠崎 認三
兼任海員養成所教官(三)
第四短期高等海員養成所長を命ず
△十七日
東京高等商船學校長 薄井 周介
陸叙高等官一等
遞信局技師(仙臺工務部長)

擊沈船舶名追加發表

【三・五】 獨軍司令部は昨
年六月一日以降獨潜水艦により擊沈
された敵船舶名を左の如く追加發表
した

ブリテイシユ・デイケジエンス(八、
二九七噸)クニベツク・シテイ(四
七四五噸)バシフイック(二、八一
六噸)アラバマ(一、三四〇噸)ペ
ンローグ(四、三九三噸)E・P・
セリオールト(噸數不明)デューカ
リオン(七、五一六噸)トレヴァー
ギン(五、二一八噸)ローゼンボルグ
(一、九九七噸)アルフワッド(七、
三三七噸)エンパイア・ジャグア
ー(五、〇五七噸)デインスデール
(八、〇〇噸)ストリネスト(四、
二六五噸)アルヴァ(五、五八四噸)
克蘭・ロス(五、八九七噸)ベガ
サス(三、五九七噸)スーゲン(六、
六七七噸)

商船十八隻擊沈

【三・五】 獨軍司令部十七
日正午特別發表し獨潜水艦は大西洋
北部、中央部南部各水域及びケー
タウン沖において反樞軸國商船十八
隻合計九萬八千噸及び驅逐艦一隻を
擊沈、更に敵商船三隻を雷撃により
大損害を與へた

米商船擊沈

【三・五】 當地に達した情
報によれば一萬二千噸級米商船一隻
がポルトガル領アゾレス群島中のフ
ロレス島沖合で魚雷攻撃を受け擊沈
されたといはれる

大阪遞信局工務部長を命ず

任遞信局技師(三) 石田 彌
仙臺遞信局工務部長を命ず

七日正午特別發表をもつて獨潜水艦
の反樞軸國商船十八隻合計九萬八千
噸及び驅逐艦一隻擊沈といふ新戰
果を發表したが、十七日夜更に次の
通り追加發表した

特別發表によつて既に擊沈を公表さ
れた反樞軸國商船中には油槽船四隻
合計二萬七千五百噸が含まれてお
る、此の中二隻計一萬三千二百噸
は北大西洋において獨潜水艦の護送
船團襲撃に際し擊沈され、他の二隻
合計一萬四千噸はカリブ海を航行
中の油槽船六隻驅逐艦五隻から成る
護送船團に屬してゐたものである、
トリニダット航路において擊沈され
た反樞軸國商船は英船ネジエリアン
(五、四二二噸)英船リブレイ(四、
九九七噸)英船ソロン(四、五九
三噸)等であつた

一方エジプト船スター・オブ・スエ
ズ號(四、九九九噸)、カスト・
ウエールズ號(四、三五八噸)等
はニューヨークからアレキサンドリ
アに向け軍需品を満載して航行中擊
沈された、更に英船シテイ・オブ・
ボンベイ號(七、一四〇噸)はア
フリカ戦線に送られる軍需品並に飛
行機を輸送中に獨潜水艦の餌食とな
つた

【三・五】 獨軍司令部は十
日正午特別發表し獨潜水艦は大西洋
北部、中央部南部各水域及びケー
タウン沖において反樞軸國商船十八
隻合計九萬八千噸及び驅逐艦一隻を
擊沈、更に敵商船三隻を雷撃により
大損害を與へた

通商破壊戦の新戦果

【三・五】 獨軍司令部は十
日正午特別發表し獨潜水艦は大西洋
北部、中央部南部各水域及びケー
タウン沖において反樞軸國商船十八
隻合計九萬八千噸及び驅逐艦一隻を
擊沈、更に敵商船三隻を雷撃により
大損害を與へた

政財 濟經

價格形成中央委員會は十一日の第五回總務部會において(一)大東亞共榮圈建設に關聯し價格形成上採るべき方策(二)統一原價計算制度實施に關聯し價格形成上採るべき方策、の二方策に關する答申案を決定、これを商相の手許に答申したが、右は大東亞戰下國家の至上命令たる生産増強の問題と表裏一體をなすべき今後の我が物價政策の進むべき方向を示唆するものとして注目すべきものがある

殊に右答申案が、我が物價政策の根本理念として改めて「低物價政策の堅持」を強調し、この大前提の下に共榮圈内の生産力擴充、物資交流の圓滑化、適正生産費等の諸問題を究明してゐる點が注目される。

中央物價統制協力會議主催の「經濟戰力増強會議」は十四、五の兩日に亘つて開催され、各産業部門代表より生産増強に關聯して採らるべき物價その他の對策に關して熱心なる意見の開陳が行はれた。

政府は十五日、内外地滿支蒙疆の産業、金融、農林水産、拓殖關係代表者三百六十九名(うち二十三名缺席)を首相官邸に招請して産業經濟懇談會を開催した、これは政府がさきに開催した生産増強官民懇談會の主旨を敷衍しこれを全産業經濟關係者に強調したものであるが、圖らずも産業經濟界代表者が

畏くも拜謁の榮を賜はるの光榮に浴したことは只に代表者のみの榮譽ではなく、全産業經濟人の光榮であつて、統後生産陣は今更のごとく聖恩の有難さに感泣するとともに今後生産増強のために一層の職域奉公を誓はなければならぬ。

政府は十六日の閣議において日本有價證券取引所(假稱)法案要綱を決定、愈々来る第八十一通常議會に提出することになつたが、今回の措置は從來の取引所機構を根本的に改革して戰時即應の公共的性格を賦與せんとするわが國證券取引史上未曾有の劃期的大變革として注目される。(高)

一般

共榮圈の綜合物價對策案

價格形成中央委員會建議

【三二】價格形成中央委員會では十一日、第五回總務部會を開催、岸商相、菱沼物價局長官ほか關係官、吉野總務部會部長、山室同部長代理を始め各委員出席岸商相の挨拶ののち審議に入り、大東亞共榮圈建設に關聯し價格形成上採るべき方策

二、統一原價計算制度實施に關聯し價格形成上採るべき方策

の二方策案を決定、即日政府に建議した

△共榮圈物價政策答申案要旨

一、方針

大東亞共榮圈建設に關聯し價格形成上採るべき方策は低物價堅持の方針の下に

(一)皇國に於ては支那事變勃發以來の低物價堅持の方針を持續しつ

戰時の生産増強の要請に應じ之を最

高度に可能ならしむべき價格形成方

策を樹立すると共に價格形成の基礎

要素たる運賃、賃金、電力料等の現

行水準堅持購買力の吸収、生産の合

理化を圖る等財政、金融、産業、運

輸、勞務等物價に關聯ある各方面の

一切の施策を低物價堅持の方針に指

向せしめ所謂綜合物價政策を眞に徹

底し以て現行價格水準を現に維持し

る物資の生産増強物資交流の圓滑化並に各地域の民生の安定を圖り(三)皇國と圈内各地域及各地域相互間の價格差を調整する爲大東亞を通ずる交易並に價格調整機構を整備す二、皇國に於ける價格形成方策並に之に關聯し考慮すべき方策概ね左の如し

(一)現下特に生産増強を必要とする生産基礎資材並に國民生活必需基礎物資に關しては官民の戰時責任意識を昂揚せしめつ計畫生産確保の措置を講ずると共に徹底せる生産の合理化を圖ること最も肝要なり、而して生産に關する如上の要請の實現を前提としたる上に於て生産條件に適合する必要最少限度の價格は保證すべきも此の價格が結局に於て昂騰を免れざる場合に於て之を其の儘市價に反映せしむるときは循環高の惡現象を招來する虞あるを以て、要すれば生産者販賣價格と對需要者價格とは之を分散し生産者に對する價格保障を需要者に影響ならしむべき方針を考慮し以て現行價格體系を嚴に堅持するの要あるべし

(二)生活用品に對しては國民生活に再檢討を加へ戰時國民生活に必要なるものを規格して其の生産を抑制すると共に價格の單純化を積極的

に促進し質實簡素なる戰時國民生活の確立を圖るべし

(三)而して前記諸措置と平行して通貨面に對する施策を強化徹底し通貨の不當膨脹を抑制し餘剩購買力の吸収を圖り此の方面よりの物價への影響を絶無ならしむる標強力なる施策を行ふと共に運賃、賃金、電力料等價格形成基礎要素に付ても其の現行水準堅持の爲凡ゆる方策を購ずるの

要あり

三、國內各地域の物價政策概ね左の如し

(一)滿洲國に於ける物價政策 滿洲國に於ては夙に低物價の方針の下に物價政策を遂行し來りたるも、日滿經濟關係の益々緊密の度を加へ來りたる現下の狀態に鑑み諸般の政策を低物價方針に集中せしめて物價政策の徹底的強化を圖り少くも物

日供給物價に付ては能ふ限り我が物價水準と同時にならしむるを以てし全般的に物價水準の低下を圖ること肝要なり

(二)中華民國に於ける物價政策 北支及中支に於ては既に夫々物價對策を決定し其の實現を圖りつつあるもの如きも今後の需給關係、通貨事情を勘案するときは現在の物價水準を維持し進んで之が低價を要する

には今後に於て格段の努力を要するものと認められる、北支及中支の物價對策要綱は綜合的の見地より物價問題を解決せんとしたるものにして概

ね現下の狀態に對應し得べき妥當なるものと思料せらるるを以て之が急速且強力なる實施を圖ること最も肝

要なり

(三)南方占領地域の物價政策 南方占領地域に於ける物價政策は能ふ限り低物價の維持安定に努むることを目途とするも差當りの段階に於

ては物資需給の狀況輸送の可能度等に依り現地物價の騰落必ずしも一概ならざるを以て之に對しては一面に於て重要物資の取得に支障を及ぼさざる様考慮すると共に他面に於て民生の安定をも留意し慎重對策を講ずるの要あり

四、大東亞共榮圈を通ずる價格調整

方策概ね左の如し

(一)現在の交易機構を統合して総合的交易機關を設け圈内交易物資の輸出入保有及配分を行ふべし

右機構の構成及運営に當りては交易

の綜合性維持を念とするも特定の重要物資にして輸入及配給の一貫的運営を特に必要とするものに付ては現行の交易機關を維持せしむるの外右綜合的的交易機關の具體的運営に當り該物資關係の運籌組織(配給統制機關)の活用を努むるの要あり

(二)右交易機構は自己の計算に於て輸出入を行ひ圈内各地域間の價格差を完全に補足すると共に爲替交易調整特別會計の設置運営と相俟ち圈内各地域の物價を完全に隔絶すべし

(三)右に伴ひ現地輸出入機構を整備し各交易機構と不可分の關係に置き圈内各地域間の交易統制並に價格調整を綜合計畫化すべし

△統一原價計算制に關する答申案要旨

一、趣旨

我國の物價對策が低物價政策堅持を基礎とせるは支那事變勃發以來不動の方針にして價格形成の基礎として統一原價計算を採用し綜合的物價對策を實施するに要す、殊に大東亞戰爭勃發以來生産の飛躍的増強を圖るの要益々急なるものあり、之が爲には緊要企業に對し經營能率の向上乃至は企業の整備を促進し以て單位生産費の低下を圖らしむると共に適正價格を保障し低物價と生産増強との調整を圖るの特に緊要なり

らしむる爲企業者に對する指導監督其の他の具體的方策を實施すること肝要にして此の點政府において格段の留意を要するものと認められる

二、價格形成上の方策

(一)原價計算に基き價格形成を行ふ場合に於ては原則として所要の生産量の確保に著しき支障を生ぜざる限り高生産率の場合の生産費に依るべきものにして之を算出するに當りては各企業に於て算出せられたる生産費の平均を其の儘機械的に採擇するこ

となく價格形成を檢討し眞に適正妥當と認むべき生産費を捉へ之に基きて價格形成を行ふべし、尙右の適正生産費の算出に當り當該各企業の生産條件に著しき差等ありて其の生産費甚しく異なるときは差當り複雑の適正生産費を計算するの外なきべし、尤も此の場合に於ては極力企業整備又は生産條件平均化の措置を講ずべきものとす

(二)原價計算より適正生産費を算出する場合に於て、原價計算は過去のものなるを以て、價格決定當時に於て發見せる又は明確に窺見し得る原價要素の價額變動は之を考慮するに要す、尙操業度、材料歩留其の他能率狀況の低下あるも之は先づ別途修正の途を考ふべきものとす

(三)工場、事業場に於ける原價計算事務擔當者を養成することを要すべし

(四)原價計算の報告書は統制會等當該事業の事情に通曉せる者をして之が算計整理と併せて充分なる検討を

行はしむることを要す

(五)原價計算に基き生産者販賣價格(四)原價計算に基き生産者販賣價格を再構成せられ之と現行價格との間に差等ある場合に於て、前者が後より低きときは之を引下ぐることにより解決し得べきも、若し前者が後

より高きとき其の物資が重要な生産基礎資材等にして其の價格の引上により惡循環を生ずる虞ある場合には生産者販賣價格と需用者購入價格との間を遮斷し生産者に對する價格保障を需要者に影響なからしむべき方策を講ずるの要あり

三、原價計算制度の實施に關し原價計算を正確ならしむる爲の具體方策

(一)原價計算の結果をして價格決定乃至經營能率増進に對する的確なる基礎資料たらしめんが爲には企業者對し之が實施を命じ其の報告を徴取するに留らず、政府に於て實地に對しての十分なる指導と嚴密なる検査

とを缺くべからず、之が爲には特に經理に堪能なる人員を整備從事せしむることを要す

(二)右の外企業内部又は統制會等に於ても考查を爲す方法を考慮すべし

(三)工場、事業場に於ける原價計算事務擔當者を養成することを要すべし

(四)原價計算の報告書は統制會等當該事業の事情に通曉せる者をして之が算計整理と併せて充分なる検討を

行はしむることを要す

戰時物價統制、就中生活必需物資に關する物價問題は戰時生活上極めて緊要なるものがあるが、政府は本年度より中央物價統制協力會議に對する豫算を従来の四十萬圓より八十

萬圓に増額して中央の物價統制機構

の擴充を圖るとともに、一方地方におけるこれが統制強化の方策を準備中であつたが、今回「地方物價統制協力會議強化方策」を決定、十一日附

商工、農林兩次官名をもつて關係方面に通牒を發した、強化策次の通り

一、方針 戰時物價統制の圓滑なる實現を圖るためには官民一致の協力により施策の萬全を期すると共に之

が勵行を確保すること肝要なり、就中生活必需物資の價格及其の需給關係を調整すると共にこれが統制の積極的勵行を圖るに現下の一大急務なりとす、しかしてこれがためには物

價統制に對する眞の協力機關たる物價統制協力會議の運籌に一段の工夫を加へ全國的に統一ある活動を爲さ

しむるの要あり、よつて地方物價統制協力會議を強化し中央物價統制協力會議と有機的結合の下に政府の意圖を體し眞に實效ある事業を行はし

めむがため其の事業に検討を加ふるべし

二、要領 如上の方針に基き左の如き要領により措置するものとす

(一)事業の實施は努めてこれを計畫的ならしめ中央物價統制協力會議に於てこれを統一す

ロ、事業の計畫及實施に當りては物價統制協力會議本來の使命に鑑み其の方向を左の諸點に指向す

①物價統制に關する趣旨の徹底に協力し國民をして政府の方針を理解し積極的にこれに協力せしむるが如く指導すること

②政府の具體的施策につき適正なる建築をなし政策を通過して物價統制に對する國民の信頼を

③以上

目揚するが如く努むること

其の他の措置を採ること

ハ、事業の範圍としては單に價格形成の部面に限らずこれと密接不可分の關係に在る財政、金融、經濟運輸、勞務等各方面の施策を低物價堅持の方向に指向せしむべき諸措置に及ぶ

ホ、差當り實施を必要と認めらるる事業は概ね左の如くなるも現下の情勢に鑑み生活必需物資に重點を置く

1物價統制の趣旨徹底に關する協力

2公定價格の維持勵行に關する協力

④關取引の實情及其の原因を調査しこれが絶滅の方策を樹立す

⑤違反者に對する自治制裁の履行促進を圖る

3價格形成に關する協力

4物資需給調整に關する協力

5規格の統一單純化に對する協力

6購買力吸収に關する協力

④中央物價統制協力會議と緊密なる連絡を取り效率的にこれを行ふ

⑤物價調査委員との連繫を密にし相互に協力して事に當る、要すれば物價調査委員を地方物價統制協力會議の下部組織となすことを考慮す

(二)機構

イ、中央物價統制協力會議と地方物價統制協力會議との關係は機構上差當り従前通りとするも中央物價統制協力會議の地方物價統制協力會議に對する指導力を強化す

中央物價協力會議

地方物價統制協力會議強化方策

する幾多の問題が存するが、何分にも複雑廣汎なる物價のことであり、一時的にまた部分的には缺くる處なきを保し難い

然しその爲めに現在物價統制の必要を査定することは素より誤りで、現今國家の重大時機に直面せる事態をよく認識して國民各位愈々物價統制を遵守し國策に協力して軍需及び生活必需品の増産と適正なる供出配給に懸命の努力を致されたい

關撲滅に専門委員會設置

十四日の經濟戰力増強協力會議は各部會を通じて現下緊急解決を要すべき關取引の排除撲滅問題に論議が集中されたが、中央物價統制協力會議としてはこれを機會に同會議内に「關取引撲滅に關する」専門委員會を設置、あらゆる角度から討議、研究を進め戰時計畫經濟の圓滑なる運営を確保することとなり、同日の第三部會席上主査酒井忠正伯よりこの方針を言明した

聖慮に感激生産増強を宣誓

一全國産業經濟代表者懇談會

【三・五】大東亞戰爭第二年の長期決戦段階を迎へて、此處に翼賛生産體制を確立し、全産業經濟人の征戰完勝への總動員を期す可き全産業經濟代表懇談會は、十五日首相官邸に開催された、此の日本政府より招請を受けた日銀總裁結城豐太郎氏等産業經濟各部門代表者二百六十九名(内二十三名缺員)は、定刻夫々首相官邸大ホールに參集し、星野書記官長及森山法制局長官出席、先づ星野

書記官長開會を宣し、次いで東條首相の挨拶に入つたが首相はこれに先立ち特に發言を求め

皇陛下に於かせられては、今回の全參列者に對し、特に拜謁仰付けられた旨、御沙汰を傳へ、續いて別項の如く決戦下一億國民の増産奉公を強調する挨拶を行つた、次いで總理起立裡に結城氏宣誓文を東條首相に手交し、首相挨拶を述べ、一同午餐を共にしてここに生産増強、戰力増強の上に劃期的な意義を持つ懇談會を終了した

△首相挨拶(要旨)

大東亞戰爭下に於ける産業増強の思召を以て皆僚方に特に拜謁仰付けらるゝ聖慮の程を拜察して洵に恐懼感激に堪へない次第である、此の破格の光榮に浴することを得て、我々は如何に益務の重大なるかに更に想ひを致し責務の奮勵努力、以て聖恩の高の一に報い奉らんことを期せねばならないと思ふのである

今や大東亞戰爭は、開戦以來正に一年を経過したのである、此の間、御稜威の下、皇軍將兵の善謀勇戰と一億國民の協心戮力とに依り帝國の擧げ得たる戰果は正に史上未曾有のものである、此の曠古の大戰爭の眞只中に於て我々一億國民の常に頭に入れて置かなければならないことは、戰爭の現段階に於ける皇軍が如何なる強味を有するかと云ふ點である

皇軍の強味に就ては、先づ本質的の強味として、大元帥陛下、御親率の下に世界に冠絶せる精神力を一糸漏れざる統帥とを擧げらるるのである、次に訓練の力である、……以上の強味に加へて戰局の現段階に於て、皇軍の占むる特筆すべき強味は精戰の戰果に依つて得たる戰略的の優位である、……此の際、全國民が一人残らず、眞に從來の構へ方から戰爭遂行の考へ方に、すつかり頭を轉換しなければならぬことを更に強調するものである、平時の生優しい考へ方へでは、乗るか送るかの此の大戰爭を勝ち抜くことは出来ない、死物狂ひの戰爭をして居る頭になり切つても、平時には不可能とすることが出来る

次に戰力増強の目標を何處に置くかと云ふ點に就いてである、此の大戰爭は決戦の連續である所に特徴がある、従つて將來の見透しの下に一つの決戦の要求を逐次充す如く戰力を増強する、茲に戰力増強の第一目標がある

政府に於ては開戦以來滿一年を経過、愈々鐵石の意志を以て戰爭遂行に邁進せんとして居るのである、前に如何なる艱難があらうとも、必ず之を打開し、如何なる強敵も、國の總力を以て、必ず之を屈伏せしめ以て宸襟を安んじ奉り度いと念願して居る次第である

△全國産業經濟代表者宣誓 長くも米英撃滅の大詔を拜して茲に一年御稜威の下皇軍將士の勇戰奮闘に依り肇國の大理想達成の礎石成り皇威彌々八紘に治し、然りと雖も敵は向反抗を企て戰力の補強に汲々たり、皇國の經濟力を最高度に發揮し以て大東亞戰爭完遂を期するは我等産業經濟界に職を奉ずるもの重大なる責務にして日夜其の足らざるを懼るるとこそ恭けなくも本日拜謁の榮を賜ふ、聖慮の程唯々恐懼感激に堪へず、茲に相會するもの一同鴻大なる君恩に報い奉らん爲め政府の指導激勵の下に愈々戰意を熾烈にして職域奉公の誠を竭し以て戰力を増強し斷乎として終局の勝利に邁進せんことを期す右宣誓す

昭和十七年十二月十五日 産業經濟關係者一同 拜謁の光榮に浴したる

敵性特許權第四次處分

【三・五】敵性特許權の第四次處分は、去る十一月廿五日開かれた委員會の決定に基づき、四日首相の決裁を経たので十五日技術院から發表された、今回取消處分を受けたものは依然電氣關係が多く、たとへば米國ブラウン・インストラメント・カムパニーの「電氣に依る液體流量計器」の如きこれである、その他鐵石をベルトロンベヤー式に供給する英國ウイロム・ロスの所有に係る「供給物質の制禦裝置」等も取消處分を受けた中で注目すべきものである、尙ほ新に専用免許される特許權は従前に比して多くその數廿一件に上つてゐる、今回の處分に依り、第一次の特許權處分累計は一、〇八七件に達したが、これは敵性特許權總數の約五〇パーセントに相當し、殘餘は約一、三〇〇件であり、その中には事實上特許權の消滅せるものも相當含まれてゐる

日本有價證券取引所法案提出

【三・五】政府は長期戰完遂に對する金融體制確立の見地から今議會に日本有價證券取引所(假稱)法案を提出するに決し十六日の閣議において賀屋藏相より詳細説明ののち

一、日本有價證券取引所に國家經濟の適切なる運営に資するため國家の政策に即し有價證券の公正なる價格の形成及び其の安定に任じ且これが賣買取引を圓滑ならしむることを目的とする

二、日本有價證券取引所は公共的色彩の濃厚なる法人たらしむること

三、日本有價證券取引所の役員は政府これを任免す可きものとする

四、日本有價證券取引所の役員及び重要な事務に従事する使用人は法令により公務に従事する職員と看做するものとする

五、其の他日本有價證券取引所の役員に關し必要なる規定を設けること

六、日本有價證券取引所に左の業務を行ふものとする

(一) 有價證券を賣買取引する市場(以下單に有價證券市場と稱す)の開設並に管理

(二) 有價證券の募集取扱、引受及び賣出

(三) 前二號附帶する業務

(四) 其の他目的達成上必要なる業務

政府は有價證券市場における有價證券の賣買取引及び取引員に關する政府の事務の一部を日本有價證券取引所

るとともに蘭増産の必要を農家に認
識せしめ、業者の悲觀の人氣を一掃
すること

⑩養蠶業者と製糸業者との聯絡を緊
密ならしめ、製糸業者の蘭割當地域
内における増産蘭は優先的にこれを
獲得せしむること

⑪増産したる養蠶業者に對しては特
に農家必需品を配給すること

⑫推蠶の共同飼育、壯蠶の條案、平
飼等簡易飼育の奨励をなすこと

⑬蠶の買入價格を他の物價と均衡を
保ち得る適正價格に引上ぐるること

⑭玉屑蘭の自家利用制限を緩和する
こと

⑮蠶糸業組合法を改正し蠶糸業團體
を一元化し、蠶業團體と連絡體制を
整ふるること

⑯恒久對策
⑰適地適産主義により桑園の管理制
度を整へることを圖ること

⑱蠶糸業を一元の生産機構とし、そ
の高度化を圖り製蠶を兼營すること

⑲時局に關係ある製品の生産及び東
亞共榮圈内における纖維資源として
の生糸の研究

⑳強健にして多糸量系蠶品種の研究
㉑蠶種、繭及び生糸の検査制度の單
純化

貨物自動車運送統合要領

【三二八】鐵道省では戰時陸運非常
體制確立を目指して國鐵と表裏一體
關係にある貨物自動車の重點的計畫
輸送を企圖し今議會に自動車交通事
業法中改正法律案を提出することと
なつたが、さらに貨物自動車の輸送
力を戦力増強に凝集すべく、十八日
の閣議に貨物自動車運送事業の統合
に関する件を上程これを決定、同日

午後四時左の如くその要領を發表し
た要領

一、交通の實情に基き道府縣を數個
の地帯に分ち統合を行ふ

二、統合は地方の實情に基き適當な
る統合主體を選定し、之に對する事
業の譲渡、出資又は會社の合併の方
法に依るも必要に應じ新會社設立の
方法に依り得るものとす

三、統合の際の評價基準は鐵道省に
於て之を指示す

四、小運送用のみに供する自動車、
一般事業用に供し得ざる特殊構造車
等の特殊用途車は原則として本統合
より除外す

五、一般自家用車は輸送能率發揮上
支障なしと認めらるる場合に於ては
本統合より除外するを得るものとす

特に重要工場、鑛山等に於て其の生
産増強を確保する爲必要ある場合に
於ては輸送の實情に應じ自家用貨物
自動車の保有を爲し得るものとす

六、統合後の指導方針としては組合
統制を一層強化し、車輛其の他の輸
送施設の最も重點なる活用並に鐵
道其の他の大運送、小運送等との連
繫強化を圖ると共に適正なる運賃料
金制を確立し、以て陸運綜合能力の
最高度發揮を期せんとするのである

【三二九】人絹統制會第一
回評議員會

【三三〇】人絹統制會で
は十二日、初の評議員會を開催、西
川織維局長より統制會運営上評議員
會の積極的活用方針を述べたのち、
一、統制規程に関する件、二、評議
員會の運営に関する件、三、統制會
専門委員會に関する件を附議した結

果、評議員會の運営についてはバル
ブ、人絹、織布等各工程毎にそれ
々々専門の評議員を以て部門別評議
員會を構成すると共に、更に細部に
亘る専門的事項については事務局内
に評議員並に専門家を以て組織す
る專門委員會を置き兩者相連繫して
統制の圓滑化に資することとなつた
なほ今回評議員に左の三名を追加し
たが、これにより評議員數は合計三
十三名となつた

唯井六次郎(日本染工株式會社)、小
澤武(東洋レーヨン常務取締役)、大
西太郎兵衛(京都織物工組理事、大

造船統制會賦課金徵收

【三三一】造船統制會では十八日の
臨時總會において特別賦課金の賦課
徵收に関する件を附議可決したが、
右は同統制會が従來造船會社より各
個に下請メーカーに發注してゐた特
殊部分品を統制會において一括發注
するための所要資金に充當するもの
で重要産業團體令により統制會が經
濟行爲をなし得ないことになつてゐ
る現狀に鑑み、異例的措置として注
目される

乾繭組合協會解散

【三三二】蠶絲統制法の成
立により不要となつた全國
乾繭組合の設備は日本蠶絲統制會社
が、買収を進めつゝあつたが、この
程組合負債の整理に對する助成をも
含め總額二千五十七萬圓を以て賣買
を完了するに至つたので、全國乾繭
組合協會では十一日午前十時より丸
の内蠶絲會館に臨時總會を開催、同
協會解散の件を付議決定した

全絹工聯、人工聯解散

【三三三】人絹統制會並に日本絹
人絹織物製造會社の創立に伴ひ従來
絹織物並に人絹織物の統制に當つて
みた全絹工聯並に人工聯は發展的解
消することとなり十一日大東亞會館
に人工聯は午前十一時より、全絹工
聯は午後一時よりそれぞれ解散總會
を開催した、人工聯は昭和九年創立
され、人絹織物輸出に積極的貢獻を
なすとともに支那事變以降は人絹織
物の統制機關として指定生産の實施
および企業整備に當つて來た、また
全絹工聯は前身たる内地絹織物工聯
と輸出羽二重工聯が合併して昭和十
五年に設立、輸出品たる絹織物の改
善向上並に企業の安定等を行つて來
たが最近になつては企業整備、指
定生産の實施、設備割當の準備等斯
業統制の中樞機關として活動してゐ
たものである

理研工業の機構改革異動

同協會は昭和元年全國乾繭倉庫聯盟
として發足、その後全國共同乾繭倉
庫聯合會となり、産繭處理統制法の
實施に伴ひ同十一年産繭組合となつたが、
同十六年蠶絲統制法の成立と産繭額
の減少により乾繭組合が不要となつ
たので社団法人全國乾繭組合協會に
改組し今日に至つたもので此間生絲
の自由貿易時代において繭價下落に
對處し養蠶農家の利益擁護機關とし
て多彩な足跡を残して來た

發令、即日實施したが今次職制改革
の要點および異動は左の如くである
一、取締役の擔當工場を定め、重役
の陣頭指揮を常時化したこと
二、従來の一室十二部四十二課を七
部二課に縮少し機構の簡素化をは
かつたこと
三、勤務部を新設して勤務管理を一
元化し、従業員の勤務精神昂揚と能
率の高度發揮を企圖したこと
四、従來の製造、營業、資材の三部
を統合、新に製造部を新設、製品の
發注資材取得、製造、納入を一貫的
に取扱ふ制度としたこと
△總務部長、常務新倉利廣、同次長
掛札俊男、同佐伯鶴太郎△經理部長
常務員弘重進△勤務部長取締役佐藤
正四郎、同次長三段崎俊吾△營業部
長常務松根宗一、同次長取締役近藤
道夫△業務部長△技術部長△同次長
同次長小林英雄△業務部長△同次長
役藤本輝夫△技術部長(缺)同次長
小野忠五郎△重役の擔當工場 佐藤
取締役(王子地區)染谷同(蒲田地
區)松井同(城東地區)近藤同(新
潟地區)藤本同(關東および大阪地
區)

東京港運役員決定

【三三六】港灣運送業等統制令に基
きかねて設立準備中の東京港運株式
會社(資本金三千萬圓)の創立發起
人會は十五日明石町海務局支局で開
催され、左の役員を決定、直ちに選
信當局に認可申請の結果、十六日認
可された
△取締役社長安場保健男(芝浦運輸
社長)△取締役津田隆、野口正三、
服部繁、磯村武、松村茂登記、渡邊
石藏、阪卷元吉、和田顯治、南部茂

彦、志村益司、澤崎英一郎△監査役 井野眞、辰澤茂乙

大阪機帆船創立 【三・六】大阪機帆船陸運送會社(資本金二百萬圓全額拂込済)の創立總會は十六日開催定款並に社長西政二氏以下の役員を決定した同社は機帆船同漕業整備要綱に則り大阪地區における業者二百二十四名を集約統合し、全國三十六地區に廻つて創立されたものである

更生金庫損失審査委員任命 【三・七】政府は國民更生金庫が業務上受けたる損失の一切を補填するが、右損失額を決定すべき國民更生金庫損失審査會を十八日付で設置、十九日同審査會の委員ならびに幹事を左の如く任命した

財政・金融

更生金庫損失審査委員任命

大藏省主計局長植木庚子郎、同銀行局長山際正道、農林省總務局長重政誠之、商工省企業局長豊田雅孝、鐵道監佐藤榮作、工組中央會々長伍堂卓雄、商組中央會々長鶴見吉雄、商工中金理事長吉阪俊藏、日商會頭藤山愛一郎

配給

牛、豚最高販賣價格改訂 【三・五】農林省では今回牛(乳用牛および役肉用牛)並に豚(仔豚および種豚)の最高販賣價格を改訂することとなり十六日新價格を告示牛は明年一月一日より、豚は来る廿一日よりそれぞれ實施する、改正要旨は次の如くである

十一月中全國手形交換高

【三・七】東京手形交換所調査十一月中における全國手形交換高は左の如く三百四十六萬四千餘枚百三十八億六千四百餘圓と前月比四萬八千餘枚(一・四%)三億三百餘萬圓(二・一%)をそれぞれ減少した(單位枚數枚、金額千圓△印減)

前月比	枚數	金額
十一月中	三、四四、三五四	三、八六、六四三
前月比	四、九三一	三、三三、五五九
前年同月比	一、九四、五三三	三、〇三、一五九
前年同月比	九、七、四五二	一、〇、四、一五九
前年同月比	五、七、三六三	一、九、五、三三六
前年同月比	三、七、〇三二	三、二、八、三三三
前年同月比	四、〇、八、九四一	一、六、〇、三、九五一

工場鑛山日傭勞務者賃金決定

【三・八】日傭勞務者に對する賃金は昭和十四年九月十八日の臨時措置令により行はれて來たが日傭勞務者その組織に統一がなく、従つて賃金の支給も不統一であつたので、厚生省では、間賃金の絶減と常用勞務者の日傭勞務者への移動を防止し、整然たる勞務配置を確立すべく、本年四月、土木建築、農林業、運輸關係日傭勞務者の賃金を先づ制定し、引續き工場、鑛山に就業する日傭勞務者の賃金決定のため、十月に五回にわたつて中央賃金委員會專門委員會を開催、檢討の結果、成案を得たので十八日日本省に中央賃金委員會の最高、標準及び最低賃金を夫々決定した

【三・九】ラジオ受信機配給統制會社の創立總會は十九日丸の内中央亭に開催、定款その他設立事務を了し、取締役社長に電氣機械統制會通信部長佐島仁左氏、専務取締役山口兵左衛門氏を選任した、同社の事業は内地生産のラジオ受信機及び部品品の一手購入販賣で、資本金百萬圓(全額拂込)、本店を東京、支店を大阪、出張所を名古屋、廣島、熊本、仙臺、札幌に置く

職別	年齢	最高標準	最低標準
技能工	二十歳以上	三、〇〇	二、〇〇
	二十歳未満	二、七〇	一、七〇
重筋勞務者等	二十歳以上	三、〇〇	二、〇〇
	二十歳未満	二、七〇	一、七〇
雜役夫	二十歳以上	二、〇〇	一、五〇
	二十歳未満	一、八〇	一、三〇
技能工	二十歳以上	一、八〇	一、三〇
	二十歳未満	一、六〇	一、一〇
重筋勞務者等	二十歳以上	一、八〇	一、三〇
	二十歳未満	一、六〇	一、一〇
雜役夫	二十歳以上	一、五〇	一、〇〇
	二十歳未満	一、三〇	〇、八〇
技能工	二十歳以上	一、五〇	一、〇〇
	二十歳未満	一、三〇	〇、八〇
重筋勞務者等	二十歳以上	一、五〇	一、〇〇
	二十歳未満	一、三〇	〇、八〇
雜役夫	二十歳以上	一、〇〇	〇、五〇
	二十歳未満	〇、八〇	〇、三〇
技能工	二十歳以上	一、〇〇	〇、五〇
	二十歳未満	〇、八〇	〇、三〇
重筋勞務者等	二十歳以上	一、〇〇	〇、五〇
	二十歳未満	〇、八〇	〇、三〇
雜役夫	二十歳以上	〇、五〇	〇、三〇
	二十歳未満	〇、三〇	〇、一〇
技能工	二十歳以上	〇、五〇	〇、三〇
	二十歳未満	〇、三〇	〇、一〇
重筋勞務者等	二十歳以上	〇、五〇	〇、三〇
	二十歳未満	〇、三〇	〇、一〇
雜役夫	二十歳以上	〇、三〇	〇、一〇
	二十歳未満	〇、一〇	〇、〇五
技能工	二十歳以上	〇、三〇	〇、一〇
	二十歳未満	〇、一〇	〇、〇五
重筋勞務者等	二十歳以上	〇、三〇	〇、一〇
	二十歳未満	〇、一〇	〇、〇五
雜役夫	二十歳以上	〇、一〇	〇、〇五
	二十歳未満	〇、〇五	〇、〇二

石綿配給統制規則實施

【三・一〇】軍需用並に鐵板、鑄鐵管の代用品製造原料として不可欠な石綿の供給確保を圖るため商工省では物資統制令に基き石綿配給統制規則を十九日附で公布即日施行する、これにより日本石綿統制株式會社が一元的配給統制機關として指定され石綿の一手買取販賣を行ふこととなる

ラジオ受信機配給會社創立

【三・一〇】ラジオ受信機配給統制會社の創立總會は十九日丸の内中央亭に開催、定款その他設立事務を了し、取締役社長に電氣機械統制會通信部長佐島仁左氏、専務取締役山口兵左衛門氏を選任した、同社の事業は内地生産のラジオ受信機及び部品品の一手購入販賣で、資本金百萬圓(全額拂込)、本店を東京、支店を大阪、出張所を名古屋、廣島、熊本、仙臺、札幌に置く

社會・文化

化文・術學

日本生活科學會大會

【三・二二】日本生活科學會第二回年次大會は十二日午九時から學士會館に都下各大學教授、關係官民多數參集して開催された

村上博士を學士院會員に推薦

【三・二二】帝國學士院では十二日總會を開催、新會員に元臺北帝大教授文學博士村上直次郎氏を推薦した

日本文化大觀歴史篇(上)完成

【三・二四】紀元二千六百年奉祝會の國家的記念事業の一つ、遠く肇國創業の宏遠を仰ぎ古代より中世に及ぶ日本文化生成發展の跡を偲んで征戰必勝の國民意識の根柢を培ふ「日本文化大觀編纂」出版のうち、このほど第一卷(本文歴史篇上)の特製版七百部の印刷を完了、うち二十部の天金豪華特製本は十四日皇室並に各宮家に謹んで献上され、他は各廳府縣大學圖書館等各關係方面に配付されることとなつた

出版體制の轉換成る

【三・二七】別掲「政治の項」出版事業に關する勅令案の要綱の骨子は

(一) 出版事業を従來の届出制から許可制としたこと
(二) 現在全國で五千に達する出版事業者の整理統合方針を定め、總理事務、文部各相に所要の權限を與へたこと

(一) 新たに勅令に基く特別法人たる日本出版會(假稱)を設置し、現在の民法上の法人たる出版文化協會の發展的解消を決定したこと
(二) 日本出版會は國家の指導監督下に國策に即應する出版事業の強力なる統制機關としたこと

等の諸點で全國五千の出版業者による一ヶ月の出版書籍種類は二千八百種といふ世界に類例のない無統制振種であるのは出版事業の統制機關たる出版文化協會が業者の寄合ひ機關であつて強力な統制を行ふ實力を缺用紙の大巾な減少と相俟つて出版界の再編成が文化面における緊急な問題となりその畫期的轉換が斷行されるに至つたものである、新設の日本出版會は明年二月十一日に結成を目指して準備を進めることとなつた

活字使用統制

【三・二八】來春二月十一日の紀元節を期し日本出版會の名も新しく戦ふ出版文化界へ強力な新發足を遂げる日本出版文化協會では資材の確保と近眼豫防の厚生的見地から多年懸案

の劃期的な活字規格案を關係官廳たる情報局を中心に商工、厚生、文部各省印刷局、日本印刷文化協會等と共に調査立案中だつたところ、このほど成案を得たので印刷文協と連署の上、近く技術院に提出、急速な實施を要請することになつた、同案によればこれが適用を受けるのは新聞を除く雜誌、書籍、その他出版物全般、一萬字以上に達する使用漢字を三千字以下にまた多割文字の使用制限と略字使用ならびに約十種に達する活字書體を明朝、角ゴシックアンチック、正楷の四種に統一してその他の變書體を全廢する、これにより節約出来る鉛などの地金數量は四割程度に上り餘剩地金も直接軍需に役立つといふ一石二鳥の名案だ青少年の視力保健と近視豫防の對策としては新制定の字母文字を改善して鮮度を明瞭にし滿七才まで十號以上滿九歳まで八號以上滿十歳以上ならびに一般讀物を七號(九・一ポイン)に引上げるほか辭書も六號、以上を使用させるなど細目にもわたる内容も規定されて居る

大東亞佛教研究所開設

【三・二九】國際佛教協會では大東亞の佛教一般について調査研究すると共に各地進出に必要な教育を施すことを目的に去る九月以來「大東亞佛教研究所」の開設準備を進めてゐたが十九日理事會を開き研究所員として立正大學講師安永辨哲氏(泰國佛教)、帝室博物館員岡本貫發氏(佛印

教育

全國青年學校長會議

【三・二七】文部省では毎年一回中央で開催してゐる全國青年學校長會議を十七日午前九時より神田一ツ橋教育會館に開催した

東京、富山の兩高校組織變更

文部省では學制改革に伴ひ高等學校の七年制を廢止するとともに理科系の學科を強化すべく明十八年度から東京高等學校の組織を變更し縣立富山高等學校を官立に移管する旨發表した學科の増廢されるものに次の通り
(一) 東京高等學校は高等科二學級を増加して理科生徒八十名を増募し尋常科生徒の募集は中止、在學生徒の修了後これを廢止する
(二) 富山高等學校は官立高等學校に移管し文科二學級、理科四學級を組織する、尙現在の尋常科の生徒募集は中止在學生徒の卒業又は修了の後廢止する

社會

高丘親王奉讚の夕

一千百年の昔尊き御身を南溟の地、馬來半島シラガポイル附近まで運ばせられ薨去された高丘親王の御事蹟を偲び奉る「高丘親王奉讚の夕」が十七日午後五時から高丘親王奉讚會の主催で九段軍人會館に聽衆約一千餘名參集して盛大に開催された

電報事務簡捷化

【三・二八】逓信省では電報事務の簡捷化を圖るため電報規則無線電報規則及び東亞電報規則を改正することに決定、十七日附官報を以て告示し明年一月一日より實施することとなつたが改正要旨は左の通り
(一) 和文電報の至急(ウナ)と照校(ムニ)の指定略號はこれを課金數字に算入せず従つてこれが傳送を省略することとした
(二) 短波の發達に鑑み無線電報の船舶中繼の取扱を廢止し且つ陸上局における送信前保管の期間を短縮した
(三) 東亞電報の料金受取人拂新聞電報の發信證書は日滿支間において相互流用し得ることとした
(四) 日支間往復電報に關し受信人の請求する尋問は從來無料であつたが内國電報と同様電信局側の取扱に過誤なき場合はこれを有料とした
(五) 東亞電報については電試送達皆無の状態に鑑みこれを廢止することとした

亞智兩國向郵便物取扱再開

【三・二九】アルゼンチン及びチリ宛郵便物は大東亞戰爭勃發以來取扱停止となつてゐたが逓信省では關係各國と協議の結果このほどシベリヤ經由で送達可能となつたので十八日から兩國宛の書狀及び葉書に限り取扱を再開する、但し商品を含むものは取扱はしない
【三・三〇】畏くも 天皇陛下に於か

聖戰完遂祈願祭全國の神社で執行

【三・三〇】畏くも 天皇陛下に於か



亞東

國民政府

金華放送局開設

上海【三・四】現地軍各機關協力のもとに去る八月九日建設に着手した浙江省金華放送局は此程完成試験放送も終つたので大東亞戦争一周年記念日の八日を期して厳肅な開局式を行つた

南支方面海軍最高指揮官中

國海軍視察

廣東【三・二】南支那方面海軍最高指揮官は管下各部隊の査閲並に中國側海軍狀況視察のため軍艦〇〇にて去る十二日午後四時半廣東に到着、直ちに廣州要港司令部を訪問、中國側海軍の發展に期待するところ大なる旨の訓示を行ひ更に同六時官邸に南支派遣軍最高指揮官を訪問

浙贛線一部開通

金華【三・三】皇軍の庇護により復興の歩を進めてゐる浙江省金華、蘭谿地區では日華軍官の緊密なる協力の下に目下各種建設工事が着々進められてゐるが、六度めぐり來つた南京陥落記念日の十三日、金華驛頭において上海、杭州各方面の關係者參列、浙贛線金華〇〇間の鐵道開通式が盛大に舉行された、本年夏の開戦完了とともにわが軍官氏は中國の作戦協力として建設の動脈たる鐵道復舊工事を開始、晝夜兼行で工事を進め十月十日には金華より〇〇への難工事に着手、僅か數日にして金華〇〇間〇〇キロの開通を見、その後毎日〇千名の勞働者を動員して工事を急ぎ、大東亞戦争一周年記念日の十二月八日には金華、〇〇間全長〇〇キロの全通を見たのである

上海大使館事務所の機構人事發表

上海【三・二】上海帝國大使館事務所は帝國政府の對支政策の一元的遂行の現地統合機關として大東亞省管轄下に十一月一日開設され、爾來管内機構の整備調整に努めて來たが、その部内諸部屬の確定は十五日の首腦部會議により最後の決定を見、十六日午前帝國大使館情報部より發表された、機構左の如し

△總務部 第一課(綜合調整)、第二課(政務調査)、第三課(涉外情報宣傳)

△施政部 行政課、警察課、鍊成課

△經濟部 第一課(舊經濟一局)、第二課(新經濟二局)、第三課(農林)、第四課(交通、通信)

△財務部 金融課、財政課、監査課

△文化部 文藝課、厚生課

△總務部長は當分田尻公使が兼任し、官房長には石原虎好書記官、施政部長は矢野總領事兼任、經濟部長は奧田信三參事官、財務部長は小原正樹參事官、文化部長は伊藤隆治參事官がそれぞれ任命されることとなつた、また全般的な事務の綜合調整に關し公使を輔佐するための三名より成る審議室が總務部に併置されてゐる

全支公館長會議開催

南京【三・七】大東亞省設置に伴ふ在支機構の一元的統合以來、はじめに召集された全支公使、總領事會議は十七日午前九時四十五分南京大使館で、外務省より上村政務局長、奧

(大陸) 大東亞省設立によつてわが在支機關は一元化され十七、八兩日南京に於て最初の在支公館長會議が開催された。これに對し國民政府の態度も、開戦以來同甘共苦以て戰爭完遂に對する物心兩面よりの協力から開戦一周年を機にその對日態度は一段と積極化してきた。わが對支政策の推進に呼應して、國府のこの積極的な新動向は、汪主席の過般來屢次の談話にもあらはれ極めて注目されつつあつたが、二十日汪主席一行の日本訪問が發表された。而して主席は目下滯京中である。かくて戰爭完遂への日支提携關係はさらに緊密化されるであらうことは疑ひない。

重慶は對外的には對米關係をしきりに宣傳しつつ自己の有利な國際地位の保持にとめる一方、國內的には物價問題の緊迫化が難く、これを蔣獨裁による強權の遂行によつて切りぬけんと必死の努力を傾けてゐる。(高)

(南方) 日佛印明年度經濟實行協定交渉はこの十四日のサイゴンにおける芳澤大使とドク・總督との第一次會談をもつて開始され、極めて順調なすべり出しを見せた。右交渉は明年度實行協定から日佛印經濟基本協定の更改乃至は一部改正にまで發展する形勢である。既に芳澤ドク會談に引續き日佛印事務當局間において具體的細目の折衝が行はれてゐる

佛印が一切の煮え切らない殘滓を清算して東亞の新事態に即應した日佛印經濟關係を樹立し、大東亞共榮圏のよりよき一環たるべき内外の氣運は愈々熟して來た。インドの食糧飢饉は益々深刻化し、政廳も食糧會議を開いて對策を練つてゐるが、軍隊への食糧供給も増大する一方で、食糧難の解決はまづ不可能と見られる。この食糧飢饉に拍車された反英騒擾は全印各地に激化し當局も收拾に全く手を焼いてゐる。リンリスゴ、總督自身も「インドの危機」を自認した。この秋に方つて米遣印特使アリツプスの着任が報せられてゐる。(倉)

佛印が一切の煮え切らない殘滓を清算して東亞の新事態に即應した日佛印經濟關係を樹立し、大東亞共榮圏のよりよき一環たるべき内外の氣運は愈々熟して來た。インドの食糧飢饉は益々深刻化し、政廳も食糧會議を開いて對策を練つてゐるが、軍隊への食糧供給も増大する一方で、食糧難の解決はまづ不可能と見られる。この食糧飢饉に拍車された反英騒擾は全印各地に激化し當局も收拾に全く手を焼いてゐる。リンリスゴ、總督自身も「インドの危機」を自認した。この秋に方つて米遣印特使アリツプスの着任が報せられてゐる。(倉)

村岡第二課長、大東亞省より今井調
査官、島事務官をはじめ北、中、南
支および蒙疆より鹽澤(北支)、岩崎
(蒙疆)、田尻(上海)、堀内(南京)、
四公使及び渡邊(張家口)、望月(厚
和代理)、北澤(北京)、太田(天津、
喜多(青島)、有野(濟南)、天野(上
海)、好富(南京)、高津(漢口)、赤
堀(廈門)、大關(廣東代理)、笠原(海
口)の十二總領事が參集開催された
青木大東亞相の訓示(今井調査官代
長代讀)について、重光大使の訓示
あり、ついで同十一時二十分より
堀内公使司會のもとにそれぞれ現地
所管事務及び情勢に關し報告を行ひ
午後五時より懇談會に入つた、午後
七時より大使官邸で開かれた重光大
使主催の會食に臨み、會議第一日を
終了した

▲會議の收穫 主なるものとして次
の諸點が擧げられる
一、大東亞省設置に伴ひ現地におけ
る大使館と興亞院が統合一元化され
たが、今次會議開催によつて兩者の
意思が完全に疎通し一元的機構運營
上多大の効果が期待されるに至つた
二、北、中、南支はそれぞれ自然的
條件を異にするのみならず政治、經
濟、文化の分野においてそれぞれ特
殊事情を有してゐるが、今回全支各
地區より參集した各公館長の報告及
び相互の忌憚なき意見の交換によつ
てそれぞれの特殊事情を充分了解す
る一方、また相互の共通點をも發見
し、今後の綜合的政策の實施上多大
の便益を與へた

▲重光大使談 南京【三二〇】二日
に亘る全支公館長會議を終了した重
光大使は十八日大使官邸に於て次
の如く語つた
「十七、八兩日に亘る會議により、大
東亞省在支各機關相互が充分打合
せを行ひ、この間陸海軍當局側と
も隔意なき意見の交換を遂げた、

▲重光大使談 南京【三二〇】二日
に亘る全支公館長會議を終了した重
光大使は十八日大使官邸に於て次
の如く語つた
「十七、八兩日に亘る會議により、大
東亞省在支各機關相互が充分打合
せを行ひ、この間陸海軍當局側と
も隔意なき意見の交換を遂げた、

今度の會議の全過程を通じて最特
色と見られるものは中央の意見が
この會議に於て判然と明示された
ことで、會議第一日に於ける大東
亞相、並に外相の訓示を通じても
軍當局と大東亞省、外務省の各機
關が一體となつて協力し各般の政
策を推進してゆかうといふ中央の
意向が察知された、我が對華根本
方針は固より不動で變更ある筈の
ものではないが、この方針を從來
より一層強力に推進せしめやうと
いふ意圖が積極的に表示された點
が從來とは趣を異にしてゐる中央
から特に會議のため人を派し又現
地側全機關の指揮に當つてゐる人
々が一堂に會し、會議を通じて中
央の方針が全く徹底をみたことは
洵に大なる收穫である、これこそ
新設大東亞省機構の綜合的效果を
遺憾なく發揮したものでこの會議
により各般の政策が強力に推進さ
れることとなり、その意義は洵に
大きなものと信ずる」

國民政府汪主席兼行政院院長は十
九日南京を出發、日本訪問の途に
つき廿日午後一時五十分東京羽田
飛行場に到着せり、汪主席兼行政
院院長は廿二日國民政府主席の資
格を以て日本天皇陛下に御對面
廿三日以後は行政院院長として東
條首相及び日本政府各當局と中日
兩國の緊密なる協力に關する諸般
の問題につき會談を遂げる豫定な
り、隨行者次の如し
行政院副院長兼財 周 佛
政部長 梅 民 誼
外交部長 梅 思 平
實業部長 林 柏 生
宣傳部長 齋 叔 宣
軍事參議院院長 齋 叔 宣

▲重光大使歸朝
南京【三二〇】重光駐華大使は十七
十八日の全支公館長會議を終り右會
議の結果を中央に報告したがが大東
亞戰爭完遂を目的とする協力態勢問
題に關し中央關係方面と再度打合せ
を行ふため、十九日南京飛行場發空
路歸國の途についた

▲重光大使歸朝
南京【三二〇】重光駐華大使は十七
十八日の全支公館長會議を終り右會
議の結果を中央に報告したがが大東
亞戰爭完遂を目的とする協力態勢問
題に關し中央關係方面と再度打合せ
を行ふため、十九日南京飛行場發空
路歸國の途についた

▲重光大使歸朝
南京【三二〇】重光駐華大使は十七
十八日の全支公館長會議を終り右會
議の結果を中央に報告したがが大東
亞戰爭完遂を目的とする協力態勢問
題に關し中央關係方面と再度打合せ
を行ふため、十九日南京飛行場發空
路歸國の途についた

▲重光大使歸朝
南京【三二〇】重光駐華大使は十七
十八日の全支公館長會議を終り右會
議の結果を中央に報告したがが大東
亞戰爭完遂を目的とする協力態勢問
題に關し中央關係方面と再度打合せ
を行ふため、十九日南京飛行場發空
路歸國の途についた

▲重光大使歸朝
南京【三二〇】重光駐華大使は十七
十八日の全支公館長會議を終り右會
議の結果を中央に報告したがが大東
亞戰爭完遂を目的とする協力態勢問
題に關し中央關係方面と再度打合せ
を行ふため、十九日南京飛行場發空
路歸國の途についた

▲重光大使歸朝
南京【三二〇】重光駐華大使は十七
十八日の全支公館長會議を終り右會
議の結果を中央に報告したがが大東
亞戰爭完遂を目的とする協力態勢問
題に關し中央關係方面と再度打合せ
を行ふため、十九日南京飛行場發空
路歸國の途についた

▲重光大使歸朝
南京【三二〇】重光駐華大使は十七
十八日の全支公館長會議を終り右會
議の結果を中央に報告したがが大東
亞戰爭完遂を目的とする協力態勢問
題に關し中央關係方面と再度打合せ
を行ふため、十九日南京飛行場發空
路歸國の途についた

▲重光大使歸朝
南京【三二〇】重光駐華大使は十七
十八日の全支公館長會議を終り右會
議の結果を中央に報告したがが大東
亞戰爭完遂を目的とする協力態勢問
題に關し中央關係方面と再度打合せ
を行ふため、十九日南京飛行場發空
路歸國の途についた

上海商議新役員決定

上海【三二〇】上海日本商工會議所
では曩に機構改革を行ふと同時に議
員の改選をも行ひ更生商議として再
出發したが、今回會頭以下役員の人
選を行ふため十四日日本俱樂部に臨
時議員總會を開催、議長宮村二四郎
氏(正金銀行)の指名により青木節
氏(華中水電)會頭に就任、次いで
青木會頭推薦により、高垣勝次郎氏
(三菱商事)副會頭に就任、専務理事
に武内文彬氏が就任する事となつた

清郷地區大豐作

無錫【三二五】清郷地區各地におけ
る治安の確立とともに農民の安居樂
業は文字通り實現されんとしてをり
かかる情勢を如實に反映して本年度
清郷地區内農産物は近來にない大豐
作を示してゐる、即ち江蘇省建設廳
の調査統計によれば清郷地區内耕地
面積約一千三百萬畝に對し、各種農
産物收穫高は穀三千三萬石、小麥
五百萬石、大豆四十二萬石、蠶豆五
十二萬石、菜種四十四萬石、棉花十
八萬擔、產繭十八擔と見積られ十數
年來の大豐作と云はれてゐる

中支で米穀公價制を實施

▲重光大使歸朝
南京【三二〇】重光駐華大使は十七
十八日の全支公館長會議を終り右會
議の結果を中央に報告したがが大東
亞戰爭完遂を目的とする協力態勢問
題に關し中央關係方面と再度打合せ
を行ふため、十九日南京飛行場發空
路歸國の途についた

南京周邊の鑛物資源

上海【三二〇】華中鑛業で
は大東亞戰爭勃發一周年記
念に際し軍官各方面の援助を得て四
班の調査隊を編成、十二月八、九兩
日に亘り南京周邊の鳳皇山と南山の
中間區域、幅二十軒、延長十軒を四
十區域に分割して鑛物資源調査を行

汪主席一行日本訪問

南京【三二〇】國民政府主席兼行政
院院長汪精衛は再び日本を訪問する
に至つたが右に關し國民政府は廿日
午後三時宣傳部より左の聲明を發表
した

南京【三〇七】 中支における米穀需給計畫は日華當局の緊密なる協力により運用されてきたが大東亞戰第二年を迎へて米穀の需給豫定計畫の堅持が要請されるに至つたので過般派遣軍當局、大使館、國民政府糧食管理委員會等各機關において銳意對策協議を重ねてみたところこの程決定を見るに至り明年一月一日を期し適正米穀調辨價格を制定してその堅持を計ることとなり十七日右に關し中支軍大使館及び國民政府糧食管理委員會よりそれぞれ發表された

糧食庫券を發行

南京【三〇八】 國民政府は米穀の本格的出廻期を控へ、その收買資金調達のため糧食庫券を發行することとなり去る十二日甲種糧食庫券條例を制定公布した

▲備備銀行で引受

南京【三〇九】 右は兼に發行された金融安定公債に次ぐ國民政府の第二回公債發行として注目される、而してこの糧食庫券は先づ中央備備銀行が引受けた上一般に賣出すものであるが、額面金額が百萬元、五十萬元、十萬元、一萬元の四種で相當單位金額が大さいの主として金融機關に對して賣却されるものとみられる

廣東省、一月より儲備券一本建

廣東【三一〇】 廣東省における儲備券流通以來省財政廳では儲備券をもつて法定通貨として一切の收支の本位となす旨規定してあるが、今回更にこれを徹底強化すべく從來公私の收支勘定において軍票本位であつたのも一律に儲備券本位に改めること

香港 總督部納入金は軍票一本建

香港【三一〇】 香港總督府では從來電氣、電車及び總督部に對する納入金等の支拂に當つて、五十錢以下のものには香港弗小紙幣を以てする支拂を許してゐたが、既に軍票の小額紙幣は充分放出されたので十二日より總督部に對する小額納入金港貨拂辦法の廢止を公示、總督部納入金は一切軍票一本建となつた

敵性銀行の預金拂戻し打切

香港【三一〇】 橫濱正金銀行及び臺灣銀行各香港支店では總督部の委託により敵性銀行十六行の清算を進めてゐるが、各種預金の拂戻しも概ね完了をみたので來る廿一日限り各種預金の拂戻しを打切る事としこの旨十一日附總督部より公告した

三月香港貿易協定

香港【三一〇】 香港、廣東貿易協定更新に關する第三回香港廣東經濟連絡會議は去る十二日香港總督部で兩地代表者出席のもとに開催され明年一月三月の三月間における兩地貿易に關する協定を締結した、同協定に關する兩地貿易協定は前協定と同様であるが、今回の協定が前二回と著しく異なる點は從來原則として認められてゐなかつた兩地の業者が相互に行ふ現地買付けが當局の許可を得得認められることとなつた點である

華北政務委員會

第五次治強運動終了

北京【三一〇】 第五次治安強化運動の終了に際し、華北政務委員會委員長兼華北治安強化運動總本部長王揖唐氏は十日左の要旨の談話を發表した。第五次治安強化運動は成功裡にその期間を終了したが、本運動はこれをもつて終了するものではなく今後引續きこれを實踐することにより完璧を期せねばならぬものである、大東亞戰爭二年目を迎へる華北の任務は益々重大となつたがその任務は重要資源の徹底増産に集中されるものなので本運動の繼續は特に緊要である、この任務遂行のため軍官民渾然一體となり益々粉骨碎身せられんことを切望する

赤化防止に啓新院設立

北京【三一〇】 華北防共委員會では青年の赤化思想防止のため近く啓新院を設立することになり、十六日同院内に啓新院籌備處を設けこれが設立を促進することとなつた、尙初代院長は日華經濟協議會專門委員杜朝傑氏が任命された

華北治安軍に宣導局開設

北京【三一〇】 剿共を旗幟として華北の治安確立に挺身する華北綏靖治安軍では軍備の強化に平行して、大東亞新秩序建設を根本理念とする建軍思想確立のため今回宣導局を設置し、然るに本年八月この大部分が上海佛租界の某所に保管されてゐることになり、既に十一月初旬漢籍百三十六冊が到着し、洋書百四十三箱も十七日無事同館に到着した、今回歸つて來た書籍は漢籍善本甲書庫(明代以前の漢本)三百七十六種、四千九百六十冊、乙書庫(大體清時代の漢本)

大太行山脈中に一大佛蹟發見

北京【三一〇】 千古の謎を秘めて聳える太行山脈中五臺山の聖地に四敵すべく一大佛蹟が發見された、同地は石太線沿線并涇縣北方二十軒の青岩山一帯で、古刹佛堂その他の佛蹟

千九百六十八種、二萬五千六百八十冊、洋書は三百三十五種、約九千五百冊、總計二千六百七十九種、四百四十冊である、漢籍は宋刻唐書、宋刻歐陽文忠公集、元刻文獻通考、漢文大清會典、八旗通志稿本、官刻賦役全書などで、洋書部では王立英國アジヤ協會報告、遠東學院月報(全巻揃ひ)など何れも世界に知られた稀書が多数含まれ、これにより同館は昔日の偉容を取戻した

華北學術文化審議會成立式

北京【三一〇】 華北政務委員會教育總署では華北教學の刷新を期し去月十八日學術文化審議會を設置したが十八日午前十一時より北京西城、東亞文化協議會で王揖唐委員長以下各委員出席して成立式典を舉行、終つて第一回委員會を開催した

華北邦人翼賛體制運動展開

北京【三一〇】 華北四十萬在留邦人の強力な翼賛體制の確立の第一段階として石門、濟南が模範實踐都市に選定され、明年一月末までに組織運動體制の實現を期して活動を展開した、兩都市はまづ從來の最大缺點であつた、片手間式の運動指導を一掃する一方、翼賛運動事務局との間の運動業務の調整、運動に對する現地邦人の再認識等を圖ることとした、

また翼賛運動本部長を總領事に、副部长を民團長及び民間有識者の二名に定め横の組織に地域的にする隣組の強化、縦の組織は職能による各種國會、國策會社社員會、醫師會、教職員など地方事情に即した翼賛會の下部組織となし縦と横とを結ぶ強靱な立體組織運動を展開した、その

他の諸都市も明年三月末までにはこれに倣つて組織機構の完成を見る豫定である、なほ全華北に展開される一元的な協力運動の指令及び指導は大使館がこれに當る

ラジオの擴充に乘出す

北京【三〇三】華北廣播協會(放送協會)では近く全華北民衆に對し邦人は一家屋、華人は一家屋を單位にそれぞれ一臺のラジオ受信機を備へつるやう積極的な勧誘を行ふこととなつた、華北に於けるラジオ有料聴取者数は現在十四萬九千五百五十四に過ぎないが聴取料徴取制度を實施した本年六月末に於ける八萬六千四百二十七に比すれば實に五萬四千四百八十八の増加を示して居り、特に十月以降激増の一途を辿つてゐる

勤勞服務運動を展開

北京【三〇二】華北新民會では去る十一日終了せる第五次治安強化運動の後をうけ新國民運動として國民勤勞服務運動を活潑に展開せしむるためその具體的實施大綱を立案中であつたが、この程完成、近く直轄總會を通じて新春より積極的に推進することとなつたがその要領は左の如く三段階に發展せしめる

第一期、本期間は新運動の啓蒙期間として國民の關心喚起並に中堅幹部養成、訓練に當る
第二期、本期間は組織發展期間とし組織の大量動員を行ひ國民中堅層まで擴大するとともに組織の完成に重點を置く
第三期、本期間に於ては積極的に公益建設事業に従事勤勞を實施せしめ、都市と農村との性格的差異を考

慮し、都市では精神勤勞と肉體勤勞を配合、學生は冬、夏を中心として一般官吏はその日曜休日を中心としてそれぞれその事業を妨害せざるやう又農村に於ては過去に於ける私心消極性を是正して自發的集團建設に參加せしめるが農村努力の需給を考慮して農繁期の動員には注意を拂ふ、又青少年團を根幹とする勤勞服務隊を組織實踐を促進せしむる

尙勤勞實施項目は左の如く
清潔、清掃、巡回地整理及び擴充、災害豫防、植樹、耕地整理及び擴充、水利開發、食糧増産、廢物納集、工業増産、創業獎勵

華北銀號整理完了

北京【三〇一】華北における銀號は金融機關管理規則に基き資本金を五十萬圓以上を増額の上、十二月十日までに華北政務委員會財務總署宛營業許可を申請することになつてゐたが、期限満了の十日までの申請件数は二百四十五件に上りその大部分は既に許可済で残る數件も近く許可される筈である、これを昨年十二月同規則公布當時の銀號數四百八十四軒に比すれば滿一年間に二百三十九軒が整理されたわけである

華北合作事業總會の業績

北京【三〇〇】華北における合作社運動の中央機關たる華北合作事業總會は十六日創立一周年記念式を舉行したが、同會は創立以來、農村復興と農産物増産を目指して單位鄉村合作社の強化編成に努めた結果、本年九月末までに省地區聯合會六、縣聯合會二百廿九、鄉村合作社一萬六千

十一名、社員數二百廿三萬三千六百九十一名、出資總額五百四十九萬六千一百七十四圓四錢の業績を示し、また系統機關を通ずる春耕資金、鑿井資金等の貸出總額は三千五百九十六萬九千二百七十一圓の巨額に達し、兵站基地華北の農産物増産に積極的に寄與してゐる

蒙 疆

政府明年度豫算

張家口【三〇二】蒙古政府明年度總豫算はこの程諸般の手續きを完了、十五日の政務院會議に附議可決を見ただので、德王主席の裁可を得て十六日公布することとなつた、而して右明年度總豫算は一般會計歲出入共八千二百八十四萬圓で、さきに決定した健全財政方針に則り時艱に對應する國家資源及び農産物等の増産並に國策遂行上不可缺のものを除いては努めて新規經費の計上を削減した結果、前年度(追加豫算を含む)に比し六百九十四萬圓の減少を示して、前年度當初豫算に比較すれば一千九百九十二萬圓の著増となつてゐる、また明年度の特別會計豫算は歲入一億四千七百一十一萬九千圓(前年對比三百廿八萬圓減)、歲出一億二千五百廿三萬圓(前年對比六百四十八萬圓減)で投資部門を除いては自給自足體制を確立健全財政の基礎強化に努めたことが窺はれる、一般會計並に特別會計の内譯々々左の如し

臨時部	五、〇〇六
會計	八二、八四一
經常部	四八、八三八
臨時部	三四、〇〇二
合計	八二、八四一
歲出	二二、四九九
總務廳	六、二七一
興蒙委員會	二九、一六八
內政部	二、七六八
經濟部	二、二一五
司法委員會	九、九五九
交通總局	八二、八四一
合計	七四五
總務廳所管	一一、三一五
經濟部所管	一一、四三八
交通總局所管	一五二、三三七
合計	七四五

宣化、大同兩省新設

張家口【三〇一】蒙古聯合自治政府では行政機構の統一整備と能率化を期するため明年一月一日から宣化、大同の兩省を新設して中央、地方を大同の兩省を新設して中央、地方を

日系官廳異動

張家口【三〇〇】蒙古政府は日系官廳部の陣容整備のため今回內政部次長兼總務廳長事務取扱武內哲夫氏を專任總務廳長に任命、久原內政部總務科長をして暫定的に內政部次長事務代行をなさしめることとなり十六日武内氏の特任式と同時に政府弘報局より左の通り發表された

特任總務廳長(十二月四日附)
內政部參事官內政管理事官(總務科長) 兼內政部警監兼總務廳參事官 久原 明
命蒙內政部次長事務代行(十二月四日附)
政府營業所得稅創設
張家口【三〇二】蒙古政府では國防

資源の開發を促進するためこれが財源の一部として今回營業所得税の創設並に現行法人營業税法の改正を斷行することになり、十五日の政務總會議で右兩法案の可決をみたので明年一月一日より施行することになつた、今回人を對象とする所得税を創設するとともに現行法人營業税法の資本金課税を所得課税に改めたもので、右により蒙古政府では平年度四百萬圓程度の増収を見込んでゐる

滿洲國

學生勤勞奉公令近く公布

新京【三二〇】滿洲國政府は先般公布の國民勤勞奉公法に基き學生の勤勞奉公制度を確立のためかねて學生勤勞奉公令制定の準備を進めてゐたが、この程成案を得たので近く正式手續を経て公布することとなつた、同令による學生勤勞奉公制度の内容は、大學又は民生部大臣の指定をして毎年三十日以上四十五日以内の勤勞奉公に服せしむべく學生勤勞奉公隊を編成し、國家的諸事業に従事せしめんとするもので、勤勞を通じて精神的鍊成を行ふものである

醫師法一部改正

新京【三二〇】滿洲國政府は戦時下國民體位向上と醫療施設の普及徹底を圖るため醫師法の一部改正し、國民保健上の必要に應じて新登録醫師中から二ヶ年以内の期間をもつて主管部大臣の命令によりその指定する地方公共團體等の醫療並に保健指導

業務に従事せしめることとなり、該法令は近く國民會議を経て明年度早々實施の豫定である

建國神廟御造營地決定

新京【三二〇】滿洲國政府は新京特別市淨月區の建國神廟御造營地に關し廿一日付國務院布告を以て建國神廟御造營關係地域として淨月潭を含む新京特別市、吉林省長春、通陽兩縣の一市二縣に亘る約二萬三千町歩の廣大な地域を決定、該地域の清淨保全に關する勅令並びに張國務總理を委員長にする建國神廟御造營籌備委員會官制の二勅令を公布した

内國開拓民第二期計畫要綱

新京【三二〇】戦争下國土開發と食糧増産の重大要請に鑑み日本内地人及び朝鮮人滿洲開拓第二期五ヶ年計畫に即應して策定された内國開拓民第二期計畫要綱案は去る二日の國務院會議及び十日の參議府會議において審議決定を見たので政府は十二日右内國開拓民第二期五ヶ年計畫要綱を發表した、計畫要綱の全文左の通り

△方針 内國開拓民第二期五ヶ年計畫は開拓政策基本要綱に則り時局の要請に即應し、全體的計畫のもとに内國開拓民輔導の指針を確立すると共に助成の合理化を圖り、以て國土の総合的開發に資するものとす

△要綱 (一)開拓民として助成すべき戸數は康徳九年以降五ヶ年間に概ね五萬戸を目標とす (二)開拓用地の選定については未利用地開發主義に則り総合的計畫の下これをなす

(三)開拓民の移住については當該省縣内に定着せしむることを原則とするも必要に應じ、その他の地域に定着せしめることあるものとす (四)開拓民の選定についてはその適格に就き更に一段の査格を加へ、もつて定着の確立を期するものとす (五)開拓地の經營については部落共同組織の強化、農家經濟の改善を計る等その生活の安定をはかると共に必要なる共同施設の充實につき考慮するものとする (六)開拓民に對する助成及び輔導については開拓地の條件に隨ひ補助の適正を期し金融の圓滑を計ると共に必要に應じ恤貧につき考慮するものとす

▲助成の實績 新京【三二〇】康徳六年内國開拓民助成事業創始以來現在までの内國開拓民助成實績は次の通り(數字は戸數) △康徳六年度一、二四一 △同七年度八、三六五 △同八年度五、〇〇三 △同九年度六、五五四 △計三一、一六三

第二回滿蒙貿易協定會議開催

新京【三二〇】第二回滿蒙貿易會議は十四日新京に於て開催、本年度分四月より十一月までの貿易實績、同じく十二月より明年三月までの計畫と明年四月以降第二年度の豫定計畫等につき懇談、第二日は十五日午前十時半より懇談、鐵道貿易關係環境(五)黨、政府及び軍部的内の反黨分對蒙期待物資炭、鐵、滿佈、牛、馬、羊、鹽、蒙古側の對滿期待物資鋼材、木材、豆、油、雜穀、白麵等を根絶せよ、右は十中全會を契機に中央、地方を一貫する國民黨獨裁專制政治確立を

會を開き經過報告のち散會した日滿電話連絡改善云々

日滿電話連絡改善云々

新京【三二〇】日滿兩國を結ぶ電話の即時通話は現在東京と新京間のみであるが、最近新京、哈爾濱間に無裝荷ケーブルの完成をみたので、十五日より哈爾濱まで延長されることとなつた、これにより東京と滿洲國內主要都市間の通話は非常に明瞭となり、且つ二十乃至三十通話の送信能力を發揮することとなつた

重慶政權

☆政治・軍事・外交

地方黨勢の強化

廣東【三二〇】重慶來電によれば蔣介石は十三日全國國民黨支部に對し左の如き命令を發し、黨勢擴張のためには暴力手段をも辭せざり、重慶當局が新疆省當局を使喚し、中共の活動に彈壓を加へつたことに對し嚴重警告を對することなど要求したといはれる

國家總動員會議を改組

廣東【三二〇】重慶來電によれば重慶政權は物價統制強化法案をはじめ戰時經濟政策を強力に實施する手段となり、十五日の行政院會議で新組織法を決定、即日實施した、右によれば常務委員の下に秘書長、副秘書長各一名、參事五名乃至八名を

明示した蔣介石が、過般來政府部内の人事刷新を斷行するとともに愈々地方の大肅清に乘出したものとして注目される

清黨運動を企圖

南京【三二〇】重慶政權の中共壓迫並に國民黨内部肅正工作は漸次熾烈化してゐるが、情報によれば居正をはじめ戴傳賢、張繼等の國民黨内に潜入して内部崩壊を企てつた中共分子を肅正するため同志を糾合して中央黨部執行委員會内に秘密清黨委員會を設置し、中共分子の徹底的清黨を斷行せんとするものであり、明年一月より三月まで第一期工作を完了せんとしてゐる、この國民黨の彈壓に對抗して延安の中共本部は駐ソ聯中共代表に訓令を發し、ソ聯共產黨中央委員會に對し一、ソ聯政府は在新疆省の特權保持のため強硬なる態度を維持すべきこと、新疆省内における中共の活動に強力なる支持を與へること、重慶當局が新疆省當局を使喚し、中共の活動に彈壓を加へつたことに對し嚴重警告を對することなど要求したといはれる

物資、糧食、軍事、財力、人力、運
輸及び検査の八組となし、今後隷下
機關の公務員はすべて一職務に専任
とし兼任を許さず行政能率の向上を
企圖してゐる。なほ各省の下部組織
を積極的に發展せしめ必要ある場合
は特派員を派遣することになつてゐ
る

米國間に無線電話、 寫眞電送

東一向動米對

廣東【三〇二】重慶來電によれば米
國無線會社プレス・ワイア
レスとの間に今回國際無線電話連絡
契約が成立し重慶時間十五日午前六
時重慶ロサンゼルス間に最初の通話
が行はれることとなつた、これと同
時に國際寫眞電送も開始される

宋美齡訪米目的

廣東【三〇三】重慶よりの情報によ
れば宋美齡今回の訪米目的は、本年
度における第一期對米武器貸與借款
一億三千三百萬元が支那戰線におけ
る莫大な損害の結果不足を來し、更
に空軍及び機械化部隊擴充の要に迫
られたので、蒋介石の命により新に
一億元の第二期借款を締結するため
で、右協定は大體成立を見たものよ
り、宋美齡はなほ對英借款をも獲
得すべく渡英するといはれる

米に對日空襲を泣訴

上海【三〇五】重慶來電によれば財
政部長兼行政院副院長孔祥熙は十四
日U・P記者との會見において米國
は支那に爆撃機を送り日本の諸都市
を爆撃せよと要請
「米國は大規模な對日空襲敢行のた

め支那に對し更に多數の爆撃機を送
るべきである、余の考へでは日本の
工業中心地に對する大規模爆撃は聯
合國が日本に對して企圖し得る如何
なる地上戦よりも効果的であらう、
日本の工業が粉碎されれば日本は長
期間戦禍を行ふことは出來まい」と
語り、このほか孔はこれがためビ
ルマ公路再開の急務を強調、又重慶
軍の裝備の貧弱なる現状を説明して
砲兵、戰車、空軍掩護を有する日本
軍に到底打ち合はれぬと悲鳴を擧
げた

米の華僑強制徵兵に反動

北京【三〇七】曩に米陸軍當局が在
米七萬の華僑を新徵兵法により強制
徵集せるに對し重慶政權が米現行移
民法の矛盾による差別待遇であり且
華僑の抗徵送金にも大打撃を與へる
ものであるとして米、重慶間に面白
からざる空氣を醸してゐるが、U・
P十五日の重慶電はカナダの對支態
度を非難した大公報社説を報道し注
目をひいてゐる

ビルマ奪回を煽る

廣東【三〇六】重慶來電によれば十
五日の重慶各紙は一齊に太平洋第二
戰線結成のため西部雲南作戦とビル
マ奪回作戦を同時に開始すべきであ
ると筆を揃へて書きたててゐる
△新民報 在印反極軸聯合軍は今こ
そ西部雲南の重慶軍に呼應して直ち
にビルマ反攻作戦に出づべきである
かくて我々は日本軍を挾撃し得るの
であるが、これがためには在支米空
軍は速かに日本空軍基地に大規模な
空襲を開始するとともに、米國はま
た武器軍需品の重慶向け輸送を急ぐ
べきである

雲南省主席に關麟徵

ラングーン【三〇六】當地に達した
確實なる情報によれば、重慶政權は
最近第九集團軍司令關麟徵を龍雲の
後任として雲南省主席に任命したと
いはれる、關麟徵は大東亞戰後、第
六軍軍長としてビルマ遠征重慶軍
一翼を受つたが、わが軍のため軍
退されたことは、今回これを雲南省
主席に据ゑたことは、最近重慶側が
頻りに宣傳してゐる「雲南及びイン
ドより出撃して、ビルマを奪回すべ
し」といふ主張と考へ合せるとき、
蒋介石が雲南中央化と軍事力強化に
必死となつてゐることを裏書きする
ものとして注目される

△時事新報 ビルマが對日反攻作戦
の最要點であることはいふまでもな
いが、ビルマ奪回の期は全く熟した
ビルマ奪回が或る時のみ、はじめ
て我々はマレー、シンガポール、タ
イ、佛印、南洋群島等を回復し得る
のである、さもなくば東亞諸領土
の回復は問題外であり、重慶は永久
に孤立の運命に閉ぢこめられるであ
らう、かかる際英米が未だに遲疑迷
巡してゐるのは全く諒解に苦しむ、
我々にははやチャーチルやルーズヴ
ェルトの演説には食傷した、問題は
明日の行動だけである

大公報物價對策を 非難

重慶【三〇四】來電によれ
ば過般の十中全會において
決定した物價統制強化法案
(一)各地黨部は黨員をして物價統制
強化法及びあらゆる經濟政策の實施
に積極的協力せしめ、黨員率先し
て法令を遵守すると共に宣傳に努力
して弊風を改め、實効を収むる様努
むべし
(二)各黨員は率先戰時生活を勵行、
その家族とともに節約を旨とし、同
時に餘暇を利用して生産事業に参加
すべし
(三)統制法令に違反する者あらば官
吏、人民或は親交關係の如何を問はず
警告を與へ或は檢舉すべし、公職
にある黨員は絶対に商業を營むべから
ず

物價統制強化方策實施

上海【三〇二】物價暴騰に悩む重慶
政權は過般開催の十中全會において
決議された物價統制強化方策に基き

☆ 財政・經濟

物價問題重大化

過去における重慶の各種統制が悉く
失敗したのは政治的原因によるため
である、政治的基礎が優良であり機
構が完全であれば、經濟の改革は容
易に行はれる、抗戰開始以來權勢地
位を利用した國難成金が發生し、稅
制機關その他に商人に難癖をつけて
私腹を肥やし、或は新しい名目で民
衆を搾取した、これらの弊害は機構
の不健全だけでなく政治の根本的腐
敗によるものである、蒋介石の法案
は非常に強硬なものであるが、過去
における政治上の弊害が除去されな
い限り充分なる効果をあげることは

國民黨物價統制に躍起

廣東【三〇二】重慶來電 蔣介石が
曩に參政會に提示して可決を見た物
價統制強化法案はその後十中全會に
於ても慎重檢討を加へ
(一)米及び鹽の價格を以て一般物價
統制の標準とすること
(二)物價統制實施の順序及びその重
點等につき決定したが、更に關係方
面では右決議に基き種々具體策を確
定、十五日物價統制強化法を公布し
た、尙これと同時に中央黨部常務委
員會では各黨員に對し物價統制實施
に當り、率先範を垂れて實踐躬行す
る様左の如き三項の訓令を發し經濟
體制整備に必死の努力を傾けてゐる
(一)各地黨部は黨員をして物價統制
強化法及びあらゆる經濟政策の實施
に積極的協力せしめ、黨員率先し
て法令を遵守すると共に宣傳に努力
して弊風を改め、實効を収むる様努
むべし
(二)各黨員は率先戰時生活を勵行、
その家族とともに節約を旨とし、同
時に餘暇を利用して生産事業に参加
すべし
(三)統制法令に違反する者あらば官
吏、人民或は親交關係の如何を問はず
警告を與へ或は檢舉すべし、公職
にある黨員は絶対に商業を營むべから
ず

雲南省主席に關麟徵

ラングーン【三〇六】當地に達した
確實なる情報によれば、重慶政權は
最近第九集團軍司令關麟徵を龍雲の
後任として雲南省主席に任命したと
いはれる、關麟徵は大東亞戰後、第
六軍軍長としてビルマ遠征重慶軍
一翼を受つたが、わが軍のため軍
退されたことは、今回これを雲南省
主席に据ゑたことは、最近重慶側が
頻りに宣傳してゐる「雲南及びイン
ドより出撃して、ビルマを奪回すべ
し」といふ主張と考へ合せるとき、
蒋介石が雲南中央化と軍事力強化に
必死となつてゐることを裏書きする
ものとして注目される

同方策實施辦法の作製を急いでゐたが、重慶來電によればこのほどこれが成文化を終つたので十七日蔣委員長の名を以て關係各廳並に各省市政府へ通告を發し明年一月十五日より各重要市場の價格、輸送費、賃銀などに一律に最高價格制を實施し同時に本年十一月卅日の市場價格を以て最高標準價格と見做し強權を以て價格統制に最後の努力を拂ふことになつた、物價低利強化策實施辦法の骨子は左の通りである

(一) 各省市政府の所轄区域内の軍部市場の物價運賃、工賃に對し民國卅二年一月十五日より一律に最高價格制を實施すべし
(二) 物價、運賃、工賃の最高價格は民國卅一年十一月卅日現在の各該市場價格を以て標準とす
(三) 最高價格制の實施は特に民生重要必需品たる糧食、鹽、食油、棉花、綿糸、綿布、燃料、紙などの物資並に運賃、工賃に重點をおくべし
(四) 各地政府はそれぞれ同業公會を督勵して右期限と標準に準據し、民生必需物資その他の價格につき協議をなし、同一地區、同一時間、同一物品に對しては唯一の價格のみしかなきやう努むべし
(五) 各地政府は協定價格に對して許可を與へ管轄区域内に公布施行すべし、一方決定事項は速かに上部機關に報告し審査決定を仰ぐべし
(六) 各同業公會所屬のものは認可價格の交易場所或は物品の上に明記し政府の承認を経ざれば認可價格を變更し得ず
(七) 最高價格實施後は嚴重に闇市場を禁止し法令違反者に對しては軍法により嚴罰に處す

米記者の見た重慶の物價

重慶政權は右諸規定の嚴格なる施行に停止した、工業製品の値段は半年の間に數倍に騰貴した、食糧品はさ程でもなかつたが、それで雲南省特に昆明では米價は重慶より三割高、沿岸及び西北地區では六割高を示した、これは突然ビルマから卅萬餘りの避難民が入りこんだ爲である、彼等は巨額の所持金を有してをり争つて買留めを行つたので物資の需要が三倍に飛躍したのである、昆明は周圍から隔離された溪谷に在るため食糧は數百哩も遠方から苦力の背によつて運ばれ、爲に物價は近々一ヶ月内に五倍、就中豚肉は重慶治下の如何なる地區よりも高くなつた、一方重慶の物價は統制の普及と四川省を巡る水運の便により昆明程の騰貴はないがそれでも一般民衆は塗炭の苦しみ毎日を送つてゐる

河南省の水害狀況

廣東【三・二五】本年夏以來重慶治下の河南省一帶は未曾有の洪水と旱魃に見舞はれたので狼狽した重慶政權は其の應急對策に苦慮してゐるといはれるが、重慶來電によれば去る十三日河南省政府主席李培基は同問題に關し記者圖と會見、同省の災害情況を次の如く暴露してゐる

奧地縱斷公路建設を計畫

廣東【三・二六】重慶來電によれば重慶政權ではこのほど奧地を南北に縱斷する大幹線公路建設計畫を發表した、該公路は新疆省握牙峽より南下甘肅省天水、四川省廣元を経て嘉定に至り、更に同地より昆明或ひは衡陽に連絡する全長八、五〇〇キロに及ぶもので、右計畫實現によつて毎月三、四千噸の物資交流を計畫してゐるといはれる、而して右計畫の一部として既に甘肅、新疆間の驛運改善に着手し又四川、陝西間の旅客馬車も去る四日より開通したといはれるが資材入手難、財政窮乏等のため計畫倒れに終る可能性も多分に認めら

南方諸國

佛 印

日佛印經濟協定の第一回會談

サイゴン【三・二四】十三日サイゴンに到着した芳澤大使は十四日午前佛印政府のアサンジェ外交部長と會見

明年度豫算百八十億元

廣東【三・二七】重慶來電によれば八日の重慶大公報は民國卅二年度の重慶政府の歳出豫算是百八十億元に決定、これに對し歳入は穀物稅、直接稅、專賣稅、消費稅、關稅、統稅等を合せても現在の稅收實績その他の諸事情より推して更に二倍乃至三倍に擴充されねば歳出を滿たし得ぬであらうと報じてゐる本豫算は事變直前の民國卅五年豫算十二億元に比較すれば正に十五倍の膨脹振りである、これに對する現在の歳入實績は大公報所報の如く二分一乃至三分一程度の貧弱さである、一方財政部專賣事業司長朱俊は本年度の政府專賣收入は十一月末までに一億五千萬圓に達し、この内砂糖專賣收入は豫想以上の好成绩で一億元に及んでゐると放送し政府の專賣制度を謳歌してゐるが、この數字も前記歳出豫算に比すれば全く問題にならず重慶戰時財政の弱性を遺憾なく暴露してゐる

日佛印經濟協定の開始

來年度經濟實行協定交渉開始に關し
下打合せを行つた
サイゴン【三・五】 芳澤大使は十四
日午後七時(日本時間)ドクター總督
と會見、一般情勢に關し懇談並に佛
印側の對日積極的協力を促進方を要
望、また來年度經濟實行協定につい
て日本側の要求の全般的な説明を行
つたが、十五日正午(日本時間)大
使は公使官邸において記者團と會見
左の如く語つた

ドクター總督と二時間四十五分に亘り
經濟交渉並に一般的問題に關し討議
したが、會談は友好的雰囲気の中に
終始し兩者の意見一致をみた、昭和
十六年五月の經濟協定は來年末で期
限満了となるが、此協定は大東亞戰
争以前に締結されたものであり、更
の後の情勢の變化もあるわけで條約
改乃至は一部改正をしなければなら
まいと考へるので、この點に就ても
總督と話し合ひをした、來年度經濟
實行協定について大體内容説明を行
つたが、細目の交渉は鈴木總領事と
マルタン經濟局長との間に行はれ、ま
た一月末總督以下首脳部ハノイ歸還
後はハノイにおいて續行する、ドク
ター總督も對日積極的協力を表明
してゐるので、來年度交渉は順調か
つ迅速に進捗するものと考へられる

▲交渉實踐段階へ サイゴン【三・二】
【一五】十五日午後七時半(日本時間)か
ら鈴木總領事は總督官邸にマルタン
經濟局長を訪問今後の交渉進行に關
する細目の打合せをなすと同時に芳
澤大使が佛印側に提示された我方の
要求事項の各般について説明した

日佛印友好關係更に強化

ドクター總督演說

サイゴン【三・五】 本年度の印度支
那總督府會議はサイゴンで十五日よ
り開かれ、ドクター總督は開會詞頭
本國ベタン主席に對する絶對忠誠を
表明するとともに、過去一ケ年の佛
印情勢に關する報告演說を行ひ、國
境方面の情勢、對日友好關係の強化
及び對タイ關係の常態化を指摘して
注目を惹いた、演說要旨左の如し
總督府會議は本年はフランスの歴史
初まつて以來の最大の危機の眞只中
に開會されることになつた、この一
年以來戰局は新段階に入り、世界は
今や擧げて二大勢力の對抗状態を呈
し、戦火は地球の各地を蔽うてゐる
が、總督府の懸命なる政策により印
度支那は常に佛國領土として今日ま
で存続することを得た、本年は印度
支那は全く不當なる空爆を蒙り、無
辜の民衆の中から犠牲者まで出す
に至つた、この機會に余は印度支那が
一年前の日佛印共同防衛の立場に立
つて、印度支那保護に必要な諸種
の手段が講ぜられたが、視察の結果
有効に實施されてゐるものと認め
また國境方面警備の任に當つてゐる
陸軍司令官及其將兵に對し滿腔の感
謝の意を茲に表明する、さて日本は
わが方との確約を嚴守し來たり、總
督府も日本當局とより密接且つ信頼
的な關係を強化しつたがあるが、余は
茲に特に芳澤大使の懇懇にして友好
的なる措置が日、佛印關係に大いに
貢獻してゐることを指摘し、同大使
に讃辭を呈したい、就中經濟分野
において顯著で、來年度の日佛印經
濟協定のための頻繁なる折衝も開
始されんとしてゐる、また文化的分
野においても兩者の密接なる關係は
相互理解の精神の下に發展し、これ

サイゴン【三・五】 本年度の印度支
那總督府會議はサイゴンで十五日よ
り開かれ、ドクター總督は開會詞頭
本國ベタン主席に對する絶對忠誠を
表明するとともに、過去一ケ年の佛
印情勢に關する報告演說を行ひ、國
境方面の情勢、對日友好關係の強化
及び對タイ關係の常態化を指摘して
注目を惹いた、演說要旨左の如し
總督府會議は本年はフランスの歴史
初まつて以來の最大の危機の眞只中
に開會されることになつた、この一
年以來戰局は新段階に入り、世界は
今や擧げて二大勢力の對抗状態を呈
し、戦火は地球の各地を蔽うてゐる
が、總督府の懸命なる政策により印
度支那は常に佛國領土として今日ま
で存続することを得た、本年は印度
支那は全く不當なる空爆を蒙り、無
辜の民衆の中から犠牲者まで出す
に至つた、この機會に余は印度支那が
一年前の日佛印共同防衛の立場に立
つて、印度支那保護に必要な諸種
の手段が講ぜられたが、視察の結果
有効に實施されてゐるものと認め
また國境方面警備の任に當つてゐる
陸軍司令官及其將兵に對し滿腔の感
謝の意を茲に表明する、さて日本は
わが方との確約を嚴守し來たり、總
督府も日本當局とより密接且つ信頼
的な關係を強化しつたがあるが、余は
茲に特に芳澤大使の懇懇にして友好
的なる措置が日、佛印關係に大いに
貢獻してゐることを指摘し、同大使
に讃辭を呈したい、就中經濟分野
において顯著で、來年度の日佛印經
濟協定のための頻繁なる折衝も開
始されんとしてゐる、また文化的分
野において相互理解の精神の下に發展し、これ

栗山事務總長折衝開始

サイゴン【三・七】 日佛印明年度經
濟實施協定交渉に關し中央と打合せ
のため上京中だつた栗山大使府事務
總長は十七日空路サイゴンに飛來、
直ちに當地滞在中の芳澤大使と要談
を遂げた
サイゴン【三・九】 十八日午後總督
官邸にドクター總督を訪問、本格的交
渉に入り、わが方の要求事項を中心
として種々折衝を行つた

内山公使に安南最
高勳章

サイゴン【三・二】 保大安
南王はわが内山公使の日安友好増進
に盡した功勞に酬いするため、同公使
に同國最高勳章ドラゴン・ダンナム
大綬章を贈與、十一日午前十一時サ
イゴン總督官邸でドクター總督を通じ
てこれが傳達式が行はれた

南洋學院長らサイゴン到着

サイゴン【三・二】 南方協會が南方
園建設の第一線に活躍する中堅戦士
養成のためサイゴンに創設した南洋
學院の院長野村淳治博士(帝大名譽

見本市博覽會開く

サイゴン【三・三】 サイゴン見本市
博覽會は愈よ廿日から華々しく開會
されたが、これに先立ち招待下見會
が十九日芳澤大使、ドクター總督以下
日佛官氏多數出席して行はれ、席上
ドクター總督は主要次の如き挨拶を行
つた
今回の見本市博覽會は本質的には印
度支那のための博覽會であつて國際
的博覽會ではない、然しながら吾々
は日本の参加を勧誘したが、幸にし
て日本はこれを受諾、こゝに壯麗な
景観を添へるに至つた、今回の日本
側の陳列は日佛印間に現存する卓絶
せる政治經濟文化協力關係をまたも
や證明せるものであり、また佛印と
東亞第一の強國日本との間にこの種
の交流が今後發展して止むところ
を知らぬであらう

新中央銀行に通貨局

バンコック【三・九】 タイ國政府は
曩にタイ中央銀行を開設、戰時財政
の強化と財政金融總樞の近代化に更
に一步を進めたが從來大藏省に屬し
てゐた通貨局を新中央銀行に移管し
銀行券發行事務を行はせる旨十九日
發表した

守屋武官ビブン首相訪問

バンコック【三・二】 タイ國駐在帝
國陸軍武官守屋少將は十一日午前十
一時官邸にビブン首相以下タイ國陸
軍代表を訪問タイ國憲法發布十周年
記念を慶祝し、併せて開戦以來タイ
國が皇軍に寄せた厚誼を謝し同十二
時官邸を辭去した、ビブン首相は同
日午後四時武官邸を答訪し挨拶を
なした

華僑重慶へ反省通電

ラングリン【三・二】 ビルマ華僑聯
合會は去る九日舉行された開戦一周
年記念民衆大會で當日全面協力の決
議を行つたほか汪精衛主席に對する
祝辭並に蔣介石に對する反省勸告文
を決議し十一日夫々通電を發した

内務長官にタキン・ミヤ氏

ラングリン【三・二】 パー・モ行政
長官は八月一日就任以來内務長官を

タイ佛印親善關係深まる

兼攝してゐたが今同無任所長官タキ
ン・ミヤ氏を専任内務長官として起
用することとなり、十七日飯田最高
指揮官より正式に任命された
▲ランギーン【三二八】 タキン・ミ
ヤ氏はシヤンステートを除くビルマ
全土三十四縣の内政を遂行する重要
使命を帯びて十八日から政務を開始
したが、内務行政の當面の目標につ
いて左の如く語つた
當面の事業として第一に力を注がね
ばならぬのは治安の確保と民心の安
定である、最近の報告を綜合すると
特殊の地方を除いては一般に刑事事
件が著減の傾向にあるが、警察官の
再訓練及び増員によつて更に徹底し
たので、その準備は既に進めてゐる
現下の内政の重要問題は耕農及び農
村經濟の改善で、これがためには特
に勞働力の不足を補はねばならない
戦前におけるビルマの耕農勞働力は
主としてインド人苦力で植付期と收
穫期にインドから大量の勞働力を輸
入したのだが杜絶してゐる農業勞
働力の補充は現在重要な問題の一つ
となつてゐる、そのため當局として
は輸送力の改善擴充に力を入れると
同時に各地方の民衆に對し耕農の重
要性を説いて勞働力の補充に協力せ
しめるやうにした

り、マライ方面における交通通信行
政はこれら諸機構の擴充整備に伴ひ
飛躍的發展が期待されるに至つた、
八局の機構並に現況左の如し
一、通信總局 昭南に本部を置き、
この總局の下に七つの通信管理局が
マライ及びスマトラの主要都市に配
置され、更にこの管理局の下には配
信局及び電話局が置かれてゐる、電
信及び電話の通信機關は軍通信部隊
の努力により占領後最も迅速な復舊
工作が行はれたものである
一、郵政總局 通信總局と同時に開
設され、同じく昭南に本部を置き總
局の下に八つの郵政管理局が置かれ
これら管理局は昭南、マラツカ、ク
アラルプール、ペナン、コタバル
及び北、中、南部スマトラに置かれ
てゐる、またマライ、スマトラの各
所に地方郵便局が再開され主要業務
として現在郵便及び小包郵便、郵便
爲替貯金を取扱ひ、將來は簡易生命
保險及び郵便年金も取扱ふ管
一、海事局 昭南、ペナン、メダン
の三重要港市に十月一日同時に開設
の運びとなり、昭南にはマラツカ支
局、ペナンにはポートスエツテンハ
ム及びビトレンガマの支局があり、メ
ダン海事局にはスマトラ港市五ヶ所
の支局が置かれてゐる、海事局の業
務はマライ、スマトラ全域の水運、
船舶、倉庫、荷役その他海事に關す
る一切の業務を掌することになつてゐ
るが、現在海事局が力を注いでゐる
のは木造船の建造及び民船の登録で
木造船の建造はすでに邦人擔當業者
が來島し事業に着手し、本年度には
標準型船舶百五十噸の小型木造船〇
〇隻の完成をみるはずである
一、公共施設局 英國政廳時代のバ
ブリック・ワークス・デパートの一
部を復活、これが組織の擴充を行ひ
十月十二日昭南に總局を設置、同時
にマライ及びスマトラ主要都市六ヶ
所に同局の出張所が置かれた、同局
はすでに昭南港の倉庫の新設、復舊
に努め、橋梁、マライ、スマトラの
道路及び橋梁の復舊に携は、さら
に戦火に破壊された都市建築物の修
繕などに多大の努力を拂つてゐる
一、放送管理局 十一月廿四日昭南
に開設、現在昭南中央放送局の外ク
アラルプール、ペナン、メダン、バ
レンバン各放送局を管掌し、これら
放送局を通じて占領地の宣傳工作に
日夜健闘してゐる、初代管理局長は
元日本放送協會の實田通元氏である
一、鐵道總局 十一月廿五日クアラ
・ルンブルに設置された同總局は
マライ、スマトラ全體の鐵道及びそ
の附帶事業全部を管掌するが、これ
以外に現在總局自身でマライ鐵道を
運営してゐる、スマトラには總局の
もとに三つの鐵道局がメダン、中
部、南部の各鐵道の運営に當つてゐ
る、資源開發に最も關係の深い陸上
交通機關の復舊も電信電話と同様軍
鐵道部隊の努力に負ふ所が多く、特
にマライ西部線は占領の直後早くも
全通を見るに至つた、かくして現在
の鐵道利用乗客数は戦前の數字を突
破する勢を示してゐるが八月分調査
によると一般乗車人員数はマライ廿
九萬六千人、戦前同期の九十八万八
千に當り、スマトラでは百廿九
萬餘、戦前同期の百廿三万七千に
即ち三割三分の増加となつてゐる
一、測量局 十一月十日一應開設さ
れたがまだ要員の到着を見ないの

本格的事業を開始する運びに至つて
ゐない、同局はマライ、スマトラ全
地域の陸地及び水路の測量一切を掌
一、氣象局 目下立案中であるが、
最近大阪の氣象臺長堀口司政長官の
赴任をみたので近く昭南に開設され
る管、同局の開設により航空及び船
舶の利便安全は一層増大されるもの
と期待されてゐる

昭南【三二二】 過般開始
擴大 對南方郵便取扱
されたマライ、スマトラから南方各
占領地域向郵便取扱は殆ど平常化し
て來てゐるが、昭南郵便總局では更
に南ボルネオ、セレス、ニユーギ
ニア、小スンダ列島及びモルツカ諸
島との郵便交換業務が去る一日から
左記要領によつて開始された旨十二
日發表した
一、用語 日本語及びマライ語に限
二、取扱種類 通常の書狀、葉書、
印刷物、業務用書類及び定期刑行物
三、料金 マライ、スマトラ島内郵
便料金に準ず

二葉亭四迷の墓碑改装
昭南【三二五】 昭南島の日本人墓地
の一隅にある明治文壇の巨匠二葉亭
四迷こと長谷川辰三郎氏の墓碑は、
皇軍占領後最も忙な建設職のさなか
のことで訪れる人も少く倦しく苦
むしてゐたが空しくインド洋上に客
死したこの文豪を偲ぶ在昭南の有志
の人々はこの程「二葉亭墓碑改装委
員會」を組織し、廣く一般より基金
を募集してこの地に眠る文豪の靈を
慰めることになつた

昭南【三二二】 マライ軍政下におけ
る交通通信網の再開は金融機關と同
様占領後日ならずして應急的措置を
完了し、その後は本格的な機構の整
備強化に努めた結果、外局として既
に七つの機構の整備が完了するに至

知識階級失業問題解決
昭南【三二六】 昭南特別市では八月
下旬以來市内の知識階級失業者の登
録を開始し十月初旬において合計一
萬三百五十名に達したが、その後市
當局の斡旋と邦人商社の多數進出と
によつて市政の最重要問題の一つで
あつたこの失業問題は急速に解決す
るに至つた、即ち十二月十五日現在
では登録失業者のうち八割八分が就
職し僅かに一千三百五十名が未就職
のまま残つてゐる状態となりしかも
これ等の失業知識階級も既に職業轉
換に對する心構へが出来たので遠か
らず登録者全部が職業を得てそれぞ
れ新生昭南建設の部署に就き得る見
込がつけられた

東 印 度
一 不動産管理公團業
務開始
ジャカルタ【三二二】 ジャ
ワに於ける土地建物その他不動産の
適正なる價格を維持し且つその保存

マライ・スマトラ
昭南軍政監部八外局の現状

昭南【三二二】 マライ軍政下におけ
る交通通信網の再開は金融機關と同
様占領後日ならずして應急的措置を
完了し、その後は本格的な機構の整
備強化に努めた結果、外局として既
に七つの機構の整備が完了するに至

昭南【三二二】 マライ軍政下におけ
る交通通信網の再開は金融機關と同
様占領後日ならずして應急的措置を
完了し、その後は本格的な機構の整
備強化に努めた結果、外局として既
に七つの機構の整備が完了するに至

昭南【三二二】 昭南港朝日ドック
(舊名エンバイドック) 入口を扼
してシヤンガポール陥落の前日、日本
航空部隊によつて撃沈された英國貨
物船タルシビアス號(一萬二千五百
トン) 引揚げの懸命の作業を續けた
結果左舷中部甲板の機銃彈痕、上中
甲板の爆軍穴の防水作業も豫定通り
完了し、去る二日見事に浮揚した

昭南【三二二】 マライ軍政下におけ
る交通通信網の再開は金融機關と同
様占領後日ならずして應急的措置を
完了し、その後は本格的な機構の整
備強化に努めた結果、外局として既
に七つの機構の整備が完了するに至

昭南【三二二】 昭南港朝日ドック
(舊名エンバイドック) 入口を扼
してシヤンガポール陥落の前日、日本
航空部隊によつて撃沈された英國貨
物船タルシビアス號(一萬二千五百
トン) 引揚げの懸命の作業を續けた
結果左舷中部甲板の機銃彈痕、上中
甲板の爆軍穴の防水作業も豫定通り
完了し、去る二日見事に浮揚した

昭南【三二二】 マライ軍政下におけ
る交通通信網の再開は金融機關と同
様占領後日ならずして應急的措置を
完了し、その後は本格的な機構の整
備強化に努めた結果、外局として既
に七つの機構の整備が完了するに至

昭南【三二二】 昭南港朝日ドック
(舊名エンバイドック) 入口を扼
してシヤンガポール陥落の前日、日本
航空部隊によつて撃沈された英國貨
物船タルシビアス號(一萬二千五百
トン) 引揚げの懸命の作業を續けた
結果左舷中部甲板の機銃彈痕、上中
甲板の爆軍穴の防水作業も豫定通り
完了し、去る二日見事に浮揚した

昭南【三二二】 マライ軍政下におけ
る交通通信網の再開は金融機關と同
様占領後日ならずして應急的措置を
完了し、その後は本格的な機構の整
備強化に努めた結果、外局として既
に七つの機構の整備が完了するに至

昭南【三二二】 昭南港朝日ドック
(舊名エンバイドック) 入口を扼
してシヤンガポール陥落の前日、日本
航空部隊によつて撃沈された英國貨
物船タルシビアス號(一萬二千五百
トン) 引揚げの懸命の作業を續けた
結果左舷中部甲板の機銃彈痕、上中
甲板の爆軍穴の防水作業も豫定通り
完了し、去る二日見事に浮揚した

活用を圖るため軍政監部は去月十日
附布告を以て不動産管理公園の設立
を發表、爾來同公園の設立事務を着
々進めてゐたが、この程本部及びジ
ヤカルタ支部の業務を開始した現在
ジャカルタ支部の業務は開業早々の
ため主として戦後の管理業者なき家屋
の保存、維持及び敵産建物管理等で
あるが、早くも同公園管理の建物は
三千戸の多数に上つてをり、近く同
公園の主要目的たる土地建物の管理
賣買及び貸付、土地建物擔保の金融
等の業務も積極的を開始することと
なつた

東部ジャワ水害に萬全の 措置

ジャカルタ【三二】 過般の東部ジ
ヤワ一部の水害に對し、軍政監はボ
ジョネゴロ及びケデリの兩州に對し
見舞金を送り、また軍政監部では現
地州廳と協力罹災者の救済に萬全の
措置を講じてゐるが、十一日軍政監
は兩州長官を招致水害状況を聴取更
に見舞金として各々一萬ギルダを送
つた、目下水害地は漸次減水して
をり州長の指揮の下、住民は當局の
情ある措置に感激しつつ復舊作業に
努力してゐる

バタビヤ州、縣も改稱

ジャカルタ【三二】 バタビヤ特別
市は今回ジャカルタ特別市と改稱さ
れたが、これに伴つて、バタビヤ州
もバタビヤ縣もそれぞれジャカルタ
州及びジャカルタ縣と改稱する旨十
二日から軍政監部より正式に發表し
た

ハーチ祭に特別休暇

ジャカルタ【三二】 アラビヤメツ
カにおいて、毎年回教曆十二月十日
に行はれるハーチ祭(レバランハー
ヂ)の當日ジャワ回教徒は各所の禮
拜堂に集りメツカに向つて遙拜する
習慣があるので回教曆十日に當る十
八日軍政監部では特に原住民官吏に
對し休日と與へた

舊蘭印官吏統計發表

ジャカルタ【三二】 ジャワ軍政監
部はさきにジャワ軍政の現狀に關す
る軍政監談を發表、原住民の優秀な
人材は努めてこれを登用しジャワ
建設に協力せしむる方針を明かにし
たが、更に原住民青少年の向上心を
昂揚し彼等の強い反省と奮起を促す
ためこのほど舊蘭印時代の官吏統計
を發表、ジャワの知識層及び青年
の啓蒙運動に乘出した、今回發表さ
れた舊蘭印時代の官吏統計を見ると
オランダ政府の原住民抑壓のあとが
歴然とし、その主要點を擧げると次
の如くである

即ち舊蘭印政府時代における官吏總
數七萬三千三百五十四人のうち、原
住民官吏は五萬七千二百五十二人で
全官吏の七割九分餘を占めており、
オランダ官吏は一萬四千三百九十
五人で全部の一割九分九厘を占める
に過ぎず、しかも支那人、アラブ人など
であつた、しかるにこのうち高等官
吏を部門別に見ると技術部門では原
住民官吏二割に對しオランダ官吏は
七割七分、財務部門では原住民三割
に對しオランダ人六割七分、中央廳
部門では原住民一割六分に對しオラ
ンダ人八割四分となつてをり各部門
とも高等官吏はオランダ人が壓倒的
に占めてゐた、殊にこのうち技術部

政 治 ジャワ軍政の成果

ジャカルタ【三七】 大東
亞共榮圏の一環として逞し
き建設を續けるジャワ軍政十ヶ月の
成果及び全島軍官民總力をあけて新
しきジャワ建設に邁進せんとする決
意を〇〇軍政監は次の如く披瀝した
△完璧に近い治安状態 ジャワ島の
治安は現在全く完璧に近く島内極め
て平穩にして住民は敢々として日々
の業に勵んでゐる、このよつて來る
ところのものはジャワ裁定作戦が極
めて短時日に完了したこと、軍が精
強であるためであり、原住民の軍に
對する信頼と服従は絶對的である、
今後は戦争のため物資の不足は想像
されが食糧の自給は完全に確保せ
られ又原住民の戦争認識は次第に昂
揚しつつあり、彼等は日本と共にこ
の困難を克服し、民族協力の實をあ
げ戦争完遂、ジャワ建設に協力し得
ると思ふ、また治安は將來と雖もい
なきかの懸念分子の策動及び攪亂
工作に就ては警備及び監視を厳にし
つつあり、その蠢動の餘地は全くな
い、又軍は勿論軍政要員一般邦人ま
で國民皆兵の趣旨のもとに萬一の場
合は全部銃を執つてたつ用意があり
目下行つてゐる軍政少壯幹部の軍事
教練、一般邦人の鍊成なども此の趣
旨によるものである

△本格的に發足する行政機關 行政
に就ては軍政施行の當初數百名の人
員を以て行政に當り、その後逐次軍
政要員も増加し、行政機關は中央地
方を通じてその機構全く整備し、今
や本格的に發足せんとする情勢に
ある、即ち中央においては總務、警
務、司法、財務、産業、交通、内務、
宣傳の八部と通信、陸輸の二總局の
陣容全くなり地方行政機關としては
一特別市、十七州及び二サルタン州
に各特別市長、州長官が任命せられ
地方行政の滲透は期して俟つべきま
ゝである、軍政官吏の登用を有して
ゐるのは原住民官吏の用を有する
當局では縣、郡、町、村などの行政
は擧げて原住民管理に委ねてゐる、
現にジャワ島十八市のうち三市の日
本人市長を除く十五市は悉く原住民
市長が任命され、從來舊蘭印政權時
代において僅かに地方の二小都市に
おいて原住民市長が見られたるに比
すれば格段の相違であつて今後原住
民の向上、日本語進歩の程度によつ
てはさらに拔擢の用意もある、サル
タン制度即ち侯地制度はジャワ行政
の一つの特異性でもあるが、從來ジ
ヤワにはソロ、ジャクジャの二州に
四つのサルタンが存在したが、軍は
既にこれを存置するに決定し、四侯
に自治行政の權を委ね、日本側から
局長官を任命した次第である、警察
に就ては軍は島内の治安の維持上最
も努力しつつあり、原住民警官はこ
れを全部掌握し、これに日本人警官
が適宜配置されて局内警察の威力を
充分に發揮してゐるが、これまで不
逞分子の摘發のため盡力した原住民
警察官の内小數ではあるが殉職者を
出した、現在スカフミに警察學校が
あり、原住民警察官を養成しつつあ
るが、ジャワ警察要員の教育鍊成所
として重要な役割を演じてつある
△驚くべき日語の普及 教育に就て
は早くも國民學校の再開を見るに至
り、原住民兒童の就學率は舊蘭印時
代を凌駕してゐる有様である、また
中等學校、師範學校等は九月初め再
開され、現在は舊蘭印時代の約半數
が開校されて居り、逐次整備再開す
る方針である、殊に軍當局は實業技
術教育には特に意を用ゐる、農林學校
工業學校、技術員養成所、女子技藝
學校等を次々に開設しつつあり、そ
の學校數は戦前より増加し近く醫科
大學も再開すべく準備を進めてゐる
占領直後でもあり教科書或は教員等
の問題について種々困難もあるが、
教科書はマライ語の整備と相まつて
逐次改善して行く方針で、教員はさ
きに百二、三十名づつ三回に亘る鍊
成を終了し、女子教員についても一
回目の講習を了してゐる、また軍は
原住民の日本語習得の熱烈なる要望
に應じて既に各地に日本語學校を開
設したが、ジャカルタにおいても第
一、第二、第三の各日本語學校には
各二百名づつの學生が熱心に六ヶ月
の日本語學習を終り十二月には第一
回の卒業生を送り出したのである、
また軍政當局は原住民官吏の日本語
獎勵規定を設け、日本語習得の程度
に應じて待遇改善等計つてゐる、
日本語、日本語、日本語、日本語、
及に實に驚くべきものがあつて、如何
なる僻村においても愛國行進曲を開
き、日本語ラジオ體操を見るのであ

△圓滑な軍票の流通 財政に關しては帝國戰時財政の一翼をなすものとして軍はもとより健全財政政策を堅持してをり、軍政第一年度においても收支の均衡をとり得る見込みである即ち一面何時でも購買力を吸収し得る施策をなすと共に、反面においては積極的に生産増加を圖り建設を容易ならしめるよう工夫してゐるが、財政上特に措置してゐることは産業復興と失業救済には多數の費用を要まんで放出してゐることである、通貨としては現在舊ギルダ紙幣とギルダ表示軍票を流通せしめてゐるが、軍票に對する住民の信頼は絶對的で、軍票の流通は極めて圓滑に行はれてゐるが、ここにも原住民の軍政に對する強い信頼を見るのである。

を要約すれば大東亞戰爭に不可欠な物資及びジャワの自活のために必要なる物資の生産に全力を傾注し萬難を排してこれを遂行せんとするものである、最も重要な物資については遠き將來を圖り、重要企業、農園等の維持存続をはかる方針である、食糧に恵まれたる農産資源によつて些かの憂ひなく主要食糧の完全なる供給はに洵に意を強うするものであり、また來島せる邦人企業擔當者は曩にジャワ企業報國會を結成、大東亞産業建設の新しい理念のもとに着々その成果を擧げてゐる。

土地住民に多大の感銘を與へてゐるジャワ初の軍政會議(第一日) ジャワ軍政廳 最初の軍政會議第一日は廿日午前十時より會議室において開會、今村最高指揮官及び軍政廳の訓示があり、續いて中山總務部長、各地方長官の管内概況報告が行はれ午後は過般東京で開かれた軍政廳會議における傳達事項に關し軍政廳より中央の方針につき説明、烈々たる建設の闘志を漲らせて午後四時第一日を終了した。

田中最高指揮官中部ルン 島視察 マニラ【三・二九】 田中比島方面最高指揮官は十七日より三日間に亘り中部ルン、ベリウアグ、カバナツア方面の隸下部隊その他軍管理農場を視察中であつたが、十九日マニラに歸還した。

「深夜彌撒」許可 マニラ【三・二六】 開戦後二度目のクリスマスも旬日の後に迫り各商店と一齊に裝飾を施しクリスマスはの出しを初めた、今年のクリスマスは殆ど全部がカトリック教徒である比島人に充分降誕祭を祝福させようとの皇軍の理解ある温情によつて十六日から二十四日まで行はれる「早朝彌撒」二十五日の「深夜彌撒」には全信徒が参集に便利なやう特別の計画をする事になつたが、特に二十五日の「深夜彌撒」についてはローマ法王から戰時下において特に日没前の彌撒執行のみを許されてゐるにもかかわらず、比島のみ皇軍の理解によつて「深夜彌撒」を許可されることは教徒大衆の感謝的となつてゐる。

ルソン島の棉花植付一萬四千町歩 マニラ【三・二九】 ルソン島に於ける棉花は大體成功を収め今日迄に約一萬四千町歩の作付完了を見てをり、開引も大體済んで中耕も各地共に順調に進んでゐるが、最近棉花各社の代表が棉花栽培協會へ報告した數字によると十一月末現在のルソン島内植付完了面積は合計一萬三千八百十二町歩である。

△低物價政策堅持 占領地建設を容易ならしめるためには低物價堅持は必要であるが、軍はこの點に異常な努力を拂ひ、インフレ抑制に留意してゐるため物價は極めて安定し、一部輸入品を除いては現在物價騰貴の傾向は見えず、南方における最も低物價水準を保持してゐる、敵性銀行の整理は著々進捗してをり、今年中には全部の清算を完了する豫定である、現在一般金融機關としては正金銀行、臺灣銀行があり、特殊金融機關として南方開發金庫ジャワ支金庫が開發資金の融通を行つてゐる、又庶民金融機關としては庶民銀行、官營質屋、村落銀行等が何れも開設されて居り、下部金融機關も極めて圓滑に運営され、民生に多大の寄與をしてゐる。

△主要食糧の自給 産業に就てこれ

マニラ【三・二六】 比島軍政廳部では今同比島農民の収入増加並に米穀増産計畫の達成に資するため中部ルン米作地帯における軍管理米穀會社の米穀收買價格を改訂し、去る十日發表直ちに實施した、一九四一、二年度の米穀收買價格は品質の相違に關係なく粗米一袋(四十四キロ入)裸相場が二ペソ五十五セスタボの一本建であつたが一九四二、三年度に適用される新收買價格は左の如くエロン・エロン種とマカン種の二本建となつてをり、若干引上げられた點が注目される。

米穀收買價格引上げ

マニラ【三・二九】 コブラ輸出要求量の増大に鑑み比島軍政廳部ではコブラの組織的増産に乗り出すことになり具體的策の作成を急いでゐるが、最近完成を見たので直ちに實行に着手した、コブラ増産具體策の内容は次の如くである。

コブラ増産策成る

マニラ【三・二六】 比島軍政廳部では今同比島農民の収入増加並に米穀増産計畫の達成に資するため中部ルン米作地帯における軍管理米穀會社の米穀收買價格を改訂し、去る十日發表直ちに實施した、一九四一、二年度の米穀收買價格は品質の相違に關係なく粗米一袋(四十四キロ入)裸相場が二ペソ五十五セスタボの一本建であつたが一九四二、三年度に適用される新收買價格は左の如くエロン・エロン種とマカン種の二本建となつてをり、若干引上げられた點が注目される。

マニラ【三・二六】 比島軍政廳部では今同比島農民の収入増加並に米穀増産計畫の達成に資するため中部ルン米作地帯における軍管理米穀會社の米穀收買價格を改訂し、去る十日發表直ちに實施した、一九四一、二年度の米穀收買價格は品質の相違に關係なく粗米一袋(四十四キロ入)裸相場が二ペソ五十五セスタボの一本建であつたが一九四二、三年度に適用される新收買價格は左の如くエロン・エロン種とマカン種の二本建となつてをり、若干引上げられた點が注目される。

マニラ【三・二九】 コブラ輸出要求量の増大に鑑み比島軍政廳部ではコブラの組織的増産に乗り出すことになり具體的策の作成を急いでゐるが、最近完成を見たので直ちに實行に着手した、コブラ増産具體策の内容は次の如くである。

コブラ増産策成る

マニラ【三・二九】 コブラ輸出要求量の増大に鑑み比島軍政廳部ではコブラの組織的増産に乗り出すことになり具體的策の作成を急いでゐるが、最近完成を見たので直ちに實行に着手した、コブラ増産具體策の内容は次の如くである。

コブラ増産策成る

置して増産を圖らしめる一方、收買組合の收買を圓滑ならしめる、この生産者組合は既に今日迄サンパブロルセナ、シアインの各地區に十二ヶ所の結成を終つてゐる

一、増産日の設定 産地におけるコブラ收穫技術を持つた農民を奥地農村より百名見當を選び、これに増産要員を配置して定期的各農村を巡廻せしめてコブラ收穫能率をあげ同時に「増産日」を設定してこの増産期間にはコブラ生産農民が他の農作に従事するため離村する事を禁じて勞働力の他への轉用を防止する

一、生ココナツトの配給統制 マニラ方面の生ココナツトの消費増加に鑑み生ココナツト相場がコブラ相場に逆轉を生じてゐる事情の是正のために糧食統制組合がコブラ收買組合と連絡して生ココナツトの適正價格による産地より一手收買を行ひマニラへの供給權を握るやう措置する

一、自家用椰子油の搾油制限 最近マニラ市内椰子油の相場が騰貴の傾向にあるため産地にて家内工業的に搾油された悪質の椰子油がマニラ市内に流入しつつあり、これは椰子油の闇取引を助長するのみならず産地におけるコブラ收買量の減少となつて現はれるので産地における自家用椰子油の搾油を制限するため必要な措置を執ると同時にマニラ市内への流入を防止する

一、輸送力の増強 鐵道輸送力をフルに活用すると同時に鐵道のない地方はトラックを増配して收買せるコブラのマニラ集中を計る事とした

セブ市に通信局新設

マニラ【三〇八】比島派遣軍電政局では二十日よりセブ市に通信局を開設、一般の電報取扱ひを開始することとなつた、電報の取扱地域は島内相互の間のみならず、日本内地、滿洲國、中華民國向けをも取扱ふ筈である、因にこのセブ通信局の開設をもつて比島内の通信局は合計十九局となつた

新西蘭物價安定策發表

濠洲・新西蘭

リスボン【三〇二】ウエリントン來電ニュージランド首相フレージャーは十六日全國にわたる物價並に賃銀の安定策を發表したがその内容左の通り
一、酪農品、肉類、果實、野菜、燃料、家具等日用品百十品目の價格統制
一、一般俸給、賃銀、時間外務働賃銀、各種手数料等の統制

濠洲共産黨を認む

リスボン【三〇二】メルボルン來電ニューズパペーは十八日共産黨禁令を解除する旨言明した

濠洲盛んに銀貨鑄造

ストックホルム【三〇二】モーゲンソール米財務長官は去る十五日鑄貨用銀貨與計畫を發表する際英國および濠洲が右要請をなした旨附言したが、ロンドン來電によれば濠洲政府はすでに多量の銀鑄貨を米國から買入れつつある、すなはちロンドン地金業者の傳へるところでは、メル

ボルン造幣所は全能力の作業を行つてゐるに拘らず鑄貨需要を満たし切れず、多量の銀貨鑄造を米國に依頼してゐる、既に右鑄貨の第一回分四、十萬濠洲磅餘は濠洲に到着済みで、第二回分も目下輸送中といはれる、一方濠洲はまた銅貨鑄造を印度に發註したとも傳へられる、尙右鑄造費は額面價格の半分なるため本年の濠洲政府鑄貨収入は百萬磅を越すものとみられてゐる

印度

スチルウエル、印度へ
リスボン【三〇二】ニューデリー來電ニ重慶、印度方面米軍司令官スチルウエルは十四日重慶より空路ニューデリーに到着した

ウエーヴェル、セイロンを視察

リスボン【三〇二】ニューデリー來電ニ印度軍總司令官アーチボルド・ウエーヴェルは空路セイロン島に赴き同島駐屯軍部隊と協議したのち十四日ニューデリーに歸還した

ビルマ國境警戒を布告

廣東【三〇六】ニューデリー來電によれば英印度軍司令官ウエーヴェルはビルマ國境方面警戒のため最近左の如き布告を發した旨十五日印度政廳より發表された
一、ビルマ國境方面において日本人及び日本のためにスパイをなす者を發見した場合は直ちに當局に届出ることに

二、日本軍の落下傘部隊降下或は地上よりする國境侵入の場合もまた同様に
三、もし右命令に反し或は怠慢なる者は嚴重處罰す

チッタゴンに視察團派遣

リスタンブール【三〇八】ニューデリー來電によればベンガール州政府國防當局は近く代表團をチッタゴンに派遣同地の防衛施設を視察せしめることになつたといはれる

ボンベイに水雷學校

リスタンブール【三〇八】ボンベイ來電ニ英印度政廳はボンベイに水雷學校が新設され、その開校式が十日舉行された旨發表した

食糧問題の危機を警告

ベルリン【三〇二】ニューデリー來電によればインディヤ總督府行政參事會貿易官サルカルは十一日、食糧問題の危機を強調して、次の如く述べた
現在インドの當面してゐる深刻な食糧不足は輸送難にのみ起因するものではなく生産者の技術的賣惜しみに依るところが大である、政府は低物價政策の維持に努めてゐるが、業者が政府に協力しなければ、インドの食糧難は由々しき事態を惹起するであらう

印度印心孕を機危

リスボン【三〇二】ニューデリー來電によれば印度政廳は食糧飢饉解決のため十四日ニューデリーにおいて商務長官司會の下に食糧會議を開催

政廳食糧會議

各州代表參加の下に二日間に亘り食糧對策につき協議したといはれる、同會議においてはまづ各地方における食糧の必要量、現在の供給状態、食糧の價格並に配給方法等につき検討を加へたのち食糧の市場への圓滑な出廻り並に中央と地方の協力を圖することに意見一致し十五日午後散會した

ガンデー秘書の死去を暴動

昭南【三〇六】ニューデリー放送によれば英當局は本年夏以來ガンデーと共に逮捕監禁中であつたガンデーの秘書マハデブ・デサイが最近死去した旨公表したが、この報に激昂したボンベイ地方のインド民衆は十五日暴動を起し、このため八十名のインド人が逮捕されたといはれる

インド總督の權限縮少を要求

リスタンブール【三〇三】ニューデリー來電ニインド收容サー・テジ・バハドウル・サプルーは政局の行詰り打開のために國民會議派、マハサバ黨、自由黨その他の各政黨に働きかけ十二日アラハバツトにおいて協議會を開催した、會議には會議派、自由黨、マハサバ黨各派代表のほかパーシー族並にシーク族代表、キリスト教聯盟代表等も出席し、特に回印兩教徒の合作案について協議したが結局インド政局の危機を打開するには總督の權限を縮少し軍事並に國防に關する權限以外はインド人の自治を確立することが先決要件だとの結論に到達した、決議の要旨次の通り
一、現在インド總督はインド中央議

會並に行政參議會の決定を拒否出來ることとなつてゐるが右拒否權を廢止する必要がある

一、インド政廳はインド各政派の聯立内閣に對し軍事並に國防關係以外の行政權を委譲し聯立内閣の首相が責任政府の首班として行政を擔當する

同會議においては政局の行詰り打開のため教徒と和協せねばならないとの氣運が強かつたと傳へられるが當のサブールは「ガンヂー翁が逮捕される以前インド各政派の會議では何時でも參加する用意がある旨を洩らした」と言明した

印度自由聯盟對英決議

ストツクホルム【三・二六】 ニューデリー來電 印度自由聯盟は十五日アラハバットにおいてサブール總裁司會の下に常任委員會を開催、印度自治領化を要求する對英決議を採擇した、決議内容は現在の總督行政參事會において印度人が過半を占めてゐるとはいへ國防、財政、内務、戦時輸送等の重要國務が英人によつて掌握されてゐるため、印度人が事實上印度統治上の主要問題に對し發言權を有しない結果となることを強調し英國政府が印度に對し濠洲と同様な自治領の地位を賦與するやう要求したものである

内政の危機を認め

イスタンブール【三・二七】 カルカッタ來電 印度總督リンリスゴは十七日カルカッタにおけるインド商工會議所年次聯合大會の席上、インドの國內狀勢を検討し次の通り述べた

一、國民會議派の非協力運動により交通機關は阻害され公私の建物が破壊され勞働時間を無駄に消費したことが少からず、ために戦争遂行に對するインドの協力は著しく減殺された

一、國內における食糧難についてはインド政廳において食糧委員會を設置し狀勢の改善に努力してゐる、更に物資不足の結果、國內には物價騰貴の傾向著しくインフレーションの徴候さへ認められるが、當局においても鋭意對策を検討してゐる

一、インド政局の危機は専らインド各政派の不一致に由來する、英國政府の立場はサー・スタフォード・クリップスがインドに來訪した當時闡明されてゐるが、インド各派の領袖も互讓の精神をもつて和協の道を見出すことを要望する

反英騷擾激化

▲ボンベイ イスタンブール【三・二五】ボンベイ來電 十四日ボンベイ市にまた新しく騷動が勃發し、民衆は運輸中のバス三臺及び倉庫を襲つて掠奪を行つたほか、バス六臺を破壊した、參加者の内八十名は官憲に逮捕された

リスボン【三・二〇】 ボンベイ來電 ボンベイ市取引所附近に於て廿日又もや爆彈事件が勃發、取引所建物を破壊したが、その際容疑者六名が逮捕され、また同日婦人團體による反英デモが行はれ、首謀者婦人七名が逮捕された、更に、ボンベイ近郊の一村落では反英運動のため五千ルピーの罰金を課せられた

バンコック【三・二二】 二十日夜のニューデリー放送は次の如く報じてゐる

一、ベンゴール州立法會議議員マジニムダール氏はカルカッタにおいてインド國防法違反の罪で逮捕された

一、アーメダバッドにおいてはまた民衆と警官隊との間に衝突事件起り、警官側の發砲により二名を負傷せしめた

一、ナグポールにおいても警察自動車に投石事件あり、警官二名が負傷した

印着使特米スツリイフ

遣印特使ニューデリー着

廣東【三・二二】 ニューデリー來電によれば、ニューデグエルトの個人的代表としてインドに派遣されたウイリヤム・フィリップスは十二日ニューデリーに到着した

會議派米に不満

リスボン【三・二二】 ルーズヴェルトは特使として元ローマ駐劄大使ウイリアム・フィリップスを印度に派遣するに決したが國民會議派は「フィリップスが着任後どんな仕事をやるかと云ふことよりも、寧ろその任命全體をルーズヴェルトの對印度政策の現れとして重視せざるを得ない、彼が外國政府の代表として印度に派遣されて來ても印度人は彼を熱狂して歡迎する氣にはなれぬ」と露骨に不満を表明して居る、更に會議派の代表は十三日印度駐屯の米

國派遣軍を粗上にのせ「ルーズヴェルトは米國軍隊を英軍の増強部隊としたが我々は米派遣軍を我等の敵と見做さざるを得ない、即ちルーズヴェルトは英帝國崩壞の跡に米帝國を打建て世界の獨裁者たらんとしてゐる、米軍の印度派遣は實に印度を奴隸化しようとする、彼の野望の現れだ」と痛烈に非難して居る

銀塊退藏顯著

ストツクホルム【三・二二】 最近のボンベイ銀塊相場は騰勢は著しいものがあり、從來の表分十二分十一のルービー銀貨の鑄潰點たる百九ルービーを遙かに超えるに至つたが、この點に關し英紙フィナンシャル・ニュースは次の如く報じてゐる

△印度奧地の銀退熱藏 インドにおける銀塊の思惑取引は依然大したものではないが奧地の銀塊需要が増大してゐるのは否定出來ない、かかる奧地の銀塊退藏傾向は印度政府の手持銀が英國軍需工業方面への賣却のため減り盡したとの懸念に基いてゐるといはれる、尤もロンドン地金銀業者筋では右と意見を異にして印度政府の手持銀は現在に勿論今後の軍需工業方面需要を見込んで依然巨額に上ると觀測してゐる

△インフレーションと銀退藏 銀の退藏は印度におけるインフレーションの徴候とも關聯するものである、すなはち戰費支出の増大は必然的に通貨の著しい膨脹となり、農産物價の値上り傾向を招きこのため傳統的な退藏傾向を助長してゐるわけだ、なほ從來の純分十二分十一から新規の二

分一への銀貨の切替へは目下政府の手で着々進捗してゐるが、右舊貨は明年三月をもつて廢貨となるはずである

なほ英誌「エコノミスト」も印度における銀退藏問題に關する論評を掲げてゐるが、その要旨は左の通りである、純分十二分十一の舊銀貨の退藏は主として小口退藏であつて大口退藏筋は當然シルバー・パーを買入れてゐる、いづれにしてもインフレーションならばそれに伴ふ紙幣に對する印度民衆の不信は依然跡を絶つてをらず明年舊銀貨が廢貨となる事實もその退藏を阻止するには役立たないであらう

米 歐

チュニジア戦線では樞軸軍の果敢な攻撃に米英軍はたじろの態であり、北阿侵入に呼應したソ聯の冬季攻勢も獨軍の猛反撃の前に早くも潰え去らんとしてゐる。

かゝる折、十八、十九の兩日、ドイツの總統大本營に於いて行はれた獨、伊、佛三巨頭の會談は樞軸の戰略的態勢の強化と歐洲新秩序完成の一步前進を意味するものであつた。獨軍進駐以來、フランスはラヴアル首相統率の下に苦難にみちた更生の途を辿りつつあるが、今回の會談を契機にその樞軸

事情は異なるが同じく米英軍の北阿侵入によつて、その中立政策を著しく危かされるに至つたイベリア半島のスペイン、ポルトガルの兩國はそれぞれ對策を講じつつあつたが、スペイン外相ホルダナ將軍は十八日ポルトガルを訪問、サラザール首相と協議の結果、兩國の中立維持に關する「イベリア・ブロック」が結成された。兩國諒解の内容に就ては公表されないが、親樞軸系のスペインと英米依存的傾向の多いポルトガルとが、執拗な英米の工作を斥けて中立堅持の方針を共同して明確にしたことは現下の國際政局に大いなる影響を與ふるものであらう。米英の抱込み工作は東方の中立國トルコに對しても頻りに行はれてゐる模様で、ソ土友好關係成立説も傳へられたが、トルコ外務當局はこれを否定してゐる。

英米の支配下に入つた西亜諸國では先般來食糧を始めとする物資缺乏による社會不安の増大が傳へられてゐたが、イランの首都テヘランにおいて食糧異動が勃發した。イラン駐屯英軍の鎮壓も空しく暴動は激化の兆を見せてゐると傳へられる。

米英では相變らず北阿の傀儡政權を繞つてもみあつてゐるが、チャールの訪米説も傳へられてゐる。アメリカではウイリアム・フィリップスを印度特使に任命したが、對印介入の發展として注目されてゐる。過般來非難的のとなりつつあつた物價調整局長レオン・ヘンダーソンは十七日遂に辭職した。(中)

ドイツ

對佛方針を闡明

ベルリン【三〇二】 獨外務省當局は十一日、獨佛關係の現状に對するドイツ側の態度を闡明し、左の如き注目すべき聲明を行つた

「フランスは今や新生ヨーロッパに適當な地位を占め得る實力と能力を有するか否かを自ら示さなければならぬ時期となつた、從來ドイツはフランスが歐洲に對し萬一にも危険を及ぼすことのないやう最善の努力を盡してきた、ドイツは將來も右の如き方針を堅持し、フランスがヨーロッパを危険に瀕せしめるやうなことがあつた場合は斷乎たる手段に出る決意である、然し右のやうな事態が無ければドイツとイタリヤは現在フランス内に種々面白からぬ事件が起り國民的頹廢の兆顯著なるものがあるにもかゝらず、フランスをして新生歐洲に適當な地位を獲得せしめようとするものである、樞軸國はフランス國家と政治的關係を有するもので、個々のフランス人と關係があるのではない、即ち樞軸國はフランス政府を相手としてゐるものであり目下のとこは斯る相手はラヴアル政権以外にはない、ラヴアル政権とドワイオ若くはデアの如き政治家とが如何なる關係を有するかは全然フランスの内政問題である、フランスに對するドイツの希望は一國の對外政策はその内政を超越して遂行されねばならぬとの原則をフランスが堅持することである」

三巨頭會談

ベルリン【三〇三】 イタリヤ外相チアノ伯は十八日獨軍大本營にヒトラー總統を訪問會談した、更にラヴアル佛首相は十九日同じく大本營に赴きチアノ伯を交へて、獨伊佛三國の巨頭が重要會見をなした

▲ベルリン【三〇四】 獨、佛、伊三國巨頭の會談につき總統大本營から廿日次の通り發表された

「ヒトラー總統は十八、十九兩日にわたり大本營に於てイタリヤ外相チアノ伯、イタリヤ參謀總長カヴァリエロ將軍と會見し、獨伊兩國の協同作戰遂行に關する一切の問題につき會談を遂げた、右會談には最高國防會議々長ヘルマン・ゲーリング將軍、外相フオン・リッペントロップ氏、國防軍總監カイテル元帥も列席したが、特に樞軸兩國の友好的精神に基き協議の結果、一切の問題について完全な意見の一致を見た、ヒトラー總統は更に十九日チアノ伯列席の下にフランス首相ピエール・ラヴアル氏と會見、長時間にわたり佛國刻下の重要問題について商議を遂げた」

樞軸軍飽くまで攻勢

ベルリン【三〇五】 ゲツベルス獨宣傳相は近刊のダス・ライヒ誌紙上で世界大戰の經緯について次の見解を發表した

「開戦以來各戰線における作戰は殆ど全部樞軸軍の勝利に歸した、時々困難な情勢が持ち上つても樞軸軍は新鋭部隊を當該戰線に増強し、最後には自軍の立場を強化するが例である、更に戦局の全般にわたり樞軸軍は攻勢に出つてゐるが、稀に一時的に守勢に立つ場合にも必ず將來攻勢に出られるやう用意を怠らない、樞軸軍は凡ゆる場合に敵の領土内に作戦を進め、出来る限り敵の戰爭資源を破壊するが、更に出来る限り味方のためにこの資源を活用することを企圖してゐる、樞軸軍は以上の企圖

なほベルリン境界では「ベタン主席とフオン・レントシュテット獨元帥との會見はベタン主席宛のヒトラー總統の親簡に基いて行はれたもので、レントシュテット元帥はいつてもフランス國家主席の相談に應ぜんとするものである」と述べてゐる

▲獨佛關係新段階へ ベルリン【三〇六】 ヒトラー總統は今回の大本營における獨佛兩國首腦との會見で地中海の新情勢につき特に政治的、軍事的な見地から検討を加へたと解

において着々成功を収め、樞軸軍將兵の戦争努力は完全に保護されるに至つた、勿論動作作戦には一定の危険が伴ふことは避け難いが、勝利を確保するために一時的乃至局地的の不利を忍んでも攻勢に出ることが絶対に必要がある、しかしながら同時に樞軸軍はあくまで敵を攻撃し、敵軍をその領土内に押し込め敵の領土を分散し、歩一步敵を叩きのめす指導原則には變りはない、何處まで敵國內に進軍するかは國內戦線の如何によつて決定するが、例へば東部戦線においては樞軸軍の連絡線が赤軍のそれに比し著るしく長いにも拘らず、東部戦線における樞軸軍の陣地は嚴然嚴の如く今後といへども赤軍の攻勢を粉碎し去るであらう、今や空間と共に時間が樞軸國の戦争遂行に決定的な役割を演ずるに至つたが、米英兩國政府は第一次世界大戦當時のやうに荏苒長期戦を企圖し、時間によつて勝敗を決定する作戦をとることが出来ず焦躁の色蔽ひ難いものがある、或は反樞軸各國は奇蹟を待望してゐるかも知れないが、今回の戦争を決定するものは奇蹟ではなくして冷酷なる事實であり、而も現實は常に樞軸國のために好轉してゐるのである」

三國協定一周年に獨總統より御親電

ベルリン【三・二】 總統官邸は三國軍事協定締結一周年に際し、ヒトラー總統が天皇陛下に對し次の御親電を送つた旨十一日發表した

▲ヒ總統、伊皇帝・ヘツセル・ベリヒン【三・二】 總統官邸十一日發表ヒトラー總統は日獨伊三國軍事協定締結に際し、メツセジをイタリア國皇帝ヴィットリオ・エマヌエレ三世並にムツソリーニ首相に送つた

獨伊通商協定調印

ベルリン【三・二六】 イタリア代表ジアニニ大使並に軍需相フアヴァグロツサ將軍は去る六日以來ベルリンにおいてドイツ外務省のクロレイウス通商局長と連日會見、一九四三年における獨伊兩國の經濟合作案につき商議を重ねてゐたが、十六日に至り協定成立シクロレイウス局長とジアニニ大使との間に調印を了した、右協定に基き獨伊兩國政府は戦時經濟の分野における合作を一段と強化し特に兩國間における重要原料資源並にその他の生産品の交換を増加するに決定した

獨、瑞通商協定締結

ストックホルム【三・三〇】 ドイツ、スウェーデン兩國政府間に十九日通商協定締結がされた

獨、瑞通商協定締結

ストックホルム【三・三〇】 協定の

内容次の通り
一、ドイツはスウェーデンに對し石炭五百萬噸、人造ゴム一萬八千噸、化學製品、鐵、纖維原料(本年度と略同量)を輸出する
二、スウェーデンはドイツに對し木材、バルブ紙類を輸出するが差當り決定し、下半期分はドイツの石炭供給額に應じて改めて協議する
三、本年度の通商協定に基きスウェーデンの對獨借付額は一億一千五百萬クローネに達するが、新協定によりこの額は一九四三年上半期で完済される筈であり、以後の支拂方法については明年度再び協議を開いて決定する

ドイツ東亞銀行を設立

ベルリン【三・二七】 ドイツ經濟界は今後における歐大陸と東亞の經濟關係の緊密化に期待してゐるが、今回有力金融業者及び貿易業者を糾合して東亞銀行(Daishia Bank)が設立された、投資者はドイツ銀行、ドレスドナー銀行、ライヒ信用會社、及び東亞關係貿易業者たるフリツツ・ゲレルニヒ、リヒエタル・クリュゲル兩商會で資本金總額は一千萬マルク、ドイツ及び東亞諸國との間に生ずる各種銀行業務、特に貿易及び資金の交流、爲替手形取引の促進をその營業目的とするものである

通商政策の新動向

ベルリン【三・二〇】 ドイツは戦争遂行のため國內及び占領地は勿論、歐州大陸全體に亘つて戦争に必要な物資獲得に努めてゐるが、國內物價に比し各國特に占領地及びバルカン諸國に於ける物價騰貴が著しいため通商協定の締結に際しては、重要物資について出来るだけ價格停止を實行すると共に、占領地に於てはドイツから輸入商品の販賣に伴ふ利潤を以て、ドイツ向け輸出商品の價格引下げに振り向けるやうに努め、例へば佛占領地とかギリシヤでは「特別調整金庫」を設けてその衝に當らせてきたが、今回獨、希、商品價格調整會社を設立し同社に獨占的貿易會社の性格を與へて、ドイツ通商政策に新生面を拓いた、同社はドイツ經濟省により設立され、ギリシヤ政府經濟省代表も經營に参加ドイツからの輸入物資の獨占的販賣に基き收益中から一定の商業利潤を控除した殘額を基金としてドイツ向け商品の價格引下げに振り向ける仕組で、既に同様の會社がイタリア政府によつても設立され、又之と併行して獨、伊、希三國の經濟關係代表者よりなる共同委員會が組織されて、同機構の圓滑な運用を期することとなつてゐる



皇帝陛下より御親電

ローマ【三・二二】 イタリア國宮内省は日本政府の参戦一周年に當り同國皇帝陛下が天皇陛下に御親電を送られたる旨發表した

皇帝陛下御親電

ローマ【三・二二】 イタリア宮内省は日本政府の参戦一周年に當り、同國皇帝陛下が獨逸國ヒトラー總統に對しメツセ

ジを送られたる旨發表した
無任所相を任命
ローマ【三・二〇】 反ユダヤ主義で知られるギオヴァンニ・ブレジョシ氏は十八日付で無任所相に任命された

フアシスト黨執行委員會改組

ローマ【三・二九】 ムツソリーニ首相は今回ヴィツツトニ黨書記長の建言に基きフアシスト黨執行委員會を改組し、新委員の顔觸れが十九日發表された、改組の結果執行委員は從來の十五名から二十名に増員され、書記長一名、副書記長三名、政府代表五名、黨幹部十一名となつた、副書記長中にはフアシスト黨の有力幹部ラヴラジオリ氏が新たに節拔され、また政府代表はポツタイ教育相、パヴオリニ文化相、リツツ組合相、フアリニ内相、フアシスト義勇軍參謀總長ガルビッチ將軍となつた、更に委員の内にはゼノア、ミラノ、トリノ、パレルモ、フェララ、ヴェロナリヴオルノなど英空軍の盲爆を受けた都市の在る地方のフアシスト黨支部書記長が新たに加へられた、今次改組の結果戦時下フアシスト黨の機構は一層整備強化されるとともに空襲に對しては萬全の措置が講ぜられるものと豫想され、イタリア朝野は舉つてこれを歓迎してゐる

チュニジア在住イタリア人を軍隊に編入

ローマ【三・二三】 イタリア政府當局は十二日チュニジア在住イタリア人は召集地駐屯軍に編入した旨發表した、但し召集範圍或は限度は發表

されない、チユニス在住イタリア人の總數は一九三六年の調査では男女合計九萬四千二百八十九人となつてゐるが、これにはフランスに歸化したものを含まず、而もこれ等フランスに歸化したイタリア人は國民感情或は祖國への忠誠の點からいつても完全なイタリア人であり、これを加算すればイタリア人口は十萬五千人といはれる

ナポリから児童引揚げ

ローマ【三・七】 ナポリ來電、最近の英空軍の盲爆に對處するためイタリア當局は數日前からナポリの男女兒童大量引揚げを實施中で、既に六歳から十四歳までの男女兒童で同市を引揚げたものは十六萬に達してゐる、これ等兒童はナポリ、パレルモ、アヴェーリノ、ベネヴェントの各州に分散收容される筈

▲ラジオ學校 ローマ【三・五】 イタリア政府は燃料節約のため來る廿日から二月十五日まで國民學校並に中等學校を休業するに決定したが、その間學力低下を防ぐためイタリア文部省は毎日教師がラジオを通じて各家庭の子供たちに授業させることになつた

伊、土兩國の通商交渉

ローマ【三・四】 イタリア代表團は近くアンカラに赴き伊・土兩國政府間の通商協定に就き交渉を開始するに決定した

株價抑制策

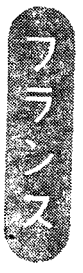
ローマ【三・五】 イタリア政府は去る十一月二十一日緊急勅令を以て株價統制を斷行株式の買入れに當つて

は同額の國債を購入すべしとの頗る徹底的な措置をとつたが、その效果如何は各方面より注目されてゐた所最近までの株價の推移は政府所期のごとく低落傾向を見せ、右措置が奏効したことを物語つてゐる、元來イタリア政府は戦時公債對策として國債價格の維持、株式配當の制限、株式騰貴の抑制を目指し、昨年十月は從來無記名式であつた株式を強制的に記名式たらしめる等の措置を採り來つたが、本年十一月月上旬以來公債より株式への乗替へ相次ぐので之を防止するため十一月十日公債空賣を禁止し、賣注文には必ず現物を提出せしめることとした、しかるにその後も株式への乗替へ熄まず、遂に前記の緊急勅令公布となつたものである

グロサクソンの侵略行動並に樞要の地位に在る一部フランス人の策動の結果ヒトラー總統が從來の非占領地帯に獨軍を進駐させ更にフランス軍を解體するに決定されたのは寔に遺憾に堪へないが余としてはこれ等の決定の前に叩頭する他はない、然し乍ら規律ある軍隊なくしては國家は一日も存立する事が出来なからフランス本國並にフランス帝國を擁護出來る新軍隊を結成することが余の任務と思ふ

スペイン大使法王と會談

ローマ【三・七】 新任スペイン大使ドミンゴ・デ・ラス・ペルセナス氏は十七日法王ビオオ十二世に信任狀を捧呈した、終つて大使は法王の書齋で余人を交へず法王と長時間にわたる協議した



ペタン主席、總統に答ふ

ヴィシー【三・三】 フランス主席ペタン元帥はヒトラー總統の書翰に對し十二月五日附を以て回答したが回答内容は十三日ヴィシーに於て發表された、回答の要旨次の通り

人間であるフランスは非常な打撃を受けたが余はフランスが再び立ち上つて歐洲でその地位を確保せんことを望んでゐる、この目的を達するたゞの唯一の途はドイツとの協調を誠心誠意實行することである

政府惡質宣傳に一矢

ヴィシー【三・四】 反樞軸國側では最近しきりに獨佛離間を目的とする大がかりな宣傳戰を繰り出し、その一例として獨軍當局がフランスの一例として佛人の大量檢査を實施したとの惡質宣傳を行つてゐるが、ヴィシー政府は十四日「かかる報道は事實無根で英軍側のためにする宣傳にすぎない」とこれを正式に否定した

裏切り分子の國籍剝奪

ヴィシー【三・五】 フランス政府は十六日付官報を以て、佛領西アフリカ佛軍司令官バロウ將軍の國籍を剝奪し財産を沒收する旨發表した

總督の權限の接收

ヴィシー【三・七】 フランス政府は十七日官報を以て次の通り發表した

ユダヤ人取締強化

リスボン【三・二七】 パリ來電によればフランス當局は今回フランス國內に居住するユダヤ人の取締を強化し十九日左の新取締令を發表した

一、フランス政府は誠心誠意樞軸との合作に努力してゐることは裏切分子ボワソン、パローを特に嚴罰に處した事實に徴しても明瞭であらう

政府の方針決定

ヴィシー【三・六】 アヴアス通信社はヴィシー政府筋の情報として十六日夜次の通り報道してゐる

パリで協議

パリ【三・五】 ラヴァル首相は十五日ヴィシーからパリに到着、ド・ブロン大使と協議を遂げた

ラヴァル對獨協調を力説

ヴィシー【三・四】 ラヴァル首相は十三日新聞記者と會見、フランスの國運恢復に獨軍の絶對的勝利に依存する旨を強調、左の如く述べた

ラヴァル首相はベタン元帥から要望された全權に基き共産主義打倒

一、ラヴァル首相はベタン元帥から要望された全權に基き共産主義打倒獨佛兩國間の合作強化に邁進する方針で、新國策の發展が近く期待される十九日左の新取締令を發表した

一、フランス政府は誠心誠意樞軸との合作に努力してゐることは裏切分子ボワソン、パローを特に嚴罰に處した事實に徴しても明瞭であらう

市民権を剥奪する
一、一九二五年八月以降フランスの国籍を得たユダヤ人に對してはその国籍取得を無効とする
一、ユダヤ人は爾後ユダヤ人たることを明示する徽章を帯びること
一、ユダヤ人と結婚せるフランス人の離婚獎勵
右取締令は近く實施される筈であるが、この新令の適用を受ける者は約百五十萬と推定される

不穩分子一齊檢舉

ベルリン【三二二】十一日夜のバリ放送に依れば、フランス警察當局は共產主義者並びにテロリストの大量檢舉を斷行マルセイユ地區に於て共產主義秘密結社の首謀者廿二名を檢舉すると共に、夥しいパンフレット及び宣傳用不穩文書類を押収したほかクレモンフェランに於てもテロリスト首腦數名を檢舉三萬以上の不穩パンフレットを押収し又パリに於ても十八名のテロリストが逮捕された

勞働者續々ドイツへ

ヴイシー【三二四】フランス政府は勞働者提供に關するドイツ政府との協定に基き今回更に一萬五千人をドイツへ派遣するに決定した、現在フランス人二萬二千五百人がドイツ國內で勞働に従事しつつあるうち非占領地區出身者は特殊技術者二千人が合せて僅か六千人に過ぎなかつたが今回は主として非占領地帯から勞働者が派遣される豫定である、ラヴァル首相は今回の決定に際し「ドイツ政府のフランス勞働者使用に干渉し勞務計畫を阻害するが如き企てに對しては個人と團體の如何を問はず斷

平嚴罰をもつて臨む」旨言明した

スイス

大統領改選

ベルリン【三二七】スイス聯邦議會は十七日午前大統領選舉を執行した結果現副大統領兼選相エンリッコ・チエリオ氏が當選副大統領には經濟相ヴァルター・シュテンブリ氏が當選した

對英抗議

チューリッヒ【三二三】スイス政府當局は英空軍のスイス上空侵入に關し十二日左の通り發表した
「十一日夜外國飛行機がスイスのオパーウオーリス地方に燒夷彈を投下停車場施設その他に損害を與へ同地方に山火事を發生せしめた、過般來殆ど毎夜行はれてゐた外國機によるスイス領空侵犯に引續く今回の不法攻撃に鑑みスイス政府は英國政府に對し嚴重抗議を提出した」

政府重要協議

ベルリン【三二四】スイス政府は十四日、閣議を開催英空軍の相次ぐ上空侵犯に就き對策を協議したが、閣議後次の通り發表した
スイス政府は英空軍の領空侵犯に就き協議を遂げた結果、從來英國政府に對する抗議が殆んど何等の効果がなかつたにも拘らず依然としてスイス國の中立尊重を要求するに決定した、同時に中立侵犯に對しては從來同様一切の對策を講ずる方針である

スペイン

政府、國際情勢を檢討

マドリード【三二六】スペイン政府は十四、十五兩日に亘り緊急閣議を開催し國際情勢について檢討を加へたが、十六日夜スペイン外務省は次の通り發表した
「スペイン外相ホルダナ伯はさる二月ポルトガル首相サラザール博士のマドリード訪問に對する答禮として閣議の承認を依頼リスボンを訪問するに決定した」

諸將星續々首都へ

▲グランデ將軍統領と會見 マドリッド【三二〇】東部戦線において赫々の戦功を挙げたスペイン義勇軍師團長グランデ將軍は十八日マドリッドに歸還、同日午後約一時間にわたつてフランコ統領と會見した
▲マドリッド【三二〇】スペイン領モロッコ總督オルガス將軍、セヴィリア軍管區司令ポンテ將軍、前バルセロナ軍管區司令キンデラン將軍等が續々マドリッドに乘込みフランコ統領と會見した

駐英大使歸國

マドリード【三二九】ロンドン駐劄

獨、西通商協定調印

マドリード【三二七】獨、西兩國間の通商協定は十七日スペイン外務省においてドイツ大使フォン・シュテレン氏とスペイン外相ホルダナ伯との間に調印を了した

大破艦艇入港

ローマ【三二五】ラリニア來電によれば十五日ジブラルタル港に輕巡一隻、驅逐艦二隻、商船一隻が夫々大破入港したと傳へられる

ポルトガル

政府閣議

リスボン【三二五】ポルトガル政府は十五日サラザール首相司會の下に緊急閣議を開催した、右閣議には目下下リスボンに歸還してゐるマドリッド駐劄ポルトガル大使も特に出席した
▲リスボン【三二六】ポルトガル政府は十七日夜サラザール博士司會の下に閣議を開催、國際情勢につき重ねて檢討を加へた

西葡會談

▲スペイン外相到着 リスボン【三二八】スペイン外相ホルダナ伯は十八日午後リスボンに到着した
▲首相と會談 リスボン【三二九】スペイン外相ホルダナ伯は十九日

ルトガル、サラザール首相を訪問、會談を行った、ホルダナ外相は引續きカルモナ大統領を訪問の豫定である
▲イベリア・プロツクの結成 リスボン【三二〇】スペイン外相ホルダナ伯は十八日以來ポルトガル政府首腦と協議を重ねてゐたが、廿日兩國間にイベリア・プロツクが結成された旨發表された、發表はサラザール首相主催のホルダナ外相歓迎午餐會における兩相挨拶の形式で行はれた要旨左の通り
▲サラザール首相
隣邦スペインの外交政策は常にポルトガルとの恒久的友好關係を維持しプロツクを形成するにあつた、兩國間には相互に獨立と特殊の立場を尊重しつつ協力する諒解が成立したがこの結果兩國に多大の利益が齎されるばかりでなく文明に對する兩國の義務遂行にも寄與するところがあらう

△ホルダナ外相
西葡兩國の政策は戦火の波及をあくまで回避せんと欲する兩國國民の意圖を實現するにあり兩國の形成したイベリア・プロツクは平和的要素として、また道德性的の象徴として刻下の大國際政局に貢獻すると頗る大である、會てスペイン内亂に際しポルトガル義勇軍はイベリア文化のため血を流したが、今日西葡兩國國民は當時に勝るとも劣らぬ熱意をもつて國際政局における兩國現在の地位を堅持せんとしてゐる
イベリア・プロツクの具體的内容はまだ發表されてゐないが消息筋では今次の會談の結果兩國間に次の諸點

につき諒解が成立したと観測してゐる

一、反樞軸軍の佛領侵入によつて生じた國際政局の變化に對處する兩國共同の中立維持政策

一、萬一の場合に對處する軍事的協力の準備

一、共產主義排撃を基調とするイベリア文化の維持

一、經濟的協力の強化

バルカン諸國

石油輸送改善

アニマール

近着の米國週刊誌「ニューズ」

・ウィークは最近著しく改善されたルーマニアの石油輸送状態を左の如く報道しその結果今後ドイツの石油問題は著しく好轉するものと観測し非樞軸國側の不利を嘆じてゐる

一、油田地帯の中心地プロエステイよりブカレスト南方六十キロブルガリアとの國境にあるギウルギウとの間に二本目の輸送管が敷設された

北歐諸國

大統領決意を披瀝

ドンランイフ

ヘルシンキ【三・四】 フィンランド大統領リスト・リチ博士は十三日ラジオを通じて最後の勝利まで戦ひ抜くフィンランド國民の決意を披瀝して次の如く述べた

「フィンランド國民は勝利を収めるまで戦ふであらう、フィンランド國民は現在生死を賭しての戦争に従事してゐることを知つて居り、その前途に横たはる幾多の艱難辛苦に耐へる決意である」

米公使歸國

ストツクホルム【三・二六】 ヘルシンキ來電「フィンランド駐劄米公使アサー・シエーンフェルドは今回歸國することになり、十八日ヘルシンキ出發、空路ストツクホルムへ向つた

▲米芬國交斷絶か ストツクホルム【三・二七】 米公使突然の歸國に關聯して英米兩國間に米芬關係悪化の風説が旺に傳へられ、例へば英紙デイリー・エクスプレスは米國はフィンランド政府の行動を以て、同國の對英米中立政策の範圍を遙に逸脱するものと考へており、米芬關係は嘗てなき險惡な空氣を孕んでゐると報じてゐる

ンデーエス

英のデマを否定
ストツクホルム【三・二七】
最近英米の對スカンデナヴ

ソ聯邦

兵器獻納運動

ソ聯政府は戰力増強の一助として最近一般市民の戰車及び飛行機獻納運動を全國的に起し、獨ソ戰遂に農民及び工場労働者の積極的協力を要望してゐる

戰車獻納運動はタンボフ州で、同州の共營農物が四千八百萬ルーブルを醸出して「タンボフ共營農物戰車部隊」建設のため獻金したので對して、次いでブラウダ紙が九日の社説で獻納運動を全國の共營農場に擴大すべきことを提唱、爾來各州共營農場はそれを一團となつて、戰車又飛行機獻金を開始し既にサラトフ州の飛行機獻金四千萬ルーブルを始めリヤザン縣では三日間に二十二萬ルーブルの戰車獻金が行はれ、沿海州でも「沿海州爆撃機隊」獻金のため四千五百萬ルーブルが獻金された

その他モスクワ、ゴールキー、キーロフ、スヴェルドロフスク、チェリヤビンスク、チカロフ、ノヴォシビ

イア宣傳工作が頗る活潑化し、各種の流言蜚語が横行してゐる折柄十日ロンドン情報としてヌウエーデン政府及び財界の有力者がフィンランドの對ソ單獨媾和に關し米國側と折衝してゐるとのデマ報道が傳へられ、著しく各方面を刺戟してゐるので、ヌウエーデン外務省は十一日正式に之を否定し英國側の報道は全然事實無根であると聲明した

リスク等の各州でも同様の獻納運動が各共營農場で行はれてゐるが、各々の獻金基準は大體共營農場長が千乃至四千萬ルーブル、農場幹部が五百乃至四千萬ルーブル、一般農民が二百萬ルーブル見當で、半強制的に割當られてゐる

負擔のやうだが、獨ソ戰爭以來農民は農産物の代金で必要な物資を購入する途を阻まれてゐるので一般に相當の現金を懐にしてをり「農民は金を財布に入れては靴に入れてゐる」と云はれてゐる程で、ソ聯當局はこれを規つて銃後の愛國心に訴へ農村の遊資を適當に吸收すると共に之を以て戰車飛行機の増産に振り向けんとする一石二鳥の策に出たものと見られる、工場労働者にも同様の獻金運動が進められてゐるが現在迄に新聞紙上に發表された獻金額は合計十億ルーブルで結局四十億乃至五十億ルーブルに達するものと見積られてゐる

物價愈々騰貴
リスボン【三・二六】 米國雜誌タイム最近號はソ聯における物價騰貴の状況につき報道を行つてゐるが、これによると米貨に換算して卵は一個三テヘラン情報によれば英米軍は食糧徴収に大奮ととも、多數のインド人を使役し、防禦陣地の構築に努めてゐる、しかも多量の小麦をイランに送るとの英米側の約束を實行せず例へば最近インドから二十萬噸の小麥を送ることを約束したが、實際イランに着いたのは數百噸に過ぎぬ、シリア、パレスチナでも事情は著しく惡化してをり、シリア方面の新聞によると住民から抗議を申出する手紙

ウラル地帯に新發電所
ウラル以東に於ける電力不足の問題はソ聯工業の東漸特に化學工業部門の擴充に最大の障礙と見られ、ソ聯當局は全力を擧げて電力の開發に努めてゐるがウラル地帯の報道によればこの程チ

ウラスタンブル【三・二四】 冬を迎へるとともに西亞諸國全部に亘つて一般的に食糧危機が著しく増大してゐる、食糧品燃料其の他生活必需品の缺乏と配給の不良のため物價は騰貴し、更に税金の負擔過重の結果住民の間には、英米現地當局及び自國政府に對する憤懣が一層増加してゐる

英米側では自國の進駐部隊は占據地から食糧を徴収せず、大量の小麥を本國から送つてゐると繰返し辯明してゐるが、實際は英米側では本國からの補充はつかず、食糧は凡て現地で調辨してゐる状態、住民は英米軍隊が食糧品を豊富に持つてゐるのを羨望してゐる

西亞諸國

物資不足で危機増大

が頻々と内務當局に舞込み、當局でもつひにこの種の手紙を送附することを禁止するに至つたと言はれる、又ユダヤ人及び外國人の避難者増加に伴つて住宅難がひどくなり、家賃は著しく昂騰してゐる、エデプトでも、物資の配給状態が悪いと投機が盛になつてゐるため、住民は配給で苦しむ、カイロの新開は、いづれも配給組織の不良、外國資本の投資旺盛を非難攻撃し、機構の改造を要望してゐる英第八軍は小型運搬車に至る迄の凡ゆる輸送具とガソリンを徴収したために一般市民に對する物資の配給は著しく不圓滑になつてゐる、生活必需品は大部分店頭から姿を消し、紺糸でさへ、割當制が實施されるに至つた、この困難な状態を救ふため英米側では、生活必需品を、エデプトに送ると宣傳を續け、同時にアラビア諸國間の經濟會議を開催するやに努めてゐるが、この種會議は實現の運びに至つてゐない

コルト

議會解散

ベルリン【三二八】 イスタンブール來電によればトルコ議會は十八日來る廿六日をもつて議會を解散するに決定したと傳へられる

ソ土友好條約説を否定

イスタンブール【三二七】 去る十二月八九の兩日行はれた駐土ソ聯大使グイノグラドフ氏とサラジヨグル土首相及びメネメンジヨグル外相との會見を機として英米側では頻りにソ土兩國間に友好條約の締結近しとの報道を流布してゐるが十九日アンカラ來電によればトルコ官憲筋では右

報道を否定し左の如く述べてゐる「駐土獨大使フオン・パーベン氏が、擊事件に關係あるソ聯人共犯者二名に對する公判の結果、ソ土兩國間に醸された緊張が最近著しく緩和されたことは事實であるが、友好條約の締結に關しては兩國間に何らの交渉も行はれてゐない、尤もソ土兩國政府は兩國間の關係を更に正常化し緊張せる空氣を掃せんとして努力してゐることは事實であるとして英米側の働きかけとソ聯の對英米協調策に鑑み將來ソ聯がトルコに對し友好的且つ宥和的態度を示すが如き聲明を發するやうなことはあるかも知れない」

駐獨大使本國へ

イスタンブール【三二八】 トルコ大統領イスメット・イノニエ氏は十七日午前アンカラからイスタンブールに到着したが次でベルリン駐割トルコ大使サーベツト・アリカン氏も十八日午前、空路ベルリンから來着した、大統領はヨツツで、マルモラ海岸のムダニオに赴いたが、アリカン大使は、本國政府と協議のためアンカラに赴く豫定である

ソライ

首都に食糧暴動

ベルリン【三二二】 英國が不法にもイランに侵入して以來、鐵道その他の交通機關は近く軍用に徵發され、他入當時英イ兩國政府間の取極めに基き印度から多少の食糧が輸入されてゐたが、イラン國內の食糧飢饉は最近著しく激化し九日に至り遂に首都テヘランにおいて食糧暴動が勃發するに至つた、飢へたるテヘラン市民は九日大舉して

市街を行進し口々に「パンを呉れろ」と喚びながら軒並に商店を掠奪したと、議事堂前の廣場に集り「祖國を英國に賣つた」政府を倒せと絶叫して大掛りな示威運動を起した、警察隊並にイラン軍隊が出勤して群衆鎮壓に努めたが仲々鎮まらず遂に發砲するに至り多數の民衆が逮捕された政府は直ちに戒嚴令を布き、同時に首相アーメッド・ガバン氏の名を以て當局が適宜の措置を構するから四十八時間内に食糧難は解決するだらうと述べ、同時に食糧省はラジオを通じ食糧の買溜め阻止に協力するやう全國民に要請したが、テヘラン市民の激昂は容易に鎮まらず、ロイテル通信社のテヘラン電報は事態を出来るだけ輕微に報道しようとするとなり「外人に對する排斥運動ではなく、全く食糧難と失業とに基く國內的な騒ぎだ」と述べ、事態は一度鎮まつたと宣傳してゐるが現政府に對するイラン國民の反感は極めて深刻で首相アーメッド・ガバン氏以下の間接は官邸内に引籠つて外出出来ず、議會において政府支持派の議員が殿られたときへ傳へられる以上の危機に周章したイラン駐屯英國の一ヶ大隊は侵入當時の取極めを無視しテヘラン附近の畑地施設並に軍需倉庫保護を名として九日夜南部の基地からテヘラン市に移駐した、勿論軍隊の威嚇により騷擾の擴大を阻止する魂膽だが、首相その他の閣僚が身邊の危機に備へるため特に英國の出動を要請したとの説さへ流布されてをり、イラン國內の空氣は極度に險惡である、テヘラン市在留英國人の身邊も危険に瀕してゐるといはれるが、英軍が極めて慎重な態度

をとりテヘラン市周辺の宿營から一歩も出ないので、テヘラン市民と英國との間には今までのところ衝突が起つてゐない、ロイテル電報の悲觀的な報道にも拘らず、テヘラン市に移動した英國が機關銃を据付け、宿營地の前面に壘壕を掘り且ついつても砲口を開くことが出来るやうな座を据へてゐるとの情報に徴しても情勢が相當重大であることは蔽ひ難い

共産黨結成

ローマ【三二六】 十六日イスタンブール來電によれば今回イランに共産黨が正式に結成されたといはれる、而して新共産黨は同國の議員、政府官吏、知識階級等の有力分子を含んでゐる

國境防備強化

ベルリン【三二七】 DNB通信は英米ソ反樞軸各國の完全な制壓下に於けるイランの近狀につき同地よりの歸來者の談として左の如く報じてゐる「イランの現狀はエジプト、スーダ、モロッコ等と同様全く英米勢力の制壓下におかれ、違つてゐるのはトルコ・コーカサスとの國境並に裏海沿岸地方に著しくソ聯勢力が及んでゐる點のみである、たゞトルコとの國境地帯は最近非常に防備を強化されその北部はソ聯軍に南はインド兵によつて嚴重に守備されてゐる同國の鐵道、船舶は現在ソ聯向け物資の輸送に獨占せられてゐるが、最近には英國旗を掲げた商船隊も出現してゐる、イラン經由のルートも利用されてゐるが特にバスマは同灣沿岸イラン諸港と共に陸揚地として相當重要性を持つてきた又英米側ではベルシヤ灣に機雷を敷設し西亞輸送路の確保に努めてゐる、食糧はインドから送られてはゐるが、到底同國

要求したと傳へられる

臨時議會招集

リスボン【三二六】 イラン國內は物情騒然たるものがあるが、政府は對策を慎重協議するため十五日臨時議會を召集した

英ソ不穩分子取締を要求

ローマ【三二二】 テヘラン來電によれば英ソ兩國大使はイラン首相アーメッド・ガバン氏に對し即時斷乎たる措置を講じて不穩分子を取締るやう

の食糧不足を補ふに足る量ではない
現在イランでは法定通貨としてイ
ンドのルービー貨が使用されてある
英、米ノ軍の侵入以來、通貨は膨脹
の一途を辿つてゐる

アフリカ

佛領アフリカ

米軍事使節團ダカール到着

リスボン【三・二二】ダカール放送によれば、代將シエララ・フィゼラルドを首班とする米軍事使節團が十二日米國より空路ダカールに到着したといはれる、右使節團は去る八日反樞軸軍司令官アイゼンハウアーと佛領西阿總督ボアツソンの間に成立した海空軍基地使用協定の實施方法につき現地當局と具體的協議を行ふ使命を有して局と解される

ダルラン辯明に努む

リスボン【三・二五】ダルラン擁立に對する懸々たる非難に鑑み、米英兩國政府協議の結果、ルーズヴェルトは出先軍當局を通じて傀儡政權の主席就任に關する聲明につきダルランの考慮を要請したと解されるが右要請の結果か、アルジェ放送によればダルランは特に十六日、英米兩國の特派員を招致し次の通り述べたと傳へられる

「余の唯一の希望は祖國を救済するにある、將來祖國が如何なる政體を採用するか乃至如何なる國策を決定するかは専らフランス國民の總意に

俟たねばならない、予は何等個人的野心なく、フランス帝國が解放されるに至れば政界から引退する決心である」
ダルランは、又ユダヤ人に對する取締令の撤回についても「人種的差別に基く法令は一切撤廢し、その他政治犯人も釋放した」と陳辯したといはれる

北阿の治安悪化

▲モロッコ原住民叛亂 マドリッド【三・二二】タンジール來電によれば佛領モロッコの劇悍な原住民シーク教徒は最近侵入米英軍に對し神出鬼没のゲリラ戦を開始し、數日前カサブランカ西南二百五十キロのサファイ港を奇襲占領したと傳へられる
▲民衆の反感抑壓に強硬策 ベルリ軸軍兵士の掠奪暴行等により、アルジェリヤ港灣諸都市における民衆の反感は極度に昂つてゐる、一方叛逆佛軍部隊の間にも種々の紛争が惹起されてゐるため、反樞軸聯合軍北阿司令官アイゼンハウアーは港灣諸都市に軍隊を駐屯せしめて警戒措置を強化してゐるといはれる

スペイン赤色分子北阿で策動

ベルリン【三・二二】タンジール來電スペイン内亂戦に活躍した人職職派の領袖で、赤色政權最後の首相であつたフアン・ネグリンが極く最近佛領モロッコのカサブランカに到着したと傳へられるが、アイゼンハウアー司令官が佛領北阿の政治犯を釋放し、猶太人に對するフランス政府の法令を撤廢した直後であるため、これを契機としてスペインを亡命中の赤色分子が米英軍の同意を得て佛領北阿に集結、同地方を根城に暗躍を開始せんと畫策してゐるとの噂が盛んに流布されるに至つた、中立筋の見解によれば現に佛領モロッコでは目下スペイン革命委員會並に赤色スペイン義勇軍が組織されつつあるといはれる

對佛斷交

リスボン【三・二二】モンローヴィア來電によれば十二日リベリア共和國は對佛外交關係を斷絶したといはれる

アリベリ

リスボン【三・二二】ロンドン來電によれば十四日エチオピア政府は今日獨伊三國に對し宣戰を布告した旨發表した

アビオチエ

リスボン【三・二二】ロンドン來電によれば十四日エチオピア政府は今日獨伊三國に對し宣戰を布告した旨發表した

トブデ

リスボン【三・二二】イラン國攝政バラウイは十八日前藏相マリ・サイドを帶同、空路カイロに到着したと傳へられる

イラン攝政カイロへ

リスボン【三・二二】英系情報によればエジプト國王ファルーク一世は二十日、目下同國に滞在中のイラク攝政アブドゥル・イラーと會談を遂げた

國王、イラク攝政と會談

リスボン【三・二二】フランスの對獨降服以來アレキサンドリア港に艦詰となつてゐたフランス艦隊の動向は

佛艦隊引渡を拒絶

リスボン【三・二二】フランスの對獨降服以來アレキサンドリア港に艦詰となつてゐたフランス艦隊の動向は

聯合國

マ・島ドゴールの治下に

リスボン【三・二四】去る十一月五日、マダガスカル島駐屯フランス軍守備隊が英軍に降服して以來同島は事實上英軍の軍政下に置かれるに至つたが、ロンドン來電によれば英國外務省はマダガスカル島の行政に就て十四日夜次の通り發表したと傳へられる
「今回イデーデン外相とド・ゴールとの間にマダガスカル島の民政に就き協定が成立した、協定の結果マダガスカル島の民政はド・ゴールに移管されたが、同時にド・ゴールはマダガスカル島を英國政府の戰爭努力に合致する様に組織する旨公約した」
▲ストツクホルム【三・二四】ロンドン來電ドゴール政權本部はマダガスカル島の民政に關する協定に付き十四日左の通り發表した
「英國政府とド・ゴール政權との間に十四日マダガスカル島に關する協定が成立しイデーデンとド・ゴールとは右協定に調印した、同協定に基きマダガスカル島占領後英軍が樹立した臨時軍政はデヤンチロム將軍の到着と共に終りを告げ高等辨務官が民政を擔當することとなつた、高等辨務官は出來るだけ速かに任地に起きフランス軍隊を再編成して、所管地域の防衛に任ずる豫定だが當分の間マダガスカル島の英軍部隊指揮官が同島の防衛に當る」

ユダヤ人に關するデマ宣傳を開始

リスボン【三・二七】ドイツ占領地域における獨當局のユダヤ人待遇問題については英米兩國は執拗に各種の惡質宣傳を行つて來たが、兩國政府は今同ロンドンにある各亡命政權をも使喚して右問題に關して共同宣傳を發表したと傳へられる、右宣傳に調印した諸國は英、米國を始めベルギー、チェコスロヴァキア、ギリシヤ、ルクセンブルグ、オランダ、ノルウェー、ポーランドの七亡命政權ソヴエト並にド・ゴール派であるが、カナダ及び濠洲もこれに合流したと言はれる

米英兩國間の言論戰

ストツクホルム【三・二八】ダルラン起用を繞る反樞軸國間の對立はダルランの釋明で一應片付いた恰好だがチヌエジオ方面の戰況が停頓状態に陥つたのと相前後し、數日來米英兩國の言論機關は前線からの報道に關する檢閲統制で泥試合の醜態を演じてゐる、佛領侵入軍の主體は米國軍なので米軍司令官が新聞電報を檢閲してゐる模様だが、檢閲は作戦に關する報道だけでなくダルラン派とド・ゴール派との對立を繞る政治記事まで嚴重取締りを受け、英人特派員の電報に加筆訂正する實情なので英

人特派員は大いに憤慨し頻りに米軍司令部を攻撃してゐる、ところが英國の情報報も負けておらず米國向電報が全部ロンドンを経由するのを奇貨とし、米人特派員の電報を故意に遅延させ、専らロイター電報を米國の新聞に載せる様に骨折し、更に米國軍がチユニジア地方で散々樞軸軍に手古拙つてゐるのをいゝ氣味だといはぬばかりに報道してゐる、ニューヨーク來電に依れば米國の言論界は以上英國情報報の言論統制を頗る重大視してゐる模様で、特にニューヨーク・タイムス紙の主筆エルヴィン・ゼームスは最近の紙上で次のやうに論じてゐるといはれる

「數週間來チユニジア地方の戦況に關し米國各紙には現地からの電報が殆んど載つておらず、殆んど全部がロンドン電報だ、恐らくロイター特派員だけが優先権を與へられてゐる結果と思ふが、いづれ近いうちに米國政府が何等かの處置を執ることならう、いづれにせよ米國各紙がチユニジア地方の作戦についてロンドン電報に記事を限られてゐるのは誠に不愉快なことだ」

リスボン【三二七】 ニューヨーク・タイムス紙編輯局長チャールス・マーズも十七日同紙々上で

「米國各新聞はアフリカ戦線から打電されるニュースを原文の儘掲載することは殆ど不可能となつた、英國の先官憲が創造した米國遠征軍に關する報道には到底満足出來ない、戦線から送られる英國側の報道が米國特派員の電報より數日早く報道されるのは珍らしくない、明らかに英國官憲が米國向けのニュースに檢閲を加へてゐるに違ひない」

經 濟
米英加三國鋼鐵委員會

リスボン【三二四】 ワシントン來電 米戰時情報局は十四日米英、カナダ三國間に今回聯合鋼鐵委員會を組織し生産の改善、技術の交換により鋼鐵の増産促進を圖ることになつた旨發表した

米加新聞用紙生産に共同管理制實施

ストツクホルム【三二四】 當地スヴェンスカ・ダグブラデツト紙の報道によれば米加兩國政府は今回新聞雜誌用紙生産の共同管理を實施するに決した、右は新聞雜誌用紙の生産高を本年四月より九月に至る六ヶ月間の月平均生産高に制限するもので、この結果今後昨年比して米國はその用紙生産の少くも五パーセントをカナダは六パーセント餘をそれぞれ削減されることになつた、なほ今回の措置は米加兩國における労働力及び電力の需要尠大化に對處するため採られたものである

西半球で麻栽培

米英聯合原料局の計畫
ストツクホルム【三二二】 大東亞戰爭以來米英兩國はマニラ麻及び世界

最大のシザル麻供給源の一方から完全に遮断されてしまつたため兩國ともこれ等纖維類の供給確保に苦慮してゐるが、兩國の對策に關し英紙フアインサンヤル・ニューズは最近左の如き報道を行つてゐる

米國戰時情報局の發表によれば英米聯合原料局は現在パナマ及びコスタリカにおいて數百ヘクタールの土地を切拓き、ここに麻類の種子を植付けつつあると言はれる、しかし右原料局はこのパナマ及びコスタリカ開拓計畫において目標として總面積二萬ヘクタールの土地にマニラ麻を栽培すべく提案を行つてをりまた他の報告によればマニラ麻は從來西半球において商業目的のため栽培されたことは一度もないにも拘らず、本年末迄に六千ヘクタールの土地に植付を完了するだらうと言はれてゐる、なほ同局は更に從來ハイチにおいて二萬ヘクタールのシザル麻栽培を計畫してゐたが、右計畫を二倍に擴張すべきだと提案してゐる、同局には英米代表が参加してをり、その主要任務は兩國が所有せる物資をプール制の下に置き、これを聯合國中最も必要とする國に分配することにある

米英船舶界の反目

ストツクホルム【三二二】 船腹不足問題は刻下の聯合國にとり最大の惱みであり米英兩國政府はこれが解決に種々苦心してゐるが、差當りの對策としてはロンドン及びワシントンの二ヶ所に「米英共同海運調整局」が設置されて全世界における聯合國船舶の動きを統制してゐる、ロンドンには英國側、戰時輸送相フレデリック・レーザース及び米國政府特使

政治・軍事

議會又秘密會

ストツクホルム【三二五】 ロンドン來電によれば上院は十五日午後、下院は同夜夫々秘密會を開催し北阿の情勢に付き重ねて協議したと傳へられる

チャーチル陳辯に努む

ストツクホルム【三二四】 ロンドン來電 十五日英國下院が秘密會議に入るに先立ちチャーチル反對派が種々の問題を提げてチャーチルに迫つたと傳へられる第一に所請「チャーチル戰車」を充分試験もせず「大量に濫造した事實につき質問が出たがチャーチルは一九四〇年六月ダンケルク敗戦の直後には英陸軍の戦車百臺に至らず急場の危険に備へるため充分試験もせず戦車を急造する外は



アウレル・ハリマン、ワシントンには米國側海軍委員長エモリー・ランド及び英國側海軍界の權威アーサー・ソールターが夫々代表に任命され、兩局は特定地域の海上運輸を分掌するとともに必要に應じて相互に船舶の融通を行ひ以て當面の船腹不足を緩和してゐる、しかし一方において鐵鋼不足による米英兩國造船業者間の軋轢のため米國側では英國造船業者は充分に機能を發揮し得ず

「特に大量生産には適しないから貴重な鐵鋼を英國に送るのは不合理で、努力も多く燈火管制による障害もない、米國造船所に出來るだけ多くを振り向けるのが至當である、かくすれば同時に英國向け輸送に必要な船腹も節約することが出来る」と主張してゐるが、これに對し英國側では英國の造船所は非常な惡條件下にあるにも拘らず、全能力をあげて活動してをり造船能率が悪いといふ非難は當らぬ、と抗辯し、最近にも一造船業者はロンドン・スター紙上に論文を掲げ

「英國の造船業者は各種の障害のためカイザー式的大量生産は出來ないとしても資材と労働力の許す範圍内で米國の造船能率と同一の生産率を發揮してゐる」

と反駁して少くも最低限度の鐵鋼供給を米國から確保しようとする努力してゐる、米國の鐵鋼供給は單に造船業のみでなく今や英國の造船業の最低生産力維持に不可欠となつてをり先頃戰時生産相リトルン訪米の主要目的の一つはやはりこの點にあつたといはれる、更に最近米國造船所が貨物船建造日數の短縮を頻りに誇大に宣傳してゐることに對し英國側には相當反感がある模様で英紙エンディアリングは最近米國造船業者の「トリック」を痛烈に皮肉つて左の通り暴露してゐる

「米國(ヘンリー・カイザー)の太平洋造船所で建造する貨物船は進水前に早くも汽鑪が据えつけられてゐるとのニューヨーク報道は驚くに當らない、これらの新造船は進水式に際し石油を染みこませた綿屑をバケ一杯詰めこんで煙突の中に入れ美事な黒煙を吐かせてゐるのでこの種の宣傳技術は米國人のお手ものだ」

なかつたと陳辯し現在には戦車約千臺乃至二千臺が前線に出てゐる旨を述べたと云はれる、更にチャーチルが所謂潜水艦戦委員会の委員長として、海軍の作戦に干渉して委員長との非難が労働黨から出たところチャーチルは通商破壊戦の容易ならぬ實情を指摘し委員会設置の経緯につき次の通り述べたと云はれる

通商破壊戦の激化にとまひ、一九四一年二月「大西洋戦委員会」を設置したがその結果同年十二月まで商船の撃沈が激減した、しかるに爾後通商破壊戦に対する空軍の役割りが漸次重要を加へるに至つたので自分が委員長となりスタッフオード・クリツプスを副委員長に航空機製作相、軍需生産相、海相等を委員とする委員会を去る十日設置毎週一回づつ會議を開いて潜水艦戦の對策を協議してゐる、同委員会は決して海軍の作戦に干渉する譯でなく、また自分が海軍の「超司令長官」に就任した譯でもなく乃至新に對潜水艦戦の大臣を任命した譯でもない

生産相、對米依存の皮算用

リスボン【三・六】 ロンドン來電 英生産相リットルトンは十六日下院で最近の米國訪問の結果について報告を行つたが演說要旨は次の通り「米國政府との協議題目は第一に兩國の商船建造計畫であつたが、兩國の一九四三年度造船計畫は合計二千萬噸を超過してゐる、第二は英國のために米國船舶を利用する問題でその目的は一九四三年度の英本國への輸入計畫の補充、海外派遣の英軍維持、並に英帝國の重要物資補給の確保にある、第三は兩國共同の護送艦

艇建造と其兩國海軍への割當の問題で第四に英國は米國に對し戦時下諸條件の許す限り完成された軍需路を工業における婦人勞務の不足を補ふため他の部門から婦人を轉出するに決定した旨先の通り言明した「余は商相の同意を得て現在郵便配達に従事してゐる一九〇七年一月一日以後生れの婦人及び特殊産業部門における一八九七年一月一日以後生れの婦人全部を轉用するに決定した但しこれ等婦人の轉用により現行の業務が閉鎖の止むなきに至る事情ある場合には六ヶ月の猶豫期間を與へる」

更に英國政府は十七日徵用令に基き登録すべき青少年の年齢を十八歳から十七年八月月に引下げの旨法令を發布した

性病撲滅法案

ストツクホルム【三・六】 ロンドン來電によれば英國下院は十六日二百四十五票對三十一票の壓倒的多數を以て性病撲滅法案を可決した、ニヤ・ダグリスト・アレハンドラ紙はロンの報告によれば開戦以來一九四一年までに性病は七割方増加したと報道してゐるが右法案の審議に當り保守黨のバーシー・ロイス提言は海軍における性病の増加を指摘しアーネスト・リトルも亦軍需工業部面における性病の蔓延を説いた、また労働黨の女議員ニデイス・サンマースキルは「法案内容は微温過ぎる、昨年度において性病で瘡れた英國人の數は獨機の爆撃による死者よりも遙かに多かつた」

ストツクホルム【三・八】 リスボン來電によれば英國首相チャーチルは十八日英國を出發空路ワシントンに赴く豫定と傳へられる

各自治領の戦争協力

リスボン【三・五】 ロンドン來電 英自治領相クレメント・アトリノは英自治領諸國の戦時態勢に關し十五日左の如く發表した

- △カナダ 陸軍三十三萬五千人、海軍四萬五千人、艦船四百五十隻、空軍兵力十五萬人
- △濠洲 陸軍兵員は最近著しく増強された、海軍三萬人、空軍兵力十萬人
- △ニュージラント 陸軍海外派遣軍六萬六千人、空軍兵力二萬人
- △南阿聯邦 一九四一年末における陸軍兵員十四萬人、空軍兵力四萬二千人
- △南ローデシア 白人總人口七萬人 未滿のうち一千人は海外に派遣され空軍に編入された
- △ニューファウンドランド 二十歳から四十歳までの男子は四人に一人の割で海外派遣軍に志願した

北阿佛僞政權問題

▲ストツクホルム【三・二】 ダルラ新政權を繞る反樞軸國間の紛争重大化に鑑み、チャーチルは十日の英國下院秘密會において経緯を説明したと傳へられるが、英國政界筋の消息によれば特に

- 一、英國政府はダラン新政權の首班として承認する方針か
- 一、その場合ダランとド・ゴールとの關係はどうなるか
- 一、今回の事件につき米英兩國政府間には意思の疎通を缺いたのではな

外務省陳辯に努む

リスボン【三・二】 ロンドン來電に依れば英國外務省はテヘラン市の暴動に就き十一日次の通り發表したと傳へられる

「テヘラン市の食糧暴動に鑑み英軍部隊が警戒的措置としてテヘラン市の郊外に移駐した、今回の行動は一部小麥の不足に原因するが恐らく輻軸分子がソ聯に對する南方からの輸送路を妨害するため策動した結果かとも考へられる、執れにせよ九日示威運動者の掠奪並に暴行はイラン警官隊の手により鎮定し事態は完全に平靜に歸した」

ケーシー倫敦着

リスボン【三・二】 ロンドン來電 英國政府は十一日西亞常駐相ケーシーが戦時内閣と協議のため目下ロンドンに滞在する旨發表した、ケーシーは最近イラン、イラク、シリア、レバノン等の西亞諸國の視察旅行を終へて報告並に打合せのためロンドンに來たものと解される

チャーチル米國行か

ストツクホルム【三・八】 リスボン來電によれば英國首相チャーチルは十八日英國を出發空路ワシントンに赴く豫定と傳へられる

勞働力増強に婦人轉用

リスボン【三・六】 ロンドン來電 英生産相リットルトンは十六日下院で最近の米國訪問の結果について報告を行つたが演說要旨は次の通り「米國政府との協議題目は第一に兩國の商船建造計畫であつたが、兩國の一九四三年度造船計畫は合計二千萬噸を超過してゐる、第二は英國のために米國船舶を利用する問題でその目的は一九四三年度の英本國への輸入計畫の補充、海外派遣の英軍維持、並に英帝國の重要物資補給の確保にある、第三は兩國共同の護送艦

いかに
等々の諸点につき相當辛辣な質問が
出たと解される

▲リスボン【三・三】 ロンドン來電
によれば英國労働組合もダルラン起
用反對の決議を採擇し更に左翼の週
刊ニコーステイツマン・エント・ネ
ーション誌も「フアシズムをモロッ
コ地方に確立する爲に英國民が開戦
以來幾多の苦難をなめて来たのでは
ない」と痛烈にルーズヴェルトの遣
り口を非難すると傳へられる、ロ
ンドン各紙もダルラン起用の経緯に
就いて一切を發表せよとチャーチル
に迫つてゐる

マンチエスター・ガーヂアン紙も十
二日の紙上でダルランが愈々新政權
の首班に確定するやうなことになる
ば反極軸國間の足並が亂れるだらう
とはつきり豫斷してゐる位だ
▲ダルランの聲明を冷笑 リスボン
【三・六】 ロンドン來電「ダルランは
ルーズヴェルトの特使ロバート・マ
ーフィー立會の下に十六日何等政治
的野心がない」との聲明を發表したと
の報道は十六日夜直ちにロンドンに
傳へられたが英國政界並に亡命政權
筋ではダルランの聲明に信を置かず
むしろ鐵面皮な豹變ぶりに驚いてゐ
る有様だ、殊に戦後、政界から隱退
するとのダルランの言明については
傀儡政權主席就任に對する英國政界
の疑々たる反對に鑑み、一時を糊塗
しようとの魂膽に外ならないと一笑
に附してゐる、殊にド・ゴール派の
スポークスマンの如きは「ダルラン
が終始一身の榮達を企圖して妄動し
て来たことは彼の経歴に徴して明瞭
だ」と述べ、ルーズヴェルトの肝煎
りに依るダルランの釋明にも一切取

り合はぬ態度を示してゐる、また政
治犯人釋放問題に關しても英國政界
に不満が強くデリー・ミラー紙は
十六日の社説で次の通り述べてゐる
「モロッコ、アルジェリ、兩地方で
約一萬人のフランス人が依然政治犯
人として逮捕されて居るがダルラン
はこれ等フランス人がヴイシー政府
に反對したとの罪で未だ釋放しない
ルーズヴェルトは極軸反對の罪で逮
捕されてゐる政治犯人の釋放を要求
してゐるが、ダルランは國內の治安
維持のためと稱してこれらのフラン
ス人釋放を拒否してゐる」

犯罪激増

ストツクホルム【三・五】 ロンドン
からの報道によれば最近英國におけ
る犯罪者の数は戦前比に比し、倍加
し各刑務所とも満員の状況で、特に
婦人犯罪者の増加が著しく女囚の數
は男囚よりも多いとさへいはれる、
犯罪の種類は燈火管制違反と食料品
その他日常必需品の闇買が最も多
く物資缺乏の現状を端的に反映して
ゐるが、女子犯罪者の増加は家庭に
おける両親の監督缺如のためだとさ
れてゐる

軍

對潜水艦委員會設置

リスボン【三・三】 ロンドン
來電によれば英國政府は
樞軸潜水艦の通商破壞強化に鑑み、
今回對潜水艦委員會を創設し、チャ
ーチル自ら委員長となつて對策を講
ずることとなつた

少年航空兵増強

リスボン【三・五】 ロンドン來電、
英軍當局は目下空軍兵力の増強に努

めてゐるが、更に十五歳から十七歳
までの少年航空兵の充實を圖ること
になり航空兵訓練所長官ウエークフ
キールドは十五日左の如く述べた
「航空兵訓練所では既に四分の三以
上の訓練兵を英國空軍に送つたが更
に開戦五年目、六年目にはより以上
少年航空兵を訓練する計畫だ、現在
訓練を受けつつある者は二十萬人以
上に達してゐる」

☆ 財政・經濟

英蘭銀行券發行限度擴張

ベルリン【三・五】 英蘭銀行の法定
紙幣發行限度は去る十二月一日以來
九億五〇〇〇萬磅に引き上げられて
ゐるが、戰爭による發行限度擴張は
今月で八回に亘り總額六億五〇〇〇
萬磅に達してゐる、第一回に際して
二億八千萬引上げられたのを除き一
回につき五〇〇〇萬磅の引上げだつ
たのに對し今回は七〇〇〇萬磅引上
げられたのが注目された

海外投資中十億磅を喪失

ストツクホルム【三・二】 ロンドン
來電「英國の對外投資喪失は近來英
大なものあり一方國債の増加は益々
顯著であるが、英蘭銀行理事キンダ
ースレーは過般政府公債委員會にお
いてこの問題につき左のごとき見解
を述べた
「英國がその海外投資を十億磅減少
したことは事實であるが、右は全く
喪失したものと支拂償還により喪つ
たものと二種類あり、一九三八年に
は英國海外投資總額は三十六億磅に
達してゐた、一方國債については一

部ではすでに國債額は不自然な程激
増を見てゐるといふ向があるが、實
状は必ずしもさうではない、戰爭に
よつて國債が累積しつつあることは
勿論だが、しかも利拂ひ負擔は一九
二〇年當時と大差なき状態であり、
國民所得そのものも近時異常な膨脹
を見てゐるのである」

再投資に當つて特典が附與される
△英の債權者地位凋落 今回の南阿
債徵用は戰爭以來目立つて来た英本
國の屬領に對する債權者地位の凋落
といふ傾向を示すものでこれを戦後
への影響も多とみられてゐる、即
ち南阿聯邦はこの債務整理によつて
戦後英本國に對して金生産を割く必
要がなくなり、金を他の目的に轉用
することも出来るからである、シテ
イ筋の一部では
「もし金が從來の如く傳統的價値を
維持し得るものとすれば南阿聯邦は
ランド金坑關係資本家を先頭に他の
諸國への資本供給に重要な地位を
占むるに至るであらう」
と觀測してゐるが、事實南阿資本は
現在すでに南米の一部その他他般な
地域に亘つて勢力を擴張しつつあり
といはれる

超過利得税引下げ

ストツクホルム【三・三】 ロンドン
來電「英國商業會議所聯合會は曩に
超過利得税引下げ方を政府に要請中
であつたが、右に對しウッド蔵相は
聯合會に對し超過利得税十割（うち
二割戦後償還）の現行の稅率を引下
げる意向は絕對にない旨言明した、
聯合會では右課税による産業界の打
撃を裁相は右に對しては
「大藏省としては利潤の決定に當つ
て運用資金に對する歩合を問題にす
ることとは考へてゐない」
と高壓的に回答したと傳へられる

國民所有の南阿債徵用

ストツクホルム【三・八】 △南阿債
徵用 英國大藏省は今回英國國民所有
にかかると未償還の英貨南阿公債を總
て徵用することとなつたが、右徵用
證券の償還を英政府は南阿聯邦より
受けることとなつてゐるといはれる
徵用される南阿公債は大體四千萬磅
とみられるが、右徵用に對する支拂
は一九四三年二月十五日行なはれる
が、徵用價格は本十八日行なはれる
大引相場を基準に明年二月十五日ま
での利子その他を考慮して決定され
る、なほ南阿公債の所有者には從來
の徵用と同様多數英國戰時公債への

政府發註船一部拂下げ

ストツクホルム【三・七】 ロンドン
來電「英國政府は打續く船舶喪失に
對處するため今回政府發註の船舶の
一部をこれら船主に讓渡するに決し
た、但し右船舶は戦後一定期間を経
過後始めて船主の所有となる旨規定
されてゐる、なほ既に一部船舶はそ
の讓渡を了したが、右船舶は新造船
ではなく戦時運輸省が一九四一年に
引渡しを受けたものであつた

石炭不足對策

▲米より炭坑機械購入 ストツクホ
ルム【三・二】 ロンドン來電「英國
における石炭不足は依然緩和されず
政府もこれが増産に懸命になつてゐ
るが燃料動力相は今回、英國内炭坑
は最近生産設備擴大及び改善を目的

として米國に對し約七百萬磅に上る炭坑機械購入注文を發した旨言明した、なほこれに附言して同相は現在數人のアメリカ炭坑権威者が英國各地の炭坑を調査してゐる旨語つた

▲ロ氏の委員長に ストックホルム

【三・六】ロンドン來電 英國政府は英政界の惑星ロイド・ジョージ老を全國石炭委員會の委員長に任命、刻下喫緊の燃料不足問題解決の衝に當らせることとなつた旨十六日發表した、英國政府は炭礦業が深刻な労働力の不足に悩んでゐる現状に鑑み、十八歳以上廿五歳迄の男子で炭坑夫として石炭増産に従事してゐる者に對し兵役免除の特典を與へて労働力の吸収に努めてゐるが、關係當局の各種對策措置にも拘らず、明年度には深刻な石炭饑饉が豫想されてゐるため、今回特にロイド・ジョージ老の出馬を懇請したのである

▲英紙、石炭生産不振を攻撃

ストックホルム【三・五】英國では石炭不足の深刻化につれ最近各新聞雜誌に石炭生産不振に對する批判が相次いで掲載されてゐるがその主なものをみると次の通りである

△イヴニング・スタンダード紙もはやこんなことを言つても手遅れであるかもしれないが石炭生産を何とかして増加せしめなければならぬ

現在の英國の石炭需給が憂慮すべき状況にあることは今更指摘するまでもないことだ、石炭こそは英國工業の基礎をなすもので、石炭不足のため軍需生産が阻害されるようなことでもなればこれは直に戦線に悪影響を與へるのである

△エコノミスト誌 英國炭坑業者協會の發表によると英國は一九一三年

當時二億八七〇〇萬トンに上る石炭生産を有してゐたのであるが、今時大戦には著しく減少するに本年は二億トン以上とみられるが、燃料動力省が主張するように、燃料動力省の改革で短期間に食止め得るとはなすのは樂觀もすぎると云はなくてはならない

食糧難深刻

リスボン【三・五】ロンドン來電 英國食糧相ウィルソンは最近カナダ英國訪問より歸國した英國食糧使節委員長ブランドの報告に基き十五日左の通り言明した

「英國現在の食糧割當状況は船腹増加の見込が立たないため全く改善を期待出來ず、戦後とも當分の間それは繼續すると覺悟せねばならない、今後における米國よりの食糧輸入は船腹節約のため米國として粉ミルク、乾燥卵その他の乾燥食料品に限定されよう」

紙類不足

ストックホルム【三・四】英國においては紙の不足は最近益々不足を告げてゐるが、右に關しエコノミスト誌は左の如く報じてゐる

スカンデナヴィア方面からの輸出絶及び全般的船腹不足のため、一九四〇年以來英國における紙不足は益々深刻なものとなつて來た、一九四〇年五月以來紙の貯蔵は一切新聞紙供給會社に集中され、他方嚴重なる消費節減が必要とされて來た、戦前英國における紙消費量は一週平均二萬四千噸であつたが、それが左の如く次第に切詰められて來た

一、戰爭勃發後 一萬四千五百噸

二、一九四〇年七月上旬六千八百噸

三、一九四一年三月中旬五千八百噸

四、一九四一年四月中旬 四千八百五十噸

五、現在 四千四百三十噸

右現在消費額を戦前に比すれば僅かにその一八パーセントにしか當らない、なほ本年十月初めの紙在庫高は現在の消費率で行けば三十二週間分が存してゐると言はれるが、政府は船腹不足を緩和するため準備在庫を十六週間分に迄切下げよう計つてゐる

護送船團の組織

ストックホルム【三・六】北大西洋供給路の確保如何は英國死活の問題であるが、護送船團による輸送が現在いかに行はれてゐるかに關し最近當地に詳細なる情報もたらされた右によれば船團の組織及び運航はきりまはつて慎重かつ精密な計畫のもとに行はれてをり、英國の輸送危機に對する神經過敏ぶりをよく物語つてゐる、すなはち米國より英國への物資輸送は實際問題として左のごとき複雑な體系のもとに行はれつつある

①英國側の緊急民需及び軍需必要物資に關し、まづロンドンの關係諸機關の手で詳細なる調査検討が行はれる

②關係諸機關はこれら物資の明細なる戰時運輸省に提出同省内の民需委員會並びに軍需委員會の審査をうける

③兩委員會は優先主義に基いて物資の輸送順序を決定

④戰時運輸省船腹割當部は右決定を基準に各物資の船腹割當を行ひ米國へ通知する

⑤物資はかくて米國において積出港

に送られ積込配置及び積荷保護に關し慎重考慮を加へられた上積込みを行ふ

⑥積込みを終へた船はまづ一ヶ所に集結され出航する

⑦護送船團出航に關する詳細報告が英國戰時運輸省電信課に打電される

⑧船團の航路は戰時運輸省と協議の上英海軍省によつて豫め指定されてゐる

⑨航行中は船内の一室に英國側の軍部各省・供給省・食糧省等の代表者英國海監監督官等が絶えず協議して船の速度荷揚方法、荷揚地から目的地への輸送方法等が考究される

⑩船團が英國へ近づくと船腹修理の必要有無、修理の種類、船團が航行中に蒙つた損害等の調査が行はれる

⑪さらに各船の入港地に關して最終決定が行はれ、入港の上は修理を要する船舶はなるべく荷揚中にその修理を行ひ、荷揚を終了した船舶にはまた新しい任務が課せられる

カナダ

ナツシュ、オツタワへ

ストックホルム【三・二】英國における劃期的社會立法として注目されてゐるビーヴァリツヂ労働次官提唱の社會保險、即ち所謂ビーヴァリツヂ案は「直接税が英國國民に對して何らの具體的補償を行はないのに反し何らかの収入ある全英國國民に毎年少額の保險金を拂ひこませ疾病、失業養老等の保險をなす」ことを建前としたものであるが、同案に對する各方面の見解を綜合するに左の如くである

リスボン【三・六】オタワ來電 ナダ労働相ミチエルは既婚未婚を問はず十九歳以上廿五歳迄の男子は全て明年一月以降軍籍に編入されることとなつた旨十六日言明した、因に

全面的召集を實施

かない、例へば妻及び子供二名を有する農業労働者最低賃金は一週六十三志九片であるが、これに對し彼が失業した場合の救済手當は一週五十六志である、従つて若しビーヴァリツヂ案が成立すると保險金の強制徴収が行はれるから賃金は一般に昂騰の傾向を見せることとならう

二、ビーヴァリツヂの言ふ所による新社會保險は全被保險者の八・五パーセント迄が失業しても十分實施し得ると稱してゐるが、過去における最低失業率は一九三二年の九・七パーセントであつたからこの比率は少な過ぎるといふべきだ

三、ビーヴァリツヂ案は從來の通常保險の原則とかけ離れてゐる、即ち身體壯健にして且つ定職を有する者が身體虚弱にして且つ定職を有せざる者と同様のプレミアムを支拂はねばならない

カナダ陸軍の現有兵力に三十三萬五千名である

軍需品増産に邁進

リスボン【三〇六】オタワ來電によればカナダ國防相ロルストンは十八日カナダの軍需生産の現状につき左の如く語つたと傳へられる

「カナダは英國防衛の一翼として軍需品の増産に邁進してゐるが、現在各種軍需工場で勞務中の男女勞働者は約八百萬に達してゐる、今年中にカナダより英本國に送られる軍需品は總額二億五千萬磅に上る見込みである、明年は更に生産の増強を行ふ準備が出来てゐる」

民需生産激減

ブエノスアイレス【三〇三】オタワ來電「開戦以來カナダは軍需生産に擴充に躍起となつてゐるが、最近開始されたカナダ商業銀行株主總會においてローガン頭取は現在カナダの生産力の五十五パーセントは軍需生産に充てられてゐると發表、注目を惹いた、尙ほローガンの語る所によると國民所得も増大し現在國民所得總額は八十億佛に達してゐるが、其内譯は、資金所得、五〇%、農業所得、一五%、投資利潤其他、三五%である、なほローガンは購買力の増大化に對し消費財供給は大巾に減少しカナダは現在危局に直面してゐる旨附言、これが對策として餘剰収入公債並に貯蓄債券を大々的に發行、過剰購買力の吸収に努める必要ありと強調した

バターに配給制實施

リスボン【三〇〇】オタワ來電「カナダ政府は現在ガソリン、砂糖、紅茶、コーヒーの割當制を實施して居るが、二十日から更にバターの配給割當を實施した、一週間の分量は一八人當り半ポンドである

ナダ政府は現在ガソリン、砂糖、紅茶、コーヒーの割當制を實施して居るが、二十日から更にバターの配給割當を實施した、一週間の分量は一八人當り半ポンドである



☆政 治

印度に代表を任命

リスボン【三〇二】ルーゾヴェルトは過般來印度に外交使節を派遣する方針で英國政府との間に交渉を重ねてゐるがワシントン來電に依れば十一日元ローマ駐劄大使ウイリアム・フライリッブスを大統領の「個人的代表」として印度に派遣する旨發表した、フライリッブスは大使の資格で一九四一年十一月特使トーマス・ウイリッブスがニューデリーに開設した米國公使館の館長となり一般外交官と同様の義務に當ると云はれる

物價調整局長官辭職

ブエノスアイレス【三〇二】ワシントン來電「米國物價調整局長官レオン・ヘンダーソンは十七日辭職した、辭表を受け、ブエノスアイレス【三〇七】ワシントン來電によれば大統領秘書アーリーは十七日物價調整局長官レオン・ヘンダーソンの辭任を發表すると同時にヘンダーソンが病氣且つ視力衰弱のため辭表を提出するに至つたこと、並にこれに對しルーゾヴェルトがやむを得ずこれを受理し後任者任命まで彼の執務を希望せることを明かにせる大統領ルー

ズヴェルトとヘンダーソンとの間の交換書簡を公表した
右交換書簡の内容の通り
△ヘンダーソンの書簡
余は最近健康勝れず身體の故障頻發し剩へ視力の衰弱著しきため現下の情勢に際し余に託された重大任務を遂行するに堪へず、ここに醫師の長期療養の勧告に基き閣下に辭表を提出するのやむなきに至つたことを遺憾とする、余は必要とあらば後任者に助力を提供するを吝まぬであらう
△ルーゾヴェルトの書簡
余は寔に心外ながら貴下の辭表を受けざるを得ないのを遺憾とする、但し後任の詮衡並に任命が完了するまで暫く執務を續けられたい、余は貴下が將來健康を回復し再び政府に復歸し新しい職務に就いて余に協力されるやう切望してやまない

△辭職事情
リスボン【三〇七】消息筋では最近米國の膨大な生産擴充計畫が種々の難關に逢著し戰時體制の圓滑な進行を妨げてゐる事情を指摘しヘンダーソン辭任の経緯につき次の觀測を下してゐる
一、米國政府の生産擴充計畫は軍需増産に過度の重點を置き民需に對し適當な考慮を缺いたため原料、労働力が軍需工業に偏在的に集中する傾向あり生活必需品を生産する民需工業は全面的な危機に陥り國民生活の根柢を脅威するに至つた
一、特に去る三日戰時生産局から發表された軍需資材の適正配給を目指す資材割當計畫で戰時生産局に新設される生産資材申請委員會に資材割當の全權が集中された結果、軍需生産に對する資材の優先割當は益々強化され民需は殆ど完全に無視されるに至つた、その結果ヘンダーソンは戰時生産局長ドナルド・ネルソンと協議を開始し民需割當の増加を要求したが、軍需生産を第一とするネルソンと意見が合はなかつた
一、去る十月米國議會を通過したインフレ防止法案に基き貨物價値釘付けの實施方法についても過般來物價安定局長官パーソンズとヘンダーソン間に協議が進められてゐるが農産物價につき意見の相違があり特に南部農業諸州の強硬態度により情勢は極度に惡化するに至つた
一、戰時生産局は盛んに米國の軍需生産増大の數字を發表して宣傳に努めてゐるが、ヘンダーソンは民需の不圓滑に對する非難を一身に背負はされ、特に最近コーヒーの消費割當制、ガソリン割當制の西部諸州へ次擴大等、日リンの消費統制強化は肉々に實施され、更に明年度からは肉類の割當制が削減される筈でヘンダーソンは軍需生産當局の要求と國民の不滿の間に板挟みとなるに至つた
一、最近續々發表される人的資源動員計畫も軍需工業の勞働力強化に急いで、民需産業は急激な縮小を強ひられることとなつた
以上の経緯に鑑み消息筋ではヘンダーソン辭任の結果米國政府は恐らく民需産業への資材配給制限を若干緩和して軍需生産との均衡回復に努めるものと見て居り、日用品の配給も多少増加され國民生活の急激な變化は避ける方針に立ちかへるだらうと觀測してゐる

△大統領と會見
ブエノスアイレス【三〇八】ワシントン來電「ワシントン首相モラレス・ベルトラミ氏は十一日ワシントンに到着した
△大統領と會見
ブエノスアイレス【三〇八】ワシントン來電「ワシントン首相モラレス・ベルトラミ氏は十一日ワシントンに到着した

チリー内相華府着

ブエノスアイレス【三〇二】ワシントン來電「チリー内相モラレス・ベルトラミ氏は十一日ワシントンに到着した
△大統領と會見
ブエノスアイレス【三〇八】ワシントン來電「ワシントン首相モラレス・ベルトラミ氏は十一日ワシントンに到着した

エルトを訪問會見した、會見席上ル
イズヴェルトは米、智兩國間の文化
的、經濟的紐帯を説き米州運帶主義
を強調したと傳へられる、會見に立
會つた駐米チリ大使は次の通り語つ
た

「モラーレス内相は、ルイズヴェル
トと國際情勢につき検討したが、同
時にチリ政府だけに關する問題に
ついても意見を交換した、ルイズヴ
エルトは依然としてリオス大統領の
來訪を期待してゐる様子である」

ソ聯大使國務次官と會談

ブエノスアイレス【三・二】ワシ
ントン來電 駐米ソ聯大使マキシム・
リトヴィノフは十二日米國務次官キ
ムナー・ウエルズを訪問要談を遂げ
た、ユダヤ人迫害問題に關して反樞
軸國側から近く發表を豫想されてゐ
る共同聲明に關し討議したものと
はれる

北阿司政長官を任命

リスボン【三・二】ワシントン來電
米國務省は前ヴァシシー米大使館參
事官ロバート・マーフィーを公使に
昇格、同人を佛領反樞軸軍司令部附
の司政長官に任命した旨二十日發表
した

七十七議會閉じ

ブエノスアイレス【三・二】ワシ
ントン來電 米國下院議長レイバーン
は今期議會を來る十六日乃至十七日
に閉會し、第七十八議會を來年一月
六日に開會、翌十七日に恒例の大統領
敎書を上下兩院合同會議で發表する
こととなつた旨十四日言明した

フィツシユ委員を辭任

リスボン【三・五】ワシントン來
電 米國務省は重慶政權交通部が十
四日から重慶、ロスマンジュルス間
に電送寫眞事務を開始することに決
定した旨十三日發表した

重慶、米國間に電送寫眞

リスボン【三・五】ワシントン來
電 米國務省は重慶政權交通部が十
四日から重慶、ロスマンジュルス間
に電送寫眞事務を開始することに決
定した旨十三日發表した

ル大統領夫人に非難集中

リスボン【三・五】ワシントン來電
によれば大統領夫人エレノア・ルー
ズヴェルトはとくお喋り過ぎると
いふので、昨今米國民の間に頗る或
判が悪く、最近ロスマンジュルスの成
の會合で「ルイズヴェルト夫人は眞
球灣の損害が發表される以前に殆ど
精確な數字をぶちまけて歩いた」と
の非難が出たほどだが、同夫人は十
五日の新聞記者會見にも男子記者と
の面會を拒否し、女秘書が現れて
「大統領夫人が機密を洩らしたやう
な事實はない」と釋明した

フーヴァーの平和論

ストツクホルム【三・二】前米國大
統領ハーバード・フーヴァーは十八
日シカゴのシャーマン・ホテルにお
けるロータリー・クラブの晩餐會に
於て次の如き歐米平和案を述べたと
傳へられる

「余は前大戦當時のやうに休戦を締
結し、ヴェルサイユに全般的な媾和
會議を開催したのは異り、平和の
達成を二段階に分割することを提唱

する、第一段階は條件付平和の段階
で全世界の自由を回復し、次いで全
世界が冷靜になる迄暫く時期を待つ
た後、全般的な媾和會議によらず、
個々の委員會によつて戦後世界の重
要問題を個別的に處理して行くので
ある、以上の手續を踏むにあつて
は聯合各國が平和の諸條件並に爾後
の手續に豫め同意することが必要で
ある、平和の條件としては

- 一、敵軍の全面的武装解除
- 一、暫定の國境畫定
- 一、停戦並に一般市民の本國歸還
- 一、敵軍が武装を解くと同時に即時
經濟封鎖を解くこと
- 一、世界の再建に協力する機關の設
置

一、貿易復活のため一切の通商條約
を暫定的に回復すること
が絶対に必要である、これらの諸問
題は慎重考慮するために時間を必要
とし乃至戰爭に基く報復と憎惡の感
情が冷却する迄の時間が必要であら
うが、いづれにせよ聯合各國におい
てこれらの諸懸案について意見を纏
めることは必ずしも困難ではないか
ら休戦の手續を採らずに豫め以上の
諸懸案につき平和の宣言を發表し、
次いで各國の人心が冷靜となる迄暫
く時期を待つのである

最後にフーヴァーは戰爭を轉機とし
て世界が新たな文明の時代に入らな
ければならぬ旨を強調し、文明の再
建には平和の確立が前提條件である
と結論した

チャーチルの來訪説を 否定

ストツクホルム【三・二】チャーチ
ルの訪米説に關しワシントン來電に
よれば、ルイズヴェルトは十八日記
者團との會見で「リスボン電報一流
の臆測に過ぎない」と右報道を否定
したと傳へられる、但し従来とも會
見が片附くまでは發表されない例だ
から真相はわからない

第三黨結成の機構

ストツクホルム【三・二】「ダーゲン
ス・ニューター」紙のニューヨーク特
電は十三日、米國內に第三黨結成の
機運が擡頭してゐる旨を傳へ、次の
通り述べてゐる

「民主黨出身のアラバマ州知事は最
近ニューヨークに於ける南部十一州
知事の會合でルイズヴェルト政權の
繁文縟禮を非難し南部諸州はルイズ
ヴェルトのニューディールにはもう
飽き飽きしてゐるから一九四四年十
一月の大統領選舉には恐らく民主黨
候補が敗退するだらう」と述べた

更に同知事は民主黨内のニューディ
ール反對派が獨立民主黨を結成する
かも知れぬと言明したが、ニューヨ
ーク各紙は以上アラバマ州知事の演
説を採り上げルイズヴェルト政權に
對する嘗て見なかつた脅威であると
斷定した、獨り民主黨内だけに止ま
らず共和黨の有力分子の間にも南部
諸州のニューディール反對派と合流
レルイズヴェルト反對の第三黨を結
成しようとの意見ありシカゴ・トリ
ビュン紙の如きも同様第三黨結成
の必要を強調してゐる、ラジオ評論
家で有名なグラム・スウィングも第
三黨の結成はルイズヴェルトのニュ
ーディールに對する一大敵國となら
うと述べてゐる

☆ 軍 事

ルイズヴェルト緊急軍事 會議を招集

リスボン【三・二】ワシントン來電
ルイズヴェルトは十一日ホワイト
ハウスに緊急軍事會議を招集、陸
軍參謀總長マシヤル海軍作戦部長
キング、陸軍航空部隊司令官アー
ノルド、最高軍事顧問リーイラの軍
首腦部列席の下にチユニジア戰線並
に西南太平洋方面の戰局に關し鳩首
協議を遂げた

頻りに建艦

▲戦艦補充に大童 布エノスアイ
ス【三・二】米國政府は西南太平洋
その他において續々戦艦を喪失せる
結果今や戦艦の補充強化に躍起とな
つてゐるが、ワシントン來電によれ
ば海軍次官フォレストタルは
「三萬五千噸の戦艦サウス・ダニタ
マサチユセツは既に就役してゐる
が同型のアラバマ、インディアナも
近く就役する豫定である」

と述べたといはれる、インディアナ
ナは一九四一年十一月進水したが既
に艦籍編入を終つたといはれ、アラ
バマの就役は一九四三年二月に豫定
されてゐるが、この兩戦艦が就役す
れば米國政府の三萬五千噸級戦艦建
造計畫は一段落する見込である、更
に進水後機裝完成までの日子も著し
く短縮され、去る八月進水した四萬
五千噸のアイオーは一九四三年六月
までに就役すると見られてゐる

▲新甲巡ヒューストン 布エノスア
イレス【三・二】ワシントン來電

米海軍長官ノックスは撃沈された甲
巡ヒューストン(九〇五〇噸)の代
艦として新甲巡ヒューストンが近く
進水する旨十五日發表した
▲ウエスト・ヴァージニア漸く浮
揚 ブエノスアイレス【三・二五】ワ
シントン來電によれば眞珠灣に於て
撃沈された米戦艦ウエスト・ヴァー
ジニア號三萬一千八百噸は引揚げを
完了、近く入渠修理される豫定とい
はれる

▲戦艦運動 リスボン【三・二五】ワ
シントン來電 海軍長官ノックスは
廿日テキサス州ヒューストンに赴き
目下同地の造船所で建造中の巡洋艦
ヒューストン建造費三千六百萬弗の
公募運動に参加することになった、
なほ同造船所では十七日驅逐艦二隻
が進水する

▲新機製作
ブエノスアイレス【三・二二】ニユー
ヨーク來電 米政府當局は各戦線に
おける戦闘經過に基づき最近左の新
鋭機製作に力を注いでゐる
一、ダダラス・ドレントレス海軍急
降下爆撃機ライト一千馬力單發、最
高時速四百五十キロ、搭載爆彈五百
磅一個又は二百五十キロ爆彈二個、
乗員操縦士一名、銃手一名、計二名
この型はソロモン戦に参加してゐる
一、プリユースター・パツカニア
海軍爆撃機ライト千七百馬力單發、
最高時速六百キロ
一、カチス海軍急降下爆撃機一性
能不明
一、デスヴァスタドリア雷撃機一ア
ラット・ホイットニー空冷式千二百
馬力單發、直徑五十糎千疋魚雷一個
搭載、乗員操縦士、銃手、通信士、
送出來るといはれ同社で試作機の完

雷撃手各一名、計四名
一、グラマン・アベンジャール爆撃機
時速五百糎一噸爆彈又は魚雷一個
搭載、この機はミッドウェイ海戦に
参加した
一、カタリナ飛行艇プラット・ホ
イットニー一千二百馬力双發、重量
十五噸、時速四百二十糎以上、航續
距離六千五百糎
一、サンターポルト追撃機プラッ
ト・ホイットニー二千馬力單發、上
昇限度一萬二千米時速六百五十糎、
兩翼に機銃合計八門を有す
一、カチス・ウアホーク中型追撃
機ロールス・ロイス千二百馬力單
發、時速六百糎以上
一、カチス・キワチホーク追撃機
アリソン千二百馬力單發
なほカチス・トマホーク追撃機は
最早製作されてゐない

成後、大量生産に乗出す意向と傳へ
られる
航空隊司令の揚言
リスボン【三・二二】ニユーヨーク來
電によれば陸軍航空隊司令官ヘンリ
ク・アノルドは十三日テキサス州
ランドルフ空軍基地における航空兵
養成所の卒業式に臨み陸軍航空隊の
架空的「戦果」につき手前味噌を並
べたのち
「最近東京放送は日本國民に對し、
戦争終了までには何時敵の爆撃を受
けるか知れぬ、國民は豫てから爆撃
を受ける覺悟をしてこれが對策に遺
憾なきを期さなくてはならない旨を
述べ、陸軍航空隊は遠からず東京爆
撃を行方針だ」と淡果な揚言をした
陸軍の兵力増強を誇稱
ブエノスアイレス【三・二六】ワシ
ントン來電 米陸軍次官バタソンは十
六日上院軍需生産調査委員會に臨み
米國陸軍の現兵力に關し左の如く發
表した
「陸軍の兵力は今や五百萬に達した
右兵力の大部分は徵兵制實施以來陸
軍に編入された者で、一方この大陸
軍に對する補給も尠大な額に上り本
年陸軍が入手した武器彈藥その他裝
備は二百五十億弗に達した、而して
この巨大な軍事補給を賄ふ米國現在
の軍需生産額の内容は戦車二萬三千
臺、九十糎高射砲三千門、四十糎
高射砲九千門、各種機關銃八十萬
挺等であり、また小口徑の銃砲用彈
藥は、毎月十億發以上を生産してゐ
る

教育機關を徵用
リスボン【三・二七】ワシントン來電
米陸海軍兩省は召集壯丁に對し軍
事的に必要な特別技術訓練を實施す
るため全國における官公私立大學專
門學校の施設を徵用するに決し十七
日その旨共同發表を行つた、新制度
の實施によりこれ等の學校において
教育を受ける青年は約二十五萬人と
推定されるが陸軍長官スチュムソンは
次のやうに語つてゐる
「今回の措置によつて米國の所謂自
由教育制度は一時的にもせよ相當の
打撃を受けることとならう、戦争を
勝ち抜くためにはすべての教育を軍
事的要求に應ずる方向に進めねばな
らぬ、しかして勝利を獲得するため
には陸軍に出来るだけ多くの青年を
收容しなければならぬ、訓練は技術
方面を第一とし他の教育部門は第二
義的になるわけである」
汎米公路軍用化協定
ブエノスアイレス【三・二六】米國政
府は南北兩アメリカ大陸を繋ぐ重要
連絡線として巨額の費用を投じて汎
米公路の完成を急ぎつつあるか、十
八日ワシントン來電によれば米國政
府は最近右公路が通過する中米各國
との間に新協定を締結し、右公路を
軍事目的に使用し得る權利を獲得し
たといはれる、右公路の建設に關し
ては最初からその軍事的性質が重視
されてゐたのだが、米國政府が公
然とこの公路を軍事目的に利用する
ことを認めさせたのは今回が最初で
ある

ブエノスアイレス【三・二六】ワシ
ントン來電 米國陸軍當局は一九四三
年末までに七百五十萬の大陸軍建設
を目標として擴充工作を進めてゐる
が、最近議會方面に國內軍需生産能
力に伴はないかゝる大擴充工作に對
する有力な反對論が擡頭、ルーズヴ
エルトは十六日新聞記者團との會見
でかかる反對論の根柢なきことを強
調して左の如く述べた
「議會方面では明年末までに七百五
十萬の陸軍建設案に反對、米國の軍
需生産能力に相應する程度の兵力に
とどむべきであるとの意見があるが
余はかゝる見解には與し得ない、大
陸軍の編成及びこれに對する補給の
ために國內の經濟組織が崩壊するな
どといふ意見は實に驚くべき見解で
現在の如き戦争を戦ひつゝある米國
においてはかゝる意見が一般の支持
を得ることは出来なだらう」
**クーリツジ號はソロモン
水域で觸雷**
ブエノスアイレス【三・二五】ワシ
ントン來電 プレジデント・クーリツ
ジ號(二一、九三六噸)が南太平洋
で觸雷沈没した事件につきアメリカ
ン・プレジデント・ラインの總支配
人ヒュー・ジャツクソンは十五日次
の事實を暴露した
「プレジデント・クーリツジ號がソ
ロモン水域において某港に入る際船
長は哨戒に従事してゐた驅逐艦二隻
に入港してゐたが、米國政府が公
然とこの何等危険がないかと回答あ
り、そのまゝ入港したところ俄然二
個の機雷に觸れ爆沈するに至つた」
同時に海軍長官ノックスは
「プレジデント・クーリツジ號が陸

尠大な陸軍案に反對論

軍の運送船として約四千名の軍隊を乗せソロモン群島水域を航行してゐる際觸雷沈没したが四名の乗組員の外全部は救ひ出された、海軍省査問委員会では目下同船の沈没が日本軍の機雷によるものか米海軍の機雷に依るか嚴重調査をしてゐる」

☆ 財政・經濟

融金・政財

九十億弗新公債、六十六億弗應募

ワシントン來電「去る十一月末發行した總額九十億弗のいはゆる「戰勝公債」に關し米財務省は本日右は六十六億弗まで應募済みとなつた旨發表した

因みに戰勝公債は二分半利附、一九六三—六八年償還利息据置で半額は銀行引受、半額は一般公募である

十一月中の戦費六十億弗

—累計四百六十九億弗

ブエノスアイレス【三・三】米國財務省は本年十一月中の戦費支出高を六十億四千二百萬弗と發表したが、これは十月中の戦費五十四億八千八百萬弗に比し五億六千六百萬弗の増加に當る、なほ開戦以來の戦費累計は四百六十九億二千九百萬弗となつた、(註)十二月上旬號所掲の數字と相違するが何れが正確か判明しない) 月別戦費支出状況次の通り 一九四一年十二月 一、八五〇(百萬弗)、一九四二年一月 二、一〇〇(百萬弗)、一九四二年二月 二、九八七、四月 三、四二一、五月 三、

英濠へ銀塊供與

ブエノスアイレス【三・四】ワシントン來電「英本國及び濠洲は銀塊不足のため豫ねて米國政府に對しこれが供與方を要請中であつたが、米財務長官モーゲンソーは右要請に應じて兩國に對し銀塊借款をなす旨十四日言明するとともに他の反樞軸國が銀塊を必要とする場合は同様借款をなす用意ある旨發表した

通貨流通高激増

ブエノスアイレス【三・五】米國の通貨流通高は戦費支出の膨脹經濟活動の活潑化とともに最近引續き増大を示してゐるが聯邦準備銀行の報告によりその月平均増加額をみると本年八月より十一月に至る四ヶ月間は月平均五億弗と前年同期の二億弗に比し著しい増加で最近における急速な通貨膨脹振りを物語つてゐる、なほ十一月末における通貨流通高を過去二年に比するに 一九四〇年十一月末 八二億弗 一九四一年 一〇六億弗 一九四二年 一四六億弗 と連年著しい増加を示してゐる、なほ十二月九日現在の通貨流通高は一四九億三六〇〇萬弗と十一月廿五日の一四六億四八〇〇萬弗に比し依然二億八八〇〇萬弗の増加をみてゐる

工業生産

軍需の増産を宣傳

リスボン【三・七】ワシントン來電に依れば戰時生産局長官ロナルド・ネルソンは十七日米國の軍需物資の増産を揚言して次の如く語つたと言はれる 「米國は明年度の總額九百億弗に上る軍需品の生産を必要としてゐる、これは樞軸國の生産の約二倍に當る筈である、今年の末における生産額は既に樞軸國の倍になつてゐるから明年末には更に増加される譯だ」

工業生産指數

ベルリン【三・二】米國聯邦準備局發表、十月中の米國工業生産指數は一九〇と年初以來一九ポイントの昂騰を示した、このうち本年上半年の増加が九ポイント、七月以降十月迄主なる變化を摘記すれば左の如くである、

工作機械生産躍増

ブエノスアイレス【三・二〇】ワシントン來電「米戰時生産局は去る七日十月中の米國工作機械生産高を一億三千萬弗と發表したが、今更に當局は本年度の工作機械生産累計は十億弗といふ新記録を示すものと豫想されると發表した、これは第二次歐洲大戰勃發以前の平均年産額一億弗に比し非常な上昇振りであり、また本年の生産數量は全米に存在する全工作機械數の三分の一以上に相當するといはれる、またその精密度も著しく高度となり、一萬分の一吋といふ性能のものも現はれつゝある、因に米國の工作機械生産高は一九三九年には年額一億弗程度だったが一九四〇年には四億五千萬ドル、四一年度には七億七千五百萬ドルであつた

Table with 3 columns: Year, Industry, Production Index. Rows include 1942 average, 1941 average, 1940 average, and 1939 average for Industrial Production, Manufacturing, and Mining.

船舶建造狀況

ブエノスアイレス【三・六】ワシントン來電「米國海軍委員會は十六日、十一月中の船舶建造狀況に關し次の如く發表した 十一月中自由型船舶の引渡高は六十八隻の新記録を樹立した 一、右の建造平均日数は五十六日で十月の平均日数を一割方短縮した、これを本年一月の二百四十一・三日に比較すれば四分の一の平均日数となる

セメント船建造計畫

ブエノスアイレス【三・一〇】ニューヨーク來電「米國海軍委員會は船舶不足緩和のため並に造船資材節約の見地から「セメント船」の大量建造を計畫、過去十八ヶ月に亘り試作船によつてその性能を試験した結果、所期の成績を収めることが出來たので愈々本格的な造船計畫に乗出すことに決定したと解される、右セメント船は全長五十六米、船巾十三米、貨物積載能力二千噸の比較的小型船舶だが、船體の大部分がセメントで造られてゐるため一般商船と異り鐵材の使用は極めて少く、又その特別構造によつて船體の水線の高さが低いため潜水艦の脅威も大いに減殺されるといはれる、尤もかゝる構造とされであるが、最近行はれた試運転では一千四十哩を百六十五時間で行、船體も完全な状態であつたといはれる

金屬生産を誇示

屬	本年	一昨年
アルミニウム	一〇六、八五九	六八、〇四五
アンチモニー	二一、六二九	一一、四二一
銅	七二六、三九六	五三二、〇四六
鉛	三九七、四一六	二六〇、三四六
ニッケル	五、三一五	五、一五〇
錫	四二、〇三三	三三、二二二
亜鉛	二八三、九六七	二〇五、九二一

△クロム 明年度における國內生産高は大體戰前の輸入量に等しくなるものと見積られてゐる(米國は一九三八年酸化クロムを約十六萬四千噸海外から輸入してゐた)

△モリブデン 明年度國內生産は本年度生産高を一五パーセント方上廻るものと見積られてゐる(從來の年平均生産高は二萬五千噸程度であつた)

△銅 本年度生産高は約三百萬噸と豫想される

△マグネシウム 本年末における年生産見積は約二億六千萬封度である

△鉛 同様に本年末現在の年産見積は百三十萬八千噸となつてゐる

非鐵金屬回收運動実績

ベルリン【三・〇】米國鑛山局の發表によると昨年中に屑金屬からの回收再生された非鐵金屬類は總額三億四千七百五十三萬六千九百九十六噸、一昨年の二億三千六百九十六萬五千噸、一昨々年の二億四百四十一萬六千噸に較べて著しい増加である、非鐵金屬類の價格は一昨年来大體釘付けにされてゐるので回收總額の増加は専ら數量の増加に基くものと見られる、なほ主要金屬別に回收數量を見ると次ぎの通り(單位シヨールとしてワシントン情報)の傳へると

對ソコム使節團任命

ワシントン來電【三・二】ソ連官ウイリアム・ジェフアーズの發表によれば、米政府は今回ソ連に對しコム使節團を派遣するに決し、アーネスト・ピットマンを主班とする團員一行を任命した、しかして使節團の目的はソ連における人造ゴム製造状況を調査し、その化學的、技術的經驗につき各種情報を蒐集するにあると言はれる、なほ主班ピットマンは現在インディアナ州のケミカル會社社長にして舊コム調整官アーサー・ニューホールの顧問であつた

ル大統領コム不足の重大化を警告

ワシントン來電【三・二】ワシントン電報は二十日に至り始めて米國物價統制局が「東部十七州における一般用ガソリンの販賣停止を二十日夜半より解除する」旨發表したことに、陸海軍のコム需要は頗る多量に上り、これが充足を圖るため我々一般の者はタイヤ使用を一層節減しなければならぬ」と述べ、次いでバーナード・バルチを委員長とする特別委員會が過般に發表したコム調査報告書中の一節をそのまゝ引用した後

ハワイでコム生産を開始

「即時斷乎たる措置を講ぜざる限り米國は民需用のみならず軍需用コム充足上重大事態に直面せねばならぬ」と強調してゐる

プエノスアイレス【三・二】ホルル來電によれば、ハワイ當局は今回囚人を使用してマウイ島で粗製ゴムの生産を開始することとなつたと傳へられる、ハワイにおけるコム生産は過去卅一年間にわたつて休止されてゐたものであるが最近のコム不足對策の一つとして今回の復活をみたものである、然しこれによる産額も「明一九四三年度の農産物收穫の内二十五%は陸、海、空軍と武器貸與法適用國への供給に當てられるであらう、かく農産物に對する軍需及び武器貸與用需要が増大するにつれ米國も結局は食糧割當制を實施しなければならぬ」

「明一九四三年度の農産物收穫の内二十五%は陸、海、空軍と武器貸與法適用國への供給に當てられるであらう、かく農産物に對する軍需及び武器貸與用需要が増大するにつれ米國も結局は食糧割當制を實施しなければならぬ」

東部にガソリン販賣停止

「明一九四三年度の農産物收穫の内二十五%は陸、海、空軍と武器貸與法適用國への供給に當てられるであらう、かく農産物に對する軍需及び武器貸與用需要が増大するにつれ米國も結局は食糧割當制を實施しなければならぬ」

「明一九四三年度の農産物收穫の内二十五%は陸、海、空軍と武器貸與法適用國への供給に當てられるであらう、かく農産物に對する軍需及び武器貸與用需要が増大するにつれ米國も結局は食糧割當制を實施しなければならぬ」

食糧

軍需と武器貸與用需要増大

「明一九四三年度の農産物收穫の内二十五%は陸、海、空軍と武器貸與法適用國への供給に當てられるであらう、かく農産物に對する軍需及び武器貸與用需要が増大するにつれ米國も結局は食糧割當制を實施しなければならぬ」

「明一九四三年度の農産物收穫の内二十五%は陸、海、空軍と武器貸與法適用國への供給に當てられるであらう、かく農産物に對する軍需及び武器貸與用需要が増大するにつれ米國も結局は食糧割當制を實施しなければならぬ」

貸與援助用に乾燥豚肉生産

「米國政府は北阿派遣の米軍に對し豫期せざる事態のためガソリンを緊急供給すべき必要に迫られ、テキサス州からの輸送は急場の間に合はず已むを得ざる手段として右の措置に出たものである」

「米國政府は北阿派遣の米軍に對し豫期せざる事態のためガソリンを緊急供給すべき必要に迫られ、テキサス州からの輸送は急場の間に合はず已むを得ざる手段として右の措置に出たものである」

はソ聯、英國向け豚肉供給に努力し、右乾燥豚肉も恐らくこれ等諸國への武器貸與、援助に當てられるものとみられる、この註文に基き明年より中西部の工場が乾燥肉生産を開始する筈であるが、今回の乾燥豚肉註文は主として船腹を節約せんがための措置とみられる。

鐵詰生産新記録

ブエノスアイレス【三二六】ワシントン來電米國は將來の食糧不足に備へて食糧貯蔵に努めるとともに鐵詰の増産を行つてゐるが、軍需増大もあつて本年の米國鐵詰生産高は記録的增加を示した。すなはちベターソン陸軍次官の言明によれば米本土、ハワイ、アラスカ等に於る果實、野菜、魚類の鐵詰生産高は一九四二年中三億箱以上に上り一九四一年度の二億三千六百萬箱に比し六千四百萬箱の増産で記録的増産であると云はれる。

アルゼンチン肉類禁輸

リスボン【三二四】ワシントン來電によれば、米國政府は今回アルゼンチン家畜の傳染病を口實にアルゼンチン肉類の輸入を禁止した、これに對しアルゼンチンよりの情報によれば家畜のごく一部に傳染病が存在することは事實だが同國産肉類は既に長年に亘つて諸外國に輸出されてをり輸出先諸國の家畜に病氣を傳染したことはなく、今回の米國側措置はききめて不可解だとしてゐる。

物資援助成績

里斯ボン【三二二】ワシントン來電「ルーズヴェルト

は十一日武器貸與法に基き十月中各國に送られた援助物資の三十九パーセントは西亜方面へ又二十一パーセントはソ聯へ發送された旨發表した。

沒收特許權全面的利用

ブエノスアイレス【三二二】ワシントン情報によれば米國政府は曩に敵國および敵國占領下の國民の所有する特許權を續々收用したが、その數すでに五萬以上に達し爾來政府は國內産業界と協同沒收特許權の整理檢討を行ひつゝあつたが、本日ルーズヴェルト大統領は愈よ來る十二月三十一日以降軍需工業の各部門にわたる有用なるものは總て自由且つ全面的にこれを利用せしむる旨發表した。

輸入品目五百種に限定

里斯ボン【三二五】ワシントン來電「戰時生産局發表、米國の輸入品目は今回約五百種に限定され其以外の輸入は一切禁止された右は船腹不足の對策として斷行されたものである。

大湖内の鐵原鑛輸送新記録

ブエノスアイレス【三二五】米政府はその尅大なる軍需生産計畫達成のため、スベリア湖西端デルス近郊にある米國最大の鐵原鑛生産地帯から五大湖を通じて各工業地帯への供給増進を懸命に計つてゐるが、國防運輸局長官イーストマンは本日、本年度における五大湖内の鐵原鑛運輸量は九千二百〇七萬七千噸と戰時生産局の目標たる九千五百萬噸を突破、過去の最高記録たる八千〇十六萬噸に比し一四・九パーセントの増加を示した旨發表した。

農村動員日を設定

ブエノスアイレス【三二七】ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトは十七日記者團との會見で一月十二日を「農村動員日」とする旨を述べたの通り言明した。

「米國民は過去三ヶ年にわたる農産物の劃期的増産に對し農民に滿腔の感謝を捧げる然し必要が今後更に農産物の増産を期せねばならぬ、よつて明年一月十二日をもつて「農村動員日」と定め明年度において出来る限り農産物の増産を圖るやう對策の協議方を要望する」

在米邦人を復農か

里斯ボン【三三〇】ワシントンよりの報道によれば米政府當局は農村における労働力不足に悩み開戦後奥地に強制移住せしめた在米邦人約九千名を今回一時的に農業へ復歸せしめることになつたといはれる、一方在米邦人學生約二千名は最近東部の諸大學に移されたとも傳へられる。

四百萬の新規徵用

ブエノスアイレス【三三三】ワシントン來電「米國人的資源委員會は十三日同委員會が一九四三年度に約四百萬の男女を新規徵募乃至徵用する方針で、この結果明年末には戦線、工場、農村において直接戦争遂行に参加する米國々民は三千三百萬に達することとならうと發表した。

失業者二百二十萬

チユーリッヒ【三二〇】スイス新聞

の報道によれば全米失業者数は二百二十萬に上つてゐる。

軍需生産業務者の動員を提案

里斯ボン【三二〇】ワシントン來電「CIO (産業別組織會議) 總裁フイリッパ・マレーは廿日人的資源委員會に對し軍需生産業務者の全面的動員と原料の維持並にこれが供給に關する提案を行つた。

中南米諸國

義勇隊を編成

リスボン【三二五】メキシコ市來電によれば、メキシコ政府は在米領事館に對し米國在留のメキシコ人による義勇隊の編成とこれが反樞軸國軍への合流を許容する旨の通告を行つたといはれる。

米、墨軍事使節團訪問

リスボン【三二六】サン・ホセ來電によれば米國、メキシコ混合軍事使節團がコスタ・リカを訪問目下同國に軍事施設を建設する件につき調査中であるが、同使節團はサン・ホセからバナマ運河地帯まで視察旅行を行ふ筈といはれる。今回のコスタ・リカ訪問は専らバナマ運河地帯防衛を目的としたものとみられてゐる。

議會徵兵案可決

里斯ボン【三二四】米系情報によれば中米ホンジュラス共和國議會は十四日強制的徵兵法案を可決したと傳へられる。

外交政策を檢討

ブエノスアイレス【三二五】サンチャゴ來電「チリ上院は十五日秘密會を開催、外交政策に就き檢討を加へた、秘密會にはフエルナンデス外相が特に出席して樞軸國との關係その他に就き説明した。

大統領に全權委任

里斯ボン【三二六】サンチャゴ來電「チリ上院十六日の秘密會において左の決議案が採擇された。「チリ上院はリオス大統領並にフエルナンデス外相屢次の聲明内容に留意しつゝ茲に外交政策の遂行に就てはチリ憲法の條項に従ひ大統領一人が責任を負ふことを宣言する」。

外交政策變らさず

ブエノスアイレス【三二六】サンチャゴ來電「ダハルド外務次官は十八日記者團と會見「チリ政府が樞軸國と斷交するのではないかとの説が流布されてゐるが、チリ政府の外交政策は變更されないだらう」と述べた。

獨公使に歸國命令か

ブエノスアイレス【三二五】サンチャゴ來電によればドイツ政府は近くチリ政府が、外交政策を轉換するだらうとの見透しの下にサンチャゴ

駐割公使に對し歸國方訓令したと傳へられる

ンチンゼルア

戒嚴令延長を布告

ブエノスアイレス【三・二四】アルゼンチン政府は昨年十二月十五日一ヶ月の期限を附して全國内に戒嚴状態を宣布し、言論機關その他を統制して來たが、現下國際情勢の機微に鑑み、政府は十四日緊急閣議の結果右戒嚴状態の無期限延長を決定、十四日その旨正式に發表した

英大使歸國

ブエノスアイレス【三・二七】アルゼンチン駐割英國大使ケリーは突如ブエノスアイレスを出發、ロンドンに向け歸國の途についたが、消息筋では同大使歸國には何等か外交的使命が施されてゐると見做してゐる

アイヴリボ

戒嚴令布告

ブエノスアイレス【三・二五】ラパス來電に依りボリヴイア政府は十四日來全國に戒嚴令を布告しその理由として「友好諸外國の利益のために、國內生産を保護するにあらざれば」と發表したが、右は最近同國政府の對米屈從政策による米國資本の浸蝕を不満とする國家主義團體がカタヴィ鑛山地方において不服從運動を開始し、騷擾氣運は全國的に波及する恐れが濃厚となつた爲めに採られた手段で、今後鑛山、工場地區及び輸送機關には軍隊が配備されて警戒に當ることになつた

▲罷業坑夫一萬八千 ブエノスアイレス【三・二六】ラパス(ボリヴイア)來電に依りカタヴィ鑛山坑夫の賃銀十

割値上げ要求に端を發したボリヴイア國內の鑛山罷業は全國に波及し十六日に至り罷業總數は一萬八千に達した、情勢の重大化に大統領ベニアランダは十四日、ラパス、オルロ、ボトン、コチャ・パンバ、スクレその他の錫鑛山地帯に戒嚴令を布き一切の政治的集會並に勞働組合の集會を禁止した、又ボリヴイア軍當局は現下の重大時局に際し治安攪亂を企圖するのは叛逆行爲に均しいとの建前から「治安回復に如何なる手段も辭せぬ」との強硬聲明を發表した

罷業の根本原因としては米洲連帶の美名の下にベニアランダが米國政府に迎合屈從を事とし、且米國資本の浸潤でボリヴイア産業界が手も足も出なくなつた事實が擧げられてゐるが、右翼國粹派とベニアランダ政権に反對の共產分子とが合流し、來るべき總選舉の前に大統領を窮地に追込まうとして組織的罷業に乗出したと見られる

左翼領袖を逮捕

ブエノスアイレス【三・二〇】ラ・パパス來電に依りカタヴィ鑛山に端を發したボリヴイア國內の罷業は政府當局が戒嚴令を布告したにも拘らず、依然解決されるに至らないが、當局は廿日に至り錫鑛業の中心地コトシにおいて極左派の領袖エンリケ・アルコーバ並にワルド・アルヴァレスを逮捕した、政府の發表によればこれら左翼分子は政府の顛覆を企圖したといはれる

米、石油、石炭を供給

ブエノスアイレス【三・二五】モンテヴイデオ來電によれば最近米國よりウルグワイに石油二萬四千トンが供給されずでに到着したと云はれる、なほその他二千六百トンに上る石炭が發電用として到着したと報ぜられる

燃料飢饉激化

ブエノスアイレス【三・二二】モンテヴイデオ來電に依り石油その他の燃料資源を主として米國からの補給に仰いでゐるウルグワイでは米政府の極端な輸出制限の結果甚しい燃料不足に當面しつつあり既に自家用自動車は全然街頭から姿を消したが十六日モンテヴイデオ市内のタクシー運轉手もガソリン割當の不當な削減を理由として一齊罷業に入つたため市民は完全に足を取られてゐる有様で、重大な社會不安を現出せんとしてゐる

ば最近米國よりウルグワイに石油二萬四千トンが供給されずでに到着したと云はれる、なほその他二千六百トンに上る石炭が發電用として到着したと報ぜられる

燃料飢饉激化

ブエノスアイレス【三・二二】モンテヴイデオ來電に依り石油その他の燃料資源を主として米國からの補給に仰いでゐるウルグワイでは米政府の極端な輸出制限の結果甚しい燃料不足に當面しつつあり既に自家用自動車は全然街頭から姿を消したが十六日モンテヴイデオ市内のタクシー運轉手もガソリン割當の不當な削減を理由として一齊罷業に入つたため市民は完全に足を取られてゐる有様で、重大な社會不安を現出せんとしてゐる

外相留任

ブエノスアイレス【三・二〇】過般行はれたウルグワイ大統領選舉の結果副大統領に當選アルベルト・グアニ外相は新内閣においても引き続き外相を兼攝するとみられてゐるが、ウエルグワイ憲法では副大統領が當然上院議長を兼任する事になつてゐるので同外相は來年五月一日から自動的上院議長をも兼任する事とならう

内閣總辭職

ブエノスアイレス【三・二〇】ボコタ來電に依ればコロンビア内閣は二十日突如總辭職を行つた、總辭職の理由は國內政策の執行詰りにあるものと見られるが同内閣は今年八月に成立したばかりのものである

編輯後記

○年末で古雑誌を整理してゐると、間からバサつと落ちたものがある。それは一枚の錫紙——煙草の中味を包む——であつた。煙草の包紙は今では蠟紙であるが、その前にはバリバリした銀色の紙であり、更にその前がこの薄い——けれどもその冷く柔い感觸は何物にも代え難い——錫であつた。それはそんなに古いことではない。蠟紙に慣れ切つてゐる現在から見ると、あゝこんな時代もあつたのだなあと思ひ、忘れ切つた人に出合つたやうな懐しさを覚える。

○今年には除夜の鐘も聞かれず、物足りないやうな氣もする。しかし、傳來の寶も祖國の難に身を以て御奉公してゐるのだ。一片の包紙でさへこの一二年の事態の移り變りに容易ならぬものがあることを、その鈍い光で訴へてゐるのである。

○錫も銅もニッケルも回収すれば何じことだがその手間だけでも餘計である。廢品の山を見る度に今まで随分無駄をしたものだと思はずには居られない。昔の人の物を粗末にしないのには感心するが、それは必ずしも物が不足だつたからではない。物の無駄の根本には心の無駄ありである。

○野村大使は歸朝後、各所に邸宅が新築されてゐるのを見て奇異な感に打たれたと語つてゐるが、それから幾月も立たぬ今日、巷の高級品店には人が氾濫し、料亭の前にはガソリンが空しい煙を上げてゐる。これはもう單なる無駄でなく、國力の阻害そのものであることは明らかだ。

昭和十七年十二月二十八日 印刷本
昭和十七年十二月三十日 發行

同盟旬報 (第六卷)

(毎月三回十日發行)
(定價) 四十錢

内地 一部 四十錢(送料二錢)
半年分前金七圓(送料共)
一年分同十三圓(送料共)
外海 半年分前金九圓(送料共)
一年分同 大圓(送料共)

編輯發行 杉田才一
兼印刷人
東京市芝區濱松町一丁目十五番地
印刷所 スター印刷株式會社 (東京一〇八)

發行所 東京市墨田區日谷公園
社名 同盟通信社
電話(銀座) 六二六(代表)
電話(墨田) 七〇二(同)
電話(日本出版文化協會) 二〇〇〇(八)

配給元 日本出版配給株式會社
東京市神田區淡路町二ノ九

營業所 東京市京橋區銀座西七ノ三
社名 同盟通信社出版部
電話(銀座) 七〇一(一)
電話(東京) 三五八〇〇

同盟戰時特輯

各 B 6 判 定價 20 円 +

- 1 日 本 的 世 界 觀 大串 兎 代 夫 著
- 2 新 東 亞 と ツ フ ィ ン の 現 實 中 屋 健 弑 著
- 3 食 糧 對 策 と 食 糧 營 團 木 村 昇 著
- 4 落 下 傘 部 隊 佐 藤 喜 一 郎 著
- 5 英 國 の 植 民 地 統 治 方 式 伊 東 敬 著
- 6 新 東 亞 と タ イ の 現 實 大 澤 滋 著
- 7 金 融 新 體 制 と 銀 行 永 山 公 明 著
- 8 新 東 亞 と 蘭 印 の 現 實 侯 野 博 夫 著
- 9 中 小 商 工 業 の 再 編 成 今 村 武 雄 著
- 10 獨 逸 占 領 地 統 治 方 式 海 野 稔 著

以下續刊

既 刊 ・ 新 刊

東南亞細亞における外國投資

C.F.リーマー序 H.G.キャリス著
日本國際協會・太平洋問題調查部譯

東南亞細亞に百年の永きに亘り
暴威をふるつた英・米・蘭の資
本が如何に確固たる地盤を有し
たかに就いて、その實相を研究
することは、大東亞における戦前の國際關係を解釋する
うへにも、亦共榮圈建設といふわが國當面の政策遂行の
うへから言つても、緊要不可缺であらう。然るに東南亞
細亞全般に亘る外國投資の綜合的調査は、遺憾ながらわ
が國においてもまた外國においても存しない。この事實
に鑑み、太平洋問題調查會が對支投資の専門家たる
リーマー教授の監修のもとに企畫した本書は、洵に
得難き調査と言はねばならぬ。著者キャリス博士は
リーマー教授と等しくミンガン大學に在職し、同教
授の指導のもとに本調査に直接從事した。……著者
は列國の投資額に關して分析を行ふ半面、投資が原
住民に與へた影響を所謂一二重經濟の問題として
論及し、東亞諸民族に對する歐米列強の植民政策の
實態を示してゐる。(譯者序より)

序文……(C.F.リーマー)

- ◆ 一 比 律 賓 における外國投資
- 二 蘭 領 印 度 における外國投資
- 三 英 領 マ レ ー における外國投資
- 四 タイ (シ ャ ム) における外國投資
- 五 佛 領 印 度 支 那 における外國投資
- 六 ビ ル マ における外國投資
- 七 結 論

(2 4 0 頁)
統計表 24

社 團 同 盟 通 信 社

東京市銀座西7の3 振替東京35800

同盟旬報索引

昭和十七年一月三日
自第六卷第一號・第六卷第九號

宮廷

新年大奥の御團欒……………元九
 新年宴會お取止め……………元九
 畏し二重橋に拜す御英姿……………元九
 天皇陛下陸航士卒業式親臨臨臨……………元九
 陸海首腦へ御酒下賜……………元九
 セナ前泰國大使夫妻御陪食……………元九
 町田、大井兩氏に宮中杖……………元九
 金子伯に下賜……………元九
 故山田中將邸に勅使御差遣……………元九
 首相等に御酒と鴨を下賜……………元九
 加藤大使邸に勅使御差遣……………元九
 歸還三提督に賜謁……………元九
 御儀……………元九
 新年の諸御儀終了……………元九
 明治天皇三十年の御式年……………元九
 宮中元始祭……………元九

宮廷	支那方面	歐米戰	政事	軍交	外議	帝國	財政	社經	體文	東亞	歐米
大東亞戰爭……………一	支那方面……………七	歐米戰……………八	政事……………九	軍交……………九	外議……………九	帝國……………九	財政……………九	社經……………九	體文……………九	東亞……………九	歐米……………九

部門目次

政治の御儀……………元九	歌會始諸役被仰付……………元九	講書始晴れの進講者……………元九	歌會始の御儀……………元九	歌會始の御儀……………元九	歌會始の御儀……………元九	歌會始の御儀……………元九	歌會始の御儀……………元九	歌會始の御儀……………元九	歌會始の御儀……………元九	歌會始の御儀……………元九	歌會始の御儀……………元九
--------------	-----------------	------------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

御下渡の銅鐵で兵器謹製……………四六
 冷害地に御内帑金下賜……………四六
 發明協會に御下賜金……………四六
 靖國の遺児に御紋菓御下賜……………四六
 ▲皇后陛下……………四六
 皇后宮東宮假御所へ行啓……………四六
 皇后陛下海勇士に綳帶下賜……………四六
 賜……………四六
 皇后宮白衣勇士に鷄卵御下賜……………四六
 皇后宮女子學習院卒業式行啓……………四六
 ▲皇太子殿下……………四六
 皇太子様靖國神社行啓……………四六
 皇太子殿下を御中心の御集……………四六
 皇太子殿下海軍館へ行啓……………四六
 皇太子殿下第二學年御修了……………四六
 東宮様多摩陵に御參拜……………四六
 ▲皇王族……………四六
 三内親王様多摩陵御參拜……………四六
 秩父宮殿下英靈に御下賜金……………四六
 高松宮殿下内原御視察……………四六
 高松宮神宮スキ大會御臨……………四六
 高松宮張特派大使に賜餐……………四六
 高松宮殿下航空研究所御成……………四六
 三笠宮殿下衆議院に御成……………四六
 三笠宮殿下明治神宮御參拜……………四六
 三笠宮軍用馬雪中鍛錬大會……………四六
 閑院宮家御五代實錄を編修……………四六
 故賀陽宮大妃五十日祭……………四六
 賀陽宮殿下防空御視察施設……………四六
 賀陽宮橫濱防空施設御視察……………四六
 故賀陽宮大妃百日祭の御儀……………四六
 梨本宮殿下神國日本展台臨……………四六
 竹田宮南方戰場御訪謁……………四六
 朝香宮富久子女王殿下御參……………四六

世界戰況

大東亞戰爭

內……………四六
 各宮様方戰捷を御祝賀……………四六
 【陸軍部隊】
 陸軍開戰以來の戰果……………四六
 陸軍各方面の綜合戰果……………四六
 陸軍綜合戰況……………四六
 大東亞戰爭全般戰況……………四六
 陸軍週間戰況……………四六
 二月九日以降の陸軍綜合戰果……………四六
 馬來比島方面の陸軍戰果……………四六
 【海軍部隊】
 開戰以來一ヶ月の赫々たる海軍戰果……………四六
 米軍艦ラングラーを撃沈……………四六
 敵潜水艦二隻撃沈……………四六
 敵船舶の損害百九隻……………四六
 開戰以來敵潛廿九隻を撃沈……………四六
 南海に散つた五勇士……………四六
 敵輸送船三隻を撃沈……………四六
 高塚海軍中佐戰死……………四六
 開戰以來の海軍綜合戰果……………四六
 撃沈艦艇一一四、擊破一五三……………四六
 米巡マールヘッド撃沈……………四六
 ジャバ脱出救援の敵船二十一萬トン撃沈……………四六
 【空軍部隊】
 陸軍商船二、潜水艦一を撃沈……………四六

陸軍航空部隊マレー、ビルマ各地猛爆……………四六
 海軍ニューギニア猛爆……………四六
 陸軍綜合戰果……………四六
 マレー、ビルマで敵五十機を撃破……………四六
 海軍は敵四十五機を撃破……………四六
 星港バタンを大空襲……………四六
 赫々たる海軍の戰果……………四六
 陸軍新嘉坡、タイン痛撃……………四六
 陸軍シ港及びビルマに猛威を振ふ……………四六
 陸軍七十八機撃破……………四六
 海軍航母大破炎上……………四六
 開戰以來陸軍綜合戰果……………四六
 海軍濠西岸を急襲……………四六
 【反樞軸情報】
 米側戰況發表……………四六
 英米側も戰局の前途を悲觀……………四六
 BBC放送も戰況に悲鳴……………四六
 英紙わが成功を認む……………四六
 米海軍省發表……………四六
 米海軍反擊多難を自認……………四六
 マレー蘭印戰局前途觀……………四六
 ハート大將指揮に就く……………四六
 ウエーヴェル正式に就任……………四六
 ウエーヴェル、バタヴィア着……………四六
 英誌も日本軍を賞讃……………四六
 英評論家の日本戰果評……………四六
 米戰術者シンドニー着……………四六
 敵側日本機の優秀を認む……………四六
 ヘルフォットは陸上で指揮……………四六
 ハート司令官長官戰死か……………四六
 ウエーヴェル蘭印に歸還……………四六
 ウエーヴェル負傷……………四六
 チリ沖合で米船撃沈……………四六
 ウエーヴェル罷免……………四六
 西阿反樞軸司令部解消……………四六

蘭印の英軍司令官はシトウ
エル少將……………四五六
聯合軍總司令官はテル・ボ
ーテン……………四五六
ヘルフリツヒ辭任……………四五六
敗將マツカーサー着落……………四五六
聯合軍司令部を濠洲某所に
設置……………四五六
反樞軸軍新司令部設置を計
畫……………四五六
ブレントを聯合國空軍司令
官に……………四五六
敵「防禦攻勢」宣傳……………四五六
米比島司令官任命……………四五六
米海軍司令官も逃亡……………四五六
米將の心事正に醜劣……………四五六
米艦撃沈公表……………四五六

海上戦況

【東太平洋】
▲米西海岸
日本潜水艦の出沒を恐る……………四五六
米太平洋岸又も空襲騒ぎ……………四五六
米半硬式飛行船を沿岸哨戒
に使用……………四五六
チリ汽船の臨檢事實無根……………四五六
米輸送船又も撃沈さる……………四五六
羅府西方海岸砲撃……………四五六
大統領放送最中潜水艦の砲
撃……………四五六
狼狽する米當局……………四五六
加州に空襲警報……………四五六
今度には怪飛行機出現……………四五六
羅府空襲騒ぎ後聞……………四五六
米油槽船攻撃さる……………四五六
潜水艦米本土西岸に活躍……………四五六
米太平洋岸又も警報騒ぎ……………四五六
▲布哇
ヒロ港等を空襲攻撃敵艦艇
一隻を撃沈……………四五六

米航母レキシントン型を撃
沈……………四五六
ホノルルに空襲警報……………四五六
米軍の戦死五千五百名……………四五六
米陸軍輸送船撃沈……………四五六
ホノルル再度空襲……………四五六
復舊工事中の工廠を爆撃……………四五六
ハワイ海戦米側寫眞……………四五六
ホノルル又復空襲警報……………四五六
▲大島島(ウエーキ島)
ウエーキ島上陸記……………四五六
十字砲火を冒し遂に三島占
領……………四五六
來襲の敵艦隊を襲撃……………四五六
【西太平洋】
マシーナル群島襲撃の敵部
隊を反撃……………四五六
府下南島島に敵機來襲……………四五六
各地に海軍部隊戦果赫々……………四五六

【南太平洋】

米海軍、濠洲水域哨戒擔當……………四五六
海軍新鋭船三隻を猛爆……………四五六
海軍新鋭戦闘機の活躍……………四五六
海軍南太平洋等各地を連爆……………四五六
敵廿二機を撃墜破……………四五六
【大東亞海】
米貨物船撃沈……………四五六
狼狽の敵驅逐艦、友軍潜水
艦撃沈……………四五六
水上機母艦損傷……………四五六
オランダ軍艦撃沈……………四五六
海軍敵船撃沈……………四五六
我潜水艦スリダ列島に活躍……………四五六
日本潜水艦スマトラ沖に活
躍か……………四五六
敵商船を痛撃……………四五六
蘭印戦局を憂慮……………四五六
蘭印側報発表……………四五六
海軍大規模商船撃沈……………四五六
カスバル海峡で敵艦船を撃

沈……………四五六
海軍大東亞海制歴……………四五六
陸軍ジャバ海で敵艦隊爆撃……………四五六
陸軍海陸に大海躍……………四五六
ジャバ沖大海戦……………四五六
海軍米蘭巡洋艦四隻を撃沈
破……………四五六
蘭巡トロンブも大破……………四五六
ジャバ海で大型驅逐艦撃沈……………四五六
▲バリ島海戦
バリ島附近海戦……………四五六
蘭印海軍潰滅に瀕す……………四五六
蘭敵設艦爆破炎上……………四五六
空母一撃沈特設空母に致命
傷……………四五六
▲スラバヤ海戦
スラバヤ沖海戦……………四五六
海軍敵甲巡を大破……………四五六
新編西南太平洋聯合艦隊全
滅……………四五六
蘭印軍戦況公表……………四五六
米、ジャバヤ海海戦放送……………四五六
蘭印側損害を確認……………四五六
▲バタヴィア沖海戦
バタヴィア沖海戦……………四五六
蘭印方面敵艦隊を撃滅……………四五六
ジャバ海海戦詳報……………四五六
日本海軍の絶対優勢を英側
肯定……………四五六
▲バタヴィア放送局敗戦放送……………四五六
英甲巡並に驅逐艦二隻撃沈……………四五六
海軍縦横の活躍……………四五六
▲ジャバ海戦結果
ジャバ海戦結果……………四五六
英米公報全文……………四五六
米提督戦戦を自認……………四五六
ジャバ海戦公表の反響多大……………四五六
ジャバ海戦果に表はれた米英
の好策……………四五六
ドールマン少將戦死……………四五六
蘭驅逐艦長のジャバ海戦實
戰談……………四五六

比島戦線

【ルソン島】
有史未曾有の大船團……………四五六
大江季雄選手戦死……………四五六
マニラ周邊で砲聲轟く……………四五六
マニラ陥落迫る……………四五六
先頭部隊マニラ近郊に達す……………四五六
卑劣なるマニラ武裝解除宣
言……………四五六
マニラ進入……………四五六
皇軍のマニラ突入遂に成る……………四五六
マニラ完全占領……………四五六
比島最大據點マニラ攻略迄……………四五六
日章旗を手に堂々の行進……………四五六
歴史的入城式行はれん……………四五六
「獄舎から荒鷲を見た嬉し
さ」……………四五六
比島米國の羈絆を脱す……………四五六
米軍のマニラ焦土戰術……………四五六
我が軍敗走の敵猛追中……………四五六
日本軍に對し認識不足……………四五六
感激を抑へ仰ぐ荒鷲の勇姿……………四五六

スラバヤ海戦詳報……………四五六
ジャバ沖海戦敵將談……………四五六
米、砲艦の撃沈を確認……………四五六
米艦喪失を確認……………四五六
英機我病院船爆撃……………四五六
▲南支那海
病院船哈爾濱丸沈没……………四五六
暴戻敵潜水艦病院船撃沈……………四五六
八千噸級英船撃沈さる……………四五六
【印度洋】
ジャバ南方洋上で二艦撃沈……………四五六
海軍クリスマス島空襲……………四五六
わが潜水艦印度、ビルマ沿
岸に活躍……………四五六
アンダマン島奇襲上陸……………四五六
英米、印度洋形勢を悲觀……………四五六
米船マドラス沖で雷撃……………四五六

比島戦線

ニユースに飢えたキャンブ
生活……………四五六
比島派遣軍布告……………四五六
光岡戦車隊血闘記……………四五六
捕へられた米人記者と問答……………四五六
比島人警官隊八名戦死……………四五六
▲コレヒドール島へ向け猛進……………四五六
マツカーサー、コレヒド
ール島へ遁走か……………四五六
コレヒドール要塞に據り最
後の抵抗……………四五六
米比軍最後の運命迫る……………四五六
バタアン半島北部制歴……………四五六
ガアグアの線に進出……………四五六
バタアン半島攻略戦進む……………四五六
バタアン半島の敵猛撃中……………四五六
マツカーサー以下の運命迫
る……………四五六
我猛撃に敵抵抗弱化……………四五六
米軍食糧に窮す……………四五六
オロンゴボ占領……………四五六
バタアン半島總攻撃愈々急
調……………四五六
バタアン半島の敵運命窮す……………四五六
敵、狂気の督戦……………四五六
米比軍最後の日迫る……………四五六
左右兩翼より猛進……………四五六
バタアン半島砲撃戦……………四五六
斥候兵十名で○島要塞占
領……………四五六
敵堅壁の一角崩壊……………四五六
バタアン半島一角へ敵前上
陸……………四五六
バタアン半島敵包圍態勢……………四五六
バタアン半島の敵續々潰走……………四五六
バタアン要塞潰滅に瀕す……………四五六
比島米軍陣地に楔……………四五六
バタアン要塞に楔を打込む……………四五六
進撃續行、敵の退路を遮斷……………四五六

バタアン攻略戦激烈を極む(四〇三)
 徹宵續く砲撃戦……………(四〇三)
 米比軍の退路強壓……………(四〇三)
 バタアン半島攻撃開始……………(四〇三)
 ナチア山麓敵陣占領……………(四〇三)
 敵陣を眼下に見降し猛進……………(四〇三)
 バランガを占領……………(四〇三)
 米比軍の東西連絡線遮断……………(四〇三)
 米比軍續く残虐……………(四〇三)
 アメリカの残虐を想起せよ(四〇三)
 ナチア山攻略の全貌……………(四〇三)
 我包圍作戦準備全く成る……………(四〇三)
 米比軍食糧に窮す……………(四〇三)
 米比軍に星港陥落を通達……………(四〇三)
 バタアンの皇軍猛攻……………(四〇三)
 食糧不足に悩む米比軍……………(四〇三)
 米比軍の醜い内部抗争……………(四〇三)
 米比軍全く孤立無援……………(四〇三)
 ▲ミンドロ島其他
 卑劣の米軍癩患者を放逐……………(四〇三)
 サンホセ(ミンドロ島)占領……………(四〇三)

▲空軍部隊
 不時着勇士奇蹟の生還……………(四〇三)
 九死に一生感激の生還……………(四〇三)
 陸軍大舉敗敵襲撃……………(四〇三)
 比島作戦の華和田機自爆……………(四〇三)
 マニラ陥落を語る陸軍座談會……………(四〇三)

敵車輛多數爆破……………(三九二)
 陸軍バランガ猛爆……………(三九二)
 陸軍敵トラック猛爆……………(三九二)
 陸軍イバを急襲……………(三九二)
 比島米空軍全く潰滅……………(三九二)
 陸軍敵輜重隊爆破……………(三九二)
 陸軍敵兵舎猛爆……………(三九二)
 敵戦闘機四機撃墜……………(三九二)
 陸軍飛行場爆破……………(三九二)
 リマリ敵飛行場爆破……………(三九二)
 陸軍比島敵陣地を猛爆……………(三九二)
 マリベレス要塞爆撃……………(三九二)
 陸軍バタアン半島猛爆……………(三九二)
 偵察機敵戦闘機を撃退……………(三九二)
 陸軍大舉マリベレス周邊爆撃……………(三九二)

▲海軍部隊
 比島方面海軍綜合戦果……………(三九二)
 陸戦隊比島マスバテ島上陸……………(三九二)
 海軍部隊、ラマオ砲臺を覆滅……………(三九二)

海軍バタアン猛攻……………(三九二)
 バタアン要塞の輸血路を断つ……………(三九二)
 完壁のわが海軍警戒陣……………(三九二)
 敵船艇九隻撃沈二隻拿捕……………(三九二)
 サンボアンガ完全占領……………(三九二)
 陸戦隊マテルに上陸……………(三九二)

▲米英側情報
 マニラの危機愈々増大……………(三九二)
 マニラ突入に米狼狽……………(三九二)
 マニラ北方に抵抗陣結成と豪語……………(三九二)
 英紙マニラ失陥を重視……………(三九二)

陸海將校星港、蘭貢(引揚)げ……………(三九二)
 米比軍必死で抵抗……………(三九二)
 米側戦況發表……………(三九二)
 米比軍勢力漸次減退……………(三九二)

▲バタアン情勢
 米比敗残軍は疲労困憊……………(三九二)
 天險を頼み最後の抗戦……………(三九二)

比島米軍氣息奄々……………(三九二)
 比島戦況公表信用薄し……………(三九二)
 バタアン半島放棄の辨……………(三九二)
 バタアン半島で激戦……………(三九二)
 壓倒的優勢下に比島殘敵猛攻……………(三九二)

バタアン半島最後迫る……………(三九二)
 ビヤリス代將負傷……………(三九二)
 米紙比島の運命を豫想……………(三九二)
 比島米司令官戦局を悲觀……………(三九二)
 バタアン半島最暗黒の時……………(三九二)
 バタアン攻撃再開……………(三九二)
 比島の米軍全く孤立化……………(三九二)
 バタアン米比軍地獄の責苦……………(三九二)

▲東印度諸島
 タイムス紙蘭印戦局重視……………(三九二)
 蘭印戦況公表……………(三九二)
 蘭印戦局を憂慮……………(三九二)

▲空中戦・空爆
 海軍蘭領諸島猛爆……………(三九二)
 蘭印各地を連爆……………(三九二)
 海軍蘭印諸島猛襲……………(三九二)
 日本航空部隊蘭印各地爆撃……………(三九二)
 蘭印各地猛爆……………(三九二)
 海軍スラバヤ、クーバン猛爆……………(三九二)

陸軍米英蘭廿九機を撃墜破四〇五
 海軍九十九機撃墜破……………(四〇五)
 海軍四百六十餘機撃墜破……………(四〇五)
 海軍敵船五隻敵機八機を爆碎……………(四〇五)

【スマトラ】
 メダン猛爆敵側も發表……………(四〇五)
 陸軍長驅パレンバン空襲……………(四〇五)
 五十機撃墜破の大戦果……………(四〇五)
 陸軍第三次パレンバン攻撃……………(四〇五)
 パレンバンで敵九機撃墜破四八八
 陸軍落下傘部隊大舉降下……………(四〇五)
 パレンバンを攻撃……………(四〇五)
 パレンバン敗走記……………(四〇五)
 パレンバンの皇軍戦果擴大四三〇
 落下傘部隊最初の實戦記録四三〇
 蘭印わが制空権を肯定……………(四〇五)
 パレンバン完全占領……………(四〇五)
 陸軍、スマトラの制空権把握……………(四〇五)

パレンバン完全占領公報……………(四〇五)
 わが艦隊パレンバンに進入……………(四〇五)
 パレンバン西精油所占領……………(四〇五)
 落下傘部隊の地上奮戦記……………(四〇五)
 敵機の襲撃下に全速力前進四四八
 タンジュンカラ占領……………(四〇五)
 要衝ラハトを占領……………(四〇五)
 ベンカン海敵基地掃蕩……………(四〇五)
 スマトラ島ムアラポ占領……………(四〇五)
 ジャンビー(スマトラ)占領……………(四〇五)

北部各地に上陸……………(四〇五)
 クタラヂヤ占領ヴェ島攻略四六五
 メダン無血占領……………(四〇五)
 バダン進入……………(四〇五)
 各地で殘敵を殲滅……………(四〇五)
 ▲バンカ島
 陸軍バンカ島攻撃……………(四〇五)
 ムントク(バンカ島)附近……………(四〇五)

【ジャバ】
 海軍ジャバ島空襲……………(四〇五)
 日本航空部隊の基地重視四三〇
 スラバヤ第二次大空襲……………(四〇五)
 スラバヤ大空中戦詳報……………(四〇五)
 海軍又も敵八機撃墜破……………(四〇五)
 バタヴィア初空襲……………(四〇五)
 陸軍ジャバ島に初空襲……………(四〇五)
 日本軍バンドン空襲……………(四〇五)
 陸軍カリジャチ飛行場を強襲……………(四〇五)

陸軍第四次ジャバ攻撃……………(四〇五)
 陸軍バイテングル急襲……………(四〇五)
 ジャバ島各地を爆撃……………(四〇五)
 スラバヤ大空襲……………(四〇五)
 陸軍敵機六十八を襲撃破……………(四〇五)
 バンドンを猛襲……………(四〇五)
 ジャバ軍軍事基地爆撃……………(四〇五)
 陸軍ジャバ島強襲……………(四〇五)
 海軍バタヴィア空襲……………(四〇五)
 三ヶ所から敵前上陸成功……………(四〇五)
 各地一齊上陸……………(四〇五)
 陸軍上陸作戦に協力……………(四〇五)

皇軍急進……………(四〇五)
 蘭印陸海軍敗戦を詳報す……………(四〇五)
 東日伊東特派員戦死……………(四〇五)
 皇軍猛進撃をつづく……………(四〇五)
 陸軍協力縦横に活躍……………(四〇五)
 土紙ジャバ上陸を讃嘆……………(四〇五)
 中立筋も舌を捲く……………(四〇五)
 英ジャバ島喪失覺悟……………(四〇五)
 陸軍ジャバに焦土戦術……………(四〇五)
 陸軍蘭裝甲車群爆撃……………(四〇五)
 首都に危機迫る……………(四〇五)
 戦況刻々激化……………(四〇五)

戦況英側観測……………四七三
 蘭印軍戦況発表……………四七三
 蘭印側敗戦覚悟……………四七三
 三方面より戦果擴大……………四七三
 前途益々暗澹……………四七三
 陸軍敵機十三機撃墜……………四七三
 敵船廿三隻撃沈、四隻拿捕……………四七三
 派遣隊軍の運命を憂慮……………四七三
 戦果擴大……………四七三
 全戦線全く絶望……………四七三
 蘭印軍司令部戦況発表……………四七三
 スラバヤ、バタヴィヤ切斷……………四七三
 全島清々席巻……………四七三
 蘭印軍を寸断作戦……………四七三
 英紙戦況悲観……………四七三
 陸軍ジャバ島の空を掩ふ……………四七三
 ロイター記者報道……………四七三
 バタヴィヤ、スラバヤ間鐵道遮斷……………四七三
 各戦線潰滅の兆……………四七三
 蘭印軍疲勞困憊……………四七三
 英國全くジャバ断念……………四七三
 ジャバ島との連絡一切杜絶……………四七三
 日本航空部隊の活躍に驚嘆……………四七三
 蘭印軍全面的停戦申入……………四七三
 米紙聯合軍の缺陷を指摘……………四七三
 わが作戦の至妙に抵抗断念……………四七三
 ジャバ全島失陥を認む……………四七三
 蘭印全面的無條件降伏……………四七三
 總督抗戦停止を放送……………四七三
 蘭印軍武装解除……………四七三
 蘭印攻略に陸軍の偉功……………四七三
 船舶大量喪失は敵防衛作戦に支障……………四七三
 ジャバ攻略戦綜合戦果……………四七三
 獨日本の作戦方向を注視……………四七三
 英米蘭航空兵力撃滅……………四七三
 在蘭印全邦人救出さる……………四七三

皇軍バタバヤ挾撃……………四七三
 ○○郊外に達す……………四七三
 西部部隊○○に迫る……………四七三
 リウウイリアンへ迫る……………四七三
 バタヴィヤ無電沈黙……………四七三
 バタヴィヤ完全攻略……………四七三
 バタヴィヤ失陥自認……………四七三
 バタヴィヤ市内平靜……………四七三
 バイテンゾルグ占領……………四七三
 西部ジャバ我手中に歸す……………四七三

中部方面
 蘭印政廳バンドンに移轉……………四七三
 バンドン大爆撃……………四七三
 要衝○○を占領……………四七三
 ジョクジャカルタ占領……………四七三
 バンドンへ迫る……………四七三
 バンドンを猛爆……………四七三
 バンドンで籠城準備……………四七三
 皇軍バンドン指呼の間に迫る……………四七三

バンドン放送沈黙……………四七三
 バンドン電信局悲痛の告別……………四七三
 蘭印總督全面降伏申入……………四七三

東部方面
 スラバヤ焦土戦術……………四七三
 東部上陸部隊南下進出……………四七三
 東部蘭印軍潰滅近し……………四七三
 スラバヤ敵軍も降伏……………四七三
 東部蘭印軍續々投降……………四七三
 マランを占領、敵司令官降伏……………四七三

今村最高指揮官スラバヤ入城……………四七三
 ジャバ東部を裁定……………四七三
 スラバヤ海軍施設接收……………四七三

【ボルネオ】
 英サラワク撤退発表……………四七三
 激浪と闘つたボルネオ上陸詳報……………四七三
 英領ボルネオに新上陸……………四七三

ブルネイ、ラファン島占領……………四七三
 北ボルネオ西部を無血占領……………四七三
 蘭印上陸を蘭印側発表……………四七三
 皇軍蘭印に上陸……………四七三
 和蘭軍に戦闘開始……………四七三
 蘭印側タラカン島降伏発表……………四七三
 サンパス、レド飛行場占領……………四七三
 米紙南方の危機を力説……………四七三
 鬼神も哭く掃海艇の奮戦……………四七三
 パリツクパバンに上陸……………四七三
 皇軍パリツクパバンに敵前上陸……………四七三
 パリツクパバン完全占領……………四七三
 パンカに敵前上陸……………四七三
 タワオ占領……………四七三
 ラハツダツ占領……………四七三
 パリツクパバン敗敵の狼籍……………四七三
 マンカ攻略詳報……………四七三
 ボンチアナ占領……………四七三
 タナイグロゴト占領……………四七三
 蘭印バリツクパバン占領確認……………四七三
 バンジェルマシシ完全占領……………四七三
 バンジェルマシシ通信連絡絶ゆ……………四七三
 海軍、敵秘密基地急襲……………四七三
 ボルネオ島敗残兵を討伐……………四七三
 ボルネオの敵軍續々投降……………四七三
 サマリンドラ周邊掃蕩……………四七三

【セレベス】
 蘭印戦況公表……………四七三
 ミナハ地帯で激戦展開……………四七三
 ゴロンタロも爆撃……………四七三
 戦況不利を暗示……………四七三
 セレベス方面各地を猛爆……………四七三
 タラカン飛行場占領……………四七三
 ミナハサ州一帯の敵要地を攻略……………四七三
 ケンダリーに上陸……………四七三
 ビートン、ギリアン無血占領……………四七三

ケンダリー完全占領……………四七三
 ケンダリーに上陸戦記……………四七三
 マカツサル、ガスマタ占領……………四七三
 海軍落下傘部隊メナド攻略参加……………四七三
 皇軍マカツサル上陸……………四七三
 兩要衝占領の意義……………四七三
 ミナハサ地帯戦闘終了……………四七三
 セレベス奥地掃蕩進む……………四七三
 セレベス島方面戦果……………四七三
 セレベス島の裁定は終了……………四七三

【モロツカ群島】
 アンボンを連爆……………四七三
 アンボンに敵前上陸……………四七三
 アンボン飛行場占領……………四七三
 アンボン攻略詳報……………四七三

▲バリ島
 バリ島に上陸成功……………四七三
 蘭印側皇軍のバリ島上陸を認む……………四七三
 蘭印側デンバサル占領確認……………四七三
 バリ島戦果……………四七三

【チモール島】
 濠洲クーパーン飛行場爆撃確認……………四七三
 チモール島蘭葡兩領へ上陸……………四七三
 デリー飛行場占領……………四七三
 海軍落下傘部隊チモール島奇襲……………四七三
 航載機敵飛行艇撃墜……………四七三
 飛行場占領……………四七三
 落下傘部隊クーパーンの戦果……………四七三
 チモール島附近の敵船團襲撃……………四七三
 蘭國商船を拿捕……………四七三
 チモール島掃蕩進捗……………四七三
 チモール島戦定終了……………四七三

【ニューギニア島】
 ポートモレスビー猛爆……………四七三
 ポートモレスビー空襲……………四七三
 海軍モレスビーを連日爆撃……………四七三
 ニューギニアに敵前上陸……………四七三
 上陸地陣地確保……………四七三
 上陸に脅ゆる英……………四七三
 ポートモレスビー死守強調……………四七三
 モレスビー北方で激戦……………四七三
 皇軍モレスビーに迫る……………四七三
 フォトモレスビーの敵空軍潰滅……………四七三
 海軍連爆……………四七三
 ポートモレスビー連爆……………四七三

【ビスマーク】
 ビスマーク群島再爆撃……………四七三
 ラバウル飛行場爆撃……………四七三
 ビ群島連爆……………四七三
 ラポール爆撃……………四七三
 ラポール爆撃……………四七三
 ラポール連爆……………四七三
 日本航空部隊ビスマーク群島爆撃……………四七三
 ラバウル爆撃……………四七三
 ラバウル、カビエンクにわが新鋭上陸成功……………四七三

【ニューブリテン】
 ニューブリテン、ガスマタ上陸……………四七三

【ソロモン群島】
 ホーン島、ソロモン諸島爆撃……………四七三
 ソロモン群島爆撃……………四七三
 フカ島(ソロモン群島)上陸……………四七三

濠洲戦線
 海軍ダーウィン大攻撃……………四七三

ポート・ダーウィン爆撃と
チモール島上陸の意義……四三三〇
日本軍濠洲門前に迫る……四三三〇
濠洲北岸の二要港爆撃……四三三八
濠洲司令官皇軍の攻撃精神賞
揚……四三三八
三度ダーウィン港爆撃……四三三八
ポート・ダーウィン又爆撃……四三三八
ダーウィン連爆……四三三五
北岸を爆撃……四三三五
各地連日空爆……四三三五

【香 港】
撃沈艦船二十三、拿捕船舶
百十隻……四三三三
香港攻略戦に於ける英側損
害……四三三五
矢野總領事・香港籠城手記……四三三五

タイ方面

英機バンコック初空襲……四三二七
敵機チェンマイを盲爆……四三二七
敵機チェンマイ來襲……四三二七
チェンマイ北方で交戦……四三二八

マレー戦線

マレー南部攻撃態勢成る……四三二九
わが東西兩岸部隊相呼應し
て猛進續行……四三三〇
マレーの敵地恐慌状態現出……四三三〇
英新任總司令官の強がり……四三三〇
マレー大半完全制壓……四三三〇
印度兵馬來兵戰意なし……四三三二
皇軍の猛進に英紙悲鳴……四三三二
マレー南部地區大混亂……四三三三
英側マレー綜合戦況……四三三三
敗戦英將校の手記……四三三三
日本軍猛進撃……四三三三
英側引續き敗退自認……四三三六
英督戰隊の惡慮ぶり……四三三六
獨斷で退却すべからず……四三三七

英軍逃腰の焦土戰術……四三三七
英國マレー戦況を悲觀……四三三七
ロンドン憂色深し……四三三七
マレー軍司令部も蘭印へ逃
避か……四三三七
既に五百五十キロを南下……四三三八
米英紙のマレー戦況評……四三三八
牙城星港目がけ我軍躍進……四三三九
マレー戦線第三期戦に入る……四三三九
米代表紙のマレー戦況報道……四三三九
マレー作戦の進展に獨快哉……四三三九
マレー總督カルカッタへ逃
亡……四三三九
英紙東亞新戦局を重視……四三三九
タイムズ英空軍の劣勢を嘆
く……四三三九
英東亞軍戦況發表……四三三九
マレー戦況に英紙生色なし……四三三九
英國益々悲觀……四三三九
英軍撤退を公表……四三三九
マレーの命數盡く……四三三九
東西呼應しジョホール州突
入……四三三九
マレー英空軍潰滅近し……四三三九
千軒突破僅か三十七日……四三三九
殘存英軍を壓縮……四三三九
馬來空軍蒙雨に空頼み……四三三九
馬來戰況報告倫敦に達せず……四三三九
將兵の衛生状態極めて良好……四三三九
英殿軍の損害甚大……四三三九
英紙東亞戰況悲觀……四三三九
ウエーヴェル、マレー戦線
へ……四三三九
マレー東西部隊感激の握手……四三三九
マレー英空軍危機増大……四三三九
英東亞軍戦況發表……四三三九
マレー上陸以來の戰鬪經過……四三三九
今次作戦の特質……四三三九
マレー作戦陸軍綜合戦果……四三三九

【東岸地區】

クアンタン占領……四三三八
クアンタン敗走軍を猛追撃……四三三八
マレー東岸全據點覆滅……四三三八
パハン河以北敵影なし……四三三八
マレー東岸機械化部隊突破
記……四三三八
マレー東岸部隊猛進撃……四三三八
我が軍ベハン全州を制壓……四三三八
東岸部隊、敵捕促の強行軍……四三三八
メルシンを占領……四三三八
【中部地區】
元且未明の大夜襲……四三三八
マレー中段の敵陣線崩潰……四三三八
わが先鋒セラランゴ州州に
突入……四三三八
皇軍星港へ八十里……四三三八
門松飾つた機械化部隊の猛
進……四三三八
濠洲兵捕虜語る……四三三八
夜襲、拂曉攻撃を續行……四三三八
英軍の〇〇陣地線總退却……四三三八
英本國部隊大恐慌……四三三八
皇軍退却の英軍を急進……四三三八
最大の據點運命且夕……四三三八
戦線突破千三百キロ……四三三八
次戦の機刺々迫る……四三三八
パウヌル中將自ら督戰……四三三八
モランゴ州州北側陣地を
猛攻……四三三八
天險恃むマレー南部英軍……四三三八
ジャンゲルの隘路に激鬪展
開……四三三八
猛攻九時間驚異的戦果……四三三八
マレー戦局急展開……四三三八
激鬪の跡カンバル陣地を見
る……四三三八
マネキン装甲車も前線へ……四三三八
タンジョンマリム突破……四三三八
要衝〇〇目指して殺倒……四三三八
英軍戦死傷莫大……四三三八

マレー英軍更に退却……四三三八
南北からの挾撃で敵總崩れ……四三三八
タンジョンマリム攻略詳報……四三三八
南部マレー隘路上壯絶な激
戦……四三三八
クアラルンプル北方で激戦……四三三八
ク市前面陣地悉く攻略……四三三八
クアラ・クブ飛行場占領……四三三八
クアラルンプル我が手中……四三三八
英軍大隊長を捕虜……四三三八
英軍スリム線破綻を自認……四三三八
日本三角地帯を確保……四三三八
パシバル中將遁走……四三三八
英側從軍記者の報道……四三三八
モリブ・クランの線進出……四三三八
英軍スリム河撤退を發表……四三三八
日本軍三角地帯を確保……四三三八
クアラルンプル總攻撃……四三三八
クアラルンプルに突入……四三三八
英軍、クアラルンプル放棄……四三三八
中將瀟風となり遁走……四三三八
タンジョン・マリム・ライ
ン遂に突破……四三三八
敗敵を蹂躪し大追撃戦展開……四三三八
セラランゴ州全州席巻近し……四三三八
英軍平原作戦の不利……四三三八
クアラルンプル攻略まで……四三三八
クアラルンプル入城第一報……四三三八
戦局ネグリスピランに擴
大……四三三八
英軍ネグリスピランで防戦……四三三八
英側退却を確認……四三三八
鐵牛部隊ネグリスピラン
に進攻……四三三八
ネグリスピラン新基地占領……四三三八
ポートスウェツテナム陥落……四三三八
掠奪放火、英軍本性を發揮……四三三八
わが先陣早くもマラツカ州
へ……四三三八
快速の新記録を作る……四三三八

敵の防衛計畫完全覆滅……四三三八
ネグリスピラン要衝突入……四三三八
痛快極る大追撃戦……四三三八
續々ジョホール州に殺到……四三三八
我が軍車輛を大量鹵獲……四三三八
敵徒らに潰走……四三三八
水源地の爆破をたくらむ……四三三八
熱風を衝いて猛進撃……四三三八
英軍剿滅の陣型を形成……四三三八
濠洲軍奮動開始か……四三三八
敵死物狂ひの抵抗……四三三八
バトアナム占領……四三三八
敗敵混亂の大渦を捲く……四三三八
ジョホール州中部の大殲滅
戦……四三三八
バラヌル線は實在せず……四三三八
バトアナム陣地の大攻防戦……四三三八
大包圍態勢成る……四三三八
決河の追撃戦……四三三八
マレー最後の殲滅戦を展
開……四三三八
大包圍鐵環壓縮……四三三八
ヨンベン地區へ進出……四三三八
砲撃ジョホール平原を壓す……四三三八
英軍貯水池に毒物投入……四三三八
マレー皇軍更に南進……四三三八
二萬數千殲滅に瀕す……四三三八
マレー英空軍危機増大……四三三八
太平洋戦一段階終る……四三三八
シンガポール對岸に進出……四三三八
ジョホール・バルへ突入……四三三八
主力部隊もジョホール・バ
ルへ……四三三八
突破千百軒、大戦鬪九十二
回……四三三八
全前衛據點を屠る……四三三八
戦局有利に展開……四三三八
ジョホール水道目指し殺倒……四三三八
三百五十餘の橋梁修理……四三三八

【西岸地區】

マレー西岸新基地に上陸……………四二五
 マレー西海岸上陸記……………四〇四
 要衝○○占領……………四〇六
 クアランプル南方要地占領……………四〇八
 右翼部隊侵入態勢成る……………四〇三
 マラッカ攻略……………四〇三
 マラッカを扼す無疵のマラッカ四〇三
 海峽を扼す無疵のマラッカ四〇三
 右翼部隊ハトバへ進出……………四〇五
 半島に敵空軍基地なし……………四〇五
 英軍二萬の退路を遮断……………四〇六
 印度兵、英督戦隊と交戦……………四〇六
 皇軍、ムア河左岸に進出四〇六
 皇軍の奇襲上陸作戦に狼狽四〇六
 【シンガポール】
 星港中樞部潰滅……………四二二
 星港失陥は英米の破局……………四二四
 ウエーベル星港死守を決意……………四二四
 パウヌル、星港死守聲明……………四二七
 英シンガポールに焦土戦術四二〇
 シンガポールの危機を絶叫四二〇
 英軍、コースウェー橋爆破
 企圖……………四二二
 シンガポール大混亂に陥る四二二
 シンガポール大混亂……………四二二
 英星港防衛に自信なし……………四二六
 タイムズ紙星港死守を要望四二六
 星港の敵機保身に汲々……………四二九
 ウエーヴェル又も難を免る四二九
 シ港の敵早くも撤退開始……………四二八
 陸橋破壊市民を道連れ……………四二八
 敵船舶狩集めに狂奔……………四二八
 英軍、マレー兵を武装解除して追放……………四二八
 星港は阿鼻叫喚の巷……………四二八
 息詰る星港の攻防戦……………四二八
 英軍星港に撤退を公表……………四二八
 星港東北地區の市民も引揚四二八

マレー半島撤退の辯……………四二五

米紙星港の危機を認む……………四二五
 釋り返る對岸シンガポール四二五
 英軍新嘉坡島の南部へ移動四二三
 炎上するセレター石油庫……………四二四
 星港の命は水……………四二四
 英誌星港を絶望……………四二四
 星港の防衛は至難……………四二四
 重慶紙星港の戦局を悲觀……………四二四
 星港内の總兵力二萬五千……………四二五
 英側星港情勢を益々悲觀……………四二五
 星港防守の樂觀論に痛棒……………四二五
 米でもシンガポール絶望四二五
 シンガポールの猛攻を視る四二五
 シンガポール島攻撃開始……………四二六
 星港死守を敵命……………四二六
 死相を呈する星港……………四二六
 英紙も陥落近きを豫想……………四二六
 夜を徹して猛砲撃……………四二七
 わが砲撃依然續行……………四二七
 シンガポール市街を砲撃……………四二七
 巨砲の咆哮堅陣碎く……………四二七
 黒煙に掩はれた星港……………四二七
 「斷」の命令を待つ緊張……………四二七
 敵巨砲も砲門を開く……………四二八
 紐育タイムズの星港戦況評四二八
 ウェビ島上陸に成功……………四二八
 シ島攻撃開始渡過に成功……………四二八
 マレー方面隊軍最高指揮官發表……………四二八
 シンガポール敵前上陸成功四二八
 ○○部隊も上陸成功……………四二八
 上陸を掩護する巨砲陣……………四二九
 シンガポール敵前上陸を視る……………四二九
 わが部隊續々上陸……………四二九
 二ヶ月の努力實を結ぶ……………四二九
 水道もとの静寂に還る……………四二九
 シンガポール要塞の解説……………四二九

タンガール飛行場完全占領……………四二九

東側地區へも敵前上陸……………四二九
 コースウェー橋南端確保……………四二九
 星港に巨砲の豪雨……………四二九
 敵側星港戦況發表……………四二九
 猛烈な白兵戦……………四二九
 わが砲撃に英防衛線麻痺……………四二九
 最後の日迫る星港の姿……………四二九
 星港上陸スベイン反響……………四二九
 皇軍の作戦を絶讚……………四二九
 クレタ島の悲劇を再現せん四二九
 テンガー飛行場で敵十機を鹵獲……………四二九
 印度人砲兵隊も猛攻……………四二九
 我各部隊とも進出……………四二九
 コースウェー橋に敵彈集中四二九
 敵主陣地に籠り抵抗……………四二九
 タンク炎上で上空の大雲層四二九
 星港の英軍更に後退……………四二九
 至妙の上陸作戦に驚嘆……………四二九
 倫敦星港戦況に絶望……………四二九
 半田口中將戦傷……………四二九
 星港英軍我が降伏勧告に答へず……………四二九
 敵抵抗戦の一角崩壊……………四二九
 攻略戦高潮に達す……………四二九
 陸正面陣地の核心ブキテマ高地奪取……………四二九
 シンガポール街道を轟進……………四二九
 市街突入寸前に迫る……………四二九
 西北郊外に達す……………四二九
 シンガポール市街に突入……………四二九
 星港市街戦……………四二九
 猛砲撃戦を展開……………四二九
 危機に直面と敵側も確認……………四二九
 星港民に失陥を豫告……………四二九
 撤退作業で大混亂……………四二九
 英軍焦土戦術……………四二九
 降伏勧告文投下……………四二九
 星港放送局沈黙……………四二九

星港の米記者撤退……………四二九

米英記者が叙するシンガポール斷末魔の形相……………四二九
 反極端派論迄後退せん……………四二九
 米紙要塞の戦略的價値を疑ふ……………四二九
 敵側から見た日本軍の猛攻四二九
 敗敵進撃戦續行中……………四二九
 市街に續々殺倒中……………四二九
 午前十時を期し總攻撃市民に退避を勧告……………四二九
 激烈なる市街戦展開中……………四二九
 貯水池附近で殲滅戦展開……………四二九
 敵彈雨を冒しジリ押し……………四二九
 敵密集部隊の退却増加……………四二九
 包圍の鐵環壓縮……………四二九
 再び英司令官に降伏勧告……………四二九
 さながらボムベイ最後の日四二九
 米記者全面的危機力説……………四二九
 死闘血戦を續行……………四二九
 英傷兵は路上に放置……………四二九
 敵、退却軍收容に必死……………四二九
 我巨砲、廿四時間繼續猛攻四二九
 中央○○高地を確保……………四二九
 敵を市内に壓迫……………四二九
 市民を犠牲に無益の抵抗……………四二九
 コーズウェー橋再度修復成る……………四二九
 英側星港戦況報道……………四二九
 星港英軍脱出の不可能を英紙認む……………四二九
 U.P記者の星港脱出記……………四二九
 三方面よりシンガポール市攻撃……………四二九
 星港市街包圍圈を壓縮……………四二九
 バヤレール激戦展開……………四二九
 星島南部要塞に向け進撃……………四二九
 敵投降降兵既に數百……………四二九
 死相の英軍……………四二九
 英の惡虐行爲益々募る……………四二九

敵性支那人を密偵に使用……………四三〇

遁走英聯隊長語る……………四三〇
 山下最高指揮官前線視察……………四三〇
 五要塞全く制壓……………四三〇
 英軍司令官無條件降伏……………四三〇
 我が方要求を提示す……………四三〇
 兩將軍劇的の會見……………四三〇
 平和に蘇れるシンガポール四三〇
 シンガポール陥落と國民の覺悟……………四三〇
 シンガポール島攻略經過……………四三〇
 マンダイ高地に輝く日章旗四三〇
 戰車を先頭に堂々入城……………四三〇
 我軍市内掃蕩に着手……………四三〇
 接收委員會開く……………四三〇
 殘存英軍六萬……………四三〇
 山下最高指揮官聲明……………四三〇
 昭南島救出者氏名……………四三〇
 邦人婦女子をランチで運ぶ四三〇
 獨航空大佐等救出……………四三〇
 俺は地獄行の途中だ……………四三〇
 脱出地獄者の語る星港最後の風景……………四三〇
 樞軸國人十一名救出……………四三〇
 星港陥落の人的損害……………四三〇
 昭南は捕虜の街……………四三〇
 抑留邦人に苛酷な取扱ひ……………四三〇
 バタム、サムブー兩島占領四三〇
 華僑義勇軍團長逮捕……………四三〇
 山下最高指揮官終……………四三〇
 捕虜六萬五千の收容終……………四三〇
 シンガポール島未開の大戦果……………四三〇
 昭南港の海陸精掃終……………四三〇
 昭南島周邊殘敵掃蕩……………四三〇
 星港失陥英例辨明……………四三〇
 米記者マレー作戦を稱揚……………四三〇
 都新聞社員戦死……………四三〇
 東日柳記者戦死……………四三〇

【海軍部隊】

海軍部隊セレター軍港に進入... 帝國海軍の戦果... 全軍港の占領終る... 軍事施設の接收開始... 引續き脱出船舶捕捉... 我が艦隊南軍港へ初入港... 大基の敵艦捕獲

【航空部隊】

英飛行艇を撃墜... 不死身曹長象に乗り降り... 敵輸送船と潜水艦を撃沈... 陸軍マラッカ海峡に活躍... 軽爆で重爆を打ち落とす... 「月明の空のハイキング」... 陸軍官脇中尉等生還記... 海軍大擧、星港を空襲... 陸軍敵機撃破... 飛行機投降票撒布... マレー敵空軍屏息... 陸軍縦横に活躍... 陸軍夜間連続爆撃日記... マレー方面陸軍航空部隊活

畫間第四次星港強襲

星港及びエンダウを連爆... 海軍星港爆撃の實況... 星港は上海開北同様に破壊... 陸軍敵十六機を爆撃... 海軍もシンガポール長距離爆撃... 海軍星港で二十三機撃墜... 陸軍大擧シンガポールを空襲... 海軍もシ港猛爆... 空中戦で十五機撃墜... 荒鷲星港連爆... 陸軍八機を撃墜... 陸軍残存空軍痛撃... 大浮ドックも完全沈没... 心ゆく荒鷲の爆撃... 退却用船舶日に撃沈... シンガポール夜間爆撃を見る

ビルマ方面

陸軍協力活躍... 我荒鷲ムールメイン爆撃... 蘭貢の米六機中三機撃墜... 我が荒鷲ラングーン爆撃... ビルマ某要衝を占領... ラングーン爆撃... 日本軍ビルマ爆撃... 蘭貢爆撃... ラングーン連爆... 古月中尉壯烈な戦死... デニス少将豪語す... ビルマの二飛行場爆撃... 蘭貢連爆... ビルマに向け重慶軍移動... ミンガラドン飛行場攻撃... 荒鷲ラングーン連爆... 陸軍ビルマで敵撃破... 昨年八月米空軍ビルマ進駐... 我が荒鷲ラングーン爆撃... タヴオイを完全占領... タヴオイの失陥を公表... モールメンを大空爆... タヴオイ飛行場を急襲... 英空軍早くも逃腰... モールメン指呼の間... モールメイン南側丘陵占領... モールメイン完全占領... 卑劣極まる英軍の戦法... モールメン攻略まで... 陸軍ラングーン夜間爆撃... サルウイン河岸に防禦陣地... パン占領... 英、サルウイン渡河成功を重視... 陸軍マルタバンの敗敵を猛爆... 陸軍トングー、ラングーン爆撃

ビルマ戦英側報道

敗敵急進猛進撃... 英軍に殲滅的痛撃... 陸軍英軍後方を痛撃... ラングーン港閉鎖を發表... マンダレー、ラングーン連絡絶つ... 陸軍四機撃墜... 印度兵諸共橋梁爆破... ラングーン目指し猛進開始... 讀賣特派員等戦死... 陸軍、イラワチ河の船舶攻撃... バヤチ占領... 英ビルマ軍司令官罷免... ベグー占領... 滇緬公路を寸断... ラングーン完全占領... ラングーン驛屋上に日章旗... 陸軍敵機七十機撃墜... ビルマ作戦陸軍の戦果... ビルマ戦線敵機の姿なし... ラングーン攻略の意義... ビルマルート完封印度への脅威... ビルマ獨立義勇軍蹶起... 獨紙、二大戦果の重要性指摘... ビルマ英軍北方に退却... 捕虜の英大隊長語る... 皇軍の作戦を讃嘆... わが艦隊ラングーン内港へ

支那方面

支那側の反撃企圖悉く粉碎... 重慶に最後の時來る... 知總司令官談... 後宮總參謀長北支視察... 重慶の戦力低下... 知總司令官北支視察

岡村最高指揮官前線視察... 四六八
後宮總參謀長武漢視察... 四六八
週間戰況... 四六八、四六九、四七〇、四七一、四七二、四七三、四七四、四七五、四七六、四七七、四七八、四七九、四八〇、四八一、四八二、四八三、四八四、四八五、四八六、四八七、四八八、四八九、四九〇、四九一、四九二、四九三、四九四、四九五、四九六、四九七、四九八、四九九、五〇〇、五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五、五〇六、五〇七、五〇八、五〇九、五一〇、五一〇

北支戰況

重慶の反攻企圖破砕... 四九三
北支軍綜合戰果... 四九三
北支軍三ヶ月間の戰果發表... 四九三
【湖北河南地區】
淮陽作戰々々... 四九三
共産軍冀東副司令戰死... 四九三
【山西地區】
共産軍掃蕩戰開始... 四九三
敵本據を次々に奪取... 四九三
共産軍殲滅戰迫る... 四九三
山西赤軍覆滅作戰進捗... 四九三
山西地區綜合戰果... 四九三
山西共匪肅清戰... 四九三
山西共産軍殲滅戰終了... 四九三

山東地區

山東中部の敵に大鐵槌... 四九三
山東南部に擊滅戰展開... 四九三
圍里を占領... 四九三
干學忠軍掃蕩... 四九三
山東作戰最高潮... 四九三
干學忠軍擊滅戰... 四九三
孫良誠麾下二萬の殲滅戰... 四九三
魯東共産軍剿滅戰... 四九三
干學忠軍猛攻... 四九三

蒙疆地區

零下四十度の殲滅戰... 四九三
【長江下流】
長江下流陸軍部隊綜合戰果... 四九三
太湖東方に敵を擊碎... 四九三
長江下流地區戰果... 四九三

中支戰況

中支赫々の戰果... 四九三
【空爆】
中支荒鷲の赫々たる戰果... 四九三

浙東作戦

上海附近密輸路計畫潰滅... 四九三
浙東に新作戦... 四九三

湖南地區

長沙占領... 四九三
我が軍長沙撤退開始... 四九三
長沙潰走の敵を包圍... 四九三
重慶のデマ笑止千萬... 四九三
四川軍に對し殲滅戰展開... 四九三
影珠山の堅陣を突破... 四九三
長沙東方の擊滅戰... 四九三
長沙作戰終了... 四九三

湖北地區

遠安附近戰果... 四九三
贛江上流の敵擊滅... 四九三
武漢周邊地區戰況... 四九三

安徽地區

第三戰區各地で掃蕩戰... 四九三
渦河地區に新作戦... 四九三
渦河地區に新作戦の鐵槌... 四九三
渦河作戰所期の目的達成... 四九三
何桂國軍潰滅... 四九三
渦陽を占領... 四九三
安徽省中部掃蕩戰... 四九三

江西地區

三都攻略綜合戰果... 四九三
南昌南方の敵を擊碎... 四九三

南支戰況

南支軍の銳鋒再び重慶へ... 四九三
淡水駐屯部隊撤去... 四九三
海南島掃蕩戰果... 四九三
獨伊人十三名救出... 四九三
珠江デルタ地帯肅清戰... 四九三
廣東でも密輸團討伐... 四九三
中山縣の匪團掃蕩... 四九三
珠江デルタ肅清完了... 四九三

歐米戰手

樂昌(廣東省)爆撃... 四九三
陸鷲、錢塘江南岸各地を猛爆... 四九三
龍州(廣西省)を爆撃... 四九三
粵漢南段輸送路遮斷... 四九三
陸鷲肇慶爆撃... 四九三
重慶航空戦力全く潰滅... 四九三
湖南上空で敵爆撃機五機撃墜... 四九三
秧塘(廣西省)で敵機二機を爆破... 四九三
陸鷲南寧爆撃... 四九三
航空部隊昆明を空襲... 四九三
陸鷲蒙自攻撃... 四九三

感狀・行賞

【行賞】
第廿八回生存者行賞發表... 四九三
第廿九回支那事變生存者行賞... 四九三
第卅一回支那事變生存者行賞... 四九三
第卅二回支那事變生存者行賞... 四九三
第卅三回支那事變生存者行賞... 四九三
第卅四回支那事變生存者行賞... 四九三
第卅五回支那事變生存者行賞... 四九三
第卅六回支那事變生存者行賞... 四九三
第卅七回支那事變生存者行賞... 四九三
第卅八回生存者、第四十九回死没者行賞... 四九三
第卅九回支那事變生存者行賞... 四九三

感狀

【感狀】
中島(吉)部隊に感狀授與... 四九三
布哇特別攻撃隊に感狀授與... 四九三

綜合戰況

對歐進攻宣傳の表裏... 四九三
獨軍戰況公表... 四九三
獨軍東部戦線で激戦... 四九三
獨軍戰況公表... 四九三
獨軍の戰果... 四九三
獨軍の活躍... 四九三
カナダ近海で驅逐艦撃沈... 四九三
獨潜水艦活躍... 四九三
獨空軍各戦線で活躍... 四九三
獨軍各方面に活躍... 四九三
獨軍司令部公表... 四九三
獨軍司令部公表... 四九三
獨軍戰況公表... 四九三
英巡洋艦に命中彈... 四九三
獨空軍マルタ島に活躍... 四九三
獨空軍英艦船撃沈... 四九三
獨軍東部戦線で活躍... 四九三
赤軍の大部隊を包圍... 四九三
伊軍司令部公表... 四九三
獨伊軍戰況公表... 四九三
交戦國戦死傷者數... 四九三
ワラシエロフ工場撃碎... 四九三
獨軍陸海兩面の活動を強調... 四九三
獨空軍綜合戰果... 四九三
獨軍、赤軍戦車千八百臺撃破... 四九三
開戦以來伊軍の戰果... 四九三

獨ノ戰線

獨越冬態勢成る... 四九三
クリミヤ半島水域の戰果... 四九三

獨英戰線

獨ノ戰況獨報報道... 四九三
獨、赤軍を撃退... 四九三
獨軍越冬陣地への轉換完了... 四九三
英獨伊の春季攻勢を憂慮... 四九三
赤軍損失莫大... 四九三
獨軍發表獨ノ冬の陣概況... 四九三
春季攻勢準備す、む東南歐... 四九三
獨軍赤都爆撃... 四九三
ソ聯機一ヶ月の損失一千餘機... 四九三
ソ聯軍アフガン國境に集結... 四九三
春に備ふる獨ノ戰線綜合情勢... 四九三

北阿戰線

獨、バルジャ陥落發表... 四九三
獨軍アゲダビア奪還... 四九三
獨伊軍北阿で挽回... 四九三
獨伊軍北阿で大戦果... 四九三
ベンガジ占領... 四九三
獨伊軍デルナに向け猛進... 四九三
獨軍司令部戰況公表... 四九三
獨伊軍戰況公表... 四九三
獨伊軍北阿戦線で活躍... 四九三
伊空軍、アレキサンドリア空襲... 四九三
獨伊部隊北阿に増援説... 四九三
獨伊軍戰況公表... 四九三

西亞地區

英落下傘部隊北佛奇襲... 四九三
英落下傘部隊反撃さる... 四九三
英機バリ空襲... 四九三
英機バリ郊外を再爆撃... 四九三
英空軍ル・アブル爆撃... 四九三
英軍上陸作戰を企圖... 四九三

北阿戰概況……………四〇六
 獨伊空軍活躍……………四〇六
 獨伊空軍地中海で活躍……………四〇六
 英潜水艦を撃沈……………四〇六
 スエズ地帯大爆撃……………四〇七
 英佛軍衝突……………四〇七
 【マルタ島】
 マルタ防衛司令官更迭……………四〇七
 マルタ島猛爆……………四〇七
 マルタ島新攻勢……………四〇七
 獨軍マルタ島猛襲……………四〇七
 マルタ島で英巡洋艦に命中……………四〇七
 マルタ浮ドック爆撃……………四〇七
 獨空軍マルタ島運糧……………四〇七
 空軍マルタ島猛爆……………四〇七

海上戦況

英海軍十二月の損害……………四〇七
 獨潜水艦活躍……………四〇七
 英巡洋艦撃沈……………四〇七
 英驅逐艦撃沈……………四〇七
 英海軍の損失……………四〇七
 英潜水艦撃沈……………四〇七
 英驅逐艦撃沈……………四〇七
 英哨戒艇二隻沈没發表……………四〇七
 一月中の獨海空軍戦果……………四〇七
 英艦ガール號撃沈……………四〇七
 英艦艇損失四十八萬噸……………四〇七
 英米側船舶損害甚大……………四〇七
 世界の喪失噸數千四百萬噸……………四〇七
 二月中英艦の損失……………四〇七
 獨軍一週間の海上戦果……………四〇七
 獨潜水艦活躍……………四〇七
 撃沈英潜水艦數……………四〇七
 【地中海】
 英艦沈没公表……………四〇七
 伊海軍奇襲隊活躍……………四〇七
 獨伊空軍、英艦隊を猛爆……………四〇七
 二英戰艦の損傷確認……………四〇七

【大西洋方面】

伊軍英護送船團を殲滅……………四〇七
 英艦隊捕促攻撃……………四〇七
 獨爆撃機敵船撃沈……………四〇七
 英また戰艦を喪失……………四〇七
 米巨船撃沈……………四〇七
 油槽船雷撃……………四〇七
 樞軸潜水艦米近海で被擧……………四〇七
 米船大西洋で被害頻々……………四〇七
 獨潛艦大西洋に活躍……………四〇七
 米船又も撃沈……………四〇七
 獨空軍、英近海で活躍……………四〇七
 獨潛艦北米近海に活躍……………四〇七
 米沿岸で諸船撃沈……………四〇七
 油槽船又も撃沈……………四〇七
 獨軍戦果英大……………四〇七
 米輸送船撃沈を自認……………四〇七
 英當局バーラム撃沈を確認……………四〇七
 米船二隻撃沈公表……………四〇七
 米油槽船沈没……………四〇七
 英船カナダで撃沈……………四〇七
 獨潜水艦、大西洋の戦果……………四〇七
 米大西洋岸で樞軸潛艦活躍……………四〇七
 米海軍油槽船撃沈……………四〇七
 米船サン・ジェル號撃沈……………四〇七
 英軍艦ホルトガル沖で攻撃……………四〇七
 英優秀潜水艦喪失……………四〇七
 米船また獨潛艦の餌食……………四〇七
 瑞船米沿岸で攻撃……………四〇七
 米輸送船又も撃沈……………四〇七
 英驅逐艦撃沈……………四〇七
 獨潜水艦大西洋で活躍……………四〇七
 ドーヴァ海峡で獨英大海戦……………四〇七
 獨艦艇喪失否定……………四〇七
 獨艦隊プレストを脱出……………四〇七
 獨當局の發表……………四〇七
 英、獨艦隊の成功を認む……………四〇七
 獨艦英海峡突破手記……………四〇七
 米油槽船又も撃沈……………四〇七

ブラジル汽船撃沈……………四〇七
 獨艦カリブ海の戦果……………四〇七
 カリブ海で油槽船撃沈……………四〇七
 トリニダド島港内で米船二隻撃沈……………四〇七
 米油槽船損傷……………四〇七
 英加軍艦撃沈……………四〇七
 パナマ油槽船また撃沈……………四〇七
 伯船また雷撃……………四〇七
 獨海軍大西洋の戦果八十隻……………四〇七
 米油槽船撃沈……………四〇七
 カリブ海で油槽船撃沈……………四〇七
 英艦撃沈……………四〇七
 米商船又も撃沈……………四〇七
 パナマ油槽船雷撃……………四〇七
 米沿岸防備艦撃沈……………四〇七
 米沿岸で八隻撃沈……………四〇七
 米油槽船又も撃沈……………四〇七
 米驅逐艦沈没……………四〇七
 米油槽船撃沈……………四〇七
 英油槽船撃沈……………四〇七
 獨潛艦敵船大量撃沈……………四〇七
 米油槽船撃沈……………四〇七
 英驅逐艦撃沈……………四〇七
 米油槽船魚雷攻撃を受く……………四〇七
 獨潜水艦活躍の戦果……………四〇七
 米船撃沈……………四〇七
 フェルトリコ砲撃……………四〇七
 米本國水域で驅逐艦撃沈……………四〇七
 英油槽船沈没……………四〇七
 英油槽船撃沈……………四〇七
 ブラジル船撃沈……………四〇七
 獨潜水艦又も撃沈……………四〇七
 獨潜水艦大西洋上の大戦果……………四〇七
 伊潜水艦米水域で活躍……………四〇七
 米英船二隻雷撃……………四〇七
 米油槽船また撃沈……………四〇七
 クライン・メリー號撃沈……………四〇七

政治

米船雷撃……………四〇七
 米船沈没……………四〇七
 ウルグワイ船撃沈……………四〇七
 トルテン號撃沈……………四〇七
 諾威船ブラスク號撃沈……………四〇七
 米商船の撃沈續く……………四〇七
 又々米商船に魚雷……………四〇七
 ギリシャ船撃沈……………四〇七
 米船九十八大西洋で撃沈……………四〇七
 英米艦船撃沈……………四〇七
 【其の他】
 クリミヤ半島水域の戦果……………四〇七
 獨艦大舉北海へ出動……………四〇七
 トルコ船撃沈……………四〇七

樞密院

定例參集……………四〇七
 審査委員會……………四〇七
 臨時本會議……………四〇七
 本會議……………四〇七
 技術院官制案可決……………四〇七
 二法案審査……………四〇七
 樞府顧問官、戦況聴取……………四〇七
 閣内閣……………四〇七
 次官會議……………四〇七
 議會提出法案審議……………四〇七
 毎月八日を大詔奉戴日と決定……………四〇七
 政府、法案決定次第兩院に提示……………四〇七
 議會提出法案廿一件決定……………四〇七
 議會提出法案要綱三十四件……………四〇七

決定……………四〇七
 提出法案六十七件……………四〇七
 政府提出法案内示……………四〇七
 豫算内示會に新例……………四〇七
 二月の奉戴日要項決定……………四〇七
 官公吏に家族手當支給決定……………四〇七
 地方部長大異動決定……………四〇七
 地方官の定期異動制確立……………四〇七
 議會提出五法律案決定……………四〇七
 直接税等増徴法律案十七件……………四〇七
 行政考查實施勸行……………四〇七
 議會提出法案決定……………四〇七
 二法律案議會提出決定……………四〇七
 議會提出法案合計八十三件……………四〇七
 首相陸軍出身兩院議員招待……………四〇七
 貴族院提出法案……………四〇七
 三相演說草案決定……………四〇七
 第二十三回總動員審議令……………四〇七
 政府重臣に戦争遂行狀況說明……………四〇七
 東北振興計畫調査會……………四〇七
 各省に考查委員會(假稱)設置……………四〇七
 本豫算追加豫算を決定……………四〇七
 國民鍊成所管制施行……………四〇七
 官吏考査制度に伴ふ各省官制の改正……………四〇七
 臨時軍事費追加豫算案等業議院に提出……………四〇七
 高等商船入學資格改正……………四〇七
 造船事務監督の特別公布……………四〇七
 鍊成機關の設立事務企畫院で統一……………四〇七
 技術院新設……………四〇七
 シンガポール戦況説明……………四〇七
 應召者に復権の恩赦……………四〇七
 大東亞建設審議會設置……………四〇七
 專任内相に湯澤三千男氏……………四〇七
 翼贊選舉貫徹基本方針……………四〇七

天津廣東租界行政を國府に移管……………四四二
 各界代表三十三氏に招聘狀發送……………四四二
 商工、農林兩相立候補決定四四三
 大東亞建設審議會官制公布四四三
 翼贊政治體制協議會開催……………四四三
 政府、言論機關と懇談……………四四三
 翼贊政治體制協議會第一回特別委員會……………四四三
 第二回重臣會議……………四四三
 翼贊政治體制協議會第二回特別委員會……………四四三
 大東亞建設審議會初總會……………四四三
 大東亞建設審議會事規則四四三
 翼贊政治體制協議會第二回總會……………四四三
 興亞院連絡部長會議……………四四六
 九府縣知事政府と協議……………四四六
 中小商工業再編成促進策決定……………四四六
 南方へ資源調査團派遣……………四四六
 勅任官の一部に家族手當……………四四六
 海戰法規改正……………四四六
 閣僚、議員等御慰勞……………四四六
 首相兩院議員招待……………四四六
 轉廢業者指導官吏の心構訓示……………四四六
 「民需省的」第四部の創設……………四四七
 特許局中央航研、内閣に移管……………四四七
 ▲放 送
 共存共榮の亞細亞建設……………四四八
 征服完遂に斷乎邁進……………四四八
 勝利の幕進……………四四八
 ルーゾベルトの教書に就て四四七
 戰爭完遂に挺身する人材を選べ……………四四八
 ▲【地方長官會議】
 △三月三日

各地の特殊事情御下問……………四四九
 首相訓示……………四四九
 △四 日
 地方長官會議第二日……………四四九
 岩村法相訓示要旨……………四四九
 湯澤内相訓示要旨……………四四九
 貯蓄増強と公債消化要望……………四四九
 △五 日
 地方長官會議第三日……………四四九
 文相訓示要旨……………四四九
 海相訓示要旨……………四四九
 △六 日
 地方長官會議第四日……………四四九
 厚相訓示要旨……………四四九
 中小企業整理に適材適職主義……………四四九
 △七 日
 地方長官會議終る……………四四九
 井野農相訓示要旨……………四四九
 【拜謁奏上】……………四四九
 四〇四、四〇九、四一〇、四一六、四七六
 ▲【訪問、要談】……………四四七、四四九

各省

地方事務官警視級大異動發令……………四四八
 政治結社届出成績……………四四八
 自治功勞町村長表彰式……………四四八
 地方長官會議招集……………四四八
 全國總務部長會議……………四四八
 翼贊選舉貫徹運動實踐要綱……………四四八
 全國振興課長會議……………四四八
 養正會、農革同盟結社不許可……………四四八
 全國經濟保安課長會議……………四四八
 建築主任官會議……………四四八
 ▲全國警察部長會議……………四四八
 △三月十三日……………四四八
 △十四日……………四四八
 ▲【外 務】
 加藤大使急死公電……………四四八
 蘭印、在留邦人濠洲に移送……………四四八
 芳澤大使談……………四四八
 抑留邦人發表……………四四八
 抑留、釋放、邦人氏名列明……………四四八
 ▲【大 藏】
 敵産管理事務は爲替局で……………四四八
 恩給法中改正案要綱……………四四八
 稅務代理士法案……………四四八
 畏くも公債消化狀況御軫念……………四四八
 考查課設置……………四四八
 戰爭保險について……………四四八
 關稅調查委員會官制改正……………四四八
 國有財產法施行令中改正……………四四八
 財務局長會議藏相訓示……………四四八
 登錄稅法施行規則改正……………四四八
 財務局及稅務署官制改正……………四四八
 ▲【文 部】
 師範學校の昇格決定……………四四八
 科學部門の五研究所新設……………四四八
 日本諸學振興常任委員會……………四四八
 基礎的學術振興に重點……………四四八
 社會教育局を強化……………四四八
 ▲【農 林】

農相内原訓練所視察……………四四八
 南方食糧資源に眩惑は禁物……………四四八
 共榮園食糧對策答申……………四四八
 東京營林局移轉……………四四八
 ▲【選 信】
 海務局長會議第一日……………四四八
 電信、電話等全面的値上げ……………四四八
 官立無線電信講習所新設……………四四八
 考查課新設……………四四八
 ▲【拓 務】
 滿洲開拓第二期計畫決定……………四四八
 拓殖研究部設置……………四四八
 ▲【商 工】
 考查課新設……………四四八
 立候補者に用紙供給……………四四八
 ▲【厚 生】
 國民健康保險法等四法律改正法案要綱……………四四八
 戰時災害保護法案要綱……………四四八
 醫療法案要綱……………四四八
 重要事業場勞務管理令公布……………四四八
 四勞務事務所設置……………四四八
 ▲【陸 軍】
 本年度臨時徵兵檢查規則公布……………四四八
 砲工學校改稱……………四四八
 陸軍特設部隊等に職員設置……………四四八
 少年砲兵新設……………四四八
 軍事功勞者を表彰……………四四八
 陸軍に建技將校新設……………四四八
 陸軍航空士官學校卒業式……………四四八
 ▲【海 軍】
 造船事務所管の戰時特例……………四四八
 ▲【司 法】
 戰時刑事特別法案……………四四八
 裁判所構成法戰時特例に關する法律案……………四四八
 臨時司法官會同……………四四八
 法相訓示要旨……………四四八
 ▲【鐵 道】

總選舉

鐵道路線建設新計畫決定……………四四九
 協議支部規約等決定……………四四九
 推薦會活動方針決る……………四四九
 衆院選舉運動等取締規則改正……………四四九
 翼贊會選舉貫徹運動委員會設置……………四四九
 翼贊選舉講師打合……………四四九
 各種團體翼贊選舉打合會……………四四九
 支部結成特別委員と本部幹事を指名……………四四九
 候補者推薦は實情尊重……………四四九
 翼政協議會總會……………四四九
 末次、小磯兩大將を特別委員に指定……………四四九
 選舉運動の規正成る……………四四九
 同交會選舉對策協議……………四四九
 翼政協支部長決定……………四四九
 翼政本部政治結社を届出……………四四九
 翼政協議會總會……………四四九
 日商、翼贊選舉に協力を申合……………四四九
 政府同交會の質問に答辯……………四四九
 翼贊選舉訓制定……………四四九
 生産黨選舉態度を決議……………四四九
 同交會選舉對策決定……………四四九
 議同首腦對策協議……………四四九
 警視廳の取締方針……………四四九
 翼贊選舉貫徹に知識層を動員……………四四九
 ▲【翼贊政治體制協議會】
 推薦候補者銓衡委員決定……………四四七
 全國支部長會議……………四四七
 東京支部會長會議……………四四七
 東京支部結成式……………四四七
 愛知支部結成式……………四四七

沖繩支部長及支部會員……………四七三

地方選舉
佐賀市の縣議推薦會解散……………四六八
德島市議選舉結果……………四六八

立遅れの政治局面は正が急務……………四六八
違法精神の徹底を強調……………四六八

貴衆兩院

貴衆兩院議長より感謝電……………三九四
議同、南方委員會を特設……………三九四
二月十日で一切の審議を終了……………三九四

議案は即決可決の方針……………三九四
議同議案審議會設置……………三九四
議同對翼贊會方針……………三九四
田子、内ヶ崎正副議長新任奉告……………三九四
議同南方委員會委員決定……………三九四
調査會日割決定……………三九四
議同對議會方針決定……………三九四
議同、選舉臨時委員會特設……………三九四
議同選舉調查委員會決定……………三九四
衆議院調査會……………三九四
正副議長新任奉告……………三九四
各派對議會方針決定……………三九四
安藤氏の代表質問纏らず……………三九四
同交會聲明……………三九四
衆院へ五十三件提出……………三九四
議同議員總會……………三九四
岡野氏翼同脱退……………三九四
砂田代議士辭任承認……………三九四
選舉專門委員會特設……………三九四
選舉肅正委員會……………三九四
選舉肅正委員會開催……………三九四
事前選舉運動の限界明言……………三九四
農政研究會代表農相と懇談……………三九四

貴族員

選舉肅正第三回懇談會……………四四三
第四回選舉肅正懇談會……………四四三
翼同新政治體制委員會案成……………四四三
翼贊議員同盟役員會……………四四五
翼同主流政府の方針支持……………四四五
翼同、候補者推薦制を承認……………四四五
推薦制に對する同交會聲明……………四四五
第一控室解消……………四七六
子爵議員補缺に大久保子推薦……………三九四
貴院調査會日割決定……………三九四
貴院の法案審議方針……………三九四
研究會對議會方針決定……………三九四
大東亞調查會設置……………三九四
松平議長、首相等招待……………三九四
施政演說の質問者は兒玉伯爵……………三九四
調査會聯合協議會……………三九四
豫算委員長長林博太郎伯……………三九四
各派交渉會……………三九四
男爵議員補缺選舉……………三九四
子爵議員補缺選舉……………三九四
子爵議員の補缺大久保子當選……………三九四
風間多額議員辭職……………三九四
松平貴院議長長招待……………三九四
大東亞調查委員會の組織……………三九四
大東亞調查委員會構成……………三九四
研究常務委員會……………三九四
ハンガリー上院貴院に祝意……………三九四
公正會辭職……………三九四
貴院調査會官制改正……………三九四
兵庫縣多額議員補選……………三九四
貴院皇軍慰問……………三九四
貴院調査部人事發令……………三九四
子爵議員補選……………三九四

大政翼贊會

一億鐵石の決意盛上げ初の
大詔奉戴日……………三九四
興亞同盟大詔奉戴誓詞……………三九四
海の勇士ら大詔奉戴式……………三九四
翼贊壯年團發足……………三九四
役員補充……………三九四
大日本翼贊會壯年團結成……………三九四
日比谷舊議事堂に移轉……………三九四
大東亞建設援護三機關開設……………三九四
地方支部と協力會議員の陣容を更新……………三九四
壯年團本部分掌決定……………三九四
翼贊壯年團顧問決定……………三九四
翼贊會に連絡協議會設置……………三九四
臨時中央協力會議召集決定……………三九四
内外地連絡協議會準備會……………三九四
戰勝第一次祝賀行事……………三九四
選舉貫徹實施要綱……………三九四
大日本興亞同盟整備統一委員會……………三九四
市翼贊壯年團長安井中將に決定……………三九四
大東亞醫事對策上申……………三九四
翼壯事務打合せ會……………三九四
庶務、組織兩部長會議……………三九四
大谷法主京都市翼贊壯年團長に決定……………三九四
翼贊選舉入選標語……………三九四
三宅前公使翼贊會入り……………三九四
興同盟整備統一要綱成……………三九四
市翼壯の協力會……………三九四

諸團體

▲東方會
東方會總選舉方針……………三九四
國粹大衆黨……………三九四
▲皇道翼贊青年聯盟
皇道翼贊青年聯盟決議……………三九四
▲東方會
勅令公布(一東)……………三九四
法律公布……………三九四
豫算公布……………三九四

外地・地方

▲臨時中央協力會議
臨時中央協力會議開幕……………三九四
皇軍に對する感謝決議……………三九四
東條總裁挨拶要旨……………三九四
後藤議長挨拶……………三九四
横山事務總長挨拶要旨……………三九四
大平陸軍報道部長說明要旨……………三九四
田代海軍中佐戰況說明要旨……………三九四

人事

理……………三九四
臺灣志願兵募集要綱……………三九四
臺灣總督府機構改革……………三九四
【朝鮮】
高調する半島の愛國心……………三九四
【東京府・市】
東京市明年度豫算案……………三九四
區議選舉對策決……………三九四
【市制暫行】
大村に市制施行……………三九四
人吉市制施行……………三九四
泉大津市制施行……………三九四
荒尾市制施行……………三九四
地方長官異動發令……………三九四
橫嶺參謀長更迭……………三九四
内大臣府に秘書官増員……………三九四
善通寺俘虜收容所長任命……………三九四
香港占領地總督に磯谷中將……………三九四
池田渡氏海軍軍政長官に就任……………三九四
大阪海軍監督長更迭……………三九四
砂田重政氏某要職に就任……………三九四
技術院總裁に井上子親任……………三九四
技術院次長和田小六博士……………三九四
企對院辭令……………三九四
德川、永田、村田、砂田四氏現地要職に就任……………三九四
藤原銀次郎氏等五氏海軍顧問に就任……………三九四
内務大臣に湯澤三男氏……………三九四
内務次官に山崎巖氏……………三九四
九氏南方某要職に……………三九四
大東亞審議會委員發令……………三九四
興亞院辭令……………三九四
駐ソ大使に佐藤尙武男……………三九四
地方裁判所所長異動……………三九四
馬政、水産兩局長男退……………三九四

臺灣

臺灣總督府の各種委員會整

鐵道異動……………四〇三
 張特派大使接件員被仰付……………四〇五
 三重縣經濟部長……………四〇六
 戶山學校長に賀陽少將官……………四〇六
 兒玉伯等を軍政顧問に起用……………四〇六
 鐵道技術研究所人事發令……………四〇六
 南方工作の司政官發令……………四〇七
 宮内辭令……………四〇七

軍 事

西村氏餘榮……………四〇六
 故荒木樞密顧問官餘榮……………四〇六
 殉職の有働伍長餘榮……………四〇七
 故金杉博士の餘榮……………四〇七
 海軍五勇士の餘榮……………四〇七
 張特派大使らに勳章贈與……………四〇七
 飛行殉職者餘榮……………四〇七

【官廳辭令】
 内閣辭令……………四〇七
 外務辭令……………四〇七
 内務辭令……………四〇七
 大藏辭令……………四〇七
 司法辭令……………四〇七
 文部辭令……………四〇七
 農林辭令……………四〇七
 逓信辭令……………四〇七
 厚生辭令……………四〇七
 鐵道辭令……………四〇七
 陸軍辭令……………四〇七
 海軍辭令……………四〇七
 九條家男爵拜辭……………四〇七
 敏位・敏勳……………四〇七
 眞鍋東大名譽教授の餘榮……………四〇七
 縣忍氏餘榮……………四〇七
 江口大尉の餘榮……………四〇七
 殉職兵曹長敏勳……………四〇七
 故郷誠之助男餘榮……………四〇七

日獨伊三國軍事協定締結……………四〇七
 三國軍事同盟祝賀午餐會……………四〇七
 香港占領地總督部設置……………四〇七
 東久通官邸下朝鮮防衛狀況御視察……………四〇七
 陸海軍に優渥なる勅語……………四〇七
 シ島は昭南島と呼稱……………四〇七
 臺灣にも志願兵……………四〇七
 邦人婦女六十名救出……………四〇七
 東印度諸島方面作戦につき勅語を賜ふ……………四〇七

「實踐防空」に關し當局要望……………四〇七
 寒夜の臨視哨慰問……………四〇七
 民間防空犠牲者にも祭料……………四〇七
 御下賜……………四〇七
 全國的に防空強化運動……………四〇七
 隣組常會で防空強化……………四〇七
 防空訓練に對する統監部よりの警告……………四〇七
 空襲警報について……………四〇七
 初の防衛研究演習……………四〇七

外 交

目前の成果に眩惑されるな……………四〇七
 防空も長期戦……………四〇七
 米英首都に城下の誓ひ……………四〇七
 大東亞戰爭とビルマ作戦……………四〇七
 大東亞戰爭における奉天會戰……………四〇七
 平出大佐講演要旨……………四〇七
 シ撃ちてしまむの精神……………四〇七

重光駐支大使赴任……………四〇七
 中國大使館慶祝賀晚餐會……………四〇七
 首相、外相國府へ祝電……………四〇七
 【對泰關係】
 泰國首相等に勳章贈與……………四〇七
 泰國四大臣に勳章贈與……………四〇七
 東條ビロン兩首相年頭祝電交換……………四〇七
 泰國新大使東京着……………四〇七
 泰國大使信任狀捧呈……………四〇七
 ビン首相より祝賀電……………四〇七
 泰國首相、島田海相にメツセーヂ……………四〇七
 日泰兩國首相交驛……………四〇七
 葡領「チモール」新作戦につき帝國態度聲明……………四〇七
 新任泰國陸軍武官入京……………四〇七
 首相、ビン泰國首相に答電……………四〇七
 【對獨關係】
 日獨外相祝電交換……………四〇七
 東條首相獨外相宛謝電……………四〇七
 獨外相より閑院宮殿下へ祝電……………四〇七
 【對佛印關係】
 ドク・佛印總督に勳一等贈與……………四〇七
 日・佛印經濟交渉の前途……………四〇七
 【對ソ關係】
 ソメタニン、ソ聯大使歸國……………四〇七
 日ソ漁業暫定協定成立……………四〇七
 【對米關係】
 在米邦人健在……………四〇七
 日米外交官交換諒解成る……………四〇七
 【對南米關係】
 南美政治家の善處を要望……………四〇七
 伯の暴舉に嚴重抗議……………四〇七
 テリノ國新大統領就任式に大使特派……………四〇七

海 軍

陸軍始觀兵式嚴肅に舉行……………四〇七
 マレー方面最高指揮官山下奉文中將……………四〇七
 南方方面陸軍最高指揮官、總參謀長發表……………四〇七
 落下傘部隊の特殊使命……………四〇七
 ビルマ蘭印方面陸軍最高指揮官……………四〇七

陸 軍

陸軍始觀兵式嚴肅に舉行……………四〇七
 マレー方面最高指揮官山下奉文中將……………四〇七
 南方方面陸軍最高指揮官、總參謀長發表……………四〇七
 落下傘部隊の特殊使命……………四〇七
 ビルマ蘭印方面陸軍最高指揮官……………四〇七

對 佛 印 關 係

對佛印關係……………四〇七
 對佛印關係……………四〇七
 對佛印關係……………四〇七

對 南 米 關 係

對南米關係……………四〇七
 對南米關係……………四〇七
 對南米關係……………四〇七

對 泰 國 關 係

對泰國關係……………四〇七
 對泰國關係……………四〇七
 對泰國關係……………四〇七

帝國議會

第七十九通常議會

大東亞戰下初の通常議會再開... 祝捷議會... 貴族院戰捷祝賀會... 第七十九議會閉院式... 國務大臣演說・報告... 東條首相演說... 東郷外相演說... 藏相財政演說... 陸相戰況說明... 海相戰況報告... 東條首相演說... 陸相戰況報告... 海相戰況報告... 東條首相演說... 陸相戰況說明... 海相戰況報告... 貴族院

貴族院

【本會議】... 東條首相答辯要旨... 東條首相演說... 陸相戰況報告... 海相戰況報告... 東條首相演說... 陸相戰況說明... 海相戰況報告... 貴族院

增稅關係法律案十八件可決... 南方開發の根本方策... 議員表彰其他... 貴族院感謝決議案... 三月十二日... 二十五日... 【委員會】... 豫算總會... 臨時軍事費可決... 貴院常任委員會正副委員長... 正副委員長... 總動員法委員會可決... 貴族院各委員會正副委員長... 四法案可決... 八法案可決... 勸銀の時局融資は補助的... 警察官には特別の取扱... 國民貯蓄組合法改正外七件可決... 二法律案可決... 會計法戰時特例案可決... 官公吏の瀆職は徹底的檢案... 一法案可決... 二月二日... 二特別委員會正副委員長... 南洋開發委員長決定... 貴院郵便法正副委員長... 承諾案八件可決... 豫算總會... 南方開發機關すでに成案... 六... 九... 總豫算案可決... 【豫算分科會】... 中央航空研究所廿二年度完... 酒類小賣業者一割を整理... 外地功勞實業家に行賞... 農業團體は町村單位で... 盲聾啞教育將來は義務制... 推薦會の總選舉適用問題... 產報運動の法制化... 選舉運動制限事項... 南方地域とは片貿易... 北方の交通運輸増強... 船舶増強の補助方策... 電力需給狀況... 臨時軍事費總豫算決算制考... 應... 治水の根本策を希望決議... 兵器の原材料は營團を活用... 南方鐵山開發統制會の手で... 兵五法案可決... 兵器製造助成法案可決... 地方製粉業中央當局に吸收... 國民體力委員會正副委員長... 米穀正副委員長... 泰國の財政援助の方針... 國民更生倉庫改正法案可決

承諾案八件可決... 豫算總會... 南方開發機關すでに成案... 六... 九... 總豫算案可決... 【豫算分科會】... 中央航空研究所廿二年度完... 酒類小賣業者一割を整理... 外地功勞實業家に行賞... 農業團體は町村單位で... 盲聾啞教育將來は義務制... 推薦會の總選舉適用問題... 產報運動の法制化... 選舉運動制限事項... 南方地域とは片貿易... 北方の交通運輸増強... 船舶増強の補助方策... 電力需給狀況... 臨時軍事費總豫算決算制考... 應... 治水の根本策を希望決議... 兵器の原材料は營團を活用... 南方鐵山開發統制會の手で... 兵五法案可決... 兵器製造助成法案可決... 地方製粉業中央當局に吸收... 國民體力委員會正副委員長... 米穀正副委員長... 泰國の財政援助の方針... 國民更生倉庫改正法案可決

增稅委員會正副委員長決定... 南方建設企業は民業を原則... 比島糖業を綿業に還元... 農業團體法來議會に提出... 南方の鹽輸出能力十萬噸... 原價償却方法二本建... 五法律案委員會可決... 開發倉庫は文化工作に融資せず... 南方金庫法案希望決議付可決... 公共團體の國庫補助考慮... 分與稅制度は改廢せず... 日銀法外十件委員會可決... 國民醫療法等五件可決... 衆議院

衆議院

【本會議】... 東條首相答辯要旨... 東條首相演說... 米麥南方依存は避けたい... 農地家産制度研究中... 商相在庫調査斷行を言明... 造船監督權一部海相に移管... 南方鐵山開發統制會の手で... 兵五法案可決... 兵器製造助成法案可決... 地方製粉業中央當局に吸收... 國民體力委員會正副委員長... 米穀正副委員長... 泰國の財政援助の方針... 國民更生倉庫改正法案可決

增稅委員會正副委員長決定... 南方建設企業は民業を原則... 比島糖業を綿業に還元... 農業團體法來議會に提出... 南方の鹽輸出能力十萬噸... 原價償却方法二本建... 五法律案委員會可決... 開發倉庫は文化工作に融資せず... 南方金庫法案希望決議付可決... 公共團體の國庫補助考慮... 分與稅制度は改廢せず... 日銀法外十件委員會可決... 國民醫療法等五件可決... 衆議院

【豫算委員會】... 占領地統治四原則... 米軍事豫算恐るゝに足らず... 重慶反省の好機... 鈴木總裁南方經營方略闡明... ソ聯中立條約を確約... 營團を活用、國家管理の實を擧ぐ... 轉廢業は必要な部門に限定... 日本の世界觀の確立... 食糧の合理的統制機關研究中... 歸伏する華僑は許す... 臨時軍事費上程... 藏相の臨軍費豫算説明要旨... 占領地の行政費は現地住民にも賦課... 臨時軍事費可決... 第一次生擴計畫の實績... 官公吏の家族手當一億圓突破... 南方農業開拓指導者を送る... 南方物資の特配に努力中... 國民更生倉庫改正法案可決

增稅委員會正副委員長決定... 南方建設企業は民業を原則... 比島糖業を綿業に還元... 農業團體法來議會に提出... 南方の鹽輸出能力十萬噸... 原價償却方法二本建... 五法律案委員會可決... 開發倉庫は文化工作に融資せず... 南方金庫法案希望決議付可決... 公共團體の國庫補助考慮... 分與稅制度は改廢せず... 日銀法外十件委員會可決... 國民醫療法等五件可決... 衆議院

【豫算委員會】... 占領地統治四原則... 米軍事豫算恐るゝに足らず... 重慶反省の好機... 鈴木總裁南方經營方略闡明... ソ聯中立條約を確約... 營團を活用、國家管理の實を擧ぐ... 轉廢業は必要な部門に限定... 日本の世界觀の確立... 食糧の合理的統制機關研究中... 歸伏する華僑は許す... 臨時軍事費上程... 藏相の臨軍費豫算説明要旨... 占領地の行政費は現地住民にも賦課... 臨時軍事費可決... 第一次生擴計畫の實績... 官公吏の家族手當一億圓突破... 南方農業開拓指導者を送る... 南方物資の特配に努力中... 國民更生倉庫改正法案可決

增稅委員會正副委員長決定... 南方建設企業は民業を原則... 比島糖業を綿業に還元... 農業團體法來議會に提出... 南方の鹽輸出能力十萬噸... 原價償却方法二本建... 五法律案委員會可決... 開發倉庫は文化工作に融資せず... 南方金庫法案希望決議付可決... 公共團體の國庫補助考慮... 分與稅制度は改廢せず... 日銀法外十件委員會可決... 國民醫療法等五件可決... 衆議院

增稅委員會正副委員長決定... 南方建設企業は民業を原則... 比島糖業を綿業に還元... 農業團體法來議會に提出... 南方の鹽輸出能力十萬噸... 原價償却方法二本建... 五法律案委員會可決... 開發倉庫は文化工作に融資せず... 南方金庫法案希望決議付可決... 公共團體の國庫補助考慮... 分與稅制度は改廢せず... 日銀法外十件委員會可決... 國民醫療法等五件可決... 衆議院

【豫算委員會】... 占領地統治四原則... 米軍事豫算恐るゝに足らず... 重慶反省の好機... 鈴木總裁南方經營方略闡明... ソ聯中立條約を確約... 營團を活用、國家管理の實を擧ぐ... 轉廢業は必要な部門に限定... 日本の世界觀の確立... 食糧の合理的統制機關研究中... 歸伏する華僑は許す... 臨時軍事費上程... 藏相の臨軍費豫算説明要旨... 占領地の行政費は現地住民にも賦課... 臨時軍事費可決... 第一次生擴計畫の實績... 官公吏の家族手當一億圓突破... 南方農業開拓指導者を送る... 南方物資の特配に努力中... 國民更生倉庫改正法案可決

增稅委員會正副委員長決定... 南方建設企業は民業を原則... 比島糖業を綿業に還元... 農業團體法來議會に提出... 南方の鹽輸出能力十萬噸... 原價償却方法二本建... 五法律案委員會可決... 開發倉庫は文化工作に融資せず... 南方金庫法案希望決議付可決... 公共團體の國庫補助考慮... 分與稅制度は改廢せず... 日銀法外十件委員會可決... 國民醫療法等五件可決... 衆議院

共榮國交通體制の確立……………四八四
 新幹線は貨客兩全主義……………四八四
 肥料統制問題解決……………四八四
 國內鑛業對策は不變……………四八四
 大東亞農政協議會を考慮……………四八四
 衆議院豫算分科主査決定……………四八四
 △二十九日……………四八四
 翼贊會は公事結社……………四八四
 國內施政の重點……………四八五
 △三十日……………四八五
 漁獲増收の根本施策……………四八五
 南方油田大規模に開發……………四八五
 國策會社も統制會指導下に四八六

【豫算分科會】
 三港陷落後の外交政策……………四八六
 宣戰布告國に對する帝國の態度……………四八六
 敵國在留邦人の狀況……………四八六
 ダウアオ事件米國に抗議……………四八六
 世襲農地制度を研究……………四八六
 空爆災害者に保險料支拂期待……………四八六
 中間機關の組織と任務……………四八六
 電話公定價引上げず……………四八六
 豫算編成方針に劃期的變革を示唆……………四八七

△一日……………四八七
 一面檢舉、一面指導……………四八七
 豫防勾禁十一名……………四八七
 營團は中間的私法人……………四八七
 地方農事試驗場を擴充……………四八七
 農場法實施後も滿拓を通じて開拓民に融着……………四八七
 △二日……………四八七
 豫會報告演說前日届出も可四八七
 【豫算總會】
 △二日……………四八七
 翼贊會關係者の立候補支障なし……………四八七

△委員會……………四八七

△二十四日……………四八七
 明確にされた「南方」地域……………四八七
 南方經濟開發差當軍が行ふ四八七
 場所と事業により特殊移民送出……………四八七
 南方開發金庫の輪廓……………四八七
 兵器製造事業の安定性確保四八七
 最近の肥料供給狀況……………四八七
 麥類價格改訂研究中……………四八七
 食糧營團の組織と性格……………四八七
 増稅委員會……………四八七
 日銀法委員會……………四八七
 △二十六日……………四八七
 南方金融方略……………四八七
 企業監督は軍司令官が行ふ四八七
 南方開發金庫は三月設立……………四八七
 食糧管理委員會設置……………四八七
 米價決定方法の當局方針……………四八七
 大東亞の農業基本方略……………四八七
 本年度米生産目標七千百萬石……………四八七
 軍需工場の大陸進出を促進四八七
 根本的稅制改革も研究……………四八七
 勤勞所得者課稅四百十五萬人……………四八七
 遊興飲食稅著しく減少……………四八七
 營團に對する課稅方針……………四八七
 帝國鑛發中心に中小鑛山開發……………四八七
 南方鑛山開發統制會を活用四八七
 金融問題質疑……………四八七
 金融金庫の運籌方針……………四八七
 醫藥營團の設置將來考慮……………四八七
 醫療設備評價機關を設置……………四八七
 人造石油事業は依然助成……………四八七
 臺灣工業の確立、米作轉換不賛成……………四八七
 △二十七日……………四八七
 十七年度國民所得四百二十七億圓と推定……………四八七

基礎控除更に引上は困難……………四八九
 租稅と公債の負擔區分……………四八九
 冷害共濟制度の研究……………四八九
 保險事業の國營研究を要す四八九
 共榮團内の船舶運籌……………四八九
 通信料金増收額の使途……………四八九
 郡市區醫師會は認めず……………四八九
 賃金統制令改正を示唆……………四八九
 高女教育改善近く實施……………四八九
 滿洲移民政策不動……………四八九
 人事事業今秋以降飛躍的増産……………四八九
 人口の都市集中を阻止……………四八九
 勞務者の福利増進を考慮……………四八九
 日本文化の南方進出……………四八九
 日本文化の進出……………四八九
 南方開發金庫運用方針……………四八九
 華僑の南方投資額四十億……………四八九
 通貨制度の再建に現地特殊事情を考慮……………四八九
 △二十八日……………四八九
 臺灣の工業化に主力傾注……………四八九
 新開、映畫、ラヂオも南方進出……………四八九
 占領地工作土地の習慣尊重……………四八九
 森林資源培養に努力……………四八九
 共榮團の食糧對策……………四八九
 邦人の南方進出方針……………四八九
 南方在留邦人からの送金……………四八九
 地方食糧營團の運籌方針……………四八九
 重要事業場管理令近く公布……………四八九
 業務用配給米を節減……………四八九
 綜合所得稅改正で四千六百萬圓の増收……………四八九
 萬圓の増收……………四八九
 關稅收入節減……………四八九
 株式配當と預金利子課稅の不均衡を調整……………四八九
 醫療團の組織方針……………四八九
 共榮團内の物資別需給關係……………四八九
 物資管理營團は外地も含む四八九

廢業者の再開業優先許可……………四九四
 金融金庫の運籌方針……………四九四
 産金は昨年の實績を確保……………四九四
 △二十九日……………四九四
 赤字委員會十五法案可決……………四九四
 交通省を設置せず……………四九四
 鐵道建設計畫は再檢討……………四九四
 將來の増稅は直接稅中心……………四九四
 木炭切符制全國に擴大……………四九四
 轉廢業に實績主義放棄……………四九四
 農村用動力油代燃化研究中……………四九四
 農村の味噌、醬油消費規正せず……………四九四
 郷倉を政府米貯藏に活用……………四九四
 沿岸漁業も近く統制……………四九四
 南方通貨は管理通貨……………四九四
 △三十日……………四九四
 二法案委員長決定……………四九四
 南方開發金庫法案可決……………四九四
 兵器法案可決……………四九四
 現地インフレ抑止策……………四九四
 百貨店小賣業等の業務分野決定……………四九四
 應召者家族に企業統合除外……………四九四
 國策會社の人事刷新を斷行……………四九四
 町村と農業團體の調整……………四九四
 町内會隣組に法的根據附與……………四九四
 地方財政の建直し方略……………四九四
 十六年度内務關係時局費……………四九四
 一般勞務者に臨時家族手当支給方針考慮……………四九四
 △三十一日……………四九四
 五法案可決……………四九四
 四法案可決……………四九四
 職業指導所に積極的の指導……………四九四
 △二月二日……………四九四
 食糧管理法案等可決……………四九四
 食糧營團人事は慎重に……………四九四
 △三日……………四九四
 國民體力外五件委員會可決……………四九四

勤勞所得課稅人員八十五萬五七生産力は向上……………四九七
 恩給年額二億七千九百萬圓……………四九七
 △四日……………四九七
 日銀法外二件可決……………四九七
 召集の公平化を期す……………四九七
 徵兵再検査必要なし……………四九七
 南方新航路に軍で管理……………四九七
 官吏減俸復活に困難……………四九七
 地方決定改革及都制案成案……………四九七
 市町村制改正で部落會制度化……………四九七
 明年度造船計畫劃期的飛躍……………四九七
 船員年齡低下……………四九七
 木造船の海保政府考慮……………四九七
 臘虎、臘腸統制會社設立……………四九七
 海豹島の臘腸六倍に増加……………四九七
 △五日……………四九七
 増稅案可決……………四九七
 民法改正案可決……………四九七
 十五年度政府出資額二十三億五千萬圓……………四九七
 首相請願尊重を言明……………四九七
 選舉運動取締省令改正……………四九七
 古事記研究機關設置を考慮……………四九七
 引揚げ邦人の保護に萬全を期す……………四九七
 酒造業者の小賣は認めず……………四九七
 木材法の訴願勅令公布を言明……………四九七
 △六日……………四九七
 中小商工業者再編成に新方針……………四九七
 北中支の物動計畫完遂……………四九七
 恩給金庫支店を増設……………四九七
 遺家族の探護事業優遇……………四九七
 恩給果増には積極策を考慮……………四九七
 日滿一體の馬政計畫は不變……………四九七
 日ノ漁業交渉の經過……………四九七
 マニラ麻の國內配給は統制……………四九七

△委員會……………四九七

△委員會……………四九七

財政經濟

・十三日
電力料金調整を考慮……………四四九

一般

- △七 日
本年度漁獲計畫七億貫……………四三三
- 貨與額引上げを考慮……………四三三
- 私立學校職員の恩給……………四三三
- 第一審の適正と充實を期す……………四三三
- 織維製品の需給調節方針……………四三三
- 國防献金のから臨軍費へ繰入……………四三三
- 購買金額の制限不可能……………四三三
- △九 日
兵役法等七件可決……………四三三
- 八承諾案件可決……………四三三
- 徵發軍馬に獎勵金交付……………四三三
- 立木伐切命令に訴願の途……………四三三
- 官、私學の差別撥廢……………四三三
- 犯罪處理に生産力擴充考慮……………四三三
- 勅任判事設置考慮……………四三三
- 農家雜用米保有量現狀維持……………四三三

- △十 日
大東亞共榮圈確立の抱負……………四三三
- 中小工業の特性考慮……………四三三
- 州廳制度は慎重に研究……………四三三
- 推薦會は選舉運動に非ず……………四三三
- 個人金融業者の取締強化……………四三三
- △十一 日
抑留邦人の取扱ひ……………四四八
- ダヴァオ事件交渉經過説明……………四四八
- 北樺石油補助は繼續……………四四八
- 徵用勞務者の能率向上……………四四八
- 木造船を大量建造……………四四八
- 電話動員に善處……………四四八
- 女子徵用は差控へる……………四四八
- 技術院に特許局を移管……………四四八
- 引揚同胞保護に第二豫備金……………四四八
- 支出……………四四八
- 民事訴訟に職權主義を加味……………四四八

- 重要物資管理營團法案要綱……………四五二
- 行政簡捷令に除外規定……………四五二
- 現段階は新戰争經濟の發足……………四五二
- 大東亞圈内の食糧自給策……………四五二
- 日備勞務者最高最低賃金……………四五二
- 南方開發の根本方針闡明……………四五二
- 開發方針に業界賛意……………四五二
- 倉庫業の統制強化……………四五二
- 商業の整理統合に業者の協力要望……………四五二
- 昨年中合併資本七十六億……………四五二
- 鹽田復活に助成金……………四五二
- 貯蓄記念日に藏相放送……………四五二
- 代用品發明研究補助金交付……………四五二
- 海務局監理部長會議……………四五二
- 貿易業整備要綱細則發表……………四五二
- 貿易省全技師に技術再教育……………四五二
- 農業團體統合問題町村制と意見一致……………四五二
- 專賣局共濟組合令改正……………四五二
- 物價協力會議規約を改正……………四五二
- 儲備券の育成強化に協力……………四五二
- 燃料、貿易兩局の官制改正……………四五二
- 爲替管理商工省に移管……………四五二
- 臨時資金調整法罰則の適用方針……………四五二
- 原價計算規則を公布……………四五二
- 競賣は日ノ合計四十三漁區……………四五二
- 【商工業】
中小商工業再編成協議會要綱……………四五五
- 製材業の整理資産評價基準……………四五五

- 中小商工業再編成要綱決定……………四五二
- 商工轉廢業者に共助費交付……………四五二
- 中小商工業再編成に關する阿部企畫院次長放送要旨……………四五二
- 原價計算に關する商工會議所建議案……………四五二
- 商報、轉廢業問題に主力……………四五二
- 【財界彙報】
南方農林業對策初打合せ……………四五二
- 大東亞起業調查組合設立……………四五二
- 大東亞會館設立と產業總力發揚運動……………四五二
- 食糧營團の設立打合せ……………四五二
- 滿華兩大使招待午餐會……………四五二
- 行政事務簡捷官民懇談會……………四五二
- 南方金融初委員會……………四五二
- 價格形成中央委員會新部長……………四五二
- 財界人事
銀行・信託……………四五二
- 會社……………四五二
- 經濟團體……………四五二
- 【經濟團體】
南方經濟懇談會民族委員會を設置……………四五二
- 畜產施設決戰態勢基本要綱決定……………四五二
- 手形交換所理事長に加藤氏……………四五二
- 藤原氏、營團總裁を辭任せず……………四五二
- 工組の農工開拓民募集……………四五二
- 南方農林水產業建設方針建議……………四五二
- 織協、事務處理要綱を決定……………四五二
- 帝國畜產會理事會……………四五二
- 絹、人絹輸出振興會總會……………四五二
- 日本生絲輸出組合認可……………四五二

- ▲商工會談所
會議所機構問題協議……………四五二
- 東商、阜軍感謝決議……………四五二
- 日商、三顧問補充……………四五二
- 日商、農村業者の整備を建議……………四五二
- ▲重要産業統制團體協議會
重產協機構改革……………四五二
- 重產協會長に平生氏……………四五二
- 重產協緊急理事會……………四五二
- 商相、重產協懇談會……………四五二
- ▲日本經濟聯盟會
經聯會長井坂孝氏に決定……………四五二
- 經聯、產業能率增進策調查……………四五二
- 經聯に南方立地特別委員會……………四五二
- 經聯調查委員會各部會長決定……………四五二
- ▲東亞經濟懇談會
東亞經濟懇談會理事會……………四五二
- 東亞經濟懇談會長決定……………四五二
- ▲營團
產業設備評價委員會初總會……………四五二
- 重要物資管理營團第一回設立委員會……………四五二
- 產業設備營團二千萬圓で硝酸增產……………四五二
- 產業設備營團の買入評價基準を決定……………四五二
- ▲運輸・通信
機械器具出荷統制實施要領決定……………四五二
- 戰時輸送強化期間設定……………四五二
- 氣比丸沈没の損失を補填……………四五二
- 船腹擴充官民懇談會……………四五二
- 海務院開設祝賀會……………四五二
- 日滿間船舶緩和に大連船渠増資……………四五二
- ▲全國國民の造船協力を望む……………四五二

- ▲海運協會、造船計畫に要望……………四五二
- 海運管理委員會三部會設置……………四五二
- 港灣運送業等統制令改正……………四五二
- 船舶統制に關する選相談……………四五二
- 船舶機械及內燃機に統制組合設立……………四五二
- ▲陸運
運航實務者の指定方針……………四五二
- 海運管理令、施行規則公布……………四五二
- 船舶運營會創立進捗……………四五二
- ▲全國八十都市の小運送業を統制……………四五二
- 軌道運輸規程中公告期間開始……………四五二
- 第一回日滿支鐵道資材懇談會……………四五二
- 鐵道局運輸部長會議……………四五二
- 鐵道運輸規定改正……………四五二
- 平衡資金四千三百萬圓設立……………四五二
- 運賃引上要綱……………四五二
- 國鐵併行路線の私鐵値上げ……………四五二
- ▲通信
郵便料金値上げ……………四五二
- アマガニスタンと國際電話開始……………四五二
- ▲一般事項
十七年度各特別會計決定……………四五二
- 臨時軍費累計四百七十億餘圓……………四五二
- 戰費總額四百七十一億……………四五二
- 昨年十二月末現在國庫現計……………四五二
- 一月末預金部狀況……………四五二
- 十六年度國庫歲入十二億圓増……………四五二
- ▲豫算
明年度特別會計豫算概要……………四五二
- 今年度追加豫算決定……………四五二
- 大藏追加豫算……………四五二

財政

- ▲海運協會、造船計畫に要望……………四五二
- 海運管理委員會三部會設置……………四五二
- 港灣運送業等統制令改正……………四五二
- 船舶統制に關する選相談……………四五二
- 船舶機械及內燃機に統制組合設立……………四五二
- ▲陸運
運航實務者の指定方針……………四五二
- 海運管理令、施行規則公布……………四五二
- 船舶運營會創立進捗……………四五二
- ▲全國八十都市の小運送業を統制……………四五二
- 軌道運輸規程中公告期間開始……………四五二
- 第一回日滿支鐵道資材懇談會……………四五二
- 鐵道局運輸部長會議……………四五二
- 鐵道運輸規定改正……………四五二
- 平衡資金四千三百萬圓設立……………四五二
- 運賃引上要綱……………四五二
- 國鐵併行路線の私鐵値上げ……………四五二
- ▲通信
郵便料金値上げ……………四五二
- アマガニスタンと國際電話開始……………四五二
- ▲一般事項
十七年度各特別會計決定……………四五二
- 臨時軍費累計四百七十億餘圓……………四五二
- 戰費總額四百七十一億……………四五二
- 昨年十二月末現在國庫現計……………四五二
- 一月末預金部狀況……………四五二
- 十六年度國庫歲入十二億圓増……………四五二
- ▲豫算
明年度特別會計豫算概要……………四五二
- 今年度追加豫算決定……………四五二
- 大藏追加豫算……………四五二

各地豫算内課... 四〇五九
各省追加豫算... 四〇五九
十七年度一般豫算... 四〇六一
臨軍豫算衆議院に提出... 四〇六六
十七年度豫算實行方針... 四〇六六

▲租 稅
財界増税に全幅の協力表明... 四〇五三
直接税増徴案決定... 四〇五三
分類所得税六割増徴... 四〇五三
地方分與税も改正... 四〇五三
増税後間接税は二割七分... 四〇五三
増税三法律一日より施行... 四〇五三
廣告料、税額一割引上げ... 四〇五三
直接税等増徴法律案要綱... 四〇五三
平年度税増徴見込額... 四〇五三

▲融 資
外國爲替公定相場發表... 三九五五
開發金庫法案要綱決定... 三九五五
臨時金庫法案要綱... 三九五五
臨時資金調整法改正案要綱... 三九五五
貯蓄組合法改正案要綱... 三九五五
米券借入金の限度擴張決定... 三九五五
米券借入金の限度擴張決定... 三九五五
社債、地方債の登録制度を... 三九五五
設定... 三九五五
東京爲替會納付手数料返還... 四〇六六
申合... 四〇六六

▲貯 蓄
明年度貯蓄目標二百廿億以... 四〇六六
上... 四〇六六
強制貯蓄は行はず... 四〇六六
國民貯蓄奨励方針闡明... 四〇六六
國民貯蓄組合數五十三萬... 四〇六六
明年度貯蓄目標二百廿億圓... 四〇六六
國民貯蓄債額百十九億... 四〇六六
軍需工場の貯蓄増強を協議... 四〇六六

▲金融機關
庶民金庫、空襲戦災に低利... 四〇六六
融資... 四〇六六
產組中金、定期預金の期間... 四〇六六

▲貯 蓄
明年度貯蓄目標二百廿億以... 四〇六六
上... 四〇六六
強制貯蓄は行はず... 四〇六六
國民貯蓄奨励方針闡明... 四〇六六
國民貯蓄組合數五十三萬... 四〇六六
明年度貯蓄目標二百廿億圓... 四〇六六
國民貯蓄債額百十九億... 四〇六六
軍需工場の貯蓄増強を協議... 四〇六六

▲貯 蓄
明年度貯蓄目標二百廿億以... 四〇六六
上... 四〇六六
強制貯蓄は行はず... 四〇六六
國民貯蓄奨励方針闡明... 四〇六六
國民貯蓄組合數五十三萬... 四〇六六
明年度貯蓄目標二百廿億圓... 四〇六六
國民貯蓄債額百十九億... 四〇六六
軍需工場の貯蓄増強を協議... 四〇六六

改正... 四〇六六
產組中金、樺太にも融資... 四〇六六
產組中金一部機構改正... 四〇六六
社債引受シ團體協力を申合せ... 四〇六六
戰時金融庫設立委員會... 四〇六六
銀行・信託
勸銀行法等改正... 四〇六六
銀行法、貯蓄法違反... 四〇六六
昨下期の興銀貸出膨脹... 四〇六六
勸銀、一割割置... 四〇六六
安田信託、新陣容決る... 四〇六六
昭和銀行總會... 四〇六六
安田銀行總會... 四〇六六
勸銀行、地方小口物に重點... 四〇六六
興銀總會... 四〇六六
臺灣銀行最終拂込徴収... 四〇六六
朝鮮銀行六分据置... 四〇六六
二月中銀行合併狀況... 四〇六六
三井銀行總會... 四〇六六
住友銀行總會... 四〇六六
三菱銀行總會... 四〇六六
三井信託、検査部新設... 四〇六六
正金銀行總會... 四〇六六
鮮銀最終拂込徴収... 四〇六六
安田生命總會... 四〇六六
投資信託も實施... 四〇六六

▲日本銀行
日銀を國家機關に改正... 四〇六六
改正趣旨を活かすため努力... 四〇六六
兌換五十億圓關門を割る... 四〇六六
日銀新配當の算定基準... 四〇六六
日銀重役會... 四〇六六
日銀保有公債五十億圓割れ... 四〇六六
日銀の外國爲替基金廢止... 四〇六六
帳簿價格との差額政府に納... 四〇六六
日銀の特配、特に認可... 四〇六六
日銀記念配當六分... 四〇六六

▲保 險
戰爭保險臨時措置法... 四〇六六
戰爭保險施行... 四〇六六
戰爭保險取扱四十社指定... 四〇六六
空襲傷害保險三月一日實施... 四〇六六
日本生命三分減... 四〇六六
朝日海上、日東火災を合併... 四〇六六
三井生命總會... 四〇六六
明治生命記念配當... 四〇六六
千代田生命定時委員會... 四〇六六

▲手 形
東京手形交換高... 四〇六六
全國手形交換高... 四〇六六
全國不渡手形... 四〇六六
銀行
東京銀行行勘定最多新記... 四〇六六
東京銀行行勘定週報... 四〇六六
全國銀行勘定... 四〇六六
全國貯銀勘定... 四〇六六
日銀週報... 四〇六六
日銀業績... 四〇六六
七大銀行貸借對照表の特徴... 四〇六六
七大銀行純益四千萬圓突破... 四〇六六

▲金 庫
計畫資本... 四〇六六
資金移動豫想... 四〇六六
有價證券... 四〇六六
本邦有價證券時價總額... 四〇六六
其 他
預金部狀況... 四〇六六
全國信託財產... 四〇六六
二月兌換券收縮率一〇六.四五九

▲手 形
東京手形交換高... 四〇六六
全國手形交換高... 四〇六六
全國不渡手形... 四〇六六
銀行
東京銀行行勘定最多新記... 四〇六六
東京銀行行勘定週報... 四〇六六
全國銀行勘定... 四〇六六
全國貯銀勘定... 四〇六六
日銀週報... 四〇六六
日銀業績... 四〇六六
七大銀行貸借對照表の特徴... 四〇六六
七大銀行純益四千萬圓突破... 四〇六六

▲手 形
東京手形交換高... 四〇六六
全國手形交換高... 四〇六六
全國不渡手形... 四〇六六
銀行
東京銀行行勘定最多新記... 四〇六六
東京銀行行勘定週報... 四〇六六
全國銀行勘定... 四〇六六
全國貯銀勘定... 四〇六六
日銀週報... 四〇六六
日銀業績... 四〇六六
七大銀行貸借對照表の特徴... 四〇六六
七大銀行純益四千萬圓突破... 四〇六六

▲公 債
昨年末國債額三百三十三億... 四〇六六
二月中公債發行高... 四〇六六
二末國債現在高... 四〇六六

▲國 債
大東亞戰爭公債六億圓發行... 四〇六六
國債六億圓發行... 四〇六六
滿洲公債募集條件... 四〇六六
國債五億圓發行... 四〇六六
國債六億圓發行... 四〇六六

▲社 債
滿鐵社債五千萬圓發行... 四〇六六
日本窒素肥料社債條件... 四〇六六
古河電工社債一千萬圓發行... 四〇六六
日立製作所社債發行... 四〇六六
北支開發社債發行... 四〇六六
小野田セメント社債發行... 四〇六六
日本製鋼所社債發行... 四〇六六
日發社債五千萬圓發行... 四〇六六
日産化工社債條件... 四〇六六
滿拓外二社債條件決定... 四〇六六
鐵業開發社債條件... 四〇六六
川崎重工工業社債發行... 四〇六六
國際電氣通信社債一千萬圓... 四〇六六

▲社 債
滿鐵社債五千萬圓發行... 四〇六六
日本窒素肥料社債條件... 四〇六六
古河電工社債一千萬圓發行... 四〇六六
日立製作所社債發行... 四〇六六
北支開發社債發行... 四〇六六
小野田セメント社債發行... 四〇六六
日本製鋼所社債發行... 四〇六六
日發社債五千萬圓發行... 四〇六六
日産化工社債條件... 四〇六六
滿拓外二社債條件決定... 四〇六六
鐵業開發社債條件... 四〇六六
川崎重工工業社債發行... 四〇六六
國際電氣通信社債一千萬圓... 四〇六六

▲社 債
滿鐵社債五千萬圓發行... 四〇六六
日本窒素肥料社債條件... 四〇六六
古河電工社債一千萬圓發行... 四〇六六
日立製作所社債發行... 四〇六六
北支開發社債發行... 四〇六六
小野田セメント社債發行... 四〇六六
日本製鋼所社債發行... 四〇六六
日發社債五千萬圓發行... 四〇六六
日産化工社債條件... 四〇六六
滿拓外二社債條件決定... 四〇六六
鐵業開發社債條件... 四〇六六
川崎重工工業社債發行... 四〇六六
國際電氣通信社債一千萬圓... 四〇六六

▲社 債
滿鐵社債五千萬圓發行... 四〇六六
日本窒素肥料社債條件... 四〇六六
古河電工社債一千萬圓發行... 四〇六六
日立製作所社債發行... 四〇六六
北支開發社債發行... 四〇六六
小野田セメント社債發行... 四〇六六
日本製鋼所社債發行... 四〇六六
日發社債五千萬圓發行... 四〇六六
日産化工社債條件... 四〇六六
滿拓外二社債條件決定... 四〇六六
鐵業開發社債條件... 四〇六六
川崎重工工業社債發行... 四〇六六
國際電氣通信社債一千萬圓... 四〇六六

▲社 債
滿鐵社債五千萬圓發行... 四〇六六
日本窒素肥料社債條件... 四〇六六
古河電工社債一千萬圓發行... 四〇六六
日立製作所社債發行... 四〇六六
北支開發社債發行... 四〇六六
小野田セメント社債發行... 四〇六六
日本製鋼所社債發行... 四〇六六
日發社債五千萬圓發行... 四〇六六
日産化工社債條件... 四〇六六
滿拓外二社債條件決定... 四〇六六
鐵業開發社債條件... 四〇六六
川崎重工工業社債發行... 四〇六六
國際電氣通信社債一千萬圓... 四〇六六

發行……………四三六
 滿電社債二千萬元發行……………四三六
 日鐵社債四千萬元發行……………四三六
 大日本航空社債五百萬元發行……………四三六
 昭和製鋼社債五百萬元發行……………四三六
 臺灣電力社債一千萬元發行……………四三六
 山陽配電社債……………四三六
 三菱礦業社債發行……………四三六
 日立社債、恩給債券發行……………四三六
 日產化學、宇治電社債發行……………四三六
 大同製鋼日產化學社債發行……………四三六

生 産

▲一 般
 工業事業場管理令施行規則……………四六一
 公布……………四六一
 層鐵回收強化策決定……………四六一
 電力新規增加申請期限指定……………四六一
 聯合會を設置、日滿支の電力連繫強化……………四六一
 石井蠶系局長放送……………四五九
 日鐵、中支總局を設置……………四五九
 滿鐵明年年度預算四億六千二百萬圓……………四五九
 帝國鐵道、共同融資……………四五九
 事業査定申告書五月一日迄……………四五九
 重要物資管理營團法施行……………四五九
 商工省鐵山官設置……………四五九
 十六年度產米實收高……………四五九
 本年度內地總供給米增加……………四五九
 休日指定制電力制限解除……………四五九
 第七回電力審議會……………四五九
 十七年度重要食糧生產目標……………四五九
 鐵鋼製品需給計畫化……………四五九
 セルロイド加工業者統合……………四五九
 自轉車工業整備具體案決定……………四五九
 主要食糧は國內で自給……………四五九

機械工業協議會設置要綱決定……………四六八
 十七年度麻類生產目標決定……………四六八
 食糧増産の積極化に邁進……………四六八
 反當り收斂量の増大を圖れ……………四六八
 工組中央會の機構機能擴充……………四六八
 ▲生産指標
 一月中計畫資本……………四六八
 十二月の全國貨銀指數騰貴……………四六八
 ▲統制會
 造船統制會設立準備委員會……………四六八
 精密機械統制會總立總會……………四六八
 金屬統制會々長に鈴木氏……………四六八
 鐵山統制會支部長決定……………四六八
 電氣機械統制會創立……………四六八
 產業機器統制會創立……………四六八
 金屬工業統制會創立……………四六八
 發送電五ヶ年計畫決定……………四六八
 電氣機械統制會役員決定……………四六八
 金屬配給會創立……………四六八
 造船統制會創立……………四六八
 自動車統制會理事追加……………四六八
 日本鐵道統制會社創立總會……………四六八
 鐵鋼統制會駐在員派遣……………四六八
 セメント統制會評議員會……………四六八
 セメント同業會解散……………四六八
 煉炭工業の整備要綱決定……………四六八
 炭統制會統制規定認可……………四六八
 機帆船運航統制會社創立……………四六八
 精密機械統制會理事決定……………四六八
 機械器具工聯創立……………四六八
 鐵鋼統制會、遊休設備供出を決定……………四六八
 鐵鋼統制會、朝鮮支部設置……………四六八
 軍と統制會の關係を密接……………四六八
 セメント統制會總會……………四六八
 鐵鋼統制規則を制定……………四六八
 石炭統制會總會……………四六八
 大東亞の石炭統制一元化……………四六八
 貿易統制會と改稱……………四六八

鐵山統制會總會……………四六八
 鐵鋼統制會設立官民懇談會……………四六八
 ▲農 林
 食糧公社を設立……………四六八
 農業生產統制令施行規則……………四六八
 南方農林水産業協議會設立……………四六八
 農業團體法案次期議會に提出せん……………四六八
 日本馬事會設立認可……………四六八
 南方食糧調查班準備進捗……………四六八
 堆肥倍加運動全國化……………四六八
 農林省のト内増産案……………四六八
 產組、團體統制實現を決議……………四六八
 農業團體統制法提立に努力……………四六八
 南方食糧交流に新機關設置……………四六八
 岩手縣食糧營團結成に着手……………四六八
 肥料、農業資材の供給漸次好轉……………四六八
 十七年度木炭生產計畫八億四千萬元……………四六八
 共榮園糖業の再編成案……………四六八
 農家調査、帝農に一元化……………四六八
 食糧國防團組織強化……………四六八
 翼贊會食糧對策上申……………四六八
 產組、活動方針を決定……………四六八
 農業保險制度改正……………四六八
 木材業企業合同に暫定措置……………四六八
 木炭増産へ拍車……………四六八
 ▲米 麥
 麥作見直し模様……………四六八
 米麥國營檢査勸令案要旨……………四六八
 大東亞圈内の過剩米……………四六八
 ▲蠶
 昭和十六年收繭高二割二厘減……………四六八
 繭生產計畫數量七千三百萬貫……………四六八
 ▲水 産
 南方農林水産協議會建議……………四六八
 十七年度漁獲目標八億七千二百萬貫……………四六八

二百萬貫……………四六八
 ▲鑛・礦業
 重要鑛物指定令公布……………四六八
 帝國石油會社法改正案骨子……………四六八
 產金と鑛發兩會社合併……………四六八
 石炭増産獎勵金規則を改正……………四六八
 石炭の指定品位改正……………四六八
 ▲金屬工業・機械工業
 特殊鋼需給統制規則公布……………四六八
 特殊鋼統制機關指定……………四六八
 鐵鋼製品工組聯創立……………四六八
 船舶用金屬統制會社設立……………四六八
 鋼製業者に統制規則適用……………四六八
 鐵鋼第一、四半期割當決定……………四六八
 ▲纖維工業
 滿洲線麻移入諒解成立……………四六八
 スフ棉新格付、格上げは六工場……………四六八
 ヴェリヤ製品の新規格決定……………四六八
 大同ブロックを結成……………四六八
 スフ重點生産の最後案……………四六八
 製絲聯、簽數整理を積極化……………四六八
 人絹企業統合同業案……………四六八
 製絲統制施設要綱決定……………四六八
 スフ人絹、重點生産實施方針決定……………四六八
 ▲スフ新格付成績決定……………四六八
 織配、分科會設置……………四六八
 玉屑蘭の檢査格付要綱決定……………四六八
 蘭檢定格付改正方法答申……………四六八
 麻業協議會創立總會……………四六八
 綿スフ工聯の操業機數決定……………四六八
 蠶種業改善方策要綱……………四六八
 綿織物プール制運送要綱……………四六八
 人絹絲布輸出振興改組……………四六八
 ▲電力
 追加承繼社債價額決定……………四六八
 發送電料金の政府決定權強化……………四六八

各地配電會社創立……………四六八
 發送、配電管理愈々新發足……………四六八
 鴨綠江水電第三號發電機發電……………四六八
 ▲勞 働
 十六年十一月勞働統計……………四六八
 開拓團編成計畫を決定……………四六八
 一月勞賃低落……………四六八
 ▲雜
 染色工業整備要綱近く通牒……………四六八
 人石事業積極的に保護助成……………四六八
 「陶磁器工業整備要綱」……………四六八
 小造船業の整備統制實施……………四六八
 ▲會 社
 一月の會社合併狀況……………四六八
 ▲創立・設立
 南方汽船會社を創立……………四六八
 棉花開發國策會社設立……………四六八
 南方鑛業開發會社設立……………四六八
 ▲増資・拂込
 三菱重工業臨時總會……………四六八
 北支開發の増資、四月斷行……………四六八
 日立製作所拂込徵收……………四六八
 日本窒素新株第二回拂込……………四六八
 昭和電工拂込徵收……………四六八
 關西急行未拂込徵收……………四六八
 神戸製鋼倍額増資……………四六八
 住友化學倍額増資……………四六八
 發送電増資……………四六八
 帝國鐵道増資總會……………四六八
 帝石増資總會……………四六八
 ▲合同・併合
 北日本漁業合併……………四六八
 東横電鐵、京濱、小田急を合併……………四六八
 北支開發東亞電力興業吸收……………四六八
 擇捉鉆定置漁業の企業合併……………四六八
 東横等三社合併總會……………四六八
 日本電氣治金、大阪電氣を……………四六八

合併 四〇六
 東邦系兩者東京瓦斯傘下 四〇六
 倉敷紡合併總會 四〇六
 日本電力合併總會 四〇六

▲其他
 玉造船、三井造船と改稱 三九六
 配電出資、評價額を審査 三九六
 淺野セメント社長制廢止 三六六
 關西配電定款決定 四〇四
 日電傍系事業を再編成 四〇四
 日電出資額本極り 四〇四
 東邦電力臨時總會 四〇四
 東京電燈一千萬圓獻金 四〇四
 關西配電出資額承認 四〇四
 日電株の發送電株式交換要
 項決定 四〇五
 全國九配電會社資本、出資
 評價決定 四〇五
 日産汽船増資總會 四〇五
 滿蒙毛織増資總會 四〇五
 日本郵船四出張所開設 四〇五
 石原産業、海外部を擴充 四〇五
 大阪商船總會 四〇五
 滿洲重工業臨時總會 四〇五
 滿洲所有株式の肩替り完了 四〇五
 浦賀船渠一割擧置 四〇五
 東拓七分擧置 四〇五
 臺灣電力總會 四〇五
 住友化學擧置 四〇五
 三菱重工業總會 四〇五
 東寶映畫總會 四〇五
 日電鐵構改革斷行 四〇五
 日電證券會社として再出發 四〇五
 鐵鋼販臨時總會 四〇五
 關西配電の機構、人事決定 四〇五
 鐘紡、人織新プロック結成 四〇五
 日通第二次統合決定 四〇五
 東京人絹、旭ベ・プロック
 參加 四〇五
 帝國鐵發に補償規定發動 四〇五

林兼造船部門を獨立 四〇六
 日滿アルミ新重役決定 四〇六
 日鐵、副社長制を設置 四〇六

【物資・需給】
 今期加里肥料配給量二萬六
 千噸 四〇六
 ゴム製品の特配 四〇六
 今度のはゴム足袋の贈物 四〇六
 石鹼消費規正協議會 四〇六
 繩の配給統制規則告示 四〇六
 末端機關の綜合配給制要望 四〇六

▲切符制
 割期的衣料品の綜合切符制 四〇六
 衣料品の種類及點數 四〇六
 衣種符施行地域等指定 四〇六
 割當點數、戰時生活に充分 四〇六
 出產罹災等の場合の切符 四〇六
 正月分菓子切符配給 四〇六
 衣料切符制實施の注意 四〇六
 慰問袋等切符制から除外 四〇六
 紙類は切符制にならない 四〇六
 點數制度お買物の心得帳 四〇六
 衣料切符制の第一次修正 四〇六

▲纖維品
 纖維製品配給消費統制規則 四〇六
 統制機構四本建 四〇六
 大阪人絹商五分の一に壓
 縮 四〇六
 纖維屑配給統制規則改正 四〇六
 纖維品配給會社の口錢指定 四〇六
 纖維製品配給協議會創立 四〇六

▲燃料
 石油公定價格引上げと販賣
 機構の全面的改正 四〇五
 貨物自動車に酒精配給 四〇五
 家庭用石炭來月から切符制 四〇五
 石油液化瓦斯も配給統制 四〇五
 二月分家庭用木炭配給 四〇五

▲食料品
 水産物配給統制規則要綱決
 定 三九六
 味噌、醬油の通帳制實施 三九六
 味噌醬油配給統制規則公布 三九六
 大都市の野菜自給圖計畫 三九六
 味噌、醬油原料大豆供給狀
 況 四〇五
 通帳制當の味噌、醬油 四〇五
 東京魚市場を合同 四〇五
 青果物不足對策協議 四〇五
 魚の配給大改正 四〇五
 罐詰類近く配給 四〇五
 食肉配給機構を改善 四〇五
 鮮魚鹽乾魚の綜合配給 四〇五
 味噌醬油の配給を是正 四〇五
 二月分のお酒が配給される 四〇五
 酒とお菓子の特配 四〇五
 農村用の酒は特に考慮 四〇五
 二月分の菓子配給 四〇五
 めざしの規格三段構へ 四〇五
 酒の地區制配給研究中 四〇五
 大戦果祝賀の酒とお菓子 四〇五
 ビールと小豆の特配 四〇五
 野菜不足對策 四〇五
 空襲下の食糧配給訓練 四〇五
 臺灣からトマトの援軍 四〇五

▲物價指數
 全國小賣物價指數 四〇五、四〇六
 全國卸賣物價指數 四〇六、四〇五
 東京市小賣物價指數 四〇五、四〇六
 東京卸賣物價指數 四〇五、四〇六
 東株々價指數 四〇五、四〇六
 ▲公定價格
 醫藥品十五種に公價指定 四〇五
 お芋の公定價格に三等級 四〇五
 古着類の最高販賣價格決定 四〇五
 石炭用ベルトコンベヤ公價
 指定 四〇五
 モーター編製品公價指定 四〇五
 五十八品目の公價決る 四〇五
 醫藥品等公價改定 四〇五
 カタン絲、綿タオル公價引
 上げ 四〇五
 靴紐、劍道具最高價格告示 四〇五
 アルコール賣渡價格改訂 四〇五
 壘球公價指定 四〇五
 電氣計測器等公價答申 四〇五
 鉛管等公價改定 四〇五
 洋傘地九品目公價 四〇五
 肝油原料最高販賣價格告示 四〇五
 亞硫酸ソーダ公價改定 四〇五
 蓄電池極板公價指定 四〇五
 蓄電池極板公價追加指定 四〇五
 カゼイン類公價指定 四〇五
 和傘部分品公價指定 四〇五
 銀箔の公價指定 四〇五
 製絲用金網の公價決定 四〇五
 日炭の買入價格引上 四〇五

▲株式
 清算取引所得稅設置 三九六
 株式發給會好調 三九六
 東株證據索引に證據金 三九六
 東株證據索引に證據金 三九六
 大株でも證據引上げ 三九六
 昨年平均發行高四十一億突

破 三九六
 東京株價指數 三九六
 株式寄引止の復活 四〇八
 濠取下げ防止申合せ 四〇八
 東株證據索引下 四〇八
 外人株式處分許可不要 四〇八
 東株代用品價格變更 四〇八
 東株三餘柄を長期上場 四〇八
 三月初有價證券時價總額 四〇八
 東株證據索引下 四〇八

貿易
 日本貿易會設立 四〇八
 日本貿易振興社長に東氏推
 薦 四〇八
 日本生絲輸出組合設立 四〇八
 商品別整備基準決定 四〇八
 輸出罐詰検査協會を指定 四〇八

外地經濟
 十六年の朝鮮對内地貿易 四〇九
 東拓の北鮮開拓事業計畫 四〇九
 鮮米實收二千四百八十八萬
 石 四〇九
 鮮肉小賣物價指數反撥 四〇九
 纖維製品の流出抑壓民間側
 と協議 四〇九
 十一月中全鮮勞動賃銀 四〇九
 鮮銀券發行限度 四〇九
 鮮銀券八億五千萬圓臺に引
 上げか 四〇九
 内鮮間貨物輸送順位打合せ 四〇九
 二月手形交換著増 四〇九
 組銀預金貸出増加 四〇九
 二月中對内地貿易入超四千
 二百萬圓 四〇九
 化成肥料の價格引上げ 四〇九
 第二期灣米實收高四百二十

【臺 灣】
 第二期灣米實收高四百二十

社會文化

文 化

- 萬石……………四三三
- 新印刷制團體設立……………三九五
- 各種國際團體の解散改組……………四〇二
- 藝能文化指導專門委員……………四〇三
- 同盟通信社移轉……………四〇五
- ジャパン・クロニクル廢刊……………四〇七
- 日本少國民文化協會發會式……………四〇七
- 日佛直通無電再開……………四〇八
- タイと交換放送開始……………四〇九
- 南方藝能協會發會式……………四〇九
- 日本新聞會……………四〇九
- 日本新聞會(假稱)設立委
員會……………四〇九
- 日本新聞會設立總會……………四〇九
- 日本新聞會役員決定……………四〇九
- 音樂……………四〇九
- 日本蓄音機レコード文化協
會設立……………四〇九
- 文部大臣賃レコード決る……………四〇九
- 美術……………四〇九
- 佛印で日本畫展覽會好評……………四〇七
- 重要美術品認定三百十九件……………四〇七
- 太平洋畫會授賞者……………四〇七
- 名古屋城の壁畫等九十三點
國寶に指定……………四〇七
- 大東亞報に畫家動員……………四〇七
- 日本畫家報國會生る……………四〇七
- 圖書・出版……………四〇七
- 出版文協の推薦圖書……………四〇七
- 演劇・演藝……………四〇七
- 「瑞穂劇團」創立……………四〇七
- 浪曲を健全娛樂へ……………四〇七
- 情報局賞受賞演劇決る……………四〇七

文 藝

- 評論家全國大會……………四六五
- 第一回航空文學授與式……………四〇三
- 巡回映畫に農村の反響……………四六四
- 映畫配給社理事內定……………四〇二
- 映畫興業の全國中央連絡網
關設立總會を舉行……………四〇七
- 映畫配給會社創立總會……………四〇四
- 映畫で英米のデマ爆碎……………四〇五
- 文部大臣賞映畫決る……………四〇二
- 宗教……………四〇二
- 東本願寺內局辭職……………四〇二
- 科學……………四〇二
- 科學アタツシユや南方調査完
佛印へ科學の三戰士派遣……………四〇二
- 有栖川宮記念賜金……………四〇二
- 新學士院會員に……………四〇二
- 山西資源調查團決定……………四〇二
- 學士院受賞者新會員等決定……………四〇二
- 國語の橫書は左書……………四〇二
- 日獨青年學徒論文入選者賞
品授與式……………四〇二
- 安土城の遺構發掘……………四〇二
- 法隆寺五重塔解體修理……………四〇二
- 發明・研究……………四〇二
- 鮮魚の貯藏法發明……………四〇二
- 重油機關代燃化の發明……………四〇二
- 石灰から羊毛代用品……………四〇二
- 肝臟疾患新診斷法……………四〇二
- 優先浮遊選鐵法完成……………四〇二
- 學位授與……………四〇二
- 教育……………四〇二
- 學徒に初の出勤令書……………四〇二

學 術

- 教育振興議員聯盟理事會……………四六五
- 學徒海洋教練振興會發足……………四〇三
- 教育奉仕隊歸京……………四〇三
- 滿洲第五回留日學生入京……………四〇八
- 帝都初の報國隊聯合大會……………四〇三
- 祝賀行事文部省から指定……………四〇四
- 本年度海外派遣教員割當……………四〇四
- 學生の徵兵検査要項……………四〇四
- 專檢施行要項發表……………四〇四
- 家庭教育の國策協力……………四〇七
- 青年學校關係……………四〇六
- 青年學校振興運動週間……………四〇六
- 青年學校の制服制帽定る……………四〇六
- 國民學校關係……………四〇六
- 東京府教員不足對策……………四〇六
- 國民學校新奉任待遇者決定……………四〇六
- 殉職の佐々木國民學校教頭
を追彰……………四〇六
- 師範用國史下巻決定……………四〇六
- 國民學校三四年の新教科書毛
書締切……………四〇五
- 中等學校關係……………四〇五
- 東京府下中等學校入試內申
書締切……………四〇五
- 中女學校の數學、理科教授
要目改正……………四〇五
- 中等教科書の一元發行實現……………四〇五
- 大學高專關係……………四〇五
- 探礦科學生に給費實施……………四〇五
- 夜間高等工業六校新設……………四〇五
- 高校理科生増募……………四〇五
- 帝大理工生増募……………四〇五
- 高工増募人員發表……………四〇五
- 高等商船に中學四年から……………四〇八
- 全國官立高校入學志願者締
切……………四〇五
- 東大工學部無試驗狀態……………四〇五
- 臨時教員養成所五箇所増設……………四〇五
- 高校教員大刷新……………四〇五
- 全國官立高校入學志願者數……………四〇五
- 高校教育の轉換……………四〇五

勞 務・厚生

- 醫科學制の刷新協議會……………四六五
- 帝大醫大の入學志願者著増……………四五五
- 專門學校志願者數決定……………四五五
- 高校教育大改革……………四七五
- 名大理學部獨立工學部強化……………四七五
- 東大第二工學部授業開放……………四七五
- 勞務……………四七五
- 勞務者住宅三月迄に三萬戶……………四七五
- 勤勞者表彰制度決る……………四七五
- 陸軍女子挺身隊を募集……………四七五
- 首相產業戰士へ訓示……………四七五
- 厚相勤勞報國際視察……………四八三
- 東部國民勤勞訓練所入所式……………四八三
- 青少年の國防檢定……………四八三
- 大戦下機械實働率増進運動……………四八三
- 東京建築工業養成所入所式……………四八三
- 若き產業戰士に伊勢參宮の
御褒美……………四八三
- 產報、青年隊指導者養成會……………四八三
- 青少年團が勤勞倫理運動……………四八三
- 國民鍊成所先づ教職員鍊成……………四八三
- 皇國產業の興隆に邁進せよ
(首相放送)……………四八三
- 工場、鑛山勞務者家族手当
増額……………四八三
- 產報中央鍊成所開設……………四八三
- 學校卒業者使用制限令改正……………四八三
- 女子坑内就業特別期間延長……………四八三
- 厚生……………四八三
- 結婚報告懇談會近く誕生……………四八三
- 健康、職員兩保險を統合……………四八三
- 日本小兒保健報國會創立……………四八三
- 國立產業安全研究所開設……………四八三
- 職業指導所監査規定制定……………四八三
- 工場法施行規則改正……………四八三
- 青少年團に授産給金の貸出……………四八三
- 滿洲に東京村建設……………四八三
- 藥業の整備要綱成る……………四八三

社 會 一 般

- 保健協會初の大會……………四八三
- 母性保健會結成……………四八三
- 原胤昭氏に餐餐下賜……………四八三
- 東京市方面委員大會……………四八三
- サラリマン家族手當改善……………四八三
- 官業從業員の結核豫防……………四八三
- 結核豫防大會……………四八三
- 要救護者の給與を増額……………四八三
- 隣組會も八日を中心に……………四八三
- 飲食稅等領收書統一……………四八三
- 防諜協會を新設……………四八三
- 銃後奉公國民總進軍大會……………四八三
- 紀元節國民奉祝實施要綱……………四八三
- 營業許可の申請受付開始……………四八三
- ヒマ栽培運動を展開……………四八三
- 御修法の御衣奉還……………四八三
- 會會開催日遺棄……………四八三
- 經濟道義昂揚運動……………四八三
- 消防機械化隊隊檢閱式……………四八三
- 臺灣拓土道場第二回入所式……………四八三
- 高領所得者貯蓄組合結成……………四八三
- 陸軍女子挺身隊員入所式……………四八三
- 「私生子」の稱呼抹殺……………四八三
- 一般抑留米人に神戶へ……………四八三
- 興南地亞米創立總會……………四八三
- 大阪で東亞民族大會……………四八三
- 三笠保存會後任會長決定……………四八三
- 故大角大將一周忌追悼會……………四八三
- 大東亞少國民大會……………四八三
- 加藤寬治大將慰靈祭……………四八三
- 紀元節慶祝……………四八三
- 傷痍軍人會表彰式……………四八三
- 婦人國民服決る……………四八三
- 滿洲建國十周年慶祝行事……………四八三
- 國民貯蓄標語決る……………四八三
- 軍刀鑑査委員會設置……………四八三
- 飲食店、料理屋等の新設は……………四八三

不許可方針…………… 四六五
 滿洲建國十周年慶祝行事…………… 四六四
 戰捷に輝く陸軍記念日…………… 四六四
 隣組の育成に警視廳通牒…………… 四六四
 印度聯盟橫濱支部創設…………… 四六五
 東京府方面委員大會…………… 四六五
 統劍道振興會東京聯合會結成…………… 四六五
 アオスタ公追悼會…………… 四六三
 航空工業への貢獻を感謝…………… 四六四
 全國の優良部落會、町内會表彰…………… 四六四
 三棋士八段に…………… 四六四
 全國方面委員代表者會議…………… 四六四
 理研創立廿五周年記念式典…………… 四六四
 上野動物園開園六十周年…………… 四六四
 ▲大東亞戰爭關係
 大東亞戰爭と獻金…………… 四六六
 米英擊滅東亞民族大會…………… 四六六
 ダウア才犠牲者の追悼會…………… 四六六
 海軍へ獻金一億二千餘萬圓…………… 四六六
 俘虜郵便物の規則改正…………… 四六六
 俘虜宛小荷物無貨輸送…………… 四六六
 シ港陥落記念切手…………… 四六六
 戰捷第一次祝賀日の帝都…………… 四六六
 戰捷第一次祝賀國民大會…………… 四六六
 海軍への獻金新記録…………… 四六六
 大東亞戰爭完遂講演會…………… 四六六
 大東亞戰爭戦歿者慰靈祭…………… 四六六
 フアツシヨ黨員負傷病將兵招待祝賀會…………… 四六六
 第二次戰捷行事…………… 四六六
 敵性アマ完碎に放送局活躍…………… 四六六
 ▲青少年團關係
 大日本青少年團の飛躍…………… 四六六
 大日本青年團訓練要項制定…………… 四六六
 大日本青少年團の計畫…………… 四六六
 青少年團指導協議會…………… 四六六
 ▲婦人會關係
 大日婦の中央本部結成…………… 四六六

大日本婦人會發會式…………… 四六六
 婦人三團體の解散式…………… 四六六
 大日本婦人會慰問感謝…………… 四六六
 ▲關門墜道
 關門墜道全港函沈下終了…………… 四六六
 關門墜道完全貫通…………… 四六六
 ▲通信
 東京・リスボン間直接無電…………… 四六六
 南方軍事郵便取扱…………… 四六六
 香港との郵便業務開始…………… 四六六
 ▲神事
 元冠に因む七神社戰捷祈願…………… 四六六
 榎原神宮の建國例祭…………… 四六六
 新年祭…………… 四六六
 靖國新祭神一萬五千七柱…………… 四六六
 第四回遺兒靖國神社參拜…………… 四六六
 ▲檢察・裁判
 自肅に明けた帝都の正月…………… 四六六
 魚、野菜の闇を摘發…………… 四六六
 惡徳家主等に鐵槌…………… 四六六
 闇取引に營業停止…………… 四六六
 統制惡用の潰職二件…………… 四六六
 家主の惡貫違反激増…………… 四六六
 衣料品點數制と取締方針…………… 四六六
 衣料切符制最初の違反…………… 四六六
 大審院檢事局思想部強化…………… 四六六
 隣組長に配給事務停止權有無…………… 四六六
 優良服役者に假出所の恩典…………… 四六六
 川村元知事等闇の揉消暴露…………… 四六六
 平野市議留置…………… 四六六
 鱧の闇摘發…………… 四六六
 衣料切符制の闇に斷…………… 四六六
 佐々木仙鐵副參事留置…………… 四六六
 ソルチンを甘味代用に販賣…………… 四六六
 の業者檢査…………… 四六六
 假出所百二名…………… 四六六
 家賃地代に初の減額命令…………… 四六六

衣料品の違反初起訴…………… 四六六
 ▲裁判
 親英米派重臣暗殺計畫解禁…………… 四六六
 量目違反等に詐欺罪の判決…………… 四六六
 淺野セメントに控訴判決…………… 四六六
 不逞基督教徒叛逆罪で求刑…………… 四六六
 風間多額議員判決確定…………… 四六六
 伊東府議に罰金…………… 四六六
 第二帝都教育疑獄判決…………… 四六六
 七・一五事件第一回公判…………… 四六六
 ひとのみち關係者判決…………… 四六六
 今井博士に執行猶豫…………… 四六六
 七・五事件被告に求刑…………… 四六六
 田淵代議士に罰金二十圓…………… 四六六
 七・五事件の判決…………… 四六六
 ▲新判例
 贈賄罪は職務行爲の不正に關係なし…………… 四六六
 ▲災害
 一 般
 志賀高原でスキーヤー遭難…………… 四六六
 帝都の天然痘…………… 四六六
 北海道各地に水害…………… 四六六
 伊勢灣で中華機遭難…………… 四六六
 静岡の奇病益々蔓延…………… 四六六
 ▲火災
 五反田の工場街焼く…………… 四六六
 外務省の一部焼く…………… 四六六
 外務省の火事は失火…………… 四六六
 開戦一ヶ月半で火事三百餘件…………… 四六六
 長崎の大火…………… 四六六
 山梨の火事…………… 四六六
 下關の火事…………… 四六六
 樺太臨焼く…………… 四六六
 樺太臨火災原因…………… 四六六
 ▲地震
 東京以北に地震二回…………… 四六六
 東北、關東地方地震…………… 四六六

東北の地震…………… 四六六
 ▲交通事故
 線路除雪勤勞奉仕者奇禍…………… 四六六
 下り特急脱線顛覆…………… 四六六
 川口驛構内の椿事…………… 四六六
 島原線の列車正面衝突…………… 四六六
 ▲鐵山事故
 長生炭坑で陥没浸水…………… 四六六
 上砂川坑爆發…………… 四六六
 花岡鐵山元山ダム決潰…………… 四六六
 【計】元充、四〇五、四三二、四三六、四三六
 池田大伍氏…………… 四六六
 郷誠之助男…………… 四六六
 金杉英五郎氏…………… 四六六
 山村耕花畫伯…………… 四六六
 徳山蓮氏…………… 四六六
 小川平吉氏…………… 四六六
 棚橋一郎氏…………… 四六六
 堀内文次郎中將…………… 四六六
 河合武雄氏…………… 四六六
 建昌大夢氏…………… 四六六
 ▲一般
 大日本學徒體育振興會役員決定…………… 四六六
 I・O・C委員長ラッフル伯逝去…………… 四六六
 東亞大會準備委員決る…………… 四六六
 颯へるマニラ體育會…………… 四六六
 學徒體振技術專門部設置…………… 四六六
 朝鮮體育界の統制成る…………… 四六六
 武道體育兩綜合團體近々發足…………… 四六六
 海洋浴場海洋少年團で建設…………… 四六六
 除外種目に對する文部省方針表明…………… 四六六

體育

學徒に海洋訓練…………… 四六六
 勤勞者にゴムボール特配…………… 四六六
 ▲明治神宮體育會
 冬季大會選手等神宮參拜…………… 四六六
 神宮大會水上競技…………… 四六六
 明治神宮冬季大會スキー競技…………… 四六六
 ▲スキー・スケート
 ドイツ・スキーを軍へ獻納…………… 四六六
 學生スキーに明大四連覇…………… 四六六
 學生スキー大會閉幕…………… 四六六
 早慶對校スキー…………… 四六六
 シニ盃爭奪スキー…………… 四六六
 朝日盃飛躍に茂木連覇…………… 四六六
 學生氷上選手權競技…………… 四六六
 高專氷上に北大豫科優勝…………… 四六六
 關東實業水球選手權…………… 四六六
 東京型滑水球大會…………… 四六六
 明立水球戰…………… 四六六
 ▲野球
 黑鷲の澤監督、審判に轉向…………… 四六六
 明大野球部監督に大日氏…………… 四六六
 阪神對阪急定期決勝戰…………… 四六六
 ジュニカボールを正式採用…………… 四六六
 三球團野球阪急優勝…………… 四六六
 恒例の神宮野球場開き…………… 四六六
 六大學野球OB戰…………… 四六六
 日本野球優勝大會…………… 四六六
 新球普及公開試合…………… 四六六
 春季野球前哨戰…………… 四六六
 ▲陸上競技・水上競技
 百軒耐寒行軍成功裡に終る…………… 四六六
 慶應驛傳初制覇…………… 四六六
 學振の行軍大會…………… 四六六
 建國祭マラソン…………… 四六六
 ハウスホーファール戰死…………… 四六六
 米英擊滅織走西軍優勝…………… 四六六
 關東大學專門女子行軍大會…………… 四六六
 關東大學高專行軍大會…………… 四六六
 ウエカー讓又も世界新記録…………… 四六六

▲庭 球

▲全日本庭球順位決る……三九五
關東地方庭球順位……四三二
▲拳 闘
入隊志願のデムプシー……三九〇
堀口、結城と引分け……三九五
堀口兄弟判定勝……四三九
笹崎判定で勝つ……四七五
▲ラグビー
東西大學ラグビー戦……三九〇
慶應ラグビー同大に三連覇の八
歸選勇士軍制勝……四四三
五大學O・Bラグビー……四四三
五大學O・Bラグビー第一
日……四七五
日大ラグビー部長急逝……四七五
五大學O・Bラグビー……四七五
立大O・Bラグビー優勝……四七五
關東大學ラグビー……四七五
關西O・B勝つ……四七五
▲蹴 球
東日本高校蹴球一高優勝……三九〇
松山校西日本蹴球に優勝……三九〇
瑞西對佛蹴球に決勝……四六五
東西蹴球戦引分……四七五
▲ホッケー・送球
獨人俱ホッケー戦に勝つ……四七五
獨人俱ホッケーに連勝……四七五
獨人俱樂部ホッケーに勝つ……四七五
▲卓球・體操
東郷旗爭奪卓球……三九〇
業種別産業體操完成……四一五
ラジオ體操表彰式……四一五
▲武道・相撲
武道綜合團體組織要綱決る……四七五
大日本武德會發足……四七五
武道指揮者鍊成會……四七五
兩軍神に柔道四段を贈る……四七五
明大遠的銃射に優勝……四七五

▲春場所大相撲番附發表……三九五
春場所大相撲双葉優勝……三三三
男女の川引退……四三二
五ツ島引退……四三二
大相撲夏場所五月十日から……四七六
▲其 他
グライダーを正課に……三九〇
滑空に日本新記録……三九〇
戸山學校で射撃大會……四〇五

東 亞

新支那建設

加總司令官年頭の辭……三九〇
古賀司令長官年頭の辭……三九〇
米陸戰隊全員を天津に收容……三九〇
加總司令官談話發表……四〇八
支那派遣軍總參謀長談……四〇六
孫文の靈廟を國府に移交……四七五
天津、廣東兩租界行政移管……四七五
杭州の敵産を國府へ移管……四〇一

▲【財政・經濟】
敵地區の物價昂騰激化……三九一
敵性工場軍管下に置かる……四一八
中支の敵性企業を軍管理に……四〇一

國民政府

▲一 般
二月一日より日本時間採用……三三三
毎月八日を記念日に決定……四四四
▲要人言説
汪主席演說放送……四三〇
林國府宣傳部長談……四三〇
汪主席の慶祝放送……四四四
東亞保衛紀念日につき汪主
席聲明……四六〇

孫文逝世記念日に汪主席談話

【遷都二周年】
汪主席所信披瀝……四七五
國府の發展に協力……四七八
記念式典舉行……四七九

政 治・外 交

重光大使信任狀捧呈……四〇七
伊獨大使信任狀捧呈……四〇七
時局策進委員會設置……四三三
香港救濟費支出決定……四三三
國府法院接收……四三〇
汪主席東條首相に祝電……四四四
租界行政權移交反響……四四四
▲人 事
要人動靜……四〇七、四一八
重先大使、獨伊大使を訪問……四二二
重光大使北京へ……四四〇
丁、洪、クロアチア公使決
定……四三八
考試院長に江九虎氏……四四〇
デンマーク公使汪主席訪問……四七五

財 政・經 濟

▲【財 政】
船舶乘客通行税の徴收を開
始……三九三
輸入轉口兩税に附加税を徴
收……三九三
蘇浙皖三省の綿糸布統稅引
上げ……三九三
海關稅收五億四千萬元……三九三
蘇浙皖三省麥粉稅引上げ……四〇七
桐油及び茶葉に特別稅徵收……四三三
財政部駐滬辦事處開設……四三三
十六年度國債消化案決定……四三八
國府の統稅收入激減……四六八
桐油等に臨時特稅を徵收……四六八
占領地海關の輸出申告に
日本文を併用……四七六

【金 融】

中央儲備銀行創立一周年……三九三
儲備券發行高內譯……三九三
儲備券發行高……四〇九、四三〇
四三九、四三三

▲【金 融】
儲備銀行一年間の業務……四〇五
儲備銀行顧問附に萩原正金
參事就任……四三三
儲備券發行高の増勢顯著……四四九
儲備券の需要激増……四五三
奧地の儲備券信用促進策……四五三
儲備銀行辦事處増設……四五三
旅行者の携帶金を制限……四六八
儲備銀行預金の増勢顯著……四六八
儲備券發行高四億八千六百
萬元……四六九
海關納稅用儲備券換算建値
引上……四〇六
儲備券の舊法幣等價交換廢
止……四〇二
儲備銀行昨年末決算……四〇三

北 支 情 勢

▲【生 産】
國府農業改進區を設置……四〇七
▲【政 治 一 般】
本年は華北の劃期的飛躍の
時……四七九
華北省市長會議……四〇七
青島人口増加……四〇七
建築認可手續簡略化……四〇七
新黃河北流計畫進む……四〇六
本年度新黃河治水計畫決定……四三六
石門市防水濠第二期建設着
手……四四四
外間海州鹽務副局長退任……四四四
王政務委員長戰勝の祝電……四四四
保定に市制施行……四六八
天津英租界行政移管式……四七九

第四次華北治安強化運動を
展開

▲【政 治・經 濟】
臨時華北經濟懇談會開催……四〇七
敵國金融機關管理委員會新
設……四三三
河南建設大綱決定……四三三
建設總署本年度事業計畫……四三三
興中會創立總會……四四四
華北經濟界平穩に越年……四四四
青島商議職業別代表議員……四四四
太原邦商業種別調査……四四四
北支四十二工場管理解除……四四六
重要物資保有申告を布告……四四六
本年度華北財政金融物資對
策……四六六
▲【財 政】
經濟統制機構の日華一體化……四六六
山東重要物資増産に拍車……四〇七
▲【財 政】
華北政務委員會本年度豫算
決定……三九三
新年度から民團稅の統一實
施……三九三
濟南地區統稅收入激増……三九三
開封統稅收入増加……四〇六
青島統稅收入激増……四〇六
華北統稅引上げ……四〇六
華北統稅收入激増……四〇六
濟南地區統稅收入（一月）……四四四
開封統稅局稅收著増……四四四
一月中の華北統稅收入……四六六

▲【金 融】
滙申爲復復活辦法實施……三九三
新機構の下に滙申取引再開……三九三
聯銀券の基礎強化……三九三

開封信用組合創立總會……………四二四
 在北京米英銀行管理者決定……………四二四
 日本銀行自由貸付限度の引上重要……………四二四
 舊法幣の交換比率決定……………四二四
 山東省農業銀行設立正式認可……………四二四
 天津敵性六銀行の預金拂出要綱……………四二四
 預金拂出順調に進展……………四二四
 北京正金預金利率引上げ……………四二四
 昨年末の内外貸付債總額……………四二四
 河南省春耕貸款……………四二四
 北京居留民團債發行……………四二四
 舊正明け聯銀券收縮順調……………四二四
 山東省春耕貸款貸出方法決定……………四二四
 聯銀の信用鞏固を加ふ……………四二四
 有獎儲金制度好成绩……………四二四
 ▲農林・水産
 華北棉收獲豫想……………四二四
 山東棉出廻り増加……………四二四
 青島の棉花收買順調……………四二四
 北支棉花協會改組完了……………四二四
 山東省蠶井調查班派遣……………四二四
 灌漑用動力に石炭瓦斯發生……………四二四
 種子輸入計畫決定……………四二四
 華北食糧増産計畫確立……………四二四
 山東葉煙草出廻り良好……………四二四
 華北棉作拋棄論當局問題にせず……………四二四
 山東省棉花増産方策決定……………四二四
 木材自給計畫樹立……………四二四
 河北省食糧自給策決定……………四二四
 緊急食糧増産委員會を設置……………四二四
 蠶井準備調査終了……………四二四
 山東省春耕資金増額……………四二四
 華北秋耕資金貸付決定……………四二四
 華北棉増産計畫推進……………四二四

華北四省棉花收獲高……………四二四
 河北造林計畫順調に進行……………四二四
 河北各地に農業倉庫建設……………四二四
 食糧増産の長期建設體制成る……………四二四
 河南省水田開拓進捗……………四二四
 蘇淮地區の農産物増産對策……………四二四
 京津地區（原麥）輸送……………四二四
 河南省の牧畜増産計畫……………四二四
 北支産米收買好成绩……………四二四
 河北省の水稻増産計畫……………四二四
 十六年中河南雜穀の動き……………四二四
 豫東道で家畜共進會開催……………四二四
 豫東豫北兩道蠶井實施……………四二四
 豫東豫北水利事業計畫發表……………四二四
 蘇淮地區農產高利明……………四二四
 蘇淮地區畜牧保育狀況……………四二四
 山東省綠化計畫進む……………四二四
 山東省荒地利用實施……………四二四
 河南省産の鮮卵對策……………四二四
 蘇淮地區小麦作付反別……………四二四
 河南省産の藥草利用……………四二四
 石門地區蠶井狀況……………四二四
 京漢線地區棉花出廻り激増……………四二四
 山西省農産委員會設立……………四二四
 海州水産組合創立總會……………四二四
 ▲鑛・工業
 軍管理解除九工場日華合辦……………四二四
 軍管理の各地電燈廠華北電氣で引續ぎ運營……………四二四
 北京同業結合聯合會第一回理事會……………四二四
 華北纖維團體統制改組案要綱決定……………四二四
 京津間送電線近く完成……………四二四
 北京鐵工機器製造業組合結合……………四二四
 華北石炭の重要性……………四二四
 華北に大製鐵所新設……………四二四

灤河水力發電所工事本年度着工……………四二五
 中華聯營社豫定數量製造に努力……………四二五
 華北輕工業の生擴制限緩和……………四二五
 北支開發發達工場を建設……………四二五
 世界一石膏資源發見……………四二五
 北京鐵鋼機器組合創立總會……………四二五
 華北鑛山の増産計畫……………四二五
 新地土資源發見……………四二五
 金嶺鎮鑛山格格的採掘……………四二五
 蘇淮地區の油房活氣づく……………四二五
 輕工業促進の急務……………四二五
 華北鹽業春鹽採取に着手……………四二五
 海州鹽増産豫想……………四二五
 ▲勞務
 青島技術者聯盟近く結成……………四二五
 渡瀆山東勞働者激増……………四二五
 天津地方勞力統制委員會設置……………四二五
 勞工食糧問題の解決に努力……………四二五
 勞務興會々費決定……………四二五
 北京技術者聯盟結成を計畫……………四二五
 華人技術者養成機關設置……………四二五
 華北へ少年義勇隊派遣……………四二五
 河南苦力一萬五千名滿洲へ引中……………四二五
 ▲貿易
 上海向落花花生油移出契約成立……………四二五
 濟南對中支貿易半減（十二月）……………四二五
 濟南地區對日期待輸入物資著減……………四二五
 青島對上海砂糖移入契約成立……………四二五
 濟南、芝罘兩地區への物資搬入は關係機關の證明が必要……………四二五
 對華中物資交流に業者努力……………四二五

對南方貿易に期待……………四二五
 滿華國境貿易會議……………四二五
 華北貿易組聯新規事業……………四二五
 徐州地區對華中移出入活況……………四二五
 臨時交易取締辦法修正……………四二五
 十七年度の華北貿易計畫……………四二五
 徐州地區必需品物資移入見透……………四二五
 華北輪配組總聯改稱……………四二五
 厚和に輸入組合支部結成……………四二五
 海州移入配給組聯運營開始……………四二五
 華北中支交易協定成立……………四二五
 日本代表商品見本市天津で開催……………四二五
 ▲物資、需給
 滯貨となつた北支棉花……………四二五
 天津農業協力委員會結成……………四二五
 石門綜合貯炭場落成……………四二五
 山東特務機關小麦粉配給要領公布……………四二五
 雜糧雜貨商組合二月末に結成……………四二五
 濟南地區の麵粉對策奏功……………四二五
 濟南地區の小麦粉供給潤澤……………四二五
 山東省内の燈用石油配給制限……………四二五
 天津市場當限受渡完了……………四二五
 唐山市場當限受渡額……………四二五
 魯西地區の食糧不足緩和……………四二五
 華北食糧品需給統制協議會設立……………四二五
 食糧對策會議華北側出席者決定……………四二五
 華北食糧需給不安なし……………四二五
 天津物資對策委員長告示……………四二五
 北支棉花協會新陣容決定……………四二五
 青島取引所籌備案大中引上……………四二五
 華北向紗棉花出廻り順調……………四二五
 魯西地區棉花當限決定……………四二五
 濟南輪配機構再編成進む……………四二五
 下半年開封地區移出雜穀數……………四二五

營業用砂糖二月分配給……………四二五
 食糧品對策順調に進行……………四二五
 天津麵粉在庫高增加……………四二五
 南方食糧の北支割當決定……………四二五
 全山西の在庫品九千萬圓……………四二五
 新民會抑制精神滲透に努力……………四二五
 天津地區華商手持綿布布人網在庫……………四二五
 一月中濟南物資需給狀況……………四二五
 石油、鹽、燐寸の專賣實施……………四二五
 煉瓦共販設置問題擡頭……………四二五
 保定地區小麦粉對策……………四二五
 京津間物資交流圓滑化……………四二五
 唐山市場二月限受渡……………四二五
 主要食糧品の入荷販賣在荷高……………四二五
 日本商業統制組聯役員會……………四二五
 保定安平收買配給組合創立……………四二五
 現地重要物資切符制實施要綱……………四二五
 華北纖維協會創立……………四二五
 中央地方纖維品統制委員會設立……………四二五
 ▲物價
 十二月中旬北京卸賣物價指數……………四二五
 天津物價昂騰步調……………四二五
 北京卸賣物價微騰……………四二五
 青島卸賣物價……………四二五
 青島海產物相場騰勢顯著……………四二五
 華北小麦粉軟調……………四二五
 青島物産高の原因……………四二五
 落花生、同油相場暴騰……………四二五
 開封麵粉販賣價格引上……………四二五
 天津物價指數昂騰……………四二五
 一月下旬北京卸賣物價……………四二五
 北京卸賣物價指數微騰……………四二五

- 天津卸小賣物價指數……………四七〇七
- 青島小賣物價指數……………四七〇七
- 開封地區の石炭値下……………四七〇七
- ▲運輸・通信
- 青島自動車輸配組合改組……………四〇八八
- 華交貨物輸送高激増……………四〇八八
- 山東地區輸配機構改組立案會議……………四〇八八
- 秦皇島港灣整備に重點……………四二〇四
- 山海關の鐵道業務一元の經營……………四二〇四
- 大東亞共榮圈鐵道建設を研究……………四二〇四
- 華北勞工の輸送連絡協議會設立……………四二〇四
- 天鐵管內貨物輸送高(十二月)……………四二〇四
- 衛河船主公會員激増……………四二〇四
- 石德線の四驛昇格……………四二〇四
- 二月中の華北交通貨物輸送高……………四二〇七
- ▲會社・銀行
- 北支開發十七年度豫算……………四二〇七
- 濟南各銀號營業內容……………四二〇七
- 開發本社の北京移動運動……………四二〇七
- 北支開發資金增加せん……………四二〇七
- 石景山製鐵所コークス爐一部火入式……………四二〇七
- 東京海上、出張所開設……………四二〇七
- 濟南銀行下半年決算……………四二〇七
- 北支開發直接事業を經營……………四二〇八
- 濟南市場會社設立案進む……………四二〇八
- 新鄉市場會社株主總會……………四二〇八
- 徐州取引所設立氣運濃化……………四二〇八
- 華北交通倉庫を新設……………四二〇八
- 北支自動車濟南修理工場竣工……………四二〇八
- 北支開發人造石油に進入……………四二〇八
- 北支開發増資問題……………四二〇八
- 山東農業銀行三月開業……………四二〇八
- 北支開發企業委員會設置……………四二〇八

中支情勢

- ▲一般
- スターマー大使南京着……………四二七四
- 重光大使南京着……………四二七四
- 在滬比島人東亞共榮團へ……………四二七四
- スターマー獨大使新任談……………四二七四
- 要人動靜……………四二七四
- 捕虜艦長記者團と會見……………四二七八
- 南京の慶祝……………四二七八
- 重光大使漢口へ……………四二七三
- 華僑の近況……………四二七三
- 中支在滬邦人十四萬七千餘名……………四二七三
- 大治に領事分館開設……………四二七三
- 南京で重慶テロ分子逮捕……………四二七三
- 南京の民衆慶祝大會……………四二七三
- 後宮總參謀長視察談……………四二七三
- ▲【財政・經濟】
- 經濟地區蘇北の確立方策答申……………四二七八
- 華中聯絡部物資統制要項……………四二八〇
- 重要物資移動許可制運用方法……………四二八〇
- 更に十五工場の民間委託經營……………四二八三
- ▲【財政・金融】
- 邦人銀行も滙預金勘定開

- 設……………四二八五
- 華興商業儲蓄信託兩部設置……………四二八五
- 漢口銀行増資一躍五百萬圓……………四二八五
- 日系、日華合辦會社に備備……………四二八五
- 銀行融資……………四二八五
- 華商方面の舊正決濟を備銀が援助……………四二八五
- 破損紙幣兌換辦法決定……………四二八五
- 破損紙幣の受入れ今尙拒絕……………四二八五
- 現地商社に國債割當……………四二八五
- 中支金融政策轉換……………四二八五
- 舊法幣との交換を暫時停止……………四二八五
- 郵便儲金滙業局舊法幣を拒絕……………四二八五
- 海關總稅務司署に企劃課を新設……………四二八五
- ▲産業
- 擔寸原料手持高約三ヶ月分……………四二八五
- 日華麻業増産五ヶ年計畫樹立……………四二八五
- 蘇淮地區農產物増産計畫……………四二八五
- 支那蒙疆食糧對策會議開催決定……………四二八五
- 三角地帶華人紡は自由線業……………四二八五
- 日系煙草進出顯著……………四二八五
- 華中蠶業大源農場復活……………四二八五
- 麻袋の代用品研究……………四二八五
- 京漢沿線棉花の特約栽培制實施……………四二八五
- 本年度中支小麥收穫豫想……………四二八五
- 棉產改進會の増産計畫……………四二八五
- 十七年度日華綜合生産計畫……………四二八五
- 中支蠶瓦業者提携……………四二八五
- 華中蠶系三工場の操業再開……………四二八五
- ▲貿易
- 中支貿易南方に期待……………四二八五
- 全支及び上海貿易統計不發表……………四二八五
- 印度產新麻袋入荷杜絶……………四二八五

- 中支對南方貿易計畫立案中……………四二八五
- 對南方輸出一貫的統制機關設立……………四二八五
- 對華中移出組合業務狀況……………四二八五
- 徐州移出組合代表華中……………四二八五
- 南方地域から小麥粉需要……………四二八五
- 中支日本材輸入共販組合機構整備……………四二八五
- 對日供給搾油原料の滞貨減少……………四二八五
- 中改貿易運營方針……………四二八五
- 北支向け小麥粉移出業者統合……………四二八五
- 張家口向けに綿糸布輸出談成立……………四二八五
- ▲物資・物價
- 邦人食料品の公定價格制實施……………四二八五
- 食油の關取引防止……………四二八五
- 豚毛禽毛相場暴落……………四二八五
- 一元的配給機構の確立と要請……………四二八五
- 產地の糧穀買付値段暴騰……………四二八五
- 中支米穀組合價格引上げ……………四二八五
- 日本酒、麥酒の最高價格決定……………四二八五
- 第八回棉花買上價格決定……………四二八五
- 奧地への綿糸綿布搬出量半減……………四二八五
- 綿糸布現物商内に完全停止……………四二八五
- 張家口に向け綿布商談成立……………四二八五
- 中支小麥相場奔騰……………四二八五
- 中支棉花協會買上値引上……………四二八五
- 中支鮮卵對日供給割當追加……………四二八五
- 中支煙草組合トラスト製品を配給……………四二八五
- 中支和平地區の二月分搬出基準數量決定……………四二八五
- 石門地區棉花出廻り好調……………四二八五
- 中支奧地向煙草搬出量……………四二八五

- 蘇浙羊毛を一手販賣……………四二八五
- 食糧配給調整委員會組織……………四二八五
- 中支原麥出廻り一段落……………四二八五
- 北支陸路物資交流に組合バーター……………四二八五
- 綿絲布三月積搬出數量增加……………四二八五
- 中支製粉聯合會肥料購入……………四二八五
- 南京卸賣物價指數急騰……………四二八五
- ▲運輸・通信
- 中支戎克協會航路擴張準備……………四二八五
- 中……………四二八五
- 華中鐵道貨客輸送激増……………四二八五
- 上海對南方航路漸次回復……………四二八五
- 華中轉運公司を設立……………四二八五
- 中支航運統制組合運賃共同計算方法を變更……………四二八五
- ▲會社・銀行
- 中華煙草三月初に設立完了……………四二八五
- 中支那振興關係會社の事業概觀……………四二八五
- 中支振興子會社事業計畫重點化……………四二八五
- 中支振興機構改革具體案提出……………四二八五
- 中支振興經理課長更迭……………四二八五
- 華中蠶絲の營業方針轉換……………四二八五
- 華中蠶絲短纖維加工を積極化……………四二八五
- 中央信託公司業績順調……………四二八五
- 中支振興改組案成る……………四二八五
- 上海三麥酒製造會社共配實施……………四二八五
- 儲備銀行寧波支行開設……………四二八五
- 華興商業銀行決算……………四二八五
- ▲同業會・同業組合
- 華僑煙草業者中華煙草組を設立……………四二八五
- 徐州地區紙卸賣組合成立……………四二八五
- 中支製粉聯合會常務理事を補充……………四二八五

華中織布工業組合設立... 華中棉產改進會新年度事業計畫... 華北纖維組合海州出張所開設...

軍配組合下期決算案可決... 日華石炭業者大同團結... 日華鐵鋼同業公會結成式... 日華木材同業公會創立總會...

日華工業藥品同業公會聯合會創立... 日商人絹人織絲布同業會設立... 日華紙業同業公會聯合會成立...

上海租界市參事會改組... 上海よりの歸郷者三十萬人... 上海、香港間郵便連絡再開...

上海、香港間郵便連絡再開... 上海全市日本時間採用... 家賃賃貸権利金禁止... 兩租界戸口調査開始...

上海の職勝祝賀... 上海市政研究會機構を擴大... 共同租界人口調査完了...

租界人口疎散進捗... 上海租界人口發表... 上海工部局警視總監更迭... 上海工部局警察主腦更迭...

工部局事務總長決定... 工部局第二次減俸... 上海市人口六十四萬... 上海米人の歸國希望者受付...

上海の戰捷祝賀大會... 上海經濟週報... 上海產業界... 上海經濟週報... 上海商議會議頭、松村理事...

上海商議會議頭、松村理事... 上海商議會議頭に青木氏... 上海舊正決濟順調... 上海各市場活氣づく...

上海產業界... 上海經濟週報... 上海商議會議頭、松村理事... 上海商議會議頭に青木氏... 上海舊正決濟順調...

上海各市場活氣づく... 產業勞務調査開始... 上海產業の再編成方針... 軍配組合の性格と事業方針...

上海金融硬塞緩和... 上海銀行預金利率引下げ... 上海銀錢業者輿地貸付を復活... 領用同業滙割は割頭で皆済...

英米系保險會社處理方針決... 工部局財源捻出に努力... 小銀號閉鎖解散續出... 敵國系銀行保護預り物件を返還...

米白二銀行第三回預金拂出... 錢莊貸出日歩低下... 銀錢業の短期貸附回收不能... 預金運用難に錢業利下げ...

上海關轉口稅收入(一月)... 上海銀行錢莊營業時間延長... 上海銀錢業者營業再開... 公租公課收入に舊法幣使用を禁止...

上海軍軍相場新高値... 舊法幣不安増大... 華商銀行の業務萎縮... 上海金業交易所現物取引再開... 地代、家賃等の取締規則公布...

兩租界内煙草小賣値に軍票建公定價... 錢業同業公會年次大會... 公定値による軍票買賣を中止... 一月中上海手形交換高激減...

上海の英國籍碼頭邦人商社が受託經營... 自動車走行數激減... 上海内河輪船增資決定... 上海內河輪船增資決定...

上海敵國系工場に邦人監督... 租界内勞働所得半減... 英米系紡績職工大量解雇... 上海電力公司四分一節電... 英米系公共事業に會計監督官派遣...

中華煙草重役決定... 華人側製粉工場に制限操業許可... 華外人工場の實地調査實施... 華外人工場にも統制斷行... 日華ゴム工業組合聯合會創立...

皮革工場の復業至難... 上海鐵工業者統合成る... 上海の自轉車製造工場好轉... 租界内工場登記完了... 上海邦人紡の操短... 上海市紗布同業聯合會成立...

紡聯上海出張所開設... 非鐵金屬業者が工業組合聯合會を結成... 上海市機械工業聯合會設立準備會... 上海日華羊毛商工業委員會成立... 上海日華麻袋業者聯合會結成...

▲物資・需給
租界内の砂糖配給組合... 大戰下上海貿易の動向... 上海の絹取引半減... 租界内砂糖在荷に豊富...

租界内の麵粉先行き懸念... 租界内麵粉は華人工場で供給確保... 工部局小麦移動に許可制... 食油の生産配給統制確立... 上海地區物資處理に陸海軍共同聲明...

紡績の製品及び棉花手持豐富... 各行莊倉庫の開放原則成立... 上海市中の食油對策考究... 租界外の麥粉販賣邦人商社指定... 南洋華僑振興會十一課新設... 棉易公會職員解雇... 上海書業公所を設立... 上海總領事館暴利行為等取締規則公布...

米麥雜糧公會結成... 兩租界當局石炭入手に努力... 工部局小麦粉強制買上... 上海對南方貿易は外華人が壓倒的... 上海電力石炭手當成る... 物資處理完了後の統制、配給方針を研究... 封印倉庫の物資を解放... 工部局の租界物資對策... 礦油移動十四日以降許可... 罐詰乳製品切符制に... 工部局英系倉庫の米を徵用... 玉蜀黍を代用食に... 物資配給統制分野の確立を要望... 工部局の手持米漸減... 米麥雜糧油餅公會各部の出資金を徵收... 上海粉の華北向け移出... 中支輸出廻り増加... 副蠶絲の上海出廻り先行き...

米麥雜糧公會各部の出資金を徵收... 上海粉の華北向け移出... 中支輸出廻り増加... 副蠶絲の上海出廻り先行き...

米麥雜糧公會各部の出資金を徵收... 上海粉の華北向け移出... 中支輸出廻り増加... 副蠶絲の上海出廻り先行き...

米麥雜糧公會各部の出資金を徵收... 上海粉の華北向け移出... 中支輸出廻り増加... 副蠶絲の上海出廻り先行き...

悲觀さる... 四五五
上海製油聯合會與地原料高... 四五五
を調査... 四五五
原皮の收買配給統制進捗... 四七〇
米穀配給組合を改組... 四七〇
上海市中の食油供給量... 四七〇

▲物價・指數
上海工人生計費類別指數
(十二月) 四〇九
虹口小賣物價(十二月) 四〇九
外商株相場回復 四〇九
上海穀相場低落 四〇九
糖商合作處建値決定 四〇九
上海綠茶相場暴落 四〇九
上海工人生計指數(一月) 四〇九
綿絲相場暴騰 四〇九
玉蜀黍強制買上げ 四〇九
上海卸賣物價指數 四〇九
虹口小賣物價低落 四〇九
華外系煙草奔騰 四〇九
小麥粉の新公定價格發表 四〇九

南支情勢

【一 般】
要人動靜... 四〇九
南支各地間連絡復活... 四〇九
澳門總督から皇軍に感謝狀呈送... 四〇九
上海號遭難一部解禁... 四〇九
廣東敵國人監視... 四〇九
廣九鐵道復舊成る... 四〇九
敵國外人の生活救済... 四〇九
杉坂東亞海運理事南支駐在... 四〇九
僑務委員會廣州辦事處成立... 四〇九
沙面行政移管式舉行... 四〇九
石碌鐵道開通... 四〇九

▲財政・經濟
廣東經濟の新役割... 四〇九
海關九龍分關を復活... 四〇九
順德糖廠開所式... 四〇九

廣東物價昂騰(十二月) 四〇九
廣東物價指數(十一月) 四〇九
香港向旅行者に丙號軍票を
交換... 四〇九
香港方面への携帶通貨制限... 四〇九
廣東省營工藝廠を開設... 四〇九
廣東興亞院當局輸入の發
註證明を停止... 四〇九
廣東市卸小賣物價... 四〇九
廣東華僑聯合會江門に分會
設置... 四〇九
昨年度廣東關稅收入... 四〇九
澳門行き旅行者の携帶通貨
制限... 四〇九
廣東法幣相場暴落... 四〇九
法幣暴落防止策... 四〇九
廣東金融機關整理完了... 四〇九
廣州市金融取締暫行辦法... 四〇九

香港

香港攻略散華勇士慰靈祭... 四〇九
香港カトリック代表比島信
徒にメッセーヂ... 四〇九
再出發する香港の近狀... 四〇九
香港九龍で公式に軍票使用... 四〇九
酒井最高指揮官、香九有力
者招待... 四〇九
後宮總參謀長香港視察... 四〇九
香港の復舊着々進む... 四〇九
香港錢莊一部復活... 四〇九
礦谷總督香港で大歡迎... 四〇九
矢野總領事歸來談... 四〇九
香港日本例銀行開業... 四〇九
礦谷總督、新見最高指揮官
を訪問... 四〇九
香港總領事館閉鎖... 四〇九
香港の四大百貨店一齊復業... 四〇九
香港の第二次祝賀... 四〇九
香港の英帝銅像を撤去... 四〇九
香港でも米の配給制... 四〇九

蒙 疆

▲一 般
蒙疆の綠化計畫... 四〇五
厚和民留民團十七年度豫算... 四〇五
▲財政・經濟
三十箇所に蔬菜貯藏所設置... 四〇五
察南機業組合結成... 四〇五
巴盟地區農產五ヶ年計畫... 四〇五
臨時物資調整委員會設置... 四〇五
冀東銀行決算... 四〇五
蒙古政府簡易統制を強化... 四〇五
蒙疆對外貿易躍進... 四〇五
寺崎蒙銀副總裁重任... 四〇五
蒙銀券發行高一億圓臺を制
東亞經濟懇談會蒙疆支部定
時懇談會を開催... 四〇五
後套貿易組合創立... 四〇五
厚和製粉株式總會... 四〇五
空地利用に葛麻栽培... 四〇五

滿洲國

▲宮 廷
滿洲國皇帝皇軍の戰勝御祈
念... 四〇五
滿洲國皇帝陛下御答電... 四〇五
▲政 治
張國勳總理年頭の辭... 四〇五
滿洲國新開新體制實施... 四〇五
張謝恩特派大使談... 四〇五
大東亞操觚大會開催されん... 四〇五
金屬回收運動を實施... 四〇五
▲人 事
政府人事異動發令... 四〇五

古海總務廳次長北京へ... 四〇五
松田副領事歸任談... 四〇五
大橋最高顧問開新京着... 四〇五
▲建國十周年
建國十周年詔書換發... 四〇五
滿洲國減刑令公布... 四〇五
出境者の取扱に關する布告... 四〇五
慶祝に沸きたつ全滿... 四〇五
謝恩特派大使を日本に派遣... 四〇五
滿洲建國十年開拓事業概況... 四〇五

▲外 交
鮮海運協協議會開催決定... 四〇五
滿華間に基本的諒解成立... 四〇五
滿獨經濟關係存續協定調印... 四〇五
▲國防・治安
報道隊演習開始... 四〇五
福山報道部長談... 四〇五
酷寒征服の報道隊員... 四〇五
▲財政・經濟
▲一 般
特殊會社等社員給與統制要
綱決定... 四〇五
滿鮮經濟連絡協議會... 四〇五
小日山理事長武部總務長官
懇談... 四〇五
小日山理事長奉天へ... 四〇五
外國人土地法制定を要望... 四〇五
承德新稅關を設置... 四〇五
大東港本年度計畫決る... 四〇五
滿華經濟連絡協議會開催... 四〇五
▲財 政
八年末滿洲國債現在高... 四〇五
郵政生命保險業務局新設... 四〇五
郵便料金改正... 四〇五
代用官倉買上に公債發行... 四〇五
本年度國債消化策... 四〇五
▲金 融
郵政積立貸付三百廿六萬餘
圓... 四〇五
十一月奉天金融概況... 四〇五

▲生 産
八年度下期滿業關係事業概
況... 四〇五
指定産業に統制會實施か... 四〇五

普通金融機關の年末融資殘
高... 四〇五
第二次有獎定期預金一億一
千萬圓を突破... 四〇五
合作社中央會貸付回收狀況... 四〇五
興銀債券元利支拂を政府保
證... 四〇五
貯金部狀況(十二月) 四〇五
十一月資金認可額... 四〇五
十一月資金貯蓄目標十五億圓... 四〇五
本年度貯蓄目標十五億圓... 四〇五
十一月全滿銀行勘定... 四〇五
滿系庶民貯蓄の急増... 四〇五
昭和十六年末圓系通貨發行
狀況... 四〇五
昨年末現在、資金認可實績... 四〇五
全滿無盡十三社業績概況... 四〇五
昨年末全滿銀行勘定... 四〇五
一月末東拓全滿支店金融業
績... 四〇五
第一四半期分圓資金調達打
合成立... 四〇五
興農合作社中央會資金計畫... 四〇五
全國貯蓄實踐運動展開... 四〇五
本年度貯金部資金運用制... 四〇五
滿拓本年度所要資金二億三
千萬... 四〇五
▲金融機關
佳木斯普昌銀行増資... 四〇五
滿洲興銀一分増配... 四〇五
商工金融合作社改組案... 四〇五
興農合作社資金借入暫定計
畫... 四〇五
昨年末興農合作社狀況... 四〇五
滿洲中銀調査顧問委嘱... 四〇五
滿洲興銀増資新株を公募... 四〇五
商工金融合作社八年度決算... 四〇五

▲生 産
八年度下期滿業關係事業概
況... 四〇五
指定産業に統制會實施か... 四〇五

▲農林・漁業

- 滿洲棉花生產豫想を突破……四三九
- 滿洲農業の地位極めて鞏固……四三六
- 水飮増産に哈爾濱工場を利
用……四三六
- 畜産増殖方針決定……四三六
- 農業研究技術委員會研究題
目決定……四三六
- 甜菜獎勵面積決定……四三五
- 流伐問題解決……四三五
- 木材撤出難降雪で解消……四三五
- 哈爾濱種子消毒所近く設立……四三五
- 本年度線麻増産計畫……四三三
- 大豆振興會を設立……四三三
- 哈爾濱纖維三組合を結成……四三六

▲鑛工業

- 内地必需物資工場の移駐幹
旋……四三〇
- 滿洲國鐵鋼業の重要性は不
動……四三五
- 新京の輕工業振興策……四三六
- 本溪湖第二熔鐵爐の建設順
調……四三七
- 滿洲鐵鋼懇談會開催……四三七
- 精炭工業哈爾濱工場建設進
捗……四三七
- 舊正出炭獎勵金交付……四三五
- 硫化鐵の開發促進……四三五
- 石炭協議會改組具體化……四三五
- 松濱炭いよいよ開發……四三五
- 滿洲移駐工場折衝中……四三五
- 熱河鉛鑛開發調査附近く現
地へ……四三七
- 煉炭製造事業を統制……四三六
- 指定製材加工業の種類決定……四三六

▲拓殖・勞務

- 滿洲の開發政策整備……四三九
- 入植開拓氏の土地準備に萬
全……四三九
- 開拓第二期計畫の初年度費
全……四三九

▲地方策成る……

- 入滿勞工の輸送對策……四三二
- 工業技術員の國內自給……四三七
- 農業技術者の養成緊要……四三七
- 十六年度開拓義勇隊渡滿終
了……四三三
- 滿洲勤勞奉仕隊米穀増産強
化……四三三
- 報國農場班實施要領決定……四三三
- 華北工人の入滿好況……四七一
- 安東省移住勞働者決定……四七一

▲電力

- 鴨綠江水電第二次計畫……四〇一
- 日滿支經濟幹事會電力部會
開催……四〇四
- 豐滿水力發電所今年度處女
發電……四〇六
- 恒仁縣に電力を供給……四七三
- 鴨綠江水電滿鮮共同技術委
員會……四〇六

▲運輸・通信

- 日滿商事に輸送部新設……四〇〇
- 農產物輸送協議會開催……四三六
- 滿鐵新年度輸送對策……四〇五

▲貿易

- 農機具輸入業者指定……三六〇
- 經濟部に貿易司新設……三六〇
- 山海關經由通關書類不備……四〇〇
- 滿洲雜穀の北支向輸出再開……四〇〇
- 特産物輸出入例外的取扱決定……四〇〇
- 火藥原料類の輸出入業者指
定……四〇〇
- 滿關貿易聯合會創立總會……四三六
- 滿關重要日用品統制組合を
結成……四三六

▲物資・需給

- 統制外炭礦への投資顯著……三九〇
- 奉天省の中小統制外炭の配
給……三九〇

▲物價

- 十一月中奉天生計費指數……三九〇
- 該炭の着驛貨車乘渡價格公
定……四〇一
- 新京卸賣物價微騰……四三五
- 新京生計費指數……四三五
- 包米皮子價格決定……四三五
- 全滿小賣物價指數……四三四
- 特産物の價格引上げ……四三三

▲會社

- 撫順炭礦職制改正……三九〇
- 密山炭礦株滿洲へ肩替り完
了……四〇一
- 滿洲重機工場明春第一期完
成……四〇一
- 滿洲生必重役改選……四〇一
- 東遼道開發會社の事業現況……四三七
- 滿洲輕金屬會社法を改正……四三七
- 南日滿商事務理事貿易統
制會入り……四三七
- 撫順工場の生産量一倍半を
増加……四三五
- 鮎川滿業總裁東上……四三五
- 滿鐵營業課長會議……四三五
- 青城市鑛業所設備の擴張……四三五
- 滿洲住宅金屬會務取締役更
迭……四三五
- 滿鐵の明年度關係投資額……四三五
- 滿鐵の農產物増送對策……四三五
- 東遼道開發の工人招致策……四三五
- 滿洲生必常務理事決定……四三五
- 同和自動車制當方法改善……四三五
- 滿洲電化吉林工場愈々建設……四三五

▲創立・合併・増資

- 安東鉛鑛精煉所建設に着手……四〇六
- 總會一東……四〇六
- △創立・合併・増資
- 溪城炭礦發起人會……四〇一
- 錦州紡織會社創立準備完了……四〇一
- 滿蒙毛織會社總會……四〇一
- 安東に陶磁器製造會社設立……四〇一
- 鞍山高級爐材會社發起人會……四〇一
- 滿洲輕金屬滿洲マグネ合併
認可……四〇一
- 熱河の螢石鑛業住友單獨經
營……四〇一
- 滿洲硫安途に減資斷行……四〇一

▲社會・文化

- 科學技術聯合會結成準備成
る……四〇一
- 全滿一齊に戰勝祝賀……四〇一
- 新京の陸軍記念日慶祝……四〇一

▲關東州

- 大連手形交換高(十二月)……四〇一
- 關東州金融界堅調……四〇一
- 大連商議南方經營視察團派
遣……四〇一

▲南方資源利用の企業計畫進
む

- 奢侈品制限價格近く引上げ……四〇一
- 滿洲大和染料の合併表面化……四〇一
- 特免奢侈品の販賣延長許可
されん……四〇一
- 大連船渠を一千萬圓に増資……四〇一
- 衣料品の點數切符制實施せ
ず……四〇一
- 炭灰煉瓦製造は一社に限定……四〇一
- 關東州莫大小業者を統合……四〇一
- 味噌、醬油綜合切符制を實
施……四〇一
- 戰時保險臨時措置令公布……四〇一
- 丙號關係雜貨統制組合近く
設立……四〇一
- 州内漁業水揚高……四〇一
- 機帆船用重油新重點主義……四〇一
- 産業振興會生れん……四〇一
- 州工業會積極的に活動……四〇一
- 南方物資への期待昂まる……四〇一
- 州内輸入羅紗類に割當制……四〇一
- 木造船會社の設立近し……四〇一
- 州中小商工業の整備問題……四〇一
- 關東州配給組合結成……四〇一
- 關東州内産落花生出廻り順
調……四〇一
- 關東州でも増税……四〇一
- 埠頭滞貨對策成る……四〇一

蔣 政 權

- 重慶部内の腐敗……四〇一

重慶國民黨專政強化……………四〇九九
 重慶、華僑懷柔に汲々……………四〇九九
 避難華僑の流入に昆明混亂……………四〇九八
 政界不安動搖……………四〇九八
 首腦部聯席會議近々開催……………四〇九八
 蔣政権の内閣對立激化……………四〇九八
 蔣「太平洋憲章」考案か……………四〇九八
 重慶經濟部に物資局新設……………四〇九八
 重慶側黨政軍首腦會議……………四〇九八
 重慶内部對立愈々深刻……………四〇九八
 重慶内部の動搖激化……………四〇九八
 參政會改組……………四〇九八
 最近重慶財政部の重要措置……………四〇九八
 孔祥熙排擊學生運動激化……………四〇九八
 大公報の警告……………四〇九八
 支那奥地にベスト葛延……………四〇九八

【人事】
 陳介を駐印特使に……………四〇九八
 カイ大使重慶出發……………四〇九八
 蔣重慶歸着……………四〇九八
 新任英大使重慶到着……………四〇九八
 宋子文渡英か……………四〇九八
 シーモア信任狀奉呈……………四〇九八
 ウェーヴェル、蔣會見……………四〇九八
 熊式輝をワシントン派遣……………四〇九八
 毛澤東刺客に襲はる……………四〇九八
 重慶に亡命チエコ代表……………四〇九八

【國共相剋】
 國共關係依然緊張……………四〇九八
 中共、重慶政權を牽制……………四〇九八
 國共聯席會議開催……………四〇九八
 國共關係一段と悪化……………四〇九八
 中央軍、新四軍正面衝突……………四〇九八

外交

重慶、ソ聯の援助を泣訴……………四〇九八
 米蔣の不協力が英が泣言……………四〇九八
 蔣ルーゾベルトに親書……………四〇九八
 重慶内部に反英米運動……………四〇九八
 重慶の對英米不滿暴る……………四〇九八

英、重慶又も紛糾……………四〇九八
 英米蔣間に軋轢……………四〇九八
 ソ、蔣物資互惠協定成立か……………四〇九八
 蔣、米英を恫喝……………四〇九八
 米の對重慶借款の使途……………四〇九八
 米借款供與の眞因……………四〇九八
 重慶踊らざる……………四〇九八
 重慶紙對英不滿表明……………四〇九八
 重慶新聞英米非難……………四〇九八
 米授蔣物資輸送不能……………四〇九八
 重慶米國を非難……………四〇九八
 米英蔣の意見對立激化……………四〇九八
 重慶、イラク友好條約の成立……………四〇九八
 英蔣責任轉嫁の泥試合……………四〇九八
 對印合作方針決定……………四〇九八
 五億弗授蔣借款調印……………四〇九八
 法王廟との折衝成らず……………四〇九八
 シーモア策動……………四〇九八

重慶戰區長官會議召集……………四〇九八
 大東亞戰動發以來の重慶軍……………四〇九八
 の損害二十萬……………四〇九八
 蔣、聯合軍總司令に就任……………四〇九八
 重慶陣營に悲觀空氣濃厚……………四〇九八
 軍事會議に參加を希望……………四〇九八
 ソ聯に軍事合作申入れ……………四〇九八
 重慶印度に資材購入申入れ……………四〇九八
 「ツツイラ」號重慶に讓渡……………四〇九八
 「華爾再來」と宣傳……………四〇九八
 スチルウェル蔣軍師長に……………四〇九八
 ビルマ防衛に英米蔣の狼狽……………四〇九八
 軍部間の腐敗に蔣介石激怒……………四〇九八
 駐渝英軍事使節團長墜死……………四〇九八
 重慶軍艦戰氣分横溢……………四〇九八
 重慶爆撃季節に脅ゆ……………四〇九八
 蔣、英、米參謀團會議終る……………四〇九八
 授蔣飛機行方不明……………四〇九八
 スチルウェルの任命に蔣領……………四〇九八
 不滿……………四〇九八

軍事

重慶戰區長官會議召集……………四〇九八
 大東亞戰動發以來の重慶軍……………四〇九八
 の損害二十萬……………四〇九八
 蔣、聯合軍總司令に就任……………四〇九八
 重慶陣營に悲觀空氣濃厚……………四〇九八
 軍事會議に參加を希望……………四〇九八
 ソ聯に軍事合作申入れ……………四〇九八
 重慶印度に資材購入申入れ……………四〇九八
 「ツツイラ」號重慶に讓渡……………四〇九八
 「華爾再來」と宣傳……………四〇九八
 スチルウェル蔣軍師長に……………四〇九八
 ビルマ防衛に英米蔣の狼狽……………四〇九八
 軍部間の腐敗に蔣介石激怒……………四〇九八
 駐渝英軍事使節團長墜死……………四〇九八
 重慶軍艦戰氣分横溢……………四〇九八
 重慶爆撃季節に脅ゆ……………四〇九八
 蔣、英、米參謀團會議終る……………四〇九八
 授蔣飛機行方不明……………四〇九八
 スチルウェルの任命に蔣領……………四〇九八
 不滿……………四〇九八

財政・經濟

【財政・金融】
 奧地に逃避の香港弗を買上……………四〇九八
 重慶戰時公債を増發……………四〇九八
 重慶更に紙幣増發……………四〇九八
 英國から自動車購入……………四〇九八
 抗戰財源閉塞……………四〇九八
 公債三億弗發行……………四〇九八
 米貨債の發行を言明……………四〇九八
 民間銀行を統制……………四〇九八

【産業】
 重慶の國際無電連絡網擴充……………四〇九八
 川康興業公司設立……………四〇九八
 ▲授蔣路
 印度ルート構築具體化……………四〇九八
 援蔣第二の輸血路建設……………四〇九八
 ビルマ・ルート廢棄を聲明……………四〇九八
 印、蔣ルートの具體的協議……………四〇九八
 印、蔣新兵站路建設計畫……………四〇九八
 み無し……………四〇九八
 物資補給路確保に汲々……………四〇九八
 窮餘のインド・ルート……………四〇九八
 【給】
 桐油、豚毛等の消費制限……………四〇九八
 物資不足深刻……………四〇九八
 土產品の自由販賣を認容……………四〇九八
 成都の物價騰貴は殺人的……………四〇九八
 物資缺乏……………四〇九八

南方諸國

敵側定期航空路杜絶……………四〇九八
 佛 印
 ドクイ總督サイゴン着……………四〇九八
 泰佛印國境劃定作業再開……………四〇九八
 泰佛印國境劃定會議……………四〇九八

泰佛印國境劃定委員出發……………四〇九八
 佛印で黃麻を栽培……………四〇九八
 佛印に米飢饉……………四〇九八
 佛印經濟會議を開催……………四〇九八
 佛印當局貯藏米を調査……………四〇九八
 サイゴン、ハノイ間定期航……………四〇九八
 空復活……………四〇九八
 南部佛印燈管解除……………四〇九八
 【對日關係】
 内山公使ドクイ總督と懇談……………四〇九八
 ドクイ總督へ勳章傳達……………四〇九八
 芳澤大使近々歸朝……………四〇九八
 芳澤大使泰へ……………四〇九八
 在佛印邦人商社續々規模擴……………四〇九八
 張……………四〇九八
 佛印全學校の教課に日本語……………四〇九八
 日佛印交換學生協定近く成……………四〇九八
 立……………四〇九八
 佛印資源調査は大成功……………四〇九八

在泰華僑授汪拒蔣聲明……………四〇九八
 泰佛印國境劃定現地作業……………四〇九八
 泰國內閣印權益、瑞政府管……………四〇九八
 理……………四〇九八
 泰、米英兩國に宣戰布告……………四〇九八
 英、緬軍の打撃深刻……………四〇九八
 議會宣戰布告と軍事費豫算……………四〇九八
 可決……………四〇九八
 泰軍の親鸞大佐と一問一答……………四〇九八
 北部國境線泰軍從軍記……………四〇九八
 ビン首相所信を披瀝……………四〇九八
 泰、新金本位制採用……………四〇九八
 泰内閣改組……………四〇九八
 戰時豫算成立……………四〇九八
 自給自足經濟確立へ……………四〇九八
 泰國内閣補強……………四〇九八
 泰國厚生省新設……………四〇九八
 泰内閣總辭職……………四〇九八
 泰新内閣成る……………四〇九八

タイ

在泰華僑授汪拒蔣聲明……………四〇九八
 泰佛印國境劃定現地作業……………四〇九八
 泰國內閣印權益、瑞政府管……………四〇九八
 理……………四〇九八
 泰、米英兩國に宣戰布告……………四〇九八
 英、緬軍の打撃深刻……………四〇九八
 議會宣戰布告と軍事費豫算……………四〇九八
 可決……………四〇九八
 泰軍の親鸞大佐と一問一答……………四〇九八
 北部國境線泰軍從軍記……………四〇九八
 ビン首相所信を披瀝……………四〇九八
 泰、新金本位制採用……………四〇九八
 泰内閣改組……………四〇九八
 戰時豫算成立……………四〇九八
 自給自足經濟確立へ……………四〇九八
 泰國内閣補強……………四〇九八
 泰國厚生省新設……………四〇九八
 泰内閣總辭職……………四〇九八
 泰新内閣成る……………四〇九八

敵側定期航空路杜絶……………四〇九八
 佛 印
 ドクイ總督サイゴン着……………四〇九八
 泰佛印國境劃定作業再開……………四〇九八
 泰佛印國境劃定會議……………四〇九八

泰新内閣の戰時政策強化……………四〇九八
 泰物資統制處置……………四〇九八
 泰ビルマ間新道路完成……………四〇九八
 泰砂糖配給制度……………四〇九八
 泰内閣重要政策を明示……………四〇九八
 泰首相輔佐役任命……………四〇九八
 盤谷昭南港間急行列車……………四〇九八
 樞軸國武官等前線視察……………四〇九八
 ▲對日關係
 駐日泰大使ハノイ着……………四〇九八
 泰國政府から勳章……………四〇九八
 帝國政府へ正式通告……………四〇九八
 在泰帝國大使館發表……………四〇九八
 泰首相に勳章を傳達……………四〇九八
 石井參事官盤谷着……………四〇九八
 ビン首相山下中將へ祝電……………四〇九八
 ラングーン陥落を慶祝……………四〇九八
 泰最初の邦字紙發刊……………四〇九八
 日本人貿易會結成……………四〇九八
 共榮圈確立に協力する泰國……………四〇九八

ビルマの人心鼓舞に汲々……………四〇九八
 米議員ビルマ死守を要望……………四〇九八
 ビルマ住民印度へ逃避……………四〇九八
 モールメイソン視察記……………四〇九八
 ラングーン放送局沈黙……………四〇九八
 コーカレイに隣組……………四〇九八
 モールメイソン市行政處成立……………四〇九八
 ラングーン市民長決定……………四〇九八
 モーリ市市長決……………四〇九八
 蘭貢市民續々避難……………四〇九八
 ▲首相逮捕事件
 ビルマ首相逮捕……………四〇九八
 ビルマ首相後任任命……………四〇九八
 ボーソン語る……………四〇九八
 英一流の恫喝政策……………四〇九八
 ハル長官沈黙……………四〇九八
 獨側見解……………四〇九八
 ビルマ新内閣成立……………四〇九八

ビルマ

ビルマの人心鼓舞に汲々……………四〇九八
 米議員ビルマ死守を要望……………四〇九八
 ビルマ住民印度へ逃避……………四〇九八
 モールメイソン視察記……………四〇九八
 ラングーン放送局沈黙……………四〇九八
 コーカレイに隣組……………四〇九八
 モールメイソン市行政處成立……………四〇九八
 ラングーン市民長決定……………四〇九八
 モーリ市市長決……………四〇九八
 蘭貢市民續々避難……………四〇九八
 ▲首相逮捕事件
 ビルマ首相逮捕……………四〇九八
 ビルマ首相後任任命……………四〇九八
 ボーソン語る……………四〇九八
 英一流の恫喝政策……………四〇九八
 ハル長官沈黙……………四〇九八
 獨側見解……………四〇九八
 ビルマ新内閣成立……………四〇九八

敵側定期航空路杜絶……………四〇九八
 佛 印
 ドクイ總督サイゴン着……………四〇九八
 泰佛印國境劃定作業再開……………四〇九八
 泰佛印國境劃定會議……………四〇九八

新首相不人氣……四三三
ウ・サウ首相の逮捕に民衆憤慨……四三三
前ビルマ首相は英側で監禁……四三三

▲對英、蔣關係
英ビルマ空軍新任……三九八
重慶軍ビルマ進駐説……三九八
蔣支那戰線陸軍總司令官に就任……三九八
重慶軍の進駐にビルマ動搖……三九八
ビルマとインドに加はる英の抑壓……三九八

ビルマ増援軍司令官任命……四〇三
文相英の不信攻撃……四〇三
民衆反英熱熾烈……四〇三
マグルーダー、滇緬公路輸送管理……四〇三
滇緬公路の現状……四〇三
英領印度人百萬ビルマから引揚……四〇三

重慶軍ビルマへ……四〇三
英蔣聯合軍の内幕……四〇三
ウエーヴェル、ラングーンへ……四〇三
ウエーヴェル、ビルマ戦線視察……四〇三
滇緬公路潰滅後の對策……四〇三
ビルマ・ルート價值喪失……四〇三
英人は逸早く逃亡……四〇三
ビルマ派遣の將軍動搖……四〇三
ビルマ人英當局を不信……四〇三
英のビルマ人壓迫ぶり……四〇三
英印司令官ビルマも管轄……四〇三
英、對ビルマ輸出に許可制採用……四〇三

英ビルマ住民の冷淡に狼狽……四〇三
ビルマ人集團英軍を襲撃……四〇三
米紙ビルマ人の反米英行動嗟歎……四〇三
スナルウエル、ビルマへ……四〇三

ビルマ英軍司令部移轉……四三三
英蔣合作結局自己本位……四三三
▲對日關係
現地軍最高指揮官布告……四三三
秩序恢復のタヴオイ……四三三
礦物資源豊富なタヴオイ……四三三
タヴオイの新戦跡を見る……四三三
タヴオイ戦捕虜に聽く……四三三
住民皇軍歡迎……四三三
ビルマ戦線迎の從軍記……四三三
日泰協力の工兵隊……四三三
皇軍への協力と親和……四三三
讀賣特派員負傷……四三三
首相演説にビルマ人感激……四三三
蘭軍防衛強化に汲々……四三三
ビルマ邦人の動靜判明……四三三
日本總領事館も掠奪さる……四三三
軍票大歡迎……四三三
日本品の入荷待望……四三三

印度
カルカッタ騒然……四〇四
印度政府、罷業禁止法公布……四〇四
カルカッタ市民大量引揚……四〇四
印度、ビルマ懐柔に懸命……四〇四
印度、回教兩教徒の抗争を使喚……四〇四
英、印度侯國の行政權制奪……四〇四
カルカッタで住民避難計畫……四〇四
英、印度イランの鐵道聯絡を焦る……四〇四
全印回教徒議長ジンナー再選……四〇四
カルカッタ騒然……四〇四
英國印度懐柔に惱む……四〇四
印度戰々競々……四〇四
米、印度へ使節團派遣説……四〇四
印度總督泣訴……四〇四
カルカッタ住民五十萬避難……四〇四

アンダマン英人マドラスへ……四八五
グレイデイの使命……四八五
セイロン島で米饑饉……四八五
セイロン島知事悲鳴……四八五
【英印會談】
▲クリツプス派印
獨紙の觀測……四七四
印度情勢の收拾は不可能……四七四
クリツプス派印は躊躇手段……四七四
英印會談の中心は少數派問題……四七四
クリツプス、カイロ着……四七五
印度總督、王侯國協力要請……四七五
クリツプス各派領袖と會見……四七五
クリツプス印度到着……四七六
クリツプスの甘言に乗る……四七六
クリツプス折衝開始……四七六
クリツプス・ガンヂー會見……四七六
クリツプス案に反對氣運高まる……四八八
クリツプス折衝多難……四八八
クリツプス、ガンヂー等と第二次會談……四八九
クリツプス提案全文……四八九
印度各派の最後の檢討……四八九
クリツプス放送……四九〇
獨當局クリツプス案を扶る……四九〇
伊でクリツプス案嘲笑……四九〇
中立國紙も對印提案を冷評……四九〇
クリツプス、焦り氣味……四九〇
國防問題で英印會談危機……四九二
回教徒聯盟は態度未定……四九二
▲國民會議派
ガンヂー辭職の波紋……三九八
國民會議派在歐巨頭聲明……三九八
ネール印度獨立力説……三九八
國民會議派對策協議……三九五
ガンヂー焦土戰術に反對……四八六
國民會議派急進派決議……四八七
會議派に反對色濃厚……四八九

會議派拒絕に決定せん……四八〇
國民會議派斷乎拒否に決定……四八二
ガンヂー反對の先頭に立つ……四八二
【獨立運動】
在獨印度人氣勢を擧ぐ……四三五
在阪神の印度人も蹶起……四三五
印度獨立を貫徹せよ(ボース氏)……四三五
印度解放運動にリビア印度兵呼籲……四三三
全印回教獨立地位の要求……四三三
印度獨立聯盟活動開始……四三三
回教徒聯盟臨時總會……四三三
ボース氏皇軍の勝利に拍手……四三三
ジンナー決意表明……四三三
勝利者は樞軸側……四三三
印度獨立聯盟活躍……四三三
チャドラー・ボース氏公開狀……四三三
人騒がせな英側歪曲報道……四三三

ウエーヴェル星港へ……三九八
英本國軍を印度軍に編入……四〇四
印度軍擔當地域を東亞に局限……四〇四
英印軍司令官任命……四〇四
印度軍兵力百萬に達す……四〇四
印度で民間機徵用……四〇五
チッタゴン港印度人に立退き命令……四〇五
印度空軍司令官任命……四〇五
印度義勇防備隊動員……四〇五
セイロン防衛に大童……四〇五
印度防衛は最難事……四〇五
ウエーヴェル募兵に狂奔……四〇五
インド國防費……四〇五
ウエーヴェル、英近東軍司令官と協議せん……四〇三
敗將ウエーヴェルの告白……四〇三
レイトンをセイロン防衛司令官に……四〇三

バウメルを陸軍部隊司令官に任命……四三三
英印軍にコレラ猖獗……四八五
セイロン島の強制服務制否決……四八六
バンジャヤ防衛演習……四八六
【對蔣關係】
蔣介石印度に現る……四三三
蔣、印度要人と會談……四三三
ウエーヴェル、蔣會談か……四三三
英、蔣、印會談成行注視……四三三
蔣、近日歸國……四三三
蔣訪印の成果……四三三
蔣、ラホール着……四三三
蔣、ガンヂー會談……四三三
ガンヂー、蔣と會見……四三三
援蔣印度ルート本年末に開通か……四三三
對重慶連絡部設置……四三三

米資でドック建設……四三三
聯合國資源會議東洋委員會設置……四三三
政府通貨管理實施……四三三
在マレー印度人資産を凍結……四三三
ボムベイ銀塊暴騰……四三三
東亞諸通貨の流入を禁止……四三三
印度洋の英海運麻痺……四三三
近くゴムの統制に着手……四三三
新棉先物取引開始を延期……四三三
英東亞屬領供給會議は解體……四三三
印度紡績工場に暴動事件……四三三
印度の食糧問題深刻化……四三三
小麦不足に悩む印度……四三三
印度甘蔗糖減産……四三三
ボムベイ金塊昂騰……四三三
印度政廳、銀塊賣却停止を考慮……四三三
銀塊暴騰をタイムス論ず……四三三
印度公債現現金償還……四三三

印度通貨退蔵激化……………四七六
インド證券の前途悲観……………四八六
金銀退蔵依然熾まず……………四八六
財政赤字増大……………四八六

【一般】

馬來、蘭印動搖……………三九六
マレー基地の元且風景……………三九七
マレー華僑を虐待の英國……………三九八
マレー住民皇軍に感謝……………三九八
マレー政廳印度へ移轉か……………四〇〇
マレー華僑新指導者決定……………四〇二
クアラ・ルンブル急速に復興……………四〇二
マラツカの邦人婦女救出……………四〇三
徳山讀賣記者戦傷死……………四〇三
東岸部隊に邦人の協力……………四〇三
戦争とマレー各人の表情……………四〇三
半島のサルタン全部救出……………四〇三
移動浴場もある英軍の兵隊……………四〇三
クルアン攻略の血闘を見る……………四〇三
マレー戦線の少女通譯……………四〇三
内情を語る敵捕虜將校……………四〇三
激戦の跡バトバを視る……………四〇三
本國の不正義を恨む英兵……………四〇三
イブラヒム王會見記……………四〇三
ジョホール・ベルへ避難民殺倒……………四〇三
ジョホール・バル市民避難……………四〇三
印度人部隊皇軍に協力……………四〇三
海軍將校と一問一答……………四〇三
ペインター代將敗戦を語る……………四〇三
山下最高指揮官動靜……………四〇三
マレーの焦土戦術失敗……………四〇三
建設段階に入った占領地……………四〇三
行政機構近く發足……………四〇三
山下將軍動靜……………四〇三
獨外相、山下指揮官に祝電……………四〇三
避難民マレー半島に歸還……………四〇三

【財政・經濟】

マレーの抗日華僑一掃さる……………四七三
マレーの七錫會社無配を宣言……………四七三
縱貫鐵道全通……………四七三
錫、マンガンの探掘近し……………四七三
警備する交通通信機關……………四七三

【政治・軍事】

政治・軍事
レイトン星港を離る……………三九八
ダフクーパーに歸國命令……………三九八
ダフクーパー歸途へ……………四〇二
英、秘藏機を星港へ……………四〇二
英星港死守の決意……………四〇三
星港在留邦人をカルカツタ……………四〇三
暴虐英軍に華僑憤慨……………四〇三
兩連絡員戦死……………四〇三
報道陣三名戦傷……………四〇三
帝國總領事館無事……………四〇三
開院元帥宮御祝電……………四〇三
日本軍の武士道に感謝……………四〇三
殊勝の印度人に感狀……………四〇三
マラツカ海峡の掃海終る……………四〇三
昭南島の陸軍記念日……………四〇三
昭南特別市、廳開設……………四〇三
シンガポール總領事館閉鎖……………四〇三

【スマトラ】

早くも新聞紙復刊……………四七三
電燈も一部點燈……………四七三
昭南復活狀況……………四七三
星港で邦人三十名救出……………四七三
トーマス總督會見記……………四七三
ラフルス博物館接收……………四七三
昭南島で慰靈祭執行……………四七三
昭南港合同慰靈祭執行……………四七三
昭南島邦人は印度へ護送……………四七三
華僑の長老林文慶氏通電……………四七三
華僑不逞分子檢舉……………四七三
佛領事等無事……………四七三
昭南華僑總協會近く成立……………四七三
昭南港、逞しく復興……………四七三
第三國人も復歸……………四七三
武威山(ブキテマ)等命名……………四七三
昭南港の日本色豊か……………四七三
反日華僑七萬檢舉……………四七三
亞歐混血人に檢閲登錄實施……………四七三
空の勇士合同慰靈祭……………四七三
昭南港放送局修復……………四七三
古賀動物園長昭南港へ……………四七三
ケツベル高地記念碑除幕式……………四七三
昭南放送局放送開始……………四七三
昭南小學校再開……………四七三

【政治・軍事】

ウエーキ島改めて大島島……………四七三
比島
比島放棄論擡頭……………三九八
比島政府濠洲に撤退か……………三九八
バルガス氏大マニラ市長に就任……………三九八
マニラ英米人に寛大な處置……………三九八
殘留協力表明の比島要人……………三九八
木原マニラ政治顧問就任……………三九八
ホロ市治安回復……………三九八
比島農民續々復歸……………三九八
比島行政機構組織命令傳達……………三九八
グアルガス氏聲明發表……………三九八
比島無線交信禁止……………三九八
比島政府指導官補佐官決定……………三九八
臨時政府正式事務開始……………三九八
比島行政各局長任命……………三九八
アキノ内務長官協力を協調……………三九八
グアルガス長官談……………三九八
比島州知事任命……………三九八
マニラ失業救済對策樹立……………三九八
船舶登録實施……………三九八
私權壓迫制限解除……………三九八
ケソンの死亡を望まず……………三九八
ケソンの死亡を望まず……………三九八
ケソン濠洲まで拉致さる……………三九八
比島行政委員會三州編入……………三九八

【政治・經濟】

比島鐵道幹線開通……………四七三
比島人に強制貯蓄……………四七三
暴利取締令發令……………四七三

【對日關係】

米人軍の惡慮ぶり……………四七三
米司令官比島撤退か……………四七三
米魚雷を子供が木馬がはり……………四七三
老志士、米比軍の抗戦停止勸告……………四七三
米人軍の惡慮ぶり……………四七三

【社會・文化】

鐵道も復舊繁華街も蘇生……………四七三
ルカルテ將軍比島に現る……………四七三
オロンガボ治安恢復……………四七三
平和甦るマニラ市……………四七三
マニラ放送開始……………四七三
比島人の米文化脱皮運動……………四七三
リカルテ嬢も宣撫戦線へ……………四七三
スペインの乙女達白衣勇士慰問……………四七三
米人を恐がる少年スバイ……………四七三
新聞雜誌肅正に着手……………四七三
比島に日本文化研究熱……………四七三
更生するルソン南部……………四七三
ナチ山中に復興村……………四七三
大東亞橋完成……………四七三
治安維持會續々結成……………四七三
比島郵便業務再開……………四七三
排日教科書使用禁止……………四七三
ルソン島物々復興……………四七三
マニラ郵便取扱ひ開始……………四七三
比島從來の祝祭日中止……………四七三
教育問題協議……………四七三
マニラに女警官出現……………四七三
軍當局乳幼児へ牛乳の贈物……………四七三

【對日關係】

粗糖小賣價格を公定……………四七三
マニラ物價對策成る……………四七三
比島豫算大節減……………四七三
財政調整を強調……………四七三
保險會社再開許可……………四七三
カリラヤ發電所着工……………四七三
砂糖の買止めを解除……………四七三
日用品製造工業許可申請激増……………四七三
野菜類の増産に着手……………四七三
パンパンガ州製糖會社操業開始……………四七三
マニラの贅澤税引上げ……………四七三

▲比人協力

マニラ邦人保護を聲明……三九〇
ケン大統領と劇的會見……三九〇
歴史的會見嚴肅裡に終る……三九〇
治安確保其他協定成立……三九〇
比島人代表皇軍正式訪問……三九〇
總力をあげて軍に協力……三九〇
比島カトリック教徒の協力……三九〇
混血比島人宜撫に活躍……三九〇
陸海交通復活へ全従業員協
力……四〇五
住民皇軍に協力……四〇五
マニラ大司教皇軍に協力……四〇五
わが軍比島人の職場復帰を
要望……四〇五
新教徒も皇軍に協力……四〇五
比島人醫師の美譽……四〇五
ヴアルガス長官等を招待……四〇五
親日比島人の美談……四〇五
皇軍と住民の握手……四〇五
リカルテ將軍切々の勸告……四〇五

▲軍政・經濟

比島派遣軍司令官布告……三九三
三九四
商店等の營業開始を布告……四〇四
比島方面最高指揮官布告……四〇四
外國紙幣の流通禁止……四〇五
マニラ邦人金融機關業務再
開……四〇七
操業開始を比島派遣軍布告……四〇七
不逞分子に武力行使……四〇七
教育の根本的刷新……四〇七
比島派遣軍の所屬聲明……四〇八
敵性國人へ利益配當制限……四〇八
石原鎮山探險開始……四〇八
敵陣上空で分列式展開……四〇八
臺銀ダバオに出張所開設……四〇八
比島で軍政公報發刊……四〇八

▲社會・文化

市中平穩皇軍に信頼……三九〇

マニラ邦人全部無事……三九〇

敵性比島人逮捕……三九〇
投降の比島人將校手記……三九〇
比島に活躍の建設部隊……三九〇
荒鷲活躍の蔭に主計兵の勞
苦……三九〇
マツカーサー・ライン壊滅
の跡……三九〇
ダヴアオ邦人救出記……三九〇
燒野原のバラંગガ前線を視
る……三九〇
臺灣特設勞務報國團活躍……三九〇
野戰郵便局繁昌……三九〇
比島奥地の宜撫風景……三九〇
マニラの紀元節……三九〇
秩父宮様に戦争畫献上……三九〇
敵兵へ家族の書信傳達……三九〇
リカルテ將軍切々の勸告……三九〇
マニラ婦人會發會式……三九〇
バタアンは不落に非ず……三九〇

東 印 度

蘭印、米へ救援要求……三九五
蘭印に反樞軸聯合軍總司令
部設置を發表……三九六
蘭印の戰略的地位を呼稱……三九六
ファンモーク米國へ……三九六
ハート大將蘭印到着……三九六
反樞軸軍司令部ストラバヤに
蘭印米空軍急派を要請……三九六
蘭印、濠洲に哀訴……三九六
華僑千餘人を逮捕……三九六
副總督蘭印の重要性強調……三九六
蘭印軍事追加豫算……三九六
蘭印、抑留獨人を印度へ護
送……三九六
蘭印に於ける外國投資額……三九六
蘭印の人心不安募る……三九六
蘭印で白服着用は法度……三九六
蘭印の防空施設……三九六

蘭印米英共同作戰本部設置

反對……四〇六
蘭印星港戰況を注意……四〇六
蘭印勞働者奧地へ逃避……四〇六
蘭印戰々兢々……四〇六
蘭印濠に救援要請……四〇六
ファン・モーク蘭印に歸還……四〇六
蘭印總督放逐……四〇六
占領地域に通商制限……四〇六
蘭印で石油消費制限……四〇六
ウエーヴネル更迭要望……四〇六
蘭印における投資状態……四〇六
蘭印副總督米英に憤慨……四〇六
「裏切られた敗北」……四〇六
外國筋、蘭印より逃避……四〇六
蘭印資產米英に委託保管……四〇六
蘭印政權接收軍政布告式舉
行……四〇六
蘭印副總督濠洲に脱出……四〇六
蘭印米英依存の愚を後悔……四〇六
米英責任の轉移に汲々……四〇六
東印度移出入雜貨統制組合
創立……四〇六
蘭印所有の磅及弗資金を統
制……四〇六
今村最高指揮官訓示……四〇六
東印度再建方式成る……四〇六
官公吏の俸給規定公布……四〇六

ジャバ

▲政治・軍事
ストラバヤに最高司令部設置
か……三九五
反樞軸司令部ジャバの奧
地か……四〇一
ジャバ島憂鬱……四〇一
ジャバ危機説頻り……四〇一
蘭印首都抛棄の準備……四〇一
ボールテン・ジャバ島防衛
指揮……四〇一
ジャバは民主主義の墓碑……四〇一

ジャバ失陥に米の援助不足嘆

敵將の降伏署名に蘭印住民
歡呼……四〇七
皇道政治を確立せん……四〇七
バタヴィアの秩序全く恢復……四〇七
原住民族の協力態勢……四〇七
バンドン華僑皇軍に協力……四〇七
軍の定期空路開始……四〇七
ジャバ島施政の暫定方針……四〇七
バタヴィア市政再建方針指
示……四〇七
東部ジャバ省にも軍政施行……四〇七

▲社會・文化

避難民で混亂のバタヴィア……四〇七
バタヴィアで對日協力民衆
大會……四〇七
ジャバ邦人拘禁場所判明……四〇七
石澤バタヴィア總領事手記……四〇七
在留邦人更に救出さる……四〇七
蘭印方面陸海軍合同慰靈祭……四〇七
ジャバの文化施設復活……四〇七
バンドンでラデオ放送開始……四〇七
バンドンに大アドバールン……四〇七
マランドンの治安完全回復……四〇七
ストラバヤ市復舊……四〇七
バタヴィアに文化協會誕生……四〇七
親日有力者を救出……四〇七
バンドンでの救出場人数……四〇七

▲政治・外交

白濠主義一時中止……四〇七
濠紙、英内閣改造要求……四〇七
濠首相本國に要求……四〇七
英、濠洲の要求許容せん……四〇七
對濠救助は手遅れ……四〇七
濠政府再び救援運動……四〇七
濠洲本國に不満……四〇七

▲ボルネオ

タラカン島上陸記……四〇八
治安恢復のボンチアナ……四〇八
▲英領ボルネオ
決死の油田消火作業……四〇八
復舊作業着々進捗……四〇八
若きブルネイ國王と劇的握
手……四〇八
着々復興の北ボルネオ……四〇八
サラワク王亡命……四〇八
サラワク國王土を賣却……四〇八
油田着々復舊……四〇八
北ボルネオ現地報告……四〇八
サラワク英人の逃亡計畫書……四〇八
サラワクに豊富な水銀鑛……四〇八
面目一新のサラワク……四〇八
印度人代表協力決議……四〇八

濠 洲

▲一 般
濠洲恐怖……四〇九
濠洲空前の緊急事態……四〇九
英紙濠洲の危機を報道……四〇九
濠洲人ニユギニアからも
避難……四〇九
英帝國向け航空便停止……四〇九
樞軸國人を逮捕……四〇九
濠洲の脅威増大……四〇九

▲政治・外交

白濠主義一時中止……四〇七
濠紙、英内閣改造要求……四〇七
濠首相本國に要求……四〇七
英、濠洲の要求許容せん……四〇七
對濠救助は手遅れ……四〇七
濠政府再び救援運動……四〇七
濠洲本國に不満……四〇七

濠の對英不滿意々募る……四四三
 英戰時内閣に濠洲代表參加四四三
 濠洲チャーチルを信用せず四四六
 濠洲緊急閣議……四四六
 急援を米英に哀訴……四四六
 政界内紛激化……四四六
 政府緊急閣議……四四六
 臨時議會召集……四四六
 全濠労働者政府を支持……四四六
 濠洲在留外人に禁足令……四四六
 濠洲避難開始……四四六
 濠洲極度に狼狽……四四六
 米英の無力に痛憤……四四六
 チャーチル一人舞臺を攻撃四四六
 チモール島上陸に全濠愕然四四六
 外相、對英米不滿意表明……四四六
 緊急閣議、議會招集……四四六
 英米に救援を要請……四四六
 濠首相國民を激勵……四四六
 フアンモーク、濠首相と協議……四四六
 濠洲、泰に宣戰……四四六
 濠の對泰宣戰は無意味……四四六
 英米の救援不足が原因……四四六
 濠外相を米に派遣……四四六
 濠紙外相を非難……四四六
 濠外相ル大統領と重要協議四四六
 濠首相對聯合國態度闡明……四四六
 ケーシー公使辭任……四四六
 濠前首相の暴論……四四六
 濠議會休會……四四六

英、濠の要求に屈す……四四六
 ウェーヴェルの分擔區域濠洲印度を含まず……四四七
 海相豪語……四四七
 婦人を徵用……四四七
 戰時閣議開催……四四七
 マツカーサー、ダーヴェイン……四四七
 青少年訓練を開始……四四七
 星港防備の要を放送……四四八
 英米の無力に濠洲失望……四四八
 濠洲使節英の不決斷を非難四四八
 濠洲司令官を進級で激勵……四四八
 濠洲更に兵員召集せん……四四八
 濠洲防空に大奮……四四八
 反樞軸軍事會議に濠代表參加……四四八
 飛行機大重生産案發表……四四八
 グラ戦訓練に大奮……四四八
 聯合軍司令部改組要望……四四八
 太平洋軍事會議に代表任命四四八
 海岸地帯に燈管實施……四四八
 米國に空軍援助要請……四四八
 戰略資材採掘に全力……四四八
 陸相危機強調……四四八
 ダーウイン市に戒嚴令……四四八
 遺外部隊を引揚げん……四四八
 新西蘭、濠と共同防備協議四四八
 北部一帯に戒嚴令……四四八
 軍事諮問會議開催……四四八
 戰時態勢強化……四四八
 根本防衛軍樹立……四四八
 濠洲軍の綜合編成……四四八
 議會非常對策討議……四四八
 防空に汲々……四四八
 濠、新西蘭防衛協議……四四八
 北部海岸防備に大奮……四四八
 六十未滿の男子に登録要求四四八
 一切の標識を除去……四四八
 破壊戰術の一手……四四八

濠洲國防軍司令部警告……四四八
 敗將ベネット歸國……四四八
 ニューギニア上陸に狼狽……四四八
 濠洲防衛策に腐心……四四八
 日本の攻勢を懼る……四四八
 濠公使が自棄的反攻論……四四八
 敗將を教育總監に任命……四四八
 軍需食糧統制官任命……四四八
 在濠聯合國軍需會議々長任命……四四八
 マツカーサー渡濠は日本軍の勝利承認……四四八
 濠洲軍改編か……四四八
 濠戰備強化を急ぐ……四四八
 マレーの濠軍損失リビアより大……四四八
 濠洲査問委員會設置……四四八
 ベネットの戰闘日誌紛失……四四八
 マツカーサー就任演説……四四八
 華府より見た濠洲の地位……四四八
 聯合軍立直しに大奮……四四八
 米敗將濠首相會見……四四八
 プレミー、濠洲に歸着……四四八
 濠海外派遣軍引揚……四四八
 濠洲北部に非常事態を布告四四八
 濠洲が米兵に手を焼く……四四八
 濠軍首腦部改編……四四八
 濠洲軍に歸國命令……四四八
 濠政府軍事から手を引く……四四八

近く租稅制度を改革……四四八
 濠洲國內鑛産獎勵に乘出す四四八
 株式取引所再開……四四八
 銀行利子引下げ……四四八
 本年度の濠洲羊毛生産……四四八
 濠の茶、煙草不足激化……四四八

新西蘭
 新西蘭壯丁召集……四四八
 軍費膨脹……四四八
 新西蘭英米に救援要請……四四八
 國防軍急編成……四四八
 ニュージランドに防衛の要四四八
 新西蘭男女動員……四四八
 新西蘭で女子を徵用……四四八

歐米

ヨーロッパ

昨年度歐洲諸國小麦生産高四四八
 新歐洲の通商政策……四四八
 地中海次第に樞軸の湖水化四四八
 獨伊の春季攻勢の聲に脅け四四八
 第二戰線論英獨反響……四四八

ドイツ
 反樞軸同盟を獨紙嘲笑……四四八
 軍黨對立説はデマ……四四八
 宣傳相終局的勝利確信……四四八
 煙草にも切符制……四四八
 英首相演説評……四四八
 と總統の演説……四四八
 重大化する労働問題……四四八
 新聞長官感傷の寄附……四四八
 レバリス號擊沈と老判事の親心……四四八

來るべき數ヶ月を見よ(總統演説)……四四八
 ラトヴィアの婦人労働者着獨……四四八
 在獨大使館機構統合擴大……四四八
軍事
 獨伊海軍、協力作戰に意見一致……四四八
 プラウヒツチ元帥は病臥中四四八
 ライヘナウ元帥後任任命……四四八
 シュニペール博士を軍需相に起用……四四八
 春季攻勢準備……四四八
 マツカーサー任命の反響……四四八
 春季攻勢準備成る……四四八
占領地問題
 占領下東部地方の經濟建設四四八
 占領地のソ聯式農法修正……四四八
 東部占領地區に個人農業經營復活……四四八
計
 ライヘナウ元帥急逝……四四八
 トット博士航空事故で逝け四四八
 飛行船界の先覺者逝く……四四八
 電氣界先覺ボツシュ博士逝去……四四八
對外關係
 ▲對日
 マニラ陥落を獨紙絶讚……四四八
 大島大使、ヒ總統訪問……四四八
 第四回日獨學生大會……四四八
 東郷外相演説の反響……四四八
 東條演説へも絶讚の嵐……四四八
 皇軍勝報に沸くベルリン……四四八
 天皇陛下へ獨總統祝電……四四八
 獨紙わが戰勝を激賞……四四八
 獨紙星港陥落報道……四四八
 わが對印度度と獨當局……四四八
 ヒトラー總統と日本……四四八

澎湃たる日本研究熱……四六五
獨紙、皇軍作戦絶讃……四六五
蘭貢占領を獨紙、絶讃……四六五
獨軍首腦「燃ゆる大空」に感銘……四七〇

獨紙、東條演説を全的支持……四七〇
獨外務省東條宣言支持……四七〇
大島大使の談話……四七〇
大島大使スロヴァキア訪問……四七〇
大島大使、メツケル將軍を賞揚……四七三

▲其 他
獨外相、洪都へ……三九六
外務省南米の動向注視……四〇五
對北歐三ヶ國木材協定成立……四〇五
諾威獨平和條約締結か……四〇五
獨紙歐亞の輝しき提携豫言……四〇六
パーベン駐土大使歸國……四七〇
獨總統、勃國王會談……四七三

▲【財政・經濟】
歐洲經濟新秩序の建設に邁進……四〇九
更に生産擴張可能……四〇九
新しく世界貿易に東亞共榮圈登場……四一四
豊富な礦物資源……四一四
獨羅新經濟協定調印……四一六
本年度歳入四百九十億マルク……四一六
ダイ・トラス社増資斷行……四二二
東亞、歐洲兩經濟圏の交易……四二五
獨伊經濟協定成立……四二五
ドイツ商業銀行預金増大……四二九
ライヒスバンク取引高激増……四三九
戰時金融強化フロンツ報告……四三九
軍需價格制度改革……四七〇
食糧確保に邁進……四七〇
食料切符更新……四七二
獨使用の外勞働者數……四七三
獨で合金類の輸出統制……四八三

獨産業界の合理化に邁進……四三三
ウクライナの信用機構成る……四三四
製皮繊維の増産に着手……四三四
勞働統制機構の強化……四三四

イタリヤ

チャーチル演説を擲擧……四四〇
ム首相、黨副書記長任命……四四〇
伊紙日獨伊武力完勝強調……四四〇
ホルティ攝政の地位不變……四四七

▲軍 事
參謀總長更迭……四四〇
ム首相決戦決意表明……四四〇
アオスタ公重懲……四四七
アオスタ公逝去……四四七
空軍將士に勳章授與……四四七
紡績の操業時間……四四九
獨伊兩藏相金問題を説く……四四九
食糧品物價引下げ……四五七
中央銀行配當措置……四五七
人絹工業の發展……四八三
財政經濟狀態依然安定……四八三

▲【對外關係】
▲對 日
マニラ陥落絶讃……三九〇
蘭印敵前上陸に感銘……四一〇
大島大使ム首相と會見……四一六
ローマ日本友の會開館式……四二五
官民、皇軍の成功に驚嘆……四二五
伊紙、東條演説を絶讃……四七三
須磨公使ローマへ……四七三

▲對 獨
イタリヤ銀行總裁訪獨……四四八
獨空相、伊首相會見……四四八
▲其 他
斷交につき政府聲明……四六三
サウジ・アラビアと斷交……四六七
洪議會から視察メツセーヂ……四七〇

ハンガリーと貿易協定……四六五
カヴァレロ伊參謀總長訪洪……四六五
政府、ブラジルに抗議……四六五

法 皇 廳

教皇南米の嚴正中立を希望……四二〇
カルミナチ師逝去……四二五
日本法皇廳間外交關係設定好感……四六五
原田公使四月上旬赴任……四六五

フ ラ ン ス

佛内相頓死説は誤報……三九〇
敗戦責任者の裁判……四一〇
アンドレ・ベルソール逝く……四一〇
行政裁判所バリへ復歸……四一七
佛の復興進捗……四二五
敗戦責任公判始まる……四二五
佛戰艦ダ號ツロンに歸港……四二七
米佛戰艦のツロン回航を重視……四二七
佛、嚴正中立保持を回答……四二七
公債借換發表……四二七
作家アルグレット死去……四二七
ラヴアル氏復活か……四二七

▲【對外關係】
ウイシー、エジプト斷交……四二〇
佛西金融協定成立……四二七
重慶に嚴重抗議……四二七
加藤外松大使急逝……四二七
米海軍ニュー・カレドニア占據……四二七
佛大使米に抗議……四二七
ペタン主席英國の不法痛撃……四二七
獨佛關係協議……四二七
三谷新大使に好感……四二七

▲其 他
斷交につき政府聲明……四六三
サウジ・アラビアと斷交……四六七
洪議會から視察メツセーヂ……四七〇

ポ ル ト ガ ル

層鐵鋼徵發……三九〇
ポルトガル重要會議……四二〇
駐英葡大使歸國……四二〇
大統領四選稱實……四二〇
蘭印降伏反響……四二七
▲チモール問題
駐英葡大使チモール島問題で歸國……三九〇
チモール問題協議……四二〇
チモールに派兵……四二七
葡國はチモール上陸を歓迎……四二七

▲對日關係
千葉公使葡外相訪問……三九〇
日葡會談……四二一
千葉公使葡首相訪問要談……四二六
初代駐葡武官赴任……四二六
▲外交官交換
外交官交換のため葡船米へ……四二〇
交戰國外外交官交換船葡港出帆……四二七

▲【對外關係】
▲對 日
須磨公使スニエル外相會談……四二七
マドリッド在留邦人の感激……四二七
スペイン紙皇軍を絶讃……四二七
スペイン紙東亞戰況評……四二七
スペイン在伯大使わが權益代行……四二七
須磨公使西外相を訪問……四二七
▲其 他
西葡關係檢討……四二二
英スペインの中立侵犯……四二二
交戰國利益保護局設置……四二二

▲【對外關係】
▲對 日
ソ聯より歸つた中川、吉田兩氏……三九三
建川大使ソ聯外務省當局會見……四二〇
日本の成功を認む……四二五
建川大使四月中旬歸朝……四二七

駐西アメリカ大使歸國……四二五
タンジール事件を重視……四二五
西葡首腦會談……四二五
王公使マドリッド着……四二六
西外務省米紙のデマ粉碎……四二七
西カナリー群島謀略を粉碎……四二七
駐西滿洲國公使マドリッド着……四二七

▲【對外關係】
▲對 日
ソ聯より歸つた中川、吉田兩氏……三九三
建川大使ソ聯外務省當局會見……四二〇
日本の成功を認む……四二五
建川大使四月中旬歸朝……四二七

和蘭外相も渡米……四二七
米國へ使節特派……四二七
アルバ島より避難か……四二八
亡命蘭外相米國を恨む……四二七
亡命政權聲明……四二七
ナチス黨主新秩序協力放送……四二七
蘭印敗戦責任者を痛罵……四二七

▲【對外關係】
▲對 日
ソ聯より歸つた中川、吉田兩氏……三九三
建川大使ソ聯外務省當局會見……四二〇
日本の成功を認む……四二五
建川大使四月中旬歸朝……四二七

▲【對外關係】
▲對 日
ソ聯より歸つた中川、吉田兩氏……三九三
建川大使ソ聯外務省當局會見……四二〇
日本の成功を認む……四二五
建川大使四月中旬歸朝……四二七

建川大使廿五日歸國の途に四六六
佐藤大使クイブイシエフ着四三六
▲其他
亡命波政府と諒解成立説：三九九
リ大使第二戦線を要望：四四四
カー大使着任：四七三
英大使、スターリンと會見四八六

北歐諸國

スエーデン
鐵鋼輸出増加：四二〇
ストツクホルムで戦勝祝賀四七六
日本研究熱：四三六
ノルウエー
新内閣成立：四六四
フィンランド
船舶喪失：三九九
デンマーク
平價切上げ：四四七

バルカン諸國

亡命政権の間でバルカン同盟
樞軸側春季攻勢協議か：四二二
ハンガリー
攝政代理決定：四四七
洪代表トルコに派遣：四六七
首相更迭：四六七
大久保公使に大十字章：四八六
洪政府南京に外交代表任命四八六

ブルガリア
日勃協會創立：四三六

皇軍勇士のため醜念：四四六
山路公使罹災金傳達：四八六
山路公使トブリツチ訪問：四八六

アフリカ

アフリカ軍事道路の建設：四二二
佛、モロッコ在住英人拘禁四七五
米軍エリトリアに基地建設四七五
埃及對佛斷交：三九九
棉花を小麦に轉換：四二二
内閣總辭職事情：四二二
埃及駐屯英軍司令官新任：四二二
ナハス・パンヤ組閣に着手四二二
埃新内閣成立：四二二
埃及新内閣顔觸れ：四二二
英軍敗北にエヂプト不安：四二二
新棉植付反別更に縮減：四二二

【南阿】
ガンソリン割當制斷行：三九九
英本國と別離を希望：四二二
南阿で反政府陰謀發見：四二二
南阿ソ聯と領事交換：四二二
上院、對日宣戰案可決：四二二
南阿の産金増加率減退：四二二
南阿の財政及び貿易狀勢：四二二
南阿増稅案金鑛業に打撃：四二二
南阿の戰爭脱退氣運：四二二
南阿住民軍編成：四二二
南阿議會軍事豫算可決：四二二

西亞諸國

回教徒の指導者皇軍の勝利を絶讃：四二二
重慶公使近東に暗躍：四二二
近東の英勢力チリ貧：四二二
重慶、西南アジアに策動：四二二
對ソ西亞輸送路の現況：四二二
西亞の危機、英對策に腐心四二二

トルコ

衣服類の騰貴抑制：三九九
英ソの重壓を危惧：三九九
英大使、アンカラに歸任：三九九
英在土英人に引揚令：四二二
英大使、土大統領と會談：四二二
義務兵役年限延長：四二二
通貨の安定期待さる：四二二
日本の優越を強調：四二二
パーベン獨大使襲撃事件：四二二
ソ聯領事館手入：四二二
トルコ新任武官：四二二
ソ英兩大使土外相と要談：四二二
駐土獨大使急遽歸國：四二二
ソ土關係重大化：四二二
トルコを繞る英機急：四二二
トルコ爆撃は英機：四二二
土耳古が共產黨彈壓：四二二
土大統領重ねて中立闡明：四二二
土外相、米大使會談：四二二
大統領中立嚴守を強調：四二二
土軍東部國境に集結：四二二
土勃通商條約成立：四二二
瑞士清算協定調印：四二二
安東參事官歸途に：四二二
米ドル低落：四二二

イラク、重慶通商協定：四二二
英司令官、對ソ援助ルート協議：四二二
イラクに反英熱昂揚：四二二
イラクの棉花減收：四二二
イラン
英イラン協定調印近し：四二二
イラン經由對ソ輸送活潑化四二二
英、ソ、イラン同盟條約内容：四二二
イラン全閣辭表提出：四二二
イランの小麥不足深刻化四二二
ソ聯イランの重要據點占據か：四二二
シリア
英宣傳部長シリアへ：四二二
アフガニスタン
アフガニスタンから觀た大東亞戰爭：四二二
イギリス
敗戦に非難轟々：三九九
ワシントン會議に不満轟々三九九
イデン東亞情勢辯明：三九九
印度事務相に非難集中：三九九
ボバム猛烈に非難さる：三九九
ビルマの自主權要求を拒否三九九
民心乖離か：四二二
東西の危機に憂色：四二二
本國政府糾彈の聲昂まる：四二二
内閣破局に當面：四二二
政府の責任糾彈愈々急：四二二
内閣改造愈々不可避か：四二二
労働黨領袖政府を非難：四二二

イギリス

▲政治一般
敗戦に非難轟々：三九九
ワシントン會議に不満轟々三九九
イデン東亞情勢辯明：三九九
印度事務相に非難集中：三九九
ボバム猛烈に非難さる：三九九
ビルマの自主權要求を拒否三九九
民心乖離か：四二二
東西の危機に憂色：四二二
本國政府糾彈の聲昂まる：四二二
内閣破局に當面：四二二
政府の責任糾彈愈々急：四二二
内閣改造愈々不可避か：四二二
労働黨領袖政府を非難：四二二

内閣改造一應持越しか：四二四
狀勢を極度に悲觀：四二四
英帝國の意見分裂：四二四
英皇帝王宮移轉か：四二四
國士の士氣改選斷行：四二四
懸案の内閣改造斷行：四二四
北阿の憂色加はる：四二四
英帝國の瓦解を苦慮：四二四
輿論益々前途を悲觀：四二四
首相國民の覺悟を促す：四二四
北愛蘭で第五列取締り：四二四
ホア・ベリンシャ一派脱黨：四二四
政局不安最高潮へ：四二四
復々英情報相を非難：四二四
保守黨幹事長更迭：四二四
英紙將來を悲觀：四二四
リットルトン歸英：四二四
外相情報相兼任か：四二四
アトリー英副首相演説：四二四
首相演説：四二四
英帝、國民に呼びかけ：四二四
ラスキ、教授英社會改革を力説：四二四

▲議會關係
政府議會へ職局報告：三九九
政府對議會策に汲々：三九九
再開議會の紛糾必至：四二二
下院の首相詰問急：四二二
▲印度問題
議會に印度懷柔論擡頭：四二二
印度、ビルマ問題議會で論議四二二
政界、印度の將來を不安視四二二
上院印度防衛討議：四二二
對印政策に對する觀測：四二二
英紙インド自由保證を説く四二二
首相の聲明延期：四二二
對印新政策來週公表：四二二
クリップスを印度に派遣：四二二
印度問題討議後廻し：四二二
印度懷柔態度表明：四二二

クリップス派遣に米側悲觀的觀測……………四三六

▲首相信任問題
チャーチル矢面に立つ……………四四九
チャーチル四面楚歌……………四四九
内閣改造願觸れ豫想……………四四九
チャーチル總選舉で議員を威嚇……………四四九

チャーチル首相の議會演說四四九
チャーチルの東亞敗戰報告
詳報……………四四九
ロンドン各紙反響……………四四九
信任賛否……………四四九
下院黨々の非難提起……………四四九
チャトフィールド提督の痛撃……………四四九

政府信任案を繞る討議上程四四九
チャーチル信任さる……………四四九
英の不安益々増大……………四四九
英首相の前途暗澹……………四四九

▲内閣改造
チャーチル遂に内閣を改造四四九
獨クリップス入閣を重視……………四四九
英米紙の英内閣改造評……………四四九
伊の英内閣改造評……………四四九
英國の關係……………四四九

▲内閣第二次改造
内閣改造の狙ひ……………四四九
内閣第二次改造……………四四九
英紙、内閣改造に不満……………四四九
獨の英内閣改造評……………四四九

▲チャーチル
チャーチル再び華府へ……………四四九
チャーチル歸國か……………四四九
チャーチル辛うじて歸國……………四四九
チャーチルが渡米したのはヨーク號……………四四九
チャーチル依然不評……………四四九
チャーチル政府に痛撃……………四四九
ダフ・クーパー……………四四九

危く爆死を免る……………四四九
クーパー着埃……………四四九
クーパー歸英……………四四九

▲クリップス
クリップス歸英……………四四九
クリップス下院演說……………四四九
クリップス内閣出現か……………四四九

【對外關係】
英ソ近東策に惱む……………四四九
英宣傳部長シリアへ……………四四九
歐洲亡命政權會議……………四四九
カー大使ソ聯駐劄となる……………四四九
米特派員追放事件重大化……………四四九
英・ソ・イラン同盟……………四四九
ビーヴァ・ブルック渡米決定……………四四九
ケーシー派公使近東常駐相に……………四四九
ビーヴァ・ブルック、リスボン着……………四四九
モンクトン近東常駐相代行……………四四九
外務次官英ソ關係開明……………四四九
サン・ビエール行政官倫敦着……………四四九
ニューマイヤー歸英……………四四九

▲對日
加納正金支店長拘留さる……………四四九
日英外交官交渉交渉進捗中……………四四九

▲對エール
エール駐劄武官を任命……………四四九
エール問題再び表面化……………四四九

▲對重慶
重慶への申譯……………四四九
重慶に財政援助考慮……………四四九

▲對濠
英濠反目深刻化……………四四九
マルタ防衛司令官更迭……………四四九
ベルギー人を落下傘部隊へ……………四四九

歐洲に陸作戦先づ絶望……………四四九
米兵英國派遣準備……………四四九
米國北愛蘭に基地建設か……………四四九
英京で聯合國會議……………四四九
兩戰線の取捨に迷ふ……………四四九
デル參謀總長カナダ訪問……………四四九
新銳戰艦ヨーク公號就役……………四四九
戰時生産省の機能……………四四九
太平洋軍事會議初會議……………四四九
三砲艦を重慶に寄贈……………四四九
太平洋軍事會議に印度代表招聘……………四四九
空軍首腦異動……………四四九
首相戰局演說……………四四九
海軍勢力全く無力……………四四九
飛行機増産に大童……………四四九
聯合國軍事會議次期作戦討議……………四四九
兵役年限延長……………四四九
英艦艦々入渠……………四四九
海軍異動……………四四九
戰時生産參謀本部設置……………四四九
新銳艦建造……………四四九
「建艦週刊」……………四四九

▲敗戦關係
マレー敗戦を糾弾か……………四四九
英提督ら前途を悲觀……………四四九
星港上陸に英益々憂鬱……………四四九
星港失陥は英帝國崩壊第一歩……………四四九
海軍評論家弱音を吐く……………四四九
日本軍事力過少評價を後悔……………四四九
敗因は積悪の植民政策……………四四九
獨艦隊脱出にロンドン騒然……………四四九
チャーチル敗戦辯解放送……………四四九
英米敗戦責任の塗合ひ……………四四九
マレー支配の缺陷暴露……………四四九
英紙アフリカ航路の重要性……………四四九

指摘……………四四九
英印軍司令官危機強調……………四四九
ボナム大將敗戦報告……………四四九
英紙ウエーヴェルを痛罵……………四四九
タイムス紙の警告……………四四九
ジャバ海戰議會で問題化せん……………四四九
ダフ・クーパーの苦しい辯明……………四四九
キーズ元帥ア海相非難……………四四九
英紙、日本海軍の優秀性に驚嘆……………四四九
危険區域擴大宣言……………四四九
マレー敗戦査問委員會設置……………四四九
アンダマン島に陸糾弾さる……………四四九
星港失陥査問で押問答……………四四九

▲社會一般
コンノート公薨去……………四四九
カンタベリー大僧正辭職……………四四九
新カンタベリー大僧正任命……………四四九
スポーツ制限か……………四四九
赤化する英國……………四四九
英紙西亞防衛強調……………四四九
英紙の反戰漫畫……………四四九
國民の政府に對する不満……………四四九

▲【財政・經濟】
▲一 般
重税に悩む英國國民……………四四九
歳入未曾有の巨額を記録……………四四九
マレーの喪失と經濟的打撃……………四四九
軍需相、武器増産の必要を力説……………四四九
對屬領負債増大……………四四九
戰時財政膨脹……………四四九
英土新協定成立……………四四九
米の對英支拂請求權放棄を英紙要望……………四四九
米英通貨計畫は難問……………四四九
マレー關係業者の救済に政

府乗出さん……………四四九
援蔭新借款の效果……………四四九
爲替管理手續修正……………四四九
敗戦の打撃深刻暗澹たる英經濟界……………四四九
窮迫する戰時下の生活相……………四四九
國民生活切下げ深刻……………四四九
財政赤字増大……………四四九
武器製造會社の収益減退……………四四九
航空機工業の生産不進……………四四九

▲戰費
援蔭軍備五千萬磅提供……………四四九
戰費國民所得の過半に達す……………四四九
戰費一日一千二百五十萬磅強……………四四九
急増する英米の戰費……………四四九
軍事費膨脹……………四四九
戰費前大戰總額突破……………四四九

▲金融
香港在留英人の在英預金の取扱ひ決定……………四四九
英米金融合作に苦慮……………四四九
銀行預金引出し顯著……………四四九
公債公募成績不良……………四四九
五大銀行収益狀況……………四四九
商業會社増資……………四四九
銀行預金減少傾向濃化……………四四九
英蘭銀行券流通高新記録……………四四九
英證券類エチプト市場で慘落……………四四九
米貨證券賣却……………四四九

▲株式
マレーの敗報に株界恐慌……………四四九
南米關係株暴騰……………四四九
ロンドン株式週報……………四四九
ロンドン株式週報……………四四九
ロンドン株式慘落……………四四九

▲貿易
國際茶輸出許可率大巾引上……………四四九
敵性商品の輸入取締強化……………四四九
シンガポール弗の取引杜絶……………四四九

▲海運

- ▲海運
 - ロンドン海保組合全航路の戦時保険引上げ…………… 四九三
 - 海員一萬喪失…………… 四一五
 - ロンドン海運市況…………… 四二五
 - 英註文の第一船入港…………… 四二六
 - 東亞水域の海保料引上げ…………… 四二六
 - 印度方面海保料率引上げ…………… 四二七
 - 東亞方面への海保料率全般の引上げ…………… 四二七
 - 海運界益々危機に面す…………… 四二七
 - 海保料率又復大巾引上げ…………… 四二七
 - 英濠間の海保料率撤廢…………… 四二五
 - 商船隊再建は困難…………… 四二五
 - ロンドン海運近況…………… 四二四
 - 攻撃を恐れ船員乗船忌避…………… 四二四
 - 戦時海保料率引上げ…………… 四二四
 - ▲食糧問題
 - 船舶不足から食糧補給愈々困難化…………… 四九三
 - 食糧制限益々強化…………… 三九三
 - 食糧制限…………… 四二四
 - 砂糖、食用油脂の割當減額…………… 四二五
 - 食糧の配給を更に減少…………… 四二五
 - 食糧不足愈々深刻…………… 四二六
 - コーヒー割當實施か…………… 四二六
 - 食糧益々缺乏…………… 四二六
 - 昨年度の主要食料品卸賣指、數…………… 四二六
 - 米英の砂糖窮乏…………… 四二六
 - 食糧情勢逼迫…………… 四二七
 - 白パン遂に姿を消す…………… 四二七
 - 英ソの食糧難深化米國への依存増大…………… 四二七
 - ▲金銀
 - モーカーツ・ゴールドスミツド商會金銀塊年報…………… 三九三
 - 昨年度の世界産金額減少…………… 四二四
 - 昨年度世界銀生産高…………… 四二四
 - 金の王座轉落は英帝國に打

▲物價

- ▲物價
 - 議會で金無用論の應酬…………… 四七九
 - 歐洲開戦以來の物價騰勢顯著…………… 四二四
 - 小賣商品價格騰貴…………… 四二五
 - 開取引激増…………… 四二五
 - 閑取引に嚴罰主義を採用…………… 四二五
 - ▲労働
 - 努力不足から少年少女まで登録…………… 三九三
 - 政府賃銀問題で労働組合と對立…………… 四二五
 - 更に民需労働制限…………… 四二五
 - 老人も徵用、白パン禁止…………… 四二四
 - ▲ゴム
 - ゴム資源に悩む英國…………… 三九三
 - ゴムの消費制限強化…………… 四二五
 - ゴム資源を喪つて漸く目醒む…………… 四二五
 - 古タイヤ回収に新機開設置…………… 四二五
 - ゴム、錫の補給に苦慮…………… 四二五
 - マレーのゴム輸出を管理…………… 四二五
 - ダンロップ・ゴムの値下り損四百萬磅…………… 四二七
 - マレー關係ゴム株比較的落着…………… 四二六
 - ▲錫
 - ゴム飢饉で英製製業苦境…………… 四二六
 - ゴム廢品回収に大奮…………… 四二六
 - 再生ゴム利用に大奮…………… 四二六
 - ゴム在荷の回収を開始…………… 四二六
 - ▲錫
 - 錫確保に懸命…………… 四二五
 - 錫不足激化…………… 四二五
 - 昨年中の世界錫需給情勢…………… 四二五
 - 英米の錫精鍊能力七萬トン…………… 四二六
 - 錫對策に腐心…………… 四二六
 - ロンドン錫市場總解合…………… 四二七
 - 聯合國の錫供給量を誇稱…………… 四二七
 - 錫増産計畫…………… 四二七

▲錫消費量大削減

- ▲錫消費量大削減…………… 四八三
- ▲鐵
 - 屑鐵回收運動…………… 四二五
 - 鐵鋼不足激化…………… 四七九
 - ▲石炭
 - 石炭飢饉…………… 四七九
 - 炭坑罷業…………… 四八三
 - 兵役解除で石炭増産…………… 四八三
 - ▲機業・紡績・織維
 - 機業を重要戰時工業に認定…………… 三九三
 - 昨年中の機業界活況…………… 三九三
 - 在米手持羊毛を米に賣却…………… 四二五
 - 紡績操業擴張に逆轉…………… 四二七
 - 紡績界の苦惱…………… 四二四
 - ランカシア紡績業窮境…………… 四二四
 - 紡績業の利益率引上げ…………… 四二四
 - ▲其他物資
 - 茶ゴムの國際統計表停止…………… 四二五
 - 反輻軸國の石油確保案…………… 四二六
 - 石鹼にも配給制當制…………… 四二六
 - 豚毛の使用を制限…………… 四二七
 - ゴム・ガソリン消費制限強化…………… 四二七
 - 衣料切符更に窮屈化せん…………… 四二七
 - 茶入手困難深刻化…………… 四二七
 - 石油會社の窮境深刻…………… 四二七
 - 重要物資の配給統制強化…………… 四二七
 - 物資對策に腐心…………… 四二七
 - パス切符まで回収…………… 四二七
 - 新聞一部休刊し残りは回覽…………… 四二七
 - 物資缺乏…………… 四二七

カナダ

- カナダ
 - エール強硬聲明…………… 四二五
 - エール對米抗議の経緯…………… 四二五
 - 英兵の入國禁止…………… 四二五
 - 海軍兵力増強…………… 四二五
 - 徵兵制採用か…………… 四二五
 - 空軍基地續々竣工…………… 四二五
 - 軍需工場に女子を徵用…………… 四二五
 - 輻軸國民の移住を命令…………… 四二五
 - 未曾有の小麥滞貨に悩む…………… 四二五
 - 對英クレヂットを公債に轉換…………… 四二五
 - カナダ總人口千五百五十萬…………… 四二五
 - 小麥收穫高…………… 四二五
 - 加ソ領事交換協定成立…………… 四二五
 - 軍需品發注高三十億弗を突破…………… 四二五
 - 對英十億ドル贈致案…………… 四二五
 - 三方面軍司令官任命…………… 四二五
 - 全生産能力動員を發表…………… 四二五
 - 本年度小麥植付反別不變…………… 四二五
 - 男子召集…………… 四二五
 - 濠洲を見殺し…………… 四二五
 - 世界ニツケル生産増大…………… 四二五
 - ▲對日關係
 - 在留邦人、防備地域より撤退…………… 四二五
 - 在カナダ邦人に禁足令…………… 四二五
 - 日本人に移住命令…………… 四二五

中南米諸國

- 中南米諸國
 - 【リオ會議迫る】
 - 汎米會議十五日から開催…………… 四二五
 - 對輻軸一致宣戰案に南米の反對益々鮮明…………… 四二五
 - リオ會議に暗影…………… 四二五
 - 對輻軸共同宣戰案は成立難…………… 四二五
 - 汎米共同宣戰反響稀薄…………… 四二五
 - チリ外相對戰爭態度表明…………… 四二五
 - ギ外相、亞國の立場闡明…………… 四二五
 - アゼラン海峽武裝に抗議…………… 四二五
 - 南米ABC外相リオ會議へ…………… 四二五
 - 【リオ會議外相會議】
 - 對輻軸共同宣戰案を繞つて…………… 四二五
 - 弗外交リオに暗躍…………… 四二五
 - 開會式伯大統領演說要旨…………… 四二五
 - 會議議事要項…………… 四二五
 - 伯大統領演說…………… 四二五
 - 米代表演說…………… 四二五
 - ウ國外相對輻軸斷交案提議…………… 四二五
 - リオ會議の懸引…………… 四二五
 - ベエ紛争が案外の難關…………… 四二五
 - 會議に二つの潮流…………… 四二五
 - 中南米七國斷交決議…………… 四二五
 - 米代表、政治防衛委員會設立提案…………… 四二五
 - 會議の足並揃はず…………… 四二五
 - 對輻軸案國斷交を繞る對立…………… 四二五
 - 會議の主要議案…………… 四二五
 - 米の暗躍今や最高潮…………… 四二五
 - ペルー斷交案に傾く…………… 四二五
 - 米洲各國對米協調に傾く…………… 四二五
 - 亞國が斷交案協案提出…………… 四二五
 - 智利、參謀會議設置提案…………… 四二五
 - 對輻軸斷交案可決…………… 四二五
 - 米、リマ會議威嚇のため軍艦派遣…………… 四二五
 - 獨伊も汎米會議を牽制…………… 四二五

エール

- エール
 - デ・ヴァレラ首相、米軍上陸に抗議…………… 四二五
 - 愛蘭派遣兵力…………… 四二五
 - 米軍派遣の目的…………… 四二五
 - エール有和に英猛宣傳…………… 四二五
 - 非常時狀態宣言…………… 四二五

▲反樞斷交案

反樞斷交案の運命……………四六六
 共同宣言案内容……………四六六
 亞、智兩國の留保條件で骨
 拔……………四六六
 米國、アルゼンチンに側面
 工作……………四六六
 チリ、米海軍に保障要求……………四六六
 斷交案難産……………四六六
 秘大統領對樞軸國斷交言明……………四六六
 カスチヨ副大統領の正論……………四六六
 米國アルゼンチンを恫喝……………四六六
 斷交案修正採擇……………四六六
 斷交勸告案滿場一致で可決……………四六六
 米今後の對南米策……………四六六
 ウルグアイまづ斷交……………四六六
 ベルー外交關係斷絶……………四六六
 ブラジルも斷行か……………四六六
 亞・智兩國は留保條件付贊
 成……………四六六
 南米三國々々斷絶……………四六六
 ブラジル國交斷絶……………四六六
 ボリヴァイア國交斷絶……………四六六
 米洲十九ヶ國樞軸國と斷交……………四六六
 經濟斷交案可決……………四六六
 ▲其の他
 米洲生産擴充案……………四六六
 米洲同盟國の非交戰地位承
 認……………四六六
 第五部隊取捨案可決……………四六六
 米洲軍事會議を開催……………四六六
 大西洋憲章確認……………四六六
 委員會二案可決……………四六六
 決議事項……………四六六
 外相會議閉幕……………四六六
 獨當局米諸國に警告……………四六六
 【一 報】
 マニラ陥落米洲にどう響く……………四六七
 コロンビア、パナマ防衛強
 化……………四六七

エクスアドル、ペルー懸案解

決……………四七五
 南米の樞軸系航空會社復活……………四七五
 中南米のゴム栽培擴張……………四七五
 南米の親英分子も覺醒……………四七五
 三浦公使以下米國へ……………四七五
 伯國のゴムを繞つて米亞兩
 國の對立……………四七五

ブラジル

伯國各國外交官の通信制限……………四七五
 伊國船を抑留……………四七五
 反樞軸措置……………四七五
 國內政策大修正……………四七五
 獨逸大使館を彈壓……………四七五
 伯、亞兩國警戒開始……………四七五
 フエルナンド・ノローニ
 島を國有化……………四七五
 ブラジル、米に軍事基地提
 供か……………四七五
 ブラジル船に武裝命令……………四七五
 伯國內に發動機製作工場設
 置……………四七五
 ブラジル拓殖會社契約取消……………四七五
 米伯經濟協定妥結……………四七五
 伯大統領に非常時權限……………四七五
 伯國が伊船を米に讓渡……………四七五
 伯國船に待避令……………四七五
 伯樞軸國人資産沒收……………四七五
 リオで反樞軸デモ……………四七五
 伯國デンマーク船を沒收……………四七五
 反樞軸熱狂……………四七五
 空軍使節歸國……………四七五
 拘禁樞軸人を移す……………四七五
 ▲對日關係
 リオ、グランデでも邦人取
 締……………四七五
 日外交官動靜調査依頼……………四七五
 富井大使亞國外相と會見……………四七五
 在留邦人の身分證明書取上

チリ

中立宣言……………四七六
 樞軸國人行動監視……………四七六
 新大統領にリオス氏……………四七六
 外相閣議に報告……………四七六
 チリ斷交せず……………四七六
 沿岸防備計畫……………四七六
 外相渡米……………四七六
 チリ一船擊沈は米國の仕業
 か……………四七六
 チリ一船の安全保障を回答……………四七六
 鐵物の輸出に事前許可制……………四七六
 新内閣閣議……………四七六
 商船擊沈豫防方策闡明……………四七六

ボリヴァイア

宣戰説を否定……………四七六
 ボリヴァイア開發會社設立……………四七六
 駐ボ帝國使臣チリへ……………四七六
 米國の在日利益代表に瑞典四七六

アルゼンチン

亞國對外送金統制……………四七六
 副大統領領談……………四七六
 樞軸國の經濟活動制限か……………四七六
 在亞交戰國商社は取引統制……………四七六
 富井大使、外務省訪問……………四七六
 米の物價政策批難……………四七六
 昨年度の貿易増加……………四七六
 マゼラン海峡武裝化に關し
 四國間に協定成立……………四七六
 マゼラン海峡防衛計畫進む……………四七六
 ア國船捕護送か……………四七六
 米の巡宣傳拂拭さる……………四七六
 亞紙、米の隱蔽主義に警告……………四七六
 對樞軸國斷交案提出……………四七六
 防衛強化に乗出す……………四七六
 ジュート袋不足激化……………四七六

過剩農産物に荷高

米機亞國內自由通過權獲得……………四七六
 亞國伊の權益代行を中止……………四七六
 一月中の亞國輸出入額……………四七六
 自動車類の輸出禁止……………四七六
 亞軍事使節團空しく歸國……………四七六
 アルヴェアル氏逝去……………四七六
 亞、智兩國米に反撥……………四七六

メキシコ

墨沿岸居住邦人に奥地移住
 命令……………四七六
 日本人を強制移住……………四七六
 日本駐墨公使米國へ……………四七六
 三浦駐墨公使米國へ……………四七六
 英公使メキシコ着……………四七六
 墨國の緊急國防體制……………四七六
 メキシコ兩洋に砲壘……………四七六
 メキシコで反政府デモ……………四七六

エクアドル

太平洋岸警戒……………四七六
 米基地建設か……………四七六

コロンビア

獨伊外交團引揚げ……………四七六
 ソ聯を非交戰國扱ひ……………四七六
 國防に躍起……………四七六
 ウルグワイに革命か……………四七六
 最高審議會設置……………四七六
 ウルグワイ獨船接收……………四七六

パラグワイ

樞軸國と斷行……………四七六
 下院對樞軸國斷交案可決……………四七六
 邦人釋放……………四七六

ヴェネズエラ

油槽船を呼戻す……………四七六
 西印・諸島防衛……………四七六
 タイヤ給組員の罷業勃發……………四七六
 油槽船乗組員の罷業勃發……………四七六
 樞軸船を接收……………四七六
 近海に機雷敷設……………四七六

キューバ

キューバ船員罷業……………四七六
 キューバ糖生産状態……………四七六
 キューバに燈管……………四七六
 英空軍部隊キューバ着……………四七六
 キューバで邦人拘禁……………四七六

アメリカ

▲政 治
 議會一月五日再開……………四七六
 一般教書内容……………四七六
 議會教書に賛否兩論……………四七六
 豫算教書要綱……………四七六
 明年度軍事費の概要……………四七六
 海軍工廠擴充費可決……………四七六
 海軍兵員擴張案可決……………四七六
 海軍追加豫算内譯……………四七六
 二百八十五億佛軍事費追加
 要求……………四七六
 上院物價統制案修正案可決……………四七六
 大統領物價統制法案修正案
 に反對……………四七六
 敗戰報告書に米朝野驕然……………四七六
 敗戰責任者は政府にもあり……………四七六
 小型艦艇千八百隻建造案通
 過……………四七六
 下院陸大軍用機豫算案可決……………四七六
 飛行機建造豫算上院通過……………四七六
 陸軍、女子徵用法案提出……………四七六

女子補助部隊創設……………四二五
 市民防護費一億弗要求……………四二五
 下院物價統制案再修正案可決……………四二五
 懸案の物價統制法案成立……………四二五
 下院銀買上法廢棄案否決……………四二九
 對戰時保險會社十億弗融資案上院を通過……………四二九
 兩洋防備は至難……………四二九
 議會日曜も無休……………四二九
 スミス労働修正案下院で否決……………四三〇
 下院で強制徵用案可決……………四三〇
 戰時非常權限案下院通過……………四三〇
 國債發行限度擴張案可決……………四三〇
 土壤保全費切下げ……………四三〇
 財務省一率の課税に反對……………四三〇
 軍擴張案更に一億弗……………四三〇
 政府手持農産物の賣却制限案下院可決……………四三〇
 平和産業労働者救済案否決……………四三〇
 議會販賣税引上げに賛成……………四三〇
 戰時労働法提案……………四三〇
 上院公債發行限度引上法案可決……………四三三
 バナマ運河開門建設費下院通過……………四三三
 米兵本國復歸法案可決……………四三三
 物的人的資源總動員案……………四三三
 下院新労働時間法案を修正……………四三三
 援將借款案成立……………四三三
 重慶援助の緊急事を強調……………四三三
 援將軍費五億弗提供……………四三三
 援將借款下院外交委員會で可決……………四三三
 援將借款提供は英軍の示威……………四三三
 軍需品の對將供給は斷念……………四三三
 五億弗援將借款案成立……………四三三
 ▲大統領

放送演説……………四三三
 大統領演説は敗戦主義の現れ……………四三三
 水力發電擴張費要求……………四三三
 追加豫算及び中立法一部廢棄案に署名……………四三三
 農村議員團の方針を拒否……………四三三
 潜水艦襲撃問題に珍問答……………四三三
 大統領夫人防衛局長辭職……………四三三
 脅えるルーズベルト……………四三三
 五分開放送……………四三三
 ▲輿論・新聞論説
 米輿論に多少の變化……………四三三
 長期戰論者へ米内部から一大痛棒……………四三三
 米紙のユダヤ的デマ宣傳……………四三三
 軍人の言論封鎖……………四三三
 ハースト、英國の態度非難……………四三三
 米紙、樂觀論を戒む……………四三三
 遲時の輿論覺醒運動……………四三三
 米紙頻りに國民に警告……………四三三
 ▲一 般
 ハル米陸軍省の發表に疑義……………四三三
 電信電話使用制限實施……………四三三
 米海共同對策協議……………四三三
 元陸軍長官に重大任務賦與……………四三三
 ホプキンスに辭職要求……………四三三
 米は飽乏「合衆國」……………四三三
 ノツクス負け惜しみ……………四三三
 濠や重慶へ米が言譯……………四三三
 獨不安説をノツクス否定……………四三三
 米世紀の失策……………四三三
 懸賞附でゲリラ戰獎勵……………四三三
 白人、黒人兵士と大亂闘……………四三三
 對外宣傳に大童……………四三三
 米、波斯灣に港灣施設……………四三三
 ハワイ婦女避難の手配……………四三三
 ノルマンデー號發火、遂に沈没……………四三三
 海上保險率を月別に決定……………四三三

ハルの憔悴……………四三三
 赤化する米國……………四三三
 デトロイトで黒白人亂闘……………四三三
 内閣一部改造か……………四三三
 米、英カリビヤ委員會設置……………四三三
 今更の媚態移民制限の緩和……………四三三
 情報省新設されん……………四三三
 セーヤー桑港着……………四三三
 ウイルキー怒る……………四三三
 ▲社會一般
 學校も繰上げ卒業……………四三三
 華府で徒食者退出……………四三三
 夏期時間採用……………四三三
 閑秀作家死去……………四三三
 大旋風……………四三三
 ▲軍 事
 クヌードセンを軍需局長に任命……………四三三
 華府で反樞軸軍事會議……………四三三
 米派遣軍總司令官チェニ少將……………四三三
 遠征軍十ヶ師派遣計畫……………四三三
 黒人部隊編成……………四三三
 軍政首腦緊急會議……………四三三
 改良火砲大量生産……………四三三
 大統領、軍首腦と協議……………四三三
 「獵虎」號は遠洋航海には不適……………四三三
 大統領軍政首腦と協議……………四三三
 三軍の統帥權整備……………四三三
 警戒地域擴張……………四三三
 部隊編成……………四三三
 首腦部協議……………四三三
 陸海空無統制を非難……………四三三
 ▲陸 軍
 陸軍整備兵召集……………四三三
 陸軍兵力を五百萬に……………四三三
 陸軍兵員擴充に狂奔……………四三三
 陸軍兵力強化……………四三三

陸軍の兵員及び關係事業從業員……………四三三
 豫備兵召集……………四三三
 陸軍編成替斷行……………四三三
 陸軍將校補充……………四三三
 ▲海 軍
 海軍飛行隊大西洋哨戒開始……………四三三
 高速巡邏就役……………四三三
 建造中の巡洋艦機失……………四三三
 ノルマンデー號米艦となる……………四三三
 キング司令官全艦隊指揮權掌握……………四三三
 米海軍兵力増強……………四三三
 新艦巡洋艦就役……………四三三
 キング華府へ歸還……………四三三
 艦艇相次いで進水……………四三三
 新艦隊の編成を發表……………四三三
 新鋭戰艦アラバマ十二日進水……………四三三
 潜水艦沈没發見……………四三三
 海軍省に資料調達局を新設……………四三三
 パハマ總督米海軍と協議……………四三三
 海軍作戰部長更迭……………四三三
 スターク提督の權限……………四三三
 東部海軍防衛司令官任命……………四三三
 擊沈船舶名發表中止……………四三三
 全商船を武装……………四三三
 新艦進水……………四三三
 樞軸潜水艦に對する對策……………四三三
 ▲收戰關係
 ハワイ收戰の調査開始……………四三三
 日本軍の眞價を認む……………四三三
 兩軍司令官に「職務怠慢」の烙印……………四三三
 眞珠灣收戰責任者處分方針……………四三三
 敗戦隱蔽宣傳利かず……………四三三
 守勢作戰の外なきを告白……………四三三
 軍事専門家政局を悲觀……………四三三
 積極攻勢は至難……………四三三

樞軸潜水艦優勢を承認……………四三三
 キンメル、シヨート軍法會議……………四三三
 國民早くもしびれを切らす……………四三三
 海軍非難の軍民を逮捕……………四三三
 蘭印失陥に米朝野呆然……………四三三
 ハワイ喪失を懸念……………四三三
 日本軍阻止は不可能……………四三三
 海軍收戰米に衝擊……………四三三
 ルーズベルトに非難集中……………四三三
 米の對日恐怖幕……………四三三
 當局濠洲防衛の困難を説く……………四三三
 ハワイ食糧難の危機……………四三三
 ▲英米收戰の反響
 シ港失陥に米英狼狽……………四三三
 獨艦海峽突破に米國戰慄……………四三三
 議員、政府の無氣力を非難……………四三三
 海軍根據地喪失を痛感……………四三三
 對日戰の困難を自覺……………四三三
 米英軍の醜態を暴露……………四三三
 人道主義こそ聯合軍の敗因……………四三三
 ▲太平洋
 太平洋作戦に聯合統帥本部設置……………四三三
 太平洋防衛責任回避に汲々……………四三三
 太平洋軍事會議は華府で開催……………四三三
 反樞軸國太平洋軍事會議の機能……………四三三
 西南太平洋へ米軍派遣困難……………四三三
 太平洋岸から二世を移動……………四三三
 太平洋軍事會議改組されん……………四三三
 太平洋軍事會議……………四三三
 ▲大西洋
 大西洋方面にも米英軍一軍司令部設置……………四三三
 大西洋水域における米船損失數……………四三三
 ▲徵兵・徵用・登録
 徵兵登録範圍を擴大……………四三三

民間機を徴用……………四二八
六十四歳迄の男子を登録……………四七三
男子職業登録制開始……………四七三
クリップパー機まで徴用……………四七六
第三回徴兵登録實施……………四七三
六十五歳の老婆まで徴用……………四七三

航空技術者に追加訓練命令四二八
ウルグワイに航空基地獲得……………四七三
米愛蘭間直行航空開始……………四七三
スチムソン空軍補充を力説……………四七五

沿岸哨戒強化……………四〇〇
アラスカ防衛法成立……………四〇〇
新任司令官ハワイ死守言明……………四〇〇
なつてない紐育の防空組織……………四二八
防衛義勇軍編成か……………四二八
隙だらけの米東西兩岸……………四二八
華府に空襲警報……………四二八
紐育で氣狂ひ高射砲鳴る……………四二八
米洲でリレット式護送制……………四二八
紐育防空演習で落第……………四二八

米英の對佛關係重大化か……………四〇〇
米參謀、南米歴訪……………四〇〇
パナマ水域完全管掌……………四二八
米墨共同防衛委員會設置……………四二八
米墨軍事委員會結成の意義……………四二八
米兵北アイルランド上陸……………四二八
大統領米英軍事當局と協議……………四二八
米墨防衛準備……………四二八
米英軍用機共同計畫……………四二八
米英合同參謀本部團を結成……………四二八
米英共同參謀部配給局新設……………四二八
重慶に軍事使節……………四二八
大統領蘭軍使節團と會談……………四二八
英米軍事協議……………四二八
カナダ經由アラスカ道路を計畫……………四二八
外人部隊編成を言明……………四二八

紐育を英分遣隊宿營地に指定……………四二八
米紙、對中南米強硬論主張……………四二八
陸軍長官バ運河視察……………四二八
外國軍隊服役米人引揚……………四二八
米兵、蘭領西印度警備……………四二八
アラスカ公路をカナダ承認……………四二八

東亞救援は極めて困難……………四二八
對ソ十億弗借款供與を言明……………四二八
援將米人飛行隊を解散……………四二八
援英物資の返濟方法を協定……………四二八
チェコ亡命政府にも武器貸與……………四二八
武器貸與一年間の實績……………四二八
對外援助を繞る對立……………四二八

反樞軸同盟結成……………四二八
反樞軸同盟條約調印……………四二八
反樞軸軍單一司令部設置……………四二八
米英統一作戰觀念か……………四二八
蔣の支那方面軍總司令部は英の責任回避策……………四二八
米英軍需生產單一化計畫……………四二八

對日關係……………四二八
日本人漁夫五百名を強制移轉……………四二八
在米邦人千餘名逮捕……………四二八
抑留邦人三千二百五十名……………四二八
拘禁日本人は三千五百名……………四二八
ベニンブリッジ島邦人に立退令……………四二八
在加邦農アリゾナへ……………四二八

反樞軸同盟糾合に狂奔……………四二八
樞軸國人に身分證明書下附……………四二八
樞軸潛艦出現で紐育恐慌……………四二八
樞軸國人西岸より強制退去……………四二八
加州より樞軸國人追放……………四二八
日獨伊三國人に外出制限……………四二八

樞軸國人居住禁止區域追加……………四二八
樞軸國人の逮捕……………四二八
外人資産管理局を創設……………四二八
西岸で樞軸國人逮捕續……………四二八
樞軸國人八千名家宅捜査……………四二八
逮捕された樞軸國人七千餘……………四二八
外交官交換
保護外交官交換未し……………四二八
政府、交戰國外交官交換考……………四二八
米獨伊外交官交換協定成立……………四二八
洪、羅、勃とも引揚交換……………四二八
獨伊外交官交換協定成立……………四二八
外交官身柄交換協定成立……………四二八
日米外交官交換引揚げ……………四二八
外交官身柄交換協定……………四二八

ハリマンを駐ソ大使に起用……………四二八
ブリット特使モスクワへ……………四二八
ブリット特使歸國……………四二八
駐ソ新大使にス提督を起用……………四二八
新任駐ソ大使確定……………四二八
駐ソ新大使愈々赴任……………四二八
大統領對ソ供給潤滑化命令……………四二八

對英……………四二八
米大統領訪英か……………四二八
ワイナント大使歸米……………四二八
ビーヴァアルツク着米……………四二八
英印交渉に米介入の氣勢……………四二八
對エール……………四二八
エール對米抗議……………四二八
エールに使節團派遣……………四二八

對印度……………四二八
對印工作詳報……………四二八
遣印米使節團の使命……………四二八
對印關心俄然昂まる……………四二八
對印問題に慎重態度……………四二八
初代駐印公使任命……………四二八

全南米諸國と大使交換……………四二八
南米諸國へ卑劣な謀略宣傳……………四二八
中南米諸國に軍需物資供給を泣訴……………四二八
米伯經濟協定成る……………四二八
汎米共同防衛委員會開催……………四二八
米洲共同防衛委員會……………四二八

米墨間武器貸與協約……………四二八
米墨會談開始……………四二八
駐墨外交官引揚方米へ通告……………四二八
對佛……………四二八
フランス商船八隻を徴用……………四二八
對佛壓迫露骨……………四二八
對蘭……………四二八
蘭外相紐育着……………四二八
米、蘭會談……………四二八

對重慶……………四二八
ラチモア歸米の途につく……………四二八
華府一重慶を五日間で聯絡……………四二八
ラチモア歸米……………四二八
ラチモア重慶事情報告……………四二八
援將資金募集運動……………四二八

其他……………四二八
スタインハート駐土大使に……………四二八
新西蘭公使任命……………四二八
伯藏相米訪問……………四二八
濠外相着米……………四二八
大統領、波亡命首相と要談……………四二八
アラビアに農業視察團……………四二八
ローマ教皇中立を堅持……………四二八
脱走外國船員を逮捕……………四二八

財政・經濟……………四二八
新豫算は國民一人當り四百廿弗の負擔……………四二八
國庫の支出愈々急増……………四二八
財務長官、財政安定を誘示……………四二八
財務長官インフレ回避言明……………四二八

米財界展望……………四二八
財務長官、銀買上法廢棄を力説……………四二八
外國銀買上續行か……………四二八
財務長官公債發行限度擴張を要求……………四二八
戰費支辨に十五億弗起債……………四二八
國債發行限度擴張要請……………四二八
武器貸與追加豫算下院本會議……………四二八
三十億弗軍事豫算下院通過……………四二八
物價管理局買金引上に反對……………四二八
農産物價格支持案紛議を呼ぶ……………四二八

軍需會社の利潤調査に着手……………四二八
政府用人に優先制……………四二八
重要統計類の發表禁止……………四二八
財務長官國債發行限度擴張を議會に要求……………四二八
四一年の國民所得新記録現出……………四二八
物價管理局擴充……………四二八
戰時保險補償資金融資案下院通過……………四二八
大統領、農業議員團の態度を非難……………四二八
軍需品發註價格を合議制に……………四二八
本年度歳入不足は百八十億ドル……………四二八
國防費支出一千四百億萬弗……………四二八
陸軍追加豫算案百七十五億……………四二八
軍費月額五十億弗目標……………四二八
赤字増嵩に悩む……………四二八
農務省農産物購入額八億弗……………四二八
國債發行限度擴張案議會通過……………四二八
議員軍需工業の不當利潤を非難……………四二八
米英經濟協定……………四二八

米財界展望……………四二八
財務長官、銀買上法廢棄を力説……………四二八
外國銀買上續行か……………四二八
財務長官公債發行限度擴張を要求……………四二八
戰費支辨に十五億弗起債……………四二八
國債發行限度擴張要請……………四二八
武器貸與追加豫算下院本會議……………四二八
三十億弗軍事豫算下院通過……………四二八
物價管理局買金引上に反對……………四二八
農産物價格支持案紛議を呼ぶ……………四二八
軍需會社の利潤調査に着手……………四二八
政府用人に優先制……………四二八
重要統計類の發表禁止……………四二八
財務長官國債發行限度擴張を議會に要求……………四二八
四一年の國民所得新記録現出……………四二八
物價管理局擴充……………四二八
戰時保險補償資金融資案下院通過……………四二八
大統領、農業議員團の態度を非難……………四二八
軍需品發註價格を合議制に……………四二八
本年度歳入不足は百八十億ドル……………四二八
國防費支出一千四百億萬弗……………四二八
陸軍追加豫算案百七十五億……………四二八
軍費月額五十億弗目標……………四二八
赤字増嵩に悩む……………四二八
農務省農産物購入額八億弗……………四二八
國債發行限度擴張案議會通過……………四二八
議員軍需工業の不當利潤を非難……………四二八
米英經濟協定……………四二八

米英戰時經濟三協定公表 四三六
米英通貨準備交涉開かれん 四三六
米英通貨問題を協議 四三三

▲租 稅
新豫算に呼應して大增稅計
畫を立案中 四〇〇一
追加支出補填に更に増稅か 四一九
大增稅計畫樹立を要望 四四九
租稅收入増加 四四九
明年度大增稅案全貌 四四九
大增稅案中 中階級の負擔
は倍加せん 四四九
大增稅案中 反對強硬 四四九
OIO販賣稅增徴案中 反對強硬
大增稅案の株式界への打撃
深刻 四四九
納稅より限る不良 四四九
稅收新記録 四四九
新財源に所得稅 四四九

▲戰時機構
國防資材優先割當局内容強
化 四〇〇一
戰時勞働局の機能決定さる 四〇〇一
戰時生産局機構擴張決定 四二六
戰時生産局設置の経緯 四二六
軍需生産の不統一 四二六
新設戰時生産局の陣容 四二六
戰時生産局自動車部顧問任
命 四二六

戰時海運局の新設と其使命 四二七
經濟機構の改變に新聞界反
對 四二七
軍需物資動員計畫 四二七
戰時生産局計畫部長任命 四二七
戰時生産局一部改組 四二七
戰時生産局組織部長辭職 四二七
戰時割當部を新設 四二七
重要軍需資材生産を國營か 四二七
▲經濟一般
樂觀を許さぬ財界の前途 四二七

眞珠灣復興の爲公債を買へ 四〇〇四
紐育の生活も一變 四〇〇四
紐育婦人も縮づくめ 四〇〇四
悪性インフレーションを危惧 四〇〇四
比島關係保證券等に嚴重な統
制 四一九
金流入額減少 四一九
國民生活の不安増大 四一九
失業保險支拂額激増 四一九
經濟指標上昇 四一九
戰時經濟種々相 四一九
珈琲の買留め旺ん 四一九
衣服にも消費割當實施か 四一九
國民大半は戰時統制に賛成 四一九
經濟の戰時編成替へ本格的 四一九
戰時利得と勞働問題に悩む 四一九

▲融 融
國民所得増加 四一九
復興金融會社借入権限擴張
を要求 四一九
國民所得著増 四一九
農民の現金収入著増 四一九
銀行預金の増加顯著 四一九
米銀行英のバンクレー銀行
支店を接收 四一九
大統領中小工業金融命令に
署名 四一九
▲軍需生産
アメリカ通貨金融統計 四一九
軍需生産擴張に躍起 四一九
軍用機生産スピードアップ 四一九
戰時生産局新設 四一九
英米聯合軍需局設置計畫 四一九
商務省軍需生産増進の要を
力説 四一九
貨與武器發註は、小業者
に公平に 四一九
米加間に軍需生産促進協定 四一九
電機工業を軍需生産に轉換 四一九
軍需品生産費一日一億ドル 四一九

軍需生産の全能力操業要望 四二六
軍需生産十五%増大 四二六
武器生産には工作機械の増
産が先決問題 四二六
軍需資材確保に躍起 四二六
非戰略的資材で軍用機製造 四二六
▲生産一般
夏期時間制採用 四二六
工業用酒精の増産対策 四二六
工場監督二十萬人を訓練 四二六
冷凍器製造工業轉換 四二六
一月中の電力生産高増加 四二六
二月中の工業生産増大 四二六
空襲騒動で生産停滞 四二六
空襲の損害よりも産業停滞
が痛手 四二六

▲會社・工場
會社取締に躍起 四二六
昨年中の事業會社収益 四二六
軍需工場の完全操業未だし 四二六
スタンダード社の人造石油
増税特許權を公開 四二六
増稅対策に退はれる諸會社 四二六
軍事工場擴張費 四二六
敗戦、映畫會社に大打撃 四二六
リンデーがフォード入り 四二六

▲物 價
ル大統領総合的物價統制を
勸告 四二六
棉實油に最高價格 四二六
農産物價格昨年より二割五
分高 四二六
農産物價格 四二六
物價最高値設定に懸命 四二六
物價統制問題前途多難 四二六
生活費指數騰貴 四二六
農産物平衡價格決定 四二六
思惑的家賃引上げを禁止 四二六
豚肉に最高卸賣價格設定 四二六
ヘンダーソン、インフレーション

制を強調 四二六
タイヤ及びチューブに最高
價格制 四二六
農産物價騰貴率六割五分 四二六
生活費指數騰貴 四二六
現煙草卸賣最高價格を續行 四二六
不急品の小販販賣に最高價
格制 四二六

▲市 場
株式界概観 四二六
大統領發書に幽靈公債急騰 四二六
石油市場近況 四二六
紐育砂糖定期取引停止 四二六
砂糖割當量激増 四二六
紐育定期砂糖第三號取引再
開 四二六
工業株四年來の不安定 四二六
紐育取引所會員權一八九七
年以來の安値 四二六

▲勞 働
新設勞働局に廣汎なる權限
附與 四二六
軍需産業勞働者獲得に必至 四二六
失業率増加の懸念濃厚 四二六
二大勞働組合近く合流か 四二六
二大勞働組合の提携依然困難 四二六
勞働運動新情勢 四二六
二大勞働組合合同委員會設
置 四二六
兩勞働組合、協議會に参加 四二六
兩勞働組合協定締結を決定 四二六
失業率増大 四二六
CIO系自動車工業勞働者
新勞働條件に不満 四二六
紐育地下鐵従業員動搖 四二六
製鋼工業の恐れ 四二六
諸港に妨業事件續發 四二六
眞論、勞働者の態度を非難 四二六
生産機構改變から失業者續
出 四二六

勞働爭議が惱みの種 四二六
造船所に罷業勃發 四二六
アルミ工場にも罷業 四二六
ブルーム工場に罷業 四二六
第一回戰時勞働委員會を終る 四二六
賃銀問題を繞り政府勞働者
間の意見對立 四二六
勞働不安で軍需生産増せず 四二六
戰時生産促進のため勞働者
を再訓練 四二六
婦人勞働強化か 四二六
農業勞働者減少 四二六
最高賃銀制採用か 四二六
政府契約工場のクロズド
・ショップ制を否認か 四二六
婦人勞働力動員 四二六
一部で一週七日勞働制實施 四二六
農業勞働力減退 四二六
工場事故數 四二六
休日勞働會社を接收 四二六
勞働時間問題で政府と組合
對立 四二六
國防産業の賃銀暴騰 四二六

▲商品・配給
諸商品の割當制を強化 四二六
販賣割當制を強化 四二六
小賣販賣高激減 四二六
中賣販賣高 四二六
中南米の對米物資配給統制
機關設立 四二六
タイプライターの販賣を禁
止 四二六
月賦販賣を制限 四二六
獸脂供給逼迫 四二六
生産制限・禁止 四二六
軍需物資生産を六割に制限 四二六
織詰工業大縮減 四二六
タイプライター生産制限 四二六

冷蔵庫の生産停止... 四七六
民需寫眞機等生産禁止... 四六九
ラジオ製造禁止... 四六九
住宅建築を極限せん... 四六九
タイプライター工業本年中
繼續... 四七六

自動車
自動車工業を國防工業に轉
換... 四〇一
クライスター自動車武器の
製造を急増... 四〇一
乗用車及びトラックの小賣
販賣禁止... 四〇一
自動車工業諮問委員會改組... 四〇一
二月以降自動車生産を停止... 四〇一
全米自動車生産一齊に停止... 四〇一
自動車工業武器製造に轉換... 四〇一
中量及び重量トラックの増
産許可... 四〇一
戦時生産局古自動車の一掃
を計畫... 四〇一

自動車工業の勞資小委員會
類觸れ決る... 四二〇
自動車會社の軍需註文増大... 四二〇
アメリカ自動車生産高... 四二〇
自動車工場軍需工場への
轉換に躍起... 四二〇
自動車工業の戦時工業轉換
困難視... 四二〇
國民自動車所有數激減豫想... 四二〇
自動車の豫定販賣割當... 四二〇
トラック類の販賣割當實施... 四二〇
自動車生産高... 四二〇

自動車タイヤの割當制採用... 四二〇
ゴム不足対策に焦慮... 四二〇
古タイヤ修理費に最高値... 四二〇
年産四十萬トンの合成ゴム
製造計畫... 四二〇
タイヤ用ゴムの使用を制限... 四二〇

代用ゴム生産に大童... 四二〇
ゴムの割當制強化... 四二〇
ゴム自給対策に狂奔... 四二〇
農務省にゴム栽培權賦與... 四二〇
合成ゴム増産實現か... 四二〇
醜態暴露のゴム問答... 四二〇
ゴム自給策を強行... 四二〇
米合成ゴム生産計畫... 四二〇
フアイアストーン・タイヤ
會社ゴム不足に工場閉鎖... 四二〇
スタンダード石油合成ゴム
生産の計畫... 四二〇
ゴム輪トラクター生産停止... 四二〇
聯合國側ゴム需給狀態暗澹... 四二〇
タイヤ消費微減... 四二〇
人造ゴム生産計畫... 四二〇
四月分タイヤ割當發表... 四二〇
陸軍でもゴムの消費節約... 四二〇
聯合國側ゴム不足深刻... 四二〇

石油
東部諸州の石油消費節減... 四二〇
油槽船不足に悩む... 四二〇
石油販賣を統制... 四二〇
石油の配給不圓滑... 四二〇
石油製品に販賣割當制適用... 四二〇
軍用石油需給狀況... 四二〇
燃料節約を命令... 四二〇
石油難の正體... 四二〇
原油値上げ... 四二〇
昨年中の世界石油生産高... 四二〇

製鋼作業率... 四二〇
層鐵鋼の不足激化... 四二〇
鐵鋼需給益々逼迫... 四二〇
罷業で鐵鋼生産減少... 四二〇
銅
銅の使用制限を悠遠... 四二〇
十二月中の銅需給統計... 四二〇
銅需給統計... 四二〇
銅需給窮屈化不可避... 四二〇
錫
錫在荷は二十一ヶ月分... 四二〇
錫、ゴムの使用制限強化... 四二〇
錫加工を禁止... 四二〇
反樞軸側錫需給狀況... 四二〇
アルミニウム
アルミニウム生産軌道に乗る... 四二〇
アルミ飢饉に倉庫掃除... 四二〇
アルミニウム生産増加發表... 四二〇
マンガン
マンガンの外國依存... 四二〇
マンガン鑛増産計畫... 四二〇
其他
キューバでニッケル開發... 四二〇
財務省、銀の解放を考慮中... 四二〇
織
絹工業に操業停止命令... 四二〇
ヤンキー娘の法外な毛糸使
用に當局から御灸... 四二〇
持てる米國がゴロ集め... 四二〇
國內貯藏の英所有羊毛買付... 四二〇
ナイロン靴下に最高價設定... 四二〇
マニラ麻栽培地發見に大童... 四二〇
軍需長毛絨綿對策に腐心... 四二〇
民需用羊毛の使用削減... 四二〇
纖維界近況... 四二〇
一九四一年度棉花全產高... 四二〇
製紙用パルプに割當制... 四二〇
綿製品生産激増... 四二〇
西半球の過剩棉花處分案... 四二〇

羊毛の價格引上げ... 四二〇
靱皮纖維の使用考慮中... 四二〇
農産
當局、大豆の増産に大童... 四二〇
農業専門家を南米へ派遣... 四二〇
グアコール栽培を一時制限... 四二〇
小麥増産に乘出す... 四二〇
農家作物轉換を實施... 四二〇
汎米農業科學研究所設置... 四二〇
陸軍コヒー買付に乘出す... 四二〇
砂糖
紐育砂糖取引所全く停止... 四二〇
砂糖消費割當實施... 四二〇
砂糖不足深刻... 四二〇
全米砂糖配給量著減... 四二〇
紐育定期砂糖取引全く停止... 四二〇
砂糖配給割當減額... 四二〇
火藥製造用に砂糖需要激増... 四二〇
砂糖に切符制... 四二〇
砂糖補給に悩む聯合國... 四二〇
通商・貿易
對中南米貿易情勢... 四二〇
輸出業者樞軸凍結資産の
檢討要請... 四二〇
比島資産凍結を斷行... 四二〇
蘭印貿易困難に信用狀の修
正を要望... 四二〇
外洋船の備船料運賃を引下... 四二〇
キニーネ入手に狂奔... 四二〇
米洲通商障壁撤廢協定... 四二〇
米の農産物對英援助三億弗
突破... 四二〇
援將物資輸出許可... 四二〇
昨年度輸出入貿易激増... 四二〇
戦時海保利率引上げ... 四二〇
米、アルゼンチンへ媚態... 四二〇
國際コリア協定成立... 四二〇
對英貸與商品積出狀況... 四二〇
金移動逆回りに轉ず... 四二〇

昨年十一月月間の貿易額... 四二〇
一九四一年度對外貿易激増... 四二〇
ブラジルからゴム、油脂を
買付... 四二〇
對中南米貿易一大入超に轉
ず... 四二〇
對中南米主要國別貿易尻... 四二〇
對中南米貿易の脅威... 四二〇
海運・船舶
貨物船急送... 四二〇
船腹不足愈々深刻... 四二〇
商船大建造契約賦與... 四二〇
反樞軸國の船舶問題重大化... 四二〇
戦時海運局設置... 四二〇
太平洋航路の運賃引上... 四二〇
英米船舶プール計畫、中南
米航路に影響... 四二〇
英米海保業者に船舶保證制... 四二〇
造船計畫進捗せず... 四二〇
造船契約現在高は千八百隻... 四二〇
造船計畫再擴張か... 四二〇
油槽船の撃沈に悩む英米... 四二〇
反樞軸側油槽船の喪失甚大... 四二〇
貨物船二百隻建造計畫... 四二〇
ベヌ・ヘルム製鋼の造船計畫... 四二〇
北、南米東岸航路運賃引上... 四二〇
砂糖輸送に運賃引上げ... 四二〇
新船建造契約發表... 四二〇
海軍委員會新造船發註... 四二〇
膨大な造船計畫... 四二〇
油槽船喪失とその影響... 四二〇
大型油槽船建造... 四二〇
シー・オッター建造計畫潰
ゆ... 四二〇
交通・運輸
東亞、ソ聯への聯絡にア
リカ横斷ルート利用か... 四二〇
アラスカ公路建設決定... 四二〇
軍需輸送用に貨車容積留保... 四二〇
鐵道運賃近く引上げか... 四二〇

報週濟經際國

新年倍大號

世界大戰と世界經濟

世界戰局の展望

獨逸經濟の長期戰態勢

獨逸占領地行政の全貌

伊太利の戰時經濟

米國戰時生産力の現狀

英・加・濠の抗戰力

戰爭に動搖する印度

ソ聯抗戰力の檢討

歐洲中立國の趨勢

中南米諸國の動向

支那大陸の俯瞰

△時評 金・銀・人間

△論叢 取引所機構の改革 支那經濟再編成の過程 米國軍需生産の兩面

△資料欄 内外重要ニュース (大東亞戰爭、國內、東亞、海外における軍事、政治、經濟その他多量にわたり一週分詳録)

△統計欄 内外金融、證券、商品相場等諸統計

(錢一料送) 錢十六價特 頁二十百判5B

昭和十八年版

同盟通信社編纂

A5判上製 八〇〇頁
價三・〇〇 送・四五

同盟時事年鑑

☆轉換世界史の活記録!! ☆決戰日本の國勢標識!!

大東亞戰爭第二年に入り、戦力増強に一億熱火となつて總進軍の秋、皇國の隆替は實に我綜合國力の發揮如何にかゝる。この時に當り世界維新の陣頭に巨歩を進むる祖國日本の總力を科學的に把握するの要益々大である。本書はこの要求に答ふべく「同盟」の世界大通信網と完備せる調査機構を總動員して成る一大綜合年鑑である。新らしき歴史を創造する基礎資料たると共に家庭必備の日常辭典としても敢へて學校、圖書館、會社、事務所は勿論全國民の必備を薦む。

發賣中

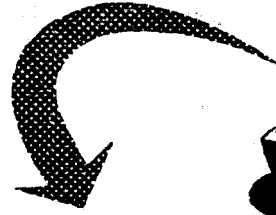
☆大東亞戰の必然を物語る國民承諾!

同盟時事年表

A5判上製 五三八頁折本
定價 三・十圓

社信通盟同 法人國 東京・日比谷・市會館 東京 電話 三五八〇〇

あさ今年も勝ち抜きぞ



戦時食生活に

旺盛な活動力と

強靱な抵抗力を

栄養の攝取に不自由な戦時下、**わかも**とて生活機能の振起を圖り強靱な體力を確保し長期戦を勝ち抜かう！
 本剤は活力素と謂はれるビタミンBを、 B_1 ・ B_2 ・ B_6 全複合體の形で保有し、新陳代謝を促し疲勞を防ぎ全身の機能を活潑にする上に、三消化酵素の協力で胃腸を強化し消化・吸収・排泄の作用を整へ食慾を旺盛にする結果、粗食も能率的に栄養化して體栄養を充實し抵抗力に富む強軀を培ひ、凡ゆる生活部門に

一日	二十五日量
數錢	一圓六十錢

地方に
より
定り
價

同化性B・Vと3消化酵素の複合効果

錠剤 わかもと

東京・大阪 錦本ともかわ 天津・北京 上海・北平

昭和二十七年七月三十日第三種郵便物認可

發行所 東京市麹町區日比谷公園

社同人 盟通信社 電話代安室電話東京(三三二)三〇〇